

木造被害調査報告

囑託員 北澤 五郎

目次

- 第一章 緒言
 - 一 調査ノ範圍
 - 二 調査ノ方法
 - 三 被害ノ分類
- 第二章 被害ノ分布
 - 四 分布ノ概説
 - 五 被害分布ト地勢及地質
 - 六 被害統計
 - 七 被害分布ト火災
- 第三章 被害ノ状態
 - 八 被害状態ノ概説
 - 九 被害ノ特説
 - 十 雜件
- 附録
 - 一 別表——木造建物其他工作物被害統計
 - 二 燒跡聽取調書
 - 三 附圖
 - 四 被害寫眞

第百號丙上 木造被害調査報告

第一章 緒言

一 調査ノ範圍

本調査ハ大正十二年九月一日ノ地震ニ於ケル木造建物及其ノ他二三ノ工作物ニ關スルモノナリ。工作物トハ煙突、墻壁、擁壁、崖ノ類ナリ。

調査區域ハ木造建物ニ付キテハ東京府下全般ニ亘ルト雖モ工作物ニ付キテハ主トシテ市内及隣接町村（市街地建築物法施行區域内）ニ限ル蓋シ調査資料蒐集機關ノ關係ナリ、而シテ本調査ハ被害分布及統計ヲ主眼トシ個々ノ建物ノ被害状態ヲ副トセリ、其ハ木造建物ノ被害状態ニ付キテハ既往ノ震災ニ際シテ研究調査ヲ遂ゲラレアルト幾萬件ノ被害ニ對シ一々詳細ナル實査ノ到底爲シ得ザルコトトニ依ル。

二 調査ノ方法

調査ハ實地調査ト警察署ノ報告トニ依ル各警察署ニ對シテハ豫メ様式ヲ示シテ被害ノ報告ヲ求メタリ。

燒失區域内ニ對シテハ地震直後、火災前ノ短時間ニ警戒又ハ救助ノタメ巡廻セル警察官ニ對シ報告書ノ作成ヲ依頼シタルモノナリ、之等ハ當時ノ記憶ニ基クモノ多ケレドモ其ノ内ニハ燒失前既ニ敏速ニ調査ヲ遂ゲタルモノアリ、而シテ其後尙燒失區域内全般ニ亘リテ町會ノ有志又ハ附近住民ヲ訪ネ、

當時ノ狀況ヲ聽取シタリ、附録「燒跡聽取調書」是ナリ、以上ノ如クナルヲ以テ燒失區域内ノ調査ハ誤ナキヲ保セズト雖モ大體ニ於テ其ノ狀ヲ推知シ得ベキ資料ナリト信ズ。

三 被害ノ分類

以下ニ記述スル處ニ全潰、半潰、大破損ノ文字ヲ用フ。
全潰。トハ平家ニ在リテハ屋根以下潰レタルモノ、二階家

ニ在リテハ階下潰レ階上其ノ儘ノモノ、又ハ階上潰レ階下其ノ儘ナルモノ。

半潰。トハ潰レザルモ改築ヲナサザレバ使用ニ耐エザルモノ、即チ軸部ニ大ナル破損ヲ來タセルモノ。

大破損。トハ大ニ傾斜シ支柱ニテ支ヘタルモノ、又ハ内部

ニ所々大ナル破損アルモノ。

以上ノ如ク之ヲ分ツト雖モ破損ノ狀況ハ千差萬別ナルト調査員ノ數多キトニ依リ統一ヲ缺クノ憾ナシトセザルモ大體ニ於テ右ノ觀念ニ基キ之ヲ區別セリ。

第二章 被害ノ分布

四 分布ノ概説

附圖「東京附近ニ於ケル木造建物被害分布圖」ハ市内及近郊ノ被害狀況ヲ示スモノナリ。本分布圖ハ警察署ノ報告ヲ基トシ先ヅ東京遞信局編纂番地入縮尺五千分ノ一ノ地圖上ニ被害

別ニ、一棟毎ニ、之ヲ記入シ、實地調査ニ依リ之ヲ補正シタルモノヲ原本トシテ作成セルモノナリ。今主トシテ此ノ分布圖ニ就キ分布ノ概要ヲ述ベン。

東京市内ヲ燒失區域ト非燒失區域ト區別スレバ從來下町ト稱スル區域ハ主トシテ燒失區域、山ノ手ト呼ベルハ概シテ非燒失區域ニ當ル。

非燒失區域ニ就キ被害分布ノ狀況ヲ見ルニ被害ハ或地區内ニ集リ一團ヲ形成スルノ狀ヲ示ス。之ヲ下町方面ノ分布狀況ニ比スルニ稍特種ノ狀ヲ現セリ。斯クノ如キモノヲ假ニ集團的ノ被害ト呼バントス。地勢ノ上ヨリ云ヘバ臺地ト臺地ノ間ノ低地ニ在リ。之ヲ列舉スレバ次ノ如シ。

區名	低地	町名	摘要
芝布	古川ノ流域	三田四國町、森元町、北新門前町、新綱町、網代町	
赤阪	臺町ト氷川町ノ間ノ谷地	新町、中ノ町	
牛込	江戸川ノ流域	西五軒町、水道町、改代町、山吹町、小日向町(小石川區)	
小石川	小石川ノ臺地ト本郷臺地間ノ谷地	柳町、初音町	
本郷	本郷臺地ト上野臺地間ノ谷地	根津八重垣町、藍染町、千駄木町、初音町、池ノ端七軒町	
下谷			

右ハ何レモ海拔十米突以下ノ低地ナリ。

而シテ臺地中稍被害多キハ四谷見附ヨリ新宿ニ到ル間ニシテ其ノ内四谷傳馬町一丁目ヨリ二丁目ノ區域ト四谷北裏町ト牛込區富久町トノ區域ニ多ク、市ヶ谷見附ヨリ濠ニ沿ヒテ飯田橋ニ到ル區域亦稍被害アリ。

右ノ外、山ノ手ニ在リテハ被害ハ區域ヲ限リテ集レルモノ無ク各所ニ散在ス、斯クノ如キモノヲ假ニ散在的被害ト呼バントス。

燒失地區ニ就キテ之ヲ見ルニ相當廣キ範圍ニ涉ル集團的被害ト散在的被害トヨリ成ルト云フコトヲ得。即チ神田區神保町ヨリ水道橋ニ到ル間ノ一區域及ビ淺草公園ノ北部ノ一區域ハ集團的被害ノ大ナルモノナリ。赤坂區溜池、田町（非燒失域ノ中町、新町ト連ル）及ビ芝區宇田川町ヨリ烏森町ニ到ル間亦集團的被害ヲナス。其ノ他ハ被害ノ集團的ノ分布ナシ。本所區深川區ニ到リテハ被害ハ兩區ノ全般ニ涉リ、本所區ノ北部即チ言問、押上、柳島ノ如キハ集團的ノ形狀ヲナセドモ此ハ被害密度ノ濃淡トス可ク兩區ハ分布ノ情狀ヨリ云ヒテ散在的ト謂フヲ可トスベキカ。

燒失地區内被害地ノ町名ヲ舉グレバ左表ノ通。

區名	分布ノ狀態	町名	摘要
芝	帶狀ノ集團	宇田川町、柴井町、露月町、愛宕下町、烏森町、兼房町	
赤阪	帶狀ノ集團	溜池町、田町、中ノ町	非燒失區 城ノ中ノ 町新ト 連絡ス
神田	大塊狀集團	三崎町、西小川町、表神保町、中猿樂町、北神保町、表神保町、南神保町、小川小路	
日本橋	散在的	濱町、中洲町、箱崎町	被害輕シ
下谷	大塊狀集團	金杉下町、龍泉寺町。入谷町（以上山谷） 玉姫町、山谷町、田中町、吉野町、龜岡町、新吉原、田町、光月町、千束町	
本所	散在的	北部 向島小梅町、向島仲ノ町、向島押上町、新小梅町、小梅町、柳島元町、押上町、中ノ郷業平町、柳島梅森町 西部 横網町、小泉町 中部 綠町、永倉町 南部 德右衛門町、柳原町	
深川	散在的	北部 東六間堀町、富川町、猿江町 中部 石島町 南部 蛤町、富岡門前町、平富町、數矢町、入船町、洲崎	

郡部ノ被害分布ニ就テ東京ヲ中心トシ之ヲ見ルニ南方ニ稍距レテ荏原郡大森、馬込村ノ被害アリ。西方ニ豊多摩郡代々幡町ノ被害アリ。北方ニ淺草北部ノ區域ト連リテ北豊島郡三河島、王子、及南足立郡千住町ノ被害アリ。東ニ本所深川兩

第百號丙上 木造被害調査報告

區ニ接シテ南葛飾郡砂町、龜戸、寺島等ノ被害アリ。皆個々ニ大小ノ集團ヲナシテ散在ス。内最モ被害ノ甚シキハ北部ニシテ南部之ニ次ギ東部及西部ノ順序トナル。南多摩郡ノ被害ノ主ナルモノハ町田町附近ニシテ八王子町附近ニハ大ナル被害ナク北多摩郡ハ被害少ク府中町調布町亦被害少シ、西多摩郡ニ到リテハ被害甚ダ少ク青梅町五日市町等被害僅少ナリ。以上ヲ一表トスレバ左表ノ如シ。

郡名	分布ノ状態	町名又ハ村名	摘要
荏原郡	集團的 带状集團 散在的	大森町 馬込村 入新井町 品川町及大崎町	被害大、全潰半潰多シ、被害中 被潰半潰多シ、 南北十五丁ニ亘ル谷地 被害中
豊多摩郡	带状集團 小集團 小集團	代々幡町 千駄ヶ谷町、字大西 戸塚町、下戸塚	被害中、代々木練兵場ノ西南六丁 餘ニ亘ル谷地 被害少
北豊嶋郡	集團的 散在的 散在的	目暮里町、金杉 尾久町、 王子町、 瀧ノ川町 岩淵町ノ東部	被害中 同大 同中 同大 同少 同少
南足立郡	散在的	千住町	被害中

南葛飾郡	散在的	砂町、大島町、龜戸町、寺島町、隅田町、請地、	被害中、又ハ少
南多摩郡		町田町	被害大

次ニ工作物ノ被害分布ニ就キ其ノ概要ヲ記述スベシ。其ノ被害統計ハ附録ノ通りトス。

墻壁。石造、煉瓦造ノ墻壁ノ崩壊被害數ハ市内ニ一、一六四件郡部ニ二八五件ニシテ高サ六尺ヨリ九尺ノモノ多ク内七尺及八尺ノモノ最モ多シ。蓋シ此ノ類ノモノ多キガタメナリ。崩壊數一〇〇件以上ノ區ハ淺草區、麻布區、芝區及品川ナリ。之ヲ圖上ニ記入シテ分布ノ狀ヲ見ルニ木造建物ノ場合ト甚シク異ルモノアリ。

芝、麻布ニ在リテハ高臺地ニ多ク淺草ニ在リテハ淺草公園南部ニ多シ。即チ木造建物ノ被害少キ區域ニ多シ。煉瓦造、石造ノ墻壁ノ在ル所ハ建物モ亦宏壯堅固ニシテ被害少カル可ク、此ノ點ヨリセバ分布ノ相反スルハ異トスルニ足ラズト雖モ木造ノ被害分布ト相反スルハ興味ナシトセズ。石造煉瓦造ノ墻壁ハ地盤ノ軟弱ナル個所ヨリモ比較的地盤硬キ個所ニ被害アリト云フコトヲ得。煉瓦造ノ被害分布圖ヲ作り之ト對照

スルニ亦同ジ。即チ山ノ手ノ高臺地ニ全潰ノ數多ク大破損少ク、下町ノ軟地ニ全潰ノ數少ク大破損ノ數多シ。其ノ狀牆壁ノ被害分布ト相似タリ。

擁壁及崖。擁壁及崖ノ崩壞數ハ市内七〇八件郡部一四〇件ニシテ崩壞件數一〇〇以上ノ個所ハ牛込、赤坂ノ兩區ニシテ麻布稍之ニ次グ郡部ニアリテハ淀橋邊ナリ、高臺地ノ起伏ト相伴フ。

煙突ノ被害統計ハ高サ七十五尺以上ノモノニ限ル。鐵管煙突トハ主トシテ錢湯ノ煙突ニシテ被害ニ依ルモノ甚ダ少ク區域ニ依ルノ差異甚シカラズ。煉瓦造ニ在リテハ被害ニ依ルモノ多ク、鐵筋「コンクリート」造ニ在リテハ安全ナルモノ多シ。

次ニ墓石ノ轉倒及移轉ノ狀ヲ見ルニ淺草、本所、深川ノ如キ木造建物ノ被害多キ地ニ在リテハ安全ノ個數ト轉倒又ハ移動セル個數ト略相等シク其ノ他ノ區ニ在リテハ轉倒又ハ移動ノ數ニ比シ安全ナルモノ甚ダ少シ。即チ木造建物ノ被害ト相反セルコト煉瓦造建物又ハ石造煉瓦造牆壁ノ分布狀況ト同一ナリ。地ノ硬軟ニ依リ震動週期ヲ異ニスルノ結果ニ歸スベキモノナルベシ。

五 被害分布ト地勢及地質

佐野博士ニ依レバ

- (1) 水分多キ砂地及泥地又ハ埋立地、

- (2) 硬軟地層ノ接觸スル所及斷崖ノ上、ハ震度大ニシテ被害多シトセラレタリ。又
 - (3) 谷ノ如キ場所ニ於テハ地震波ハ屈折シ、反射シ、又干涉シテ甚ダ複雑ナル、又ハ大ナル波動ヲ生ズトハ斯道専門家ノ稱スル處ナリ。
- 今之ヲ山ノ手ノ集團の被害地ノ地勢ト地質トニ照シ考フルニ皆右ノ條件ヲ具備セザルハナク更ニ右ノ外谷合ナルガ故ニ、
- (4) 概シテ土地濕浸ナルコト、
 - (5) 人爲的ニ貧弱ナル建物多キコト、
 - (6) 前二項ノ結果トシテ建物ノ土臺、柱脚等ノ腐朽ヲ來タセルモノ多キコト、
- ノ地勢上、地質上ノ必然的結果ガ之ニ加ハリテ茲ニ集團の被害ヲ形成セルモノト見ルコトヲ得。
- 今右ノ關係ヲ今村博士ノ震災豫防調査報告第七十七號ヲ參照シツ、之ヲ一表ニマトムルトキハ左ノ如シ。左表中地下水面ノ尺度ハ實地調査ノ際實測セルモノナリ。

區名	町名	舊河川	埋立地	地質	地下水面(地表下)
芝	三田四國町	舊古川			自一尺一寸至二尺三寸
麻布	新網町	舊古川			自〇尺三寸至二尺
	北新門前町ノ一帶	流古川ノ域		沖積層	自〇尺三寸至二尺

「木造建物被害分布圖」
 「地表地下地質圖」
 對照圖

Map showing the relation between the distribution of the damaged wooden houses and the geological structure of the concerned area.

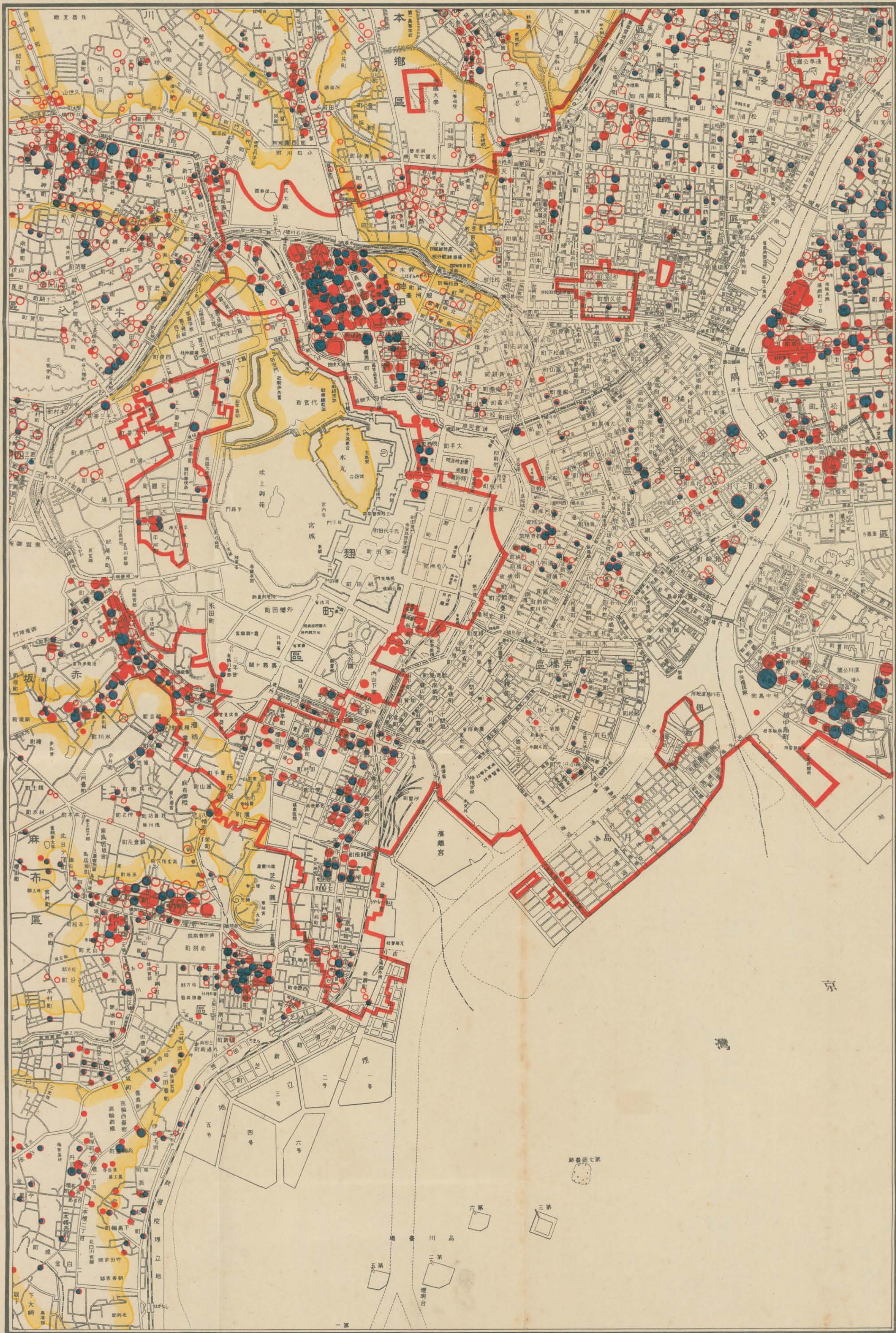


凡例

- 沖積層
(盛土ヲ含ム)
- 地表
洪積層
- 地下
第三紀層
- 地下
第三紀層

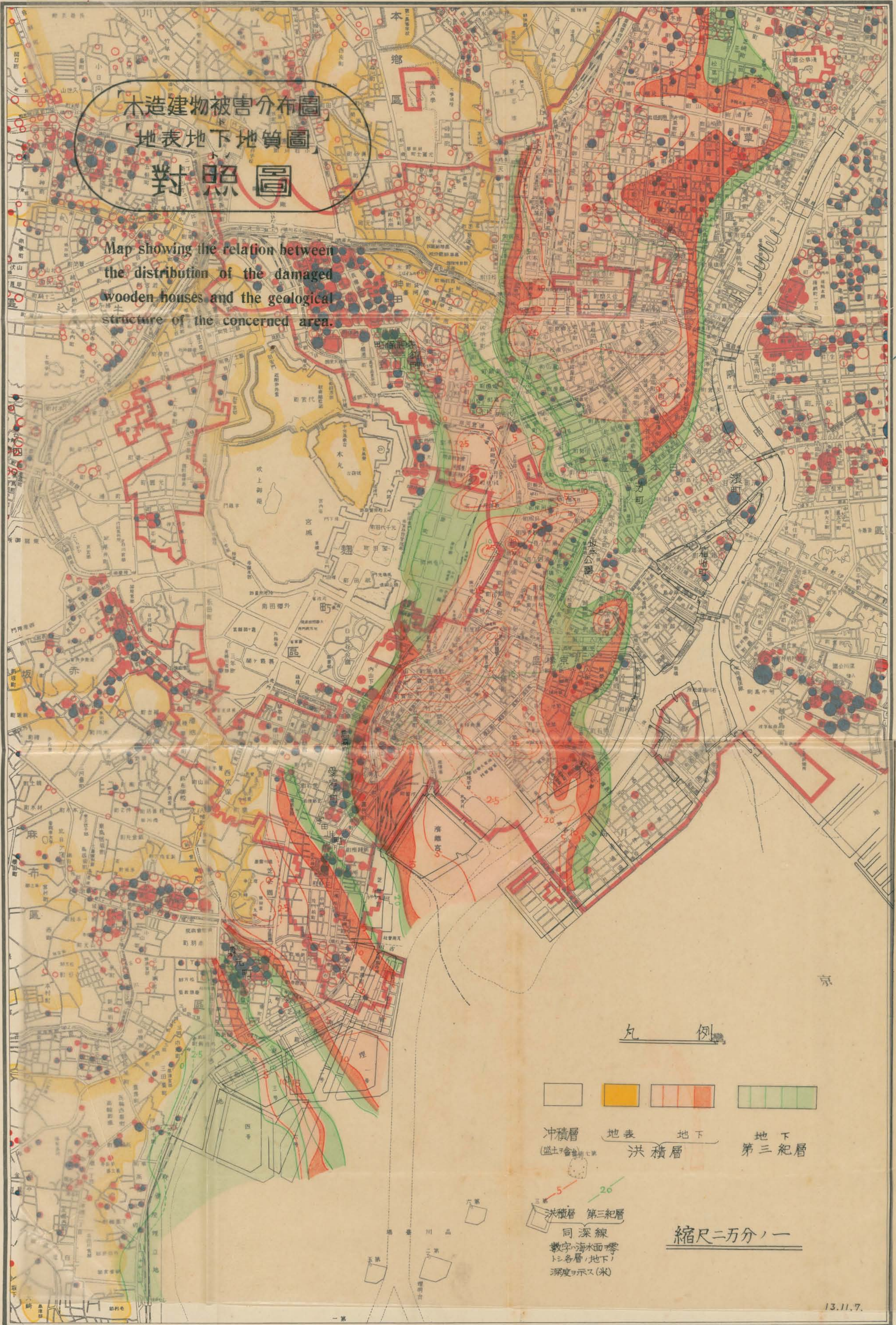
5 20
 洪積層 第三紀層
 同深線
 數字、海面零
 ト、各層、地下、
 深度ヲ示ス(米)

縮尺二万分の一



木造建物被害分布圖
 地表地下地質圖
 對照圖

Map showing the relation between
 the distribution of the damaged
 wooden houses and the geological
 structure of the concerned area.



丸 例



冲積層 地表 地下 地下
 (盛土) 洪積層 第三紀層

同深線
 數字、海面零
 ト各層、地下
 深度ヲ示ス(米)

縮尺二万分の一

神田區ニ在リテハ錦町及表神保町亦然リ。

日本橋區ニ在リテハ坂本公園附近及ビ芳町附近ハ亦同區内ノ他ニ比シテ被害多ク地下ノ狀況ハ前者同様ノ關係アリ。

日本橋區濱町箱崎町ハ被害アリ、マタ淺草公園南部ヨリ東北ヲ限リ轄然トシテ分布ノ狀ヲ異ニス、之ヲ地質圖ニ就テ見ルニ地下二十米突以上ニハ硬盤ヲ有セザルノ地ナリ。以上ハ地下ニ於ケル硬軟地盤ガ被害分布ニ影響スル例證ナリ。此ノ關係ヨリ本所深川兩區ノ分布ニ粗密ノ點アルノ理ヲ推スニ或ハ地下ノ硬地盤(比較的ノ)ガ其ノ因ヲ爲スニ非ズヤトノ疑ヲ起サシムルモノナリ。

郡部ニ在リテハ馬込村、大森、羽田、森ヶ崎等ノ被害地ハ海ニ近ク地勢上恰モ本所深川ニ比スベク、日暮里、三河島、千住、尾久、王子ノ被害地ハ隅田川ノ流域ニシテ地勢及地質上淺草ノ北部ヨリ本所深川ト連續シテ一帯ヲナセルノ地ナリ。

六 被害統計

府下ニ於ケル被害總棟數ハ五九、七四三棟ニシテ市内三五、八〇二棟、郡部二三、九四一棟、即チ六ト四ノ割合ナリ。

市内ニ在リテハ非燒失區域ノ分、五、四〇八棟燒失區域ノ分、三〇、三九四棟、一ト六ノ割合ナリ。

被害別ハ附録「統計」第一表ノ如ク、非燒失區域内ニ於テ全潰半潰相等シク、大破損ハ全潰ノ一・七倍ニ當ル、燒失區域

ニ在リテハ全潰半潰略相等シク大破損ハ全潰ノ六割五分ニ當ル、燒失區域ニ在リテハ大破損ノ程度ノモノハ當時ノ情況ヨリ推シ、實際數ヨリ少數ニ見誤リ數エラル、ノ虞アリト看做スヲ至當トスベキカ。

階層被害別ハ「統計」第二表ノ如シ、二階最モ多ク一階又ハ三階之ニ次グ、

在來ノ棟數ハ東京市統計年表ニ掲グル大正十年度末現在數ヲ基トシ、燒失區域ト非燒失區域トノ區分ハ各區中其ノ燒失面積ノ割合ニ依リ之ヲ按分セルモノナリ、

其ノ他、附録「木造建物其ノ他工作物被害統計」ニ掲ゲタルガ如シ。

次ニ大被害地ノ被害比較ノタメニ、被害區域内ノ一地區ヲ限リ、被害棟數、安全棟數、百分率、敷地一、〇〇〇坪ニ對スル被害棟數等ヲ求ムルニ左表ノ如クナリ。

被害地敷地面積トハ其ノ地區ノ面積ヨリ、公道、河川等ヲ除キタル面積ニシテ、在來棟數ハ各區全體ノ建物密度ヲ基トシ、其ノ地區内ノ在來棟數ヲ推定セルモノナリ。

山ノ手ノ各地區ヲ比較スルニ、被害總棟數ヨリ云ヘバ、芝區四國町ノ地區最モ甚シク、麻布森元町、及赤阪新町ノ地區ハ略同一ニシテ之ニ次ギ、牛込改代町及本郷根津ノ地區亦同一程度ニシテ之ニ次ギ、小石川初音町ノ地區最モ少シ。

第百號丙上 木造被害調査報告

全潰棟數ヲ主トスルトキハ、麻布、赤阪ノ地區同一程度ニシテ最モ甚シク、芝ノ地區之ニ次ギ、牛込、小石川、本郷ノ地區ハ略同一ト看做シ得。

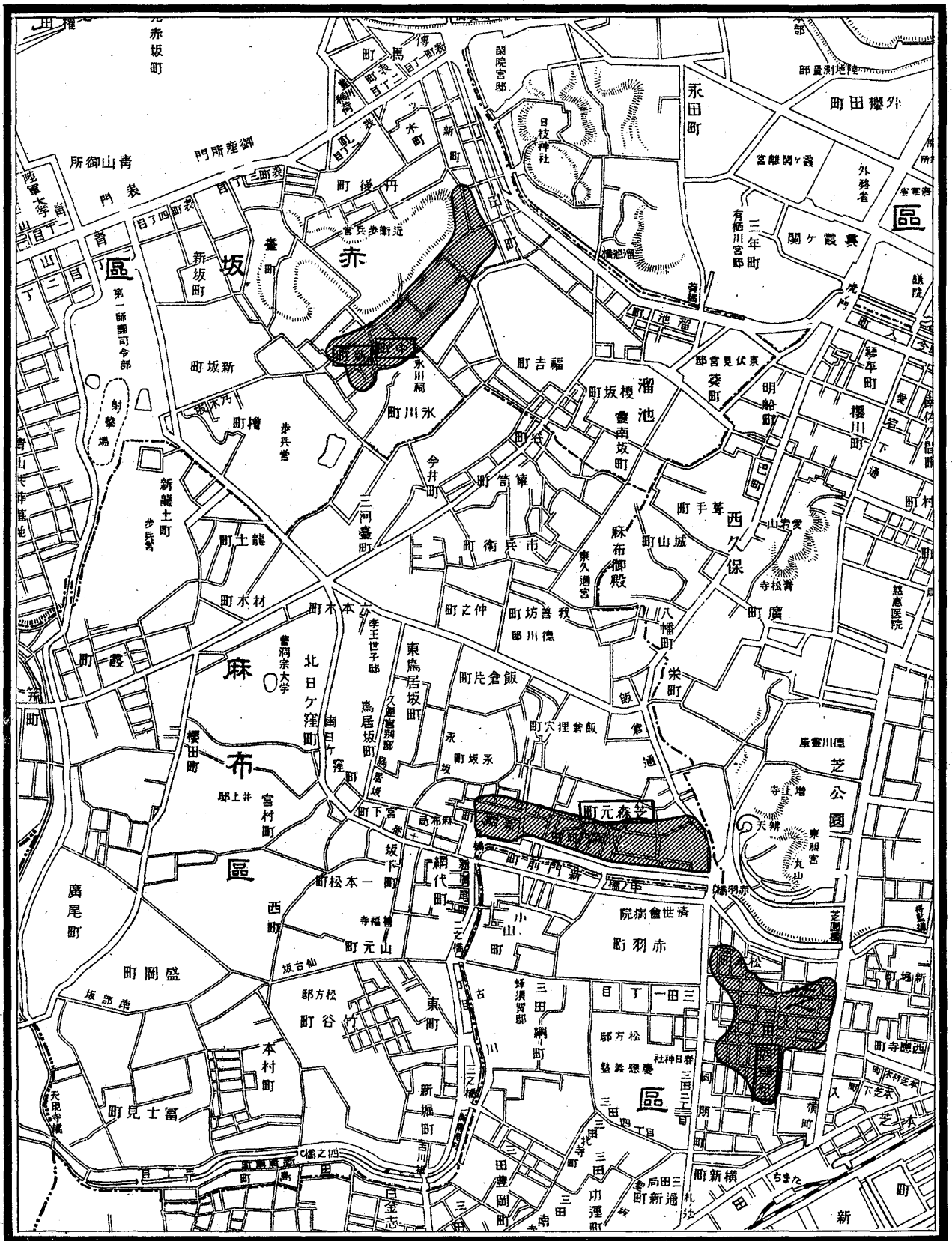
被害ノ密度ノ點ヲ主トスルトキハ、芝及麻布ノ地區最モ甚シク、本郷、牛込、赤阪ノ地區之ニ次ギ、小石川ノ地區最モ少シク、家屋構造ノ優劣ヲ比スルニ、赤阪最モ可、芝之ニ次ギ、麻布、牛込、小石川、本郷ハ同一程度ニシテ稍劣レリ。

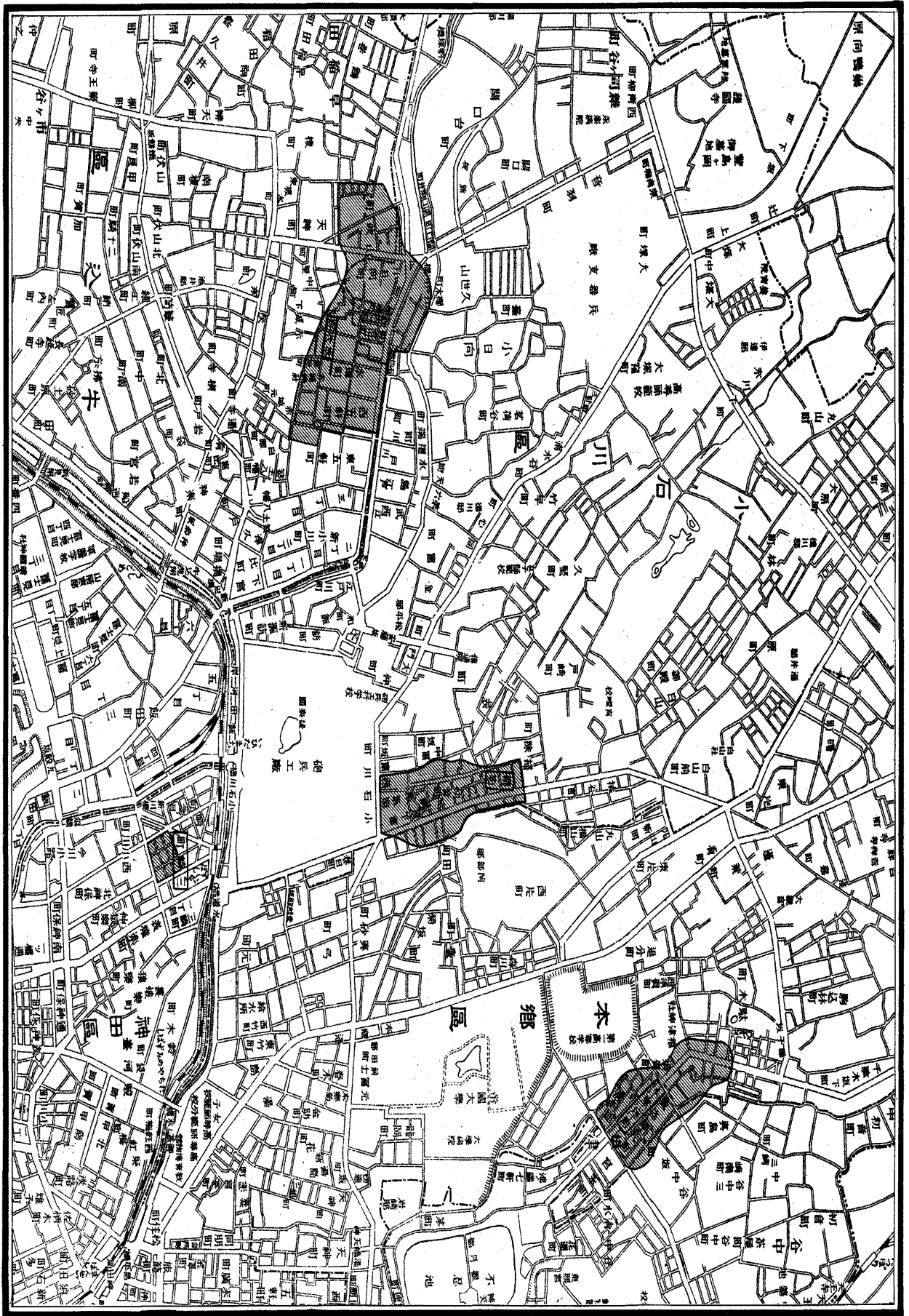
焼失區域内ノ各地區ハ被害ノ甚シキ小地區ヲ探レルヲ以テ、各地區相互ノ比較ニハ稍妥當ナラズト雖モ概括的ニ其ノ狀況ヲ知り得ベク、山ノ手ノ地區トノ比較ヲ爲シ得ベシ。

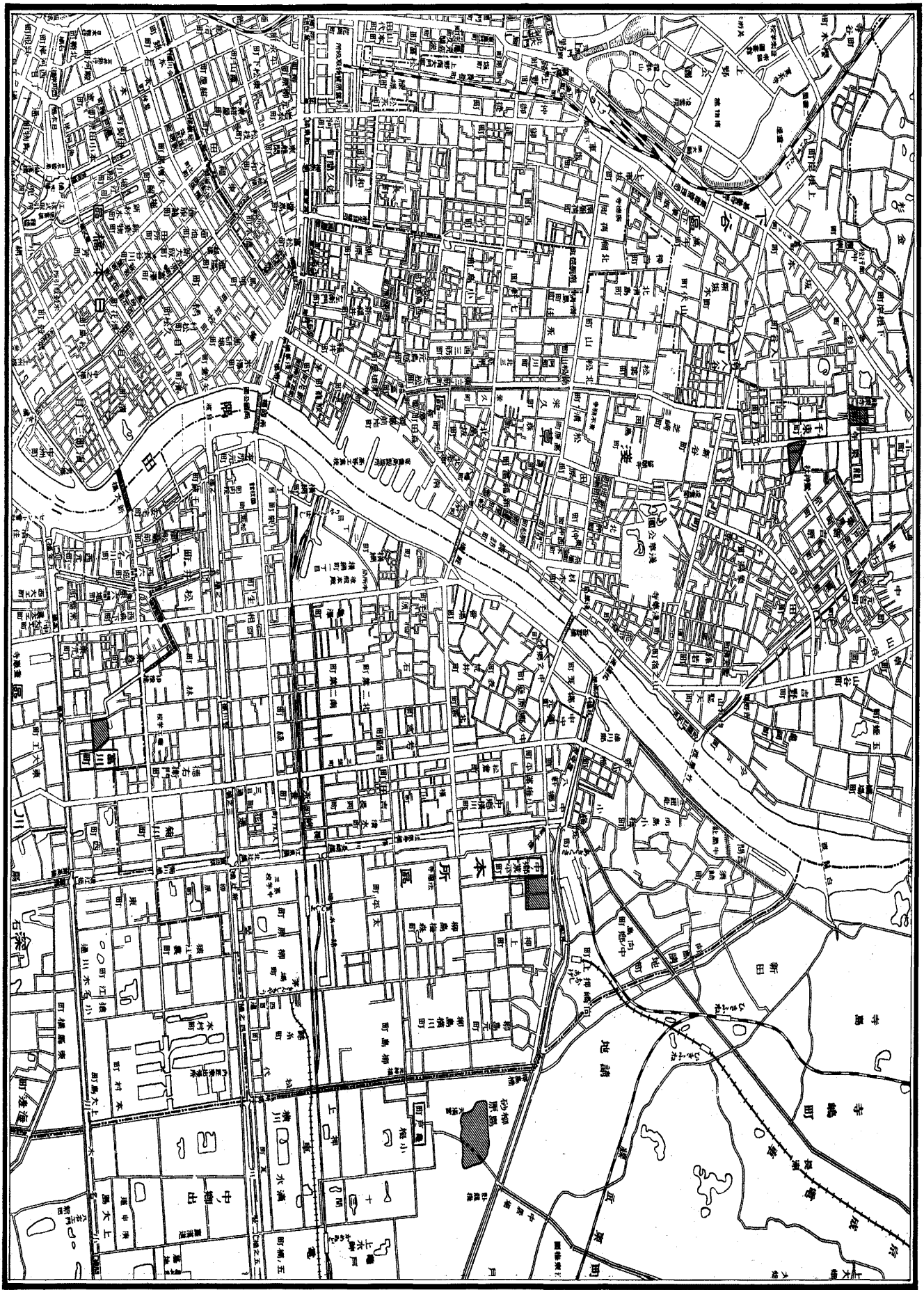
郡部ノ地區ハ在來棟數ノ推定困難ナルヲ以テ其ノ被害棟數ト敷地一、〇〇〇坪ニ對スル被害棟數ヲ掲ゲタリ、他ノ地區トノ比較ニ多少便ナランカ。

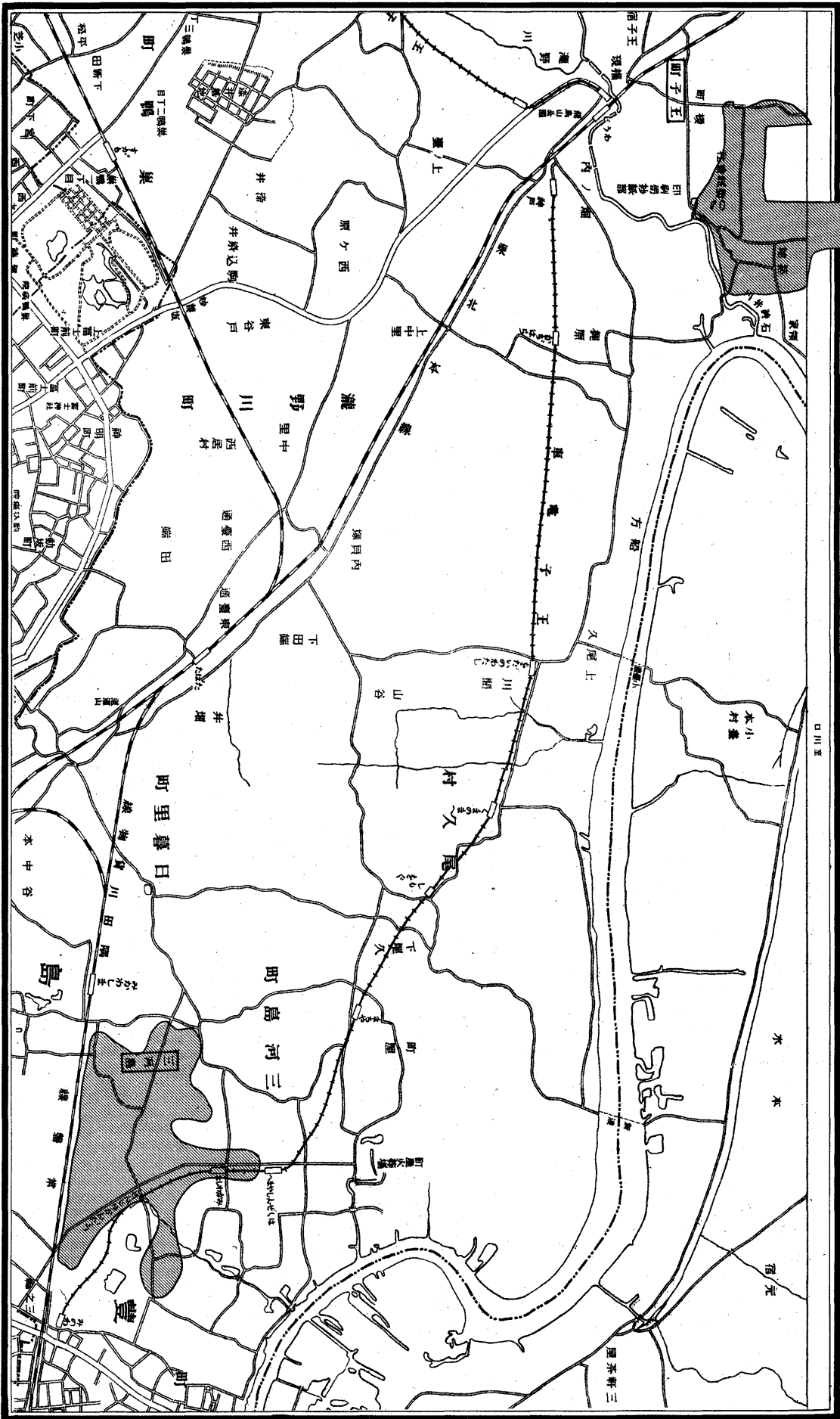
區域名	被害地敷地面積	在來棟數	被害別棟數				在來棟數ニ對スル百分比	敷地一、〇〇〇坪ニ對スル被害棟數	備考
			安全	計	大破	全潰			
芝區	一五、四〇〇坪	三、八〇〇	一、〇〇〇	七〇〇	三〇〇	三三	一五〇	全ハ全潰ハ大半大破以下同ジ	
三田四國町ノ一區域			八〇〇	三〇〇	二〇〇	二六			
麻布區		六、七〇〇	二、〇〇〇	六〇〇	九〇〇	三〇	一五〇		
森元町其ノ他ノ一區域	三三、六〇〇		二、五〇〇	三、五〇〇	二、五〇〇	四三			

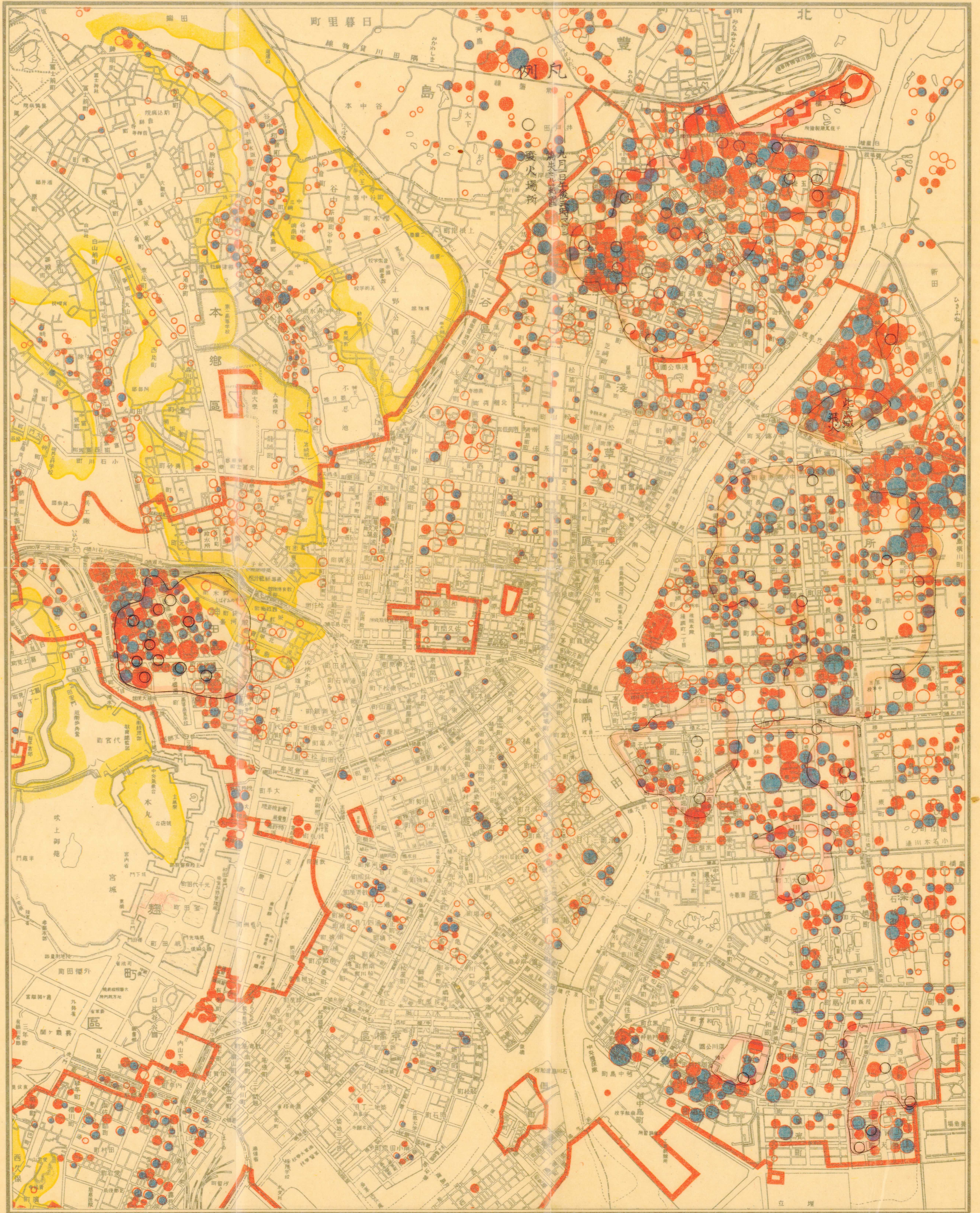
區域名	被害地敷地面積	在來棟數	被害別棟數				在來棟數ニ對スル百分比	敷地一、〇〇〇坪ニ對スル被害棟數	備考
			安全	計	大破	全潰			
赤阪區		一八、四〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	二二	七三		
新町、仲ノ町ノ一區域			一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二〇			
牛込區		五三、五〇〇	一〇、〇〇〇	一七、〇〇〇	一七、〇〇〇	一七	一〇五		
改代町其ノ他ノ一區域			四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	一七	一〇六		
小石川區		三三、五〇〇	六、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一八	一〇三		
本郷區		三〇、〇〇〇	六、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	二〇	一〇八		
根津八重垣町其ノ他ノ一區域			三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一〇	一〇六		
本所區		六、二五〇	一、七〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	二七	二〇〇		
中ノ郷業平町ノ一區域			一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一六	二〇〇		
深川區		三、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三〇	二〇〇		
富川町ノ一區域			一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三〇	二〇〇		
淺草區		一、八〇〇	六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三三	二〇〇		
千束町一丁目ノ一區域			一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二〇	二〇〇		
下谷區		二、六九〇	六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二二	二九〇		
龍泉寺町ノ一區域			一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二二	二九〇		











町里暮日

北

例丸

愛火場所
九月一日
午後三時

本郷区

町高久佐

町新

町新

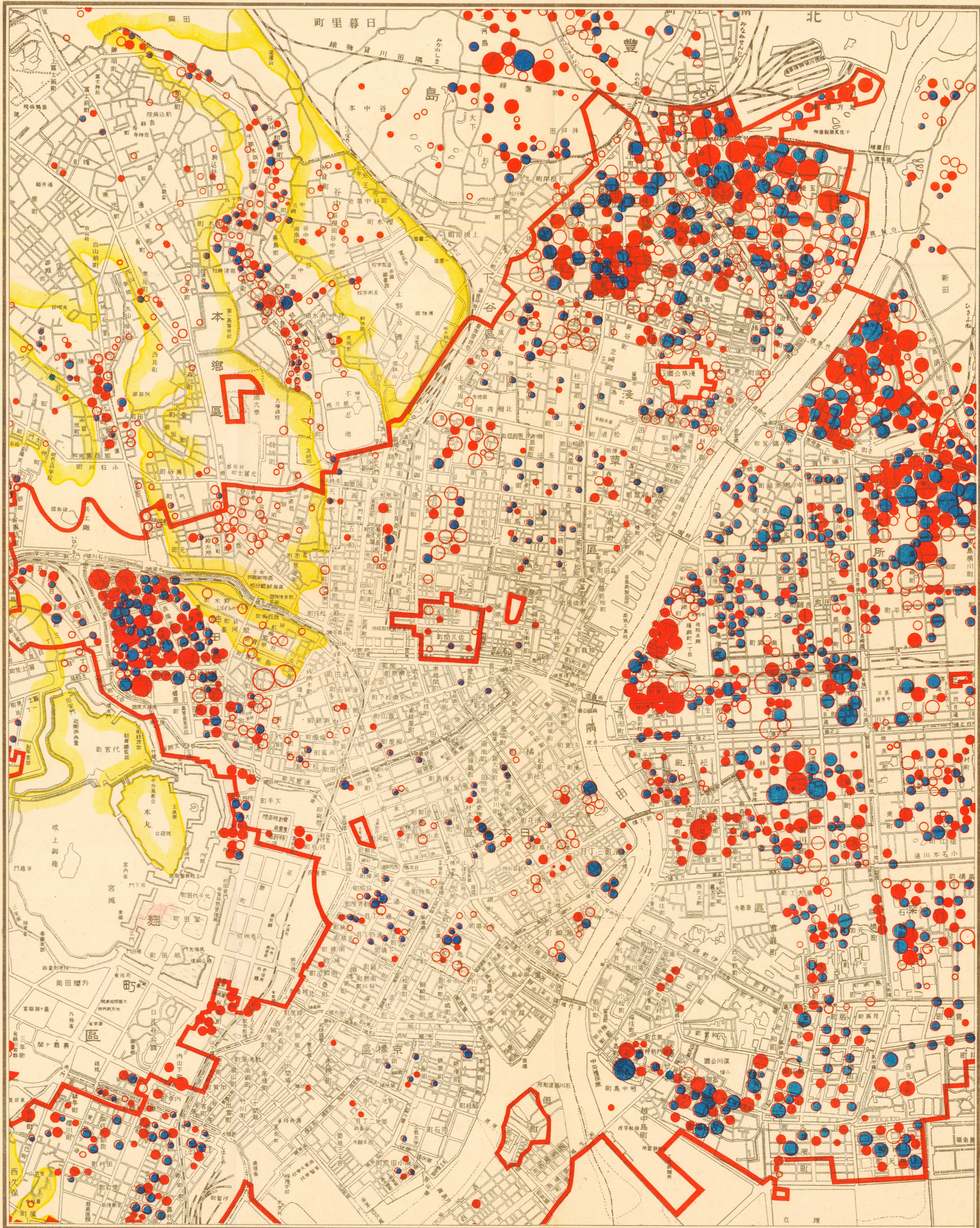
町新

町新

町新

町新

立



コトヲ得ベシ。

右ノ點ヨリ考フル時ハ都市ガ完全ニ或ハ相當ナル點マデ耐震耐火ノ建物ニテ構成セラル、様改良又ハ進歩スル迄ノ期間ニ於テハ震火災ノ豫防ニ當リテハ一ツニ木造建物ヲ耐震的ナラシムルヲ最モ肝要ノ事ト考フルモノナリ。

第三章 被害ノ状態

八 被害状態ノ概説

木造建物ノ震害ノ破壊状態ニ就キテハ既往ノ地震ニ當リ研究ト調査ハ完成セラレアリト云ヒ得ベク特ニ佐野博士ハ震災豫防調査會報告第八十三號(乙)第六章第一節「木造家屋ノ震害一般」ノ條下ニ震度ト災害トノ關係ヲ詳記シ被害状態ノ一般的性情ヲ述ベラレタリ、故ニ茲ニ今回ノ震災ニ於ケル被害状態ニ就キ概括的記述ノ必要ヲ認メザルモノナリ然レドモ記述ノ順序トシテ被害程度ノ輕キモノヨリ其ノ状態ヲ連記スレバ左ノ如シ(以下括弧内ノ數字ハ寫眞番號ナリ)

(一) 屋根瓦ノ脱落

(二)、軸部ニ變動又ハ損傷ナク塗壁又ハ漆喰天井ニ龜裂ヲ生ジ又ハ剝落セルモノ(五一)(九二)土藏造ノ塗壁ノ剝落

(二〇)

木骨煉瓦造ノ煉瓦積ノ龜裂又ハ崩壞(五)(四八)(五六)

(三)、軸部ニ變動ヲ生ジ、梁、胴差、土臺、鴨居又ハ長押等ノ横架材ト柱トノ接合ニ弛ミ又ハ歪ミヲ生ジ爲メニ傾斜セルモノ、二階家ニ在リテハ階下傾キ階上ノ傾カザルモノ多ク、階上ノミ傾クモノ、階上階下共ニ傾クモノ、此ノ際筋違ノ折ル、モノアリ(二七二)

(四)、軸部(特ニ柱)ニ損傷ヲ蒙リ前記ノ各横架材(特ニ梁)ト柱トノ接合點(梁ト柱トノ仕口)ニ於テ柱ガ挫折シ又ハ柄ガ抜ケ出シタメニ大イニ傾斜セルモノ(三二)(五九)

(五)、大傾斜シツ、建物全體ノ移動セルモノ、又ハ尙其ノ上基礎土臺ノ地中ニメリ込メルモノ、又ハ小堂又ハ小社殿ニシテ轉倒セルモノ(八〇)(八四)

(六)、軸部ニ大損傷ヲ受ケ、各横架材トノ接合點ニ於テ柱挫折シ、倒潰セルモノ。

二階家ニ在リテハ階下潰レ階上ハ被害少ク地上ニ立ツモノ、又ハ階下ヲ殘シテ階上ノ倒潰スルモノ、階上階下共ニ潰レシモノ。(三七)

以上ノ順序ハ之ヲ換言スレバ建物ノ倒潰ノ過程ナリト云ヒ得ベシ、震動ノ進ミ震度ノ増大ニ從フテ右ノ順序ニ於テ遂ニ倒潰スルニ到ル、其ノ土地ノ震度小ナルモノ又ハ建物ノ抵抗カノ大ナリシモノハ右ノ階程中第一ノ被害ニテ終リシモノアリ或ハ第二ノ被害ニテ終リシモノアリ、

震度大ナル地ニシテ而モ建物ノ抵抗力ノ少キモノハ被害ハ進ンデ第四ノ状態ヲ經テ遂ニ全潰ニ終ル。

實地調査ニ當リテハ全潰セル建物ハ其ノ状態ヲ詳知シ得ズ、或ハ取片ケラレ或ハ家根ニ覆ハレ或ハ階上ニ覆ハレテ最モ被害ノ大ナル個所即チ倒潰ノ致命的損傷アル個所ヲ詳知シ難シ、故ニ前記第四階程ニ在ル大傾斜ノモノニ就キ其ノ状態ヲ調査シテ之ヲ以テ倒潰建物ノ倒潰状態ヲ推論スルモノナリ次ニ此ノ被害ノ状態ヨリ推シ、主トシテ被害ノ原因又ハ誘因ヲ爲セリト思ハル、モノヲ舉ゲ之ヲ區分スルトキハ概ネ左ノ四種ニ分チ得ベシ。

- (一) 地盤
 - (イ) 軟地盤ノタメ
 - (ロ) 盛土ノタメ
 - (ハ) 崖地ノタメ
 - (ニ) 土臺柱脚ノ腐朽ノタメ
 - (イ) 柱ト横架材トノ取合ノ腐朽又ハ弛緩セルタメ
- (二) 腐朽
 - (イ) 地形及基礎ノ不備
 - (ロ) 柱細ク且ツ其ノ數少キモノ、間仕切少キモノ
 - (ハ) 屋根ノ過重ナルモノ
 - (ニ) 軸部ノ接合個所施工其ノ他ノ手法不備
- (三) 構造ノ不備

第百號丙上 木造被害調査報告

備ノモノ

(ホ) 防火壁類ノ崩壞ニヨルモノ

(四) 使用上ノ不注意 活荷重ノ過大

以上ノ如ク之ヲ分ツト雖モ被害建物ハ右ノ内(一)(二)(三)ヲ併セタル結果ニ因ルモノ多ク右區分ノ一ツノ項目ニ該當シテ被害ヲ受ケタルモノハ少シ、今是等ニ就キ例證ヲ舉ゲテ少シク記述スベシ。

(一)ノ(イ) 地盤ノ軟弱ナル區域ニ於テハ震度大ナルハ既記ノ如クニシテ從ツテ建物モ被害大ナルハ明カナレドモ軟地盤ニ在リテハ建物ノ震動スルニ當リ基礎ノ不同沈下又ハ移動ヲ起シ先ヅ建物ハ一方ニ傾斜シ或ハ衝撃ヲ受ケ震動ノ進ムニ從ヒ増々傾斜ノ度ヲ増大シ破壊ノ度ヲ増加ス、此ノ部類ニ屬スルモノハ基礎ハ玉石地形或ハ大谷石一段積ノ程度ニシテ建物ノ品位低ク粗雜ノ安普請ニ多ク其ノ例ヲ見ル、概シテ平家建ニ多シ、平家建ノタメニ地形ヲ閑却セルニ因ルカ、場所ハ谷地ニ於テ此ノ例多シ、(八三)(一九五)

(一)ノ(ロ) 盛土ノ上ニ建テラレタル建物ノ被害ヲ受クルコト多キハ既ニ人ノ知ル所ナリ、先ヅ盛土ノ部分ハ地ノ震動ニ依リテ其ノ密着ノ度ヲ失ヒ振り亂サル、狀ヲ呈シ從ツテ地形基礎ノ沈下又ハ移動ヲ起ス、建物ニ與フル震動ハ全般的ニ或ハ局部的ニ衝動ヲ與フルコト大ナリ、比較的新ラシキ盛土ニ於

テ特ニ甚シク、盛土ノ斜面又ハ土留石垣ノ先ヅ亂レテ内部盛土全般ニ及ブアリ、故ニ建物ハ構造設備ノ上乘ナルモノ、新築建物等ニシテ亦此ノ災ニ會ヒタルアリ。

著シキ例ハ鶴見總持寺ニシテ境内上半分ハ、盛土ヨリナリ、盛土ノ部分ノ總受付ハ筋違折レ稍々傾斜シ、廻廊、水屋ハ倒潰シタリ、然ルニ切取部分ノ本堂其ノ他ハ被害ナカリキ、府下中野ニアル八千代生命保険株式會社社宅八棟ノ如キ亦好例ナリ、(後ニ詳記ス)

然レドモ盛土必ズシモ不可ナルニアラザル可ク、土質ト施工ノ點ニアルベシ、土ガ粘着性ニ富ミ舊地盤亦堅ク土留擁壁ヲ堅固ニシテ而モ建物ノ基礎ヲ深ク舊地盤ニ達セシメタルモノハ可ナルガ如シ、本郷春日町ニ於ケル市營住宅二十棟ノ如キハ四尺ノ盛土ヲナセルモノナレドモ何等ノ被害ナカリキ。

(一六)(一〇一)(一〇二)

(一ノ八)。崖地ニ在リテハ震動ニ際シ地ハ其ノ安息度ヲ著シク減少シ地ハ安定ノ度ヲ失フガ故ニ崖ハ崩壊スルコトアリ、從ツテ崖上ノ家屋ハ被害ヲ受ク、其ノ現象ハ前記盛土ノ斜面ノ大ナルモノト見ルコトヲ得ベク其ノ關係同一ナリ芝高輪、三田町、牛込本村町附近ニ其ノ例ヲ見タリ、陸軍幼年學校銃工場亦此ノ部類ナリ。(二二)(九二)

(二ノイ)。土臺、柱脚ノ腐朽ニ依ルモノハ其ノ例多シ、山ノ

手ノ谷地ニ於ケル被害ノ十中ノ六七ヲ占ムルナルベシ、震動ニ當リテ一方ノ土臺及柱ハ其ノ直壓ノタメニ先ヅ容易ニ壓縮セラレ一方ノ柱ト土臺トハ其ノ接合力ヲ失ヒ建物ハ一方ニ傾斜ス一度傾斜セバ以後ノ破壊ノ進行状態ハ基礎ノ不同沈下ヲ起セルモノト同ジ、此ノ部類ニ屬スル建物ハ貧弱ナル安普請又ハ古キ建物、古材ヲ使用セル建物ニ多ク、又長屋建町家ニ其ノ例ヲ見ル、場所ハ到ル處之ヲ見レドモ概シテ濕浸ナル谷ニ多シ、思フニ本所深川ノ地ノ如キハ此ノ部類ニ屬シタルモノ多カリシナラン此ノ缺點ハ土臺ノ取替ト柱ノ注意深キ根繼ニ依リ救ヒ得ベシ、同様ナル長屋建ノ隣接セルモノニシテ根繼土臺ノ取替ヲ爲セルモノハ被害輕ク然ラザルモノハ傾斜シ其ノ對照ノ著シキモノ本郷江差町ノ町家ニ三四ノ例ヲ見タリ。

(二七)(六五)

(二ノロ)。古キ建物ニシテ仕口既ニ弛ミタル上、雨漏又ハ修繕ノ不行届ノタメ柱ト梁トノ仕口ニ腐朽又ハ乾朽セル個所ヲ生ジタルモノハ震動ニ當リ抵抗力少ク容易ニ傾斜シ遂ニ倒潰セルモノアリ此ノ部類ニ屬スルモノハ古家安普請ニ多クケレドモ亦洋風建築ニシテ外壁ヲ木摺打漆喰等ノ塗壁トナセルモノ又ハ土藏造ノ古キモノニ其ノ例ヲ見ル、即チ外壁ヨリ雨水ノ滲透ヲ受ケ乾燥不充ナルガ如キ構造ニ之ヲ見ルナリ近來多ク行ハル、鐵網「コンクリート」壁ノ如キハ注意スベキモノ

ノ一ツナリ。(三)(一六)

(三)ノイ。地形及基礎ノ不備ハ多ク軟地盤又ハ盛土ニ連關セル問題ニシテ被害ノ狀況ハ既ニ述ベタルガ如シ。

(三)ノロ。柱細ク且ツ其ノ數少キモノハ從ツテ間仕切ノ數少ク或ハ間仕切ノ方向一方ニ偏シ建物ノ抵抗力少シ、タメニ被害ヲ受ケ傾斜シ易ク甚シキモノハ倒潰ス此等ハ普通ノ貸家建ノ二戸建以上ノ長屋ニ其ノ例多シ。

鐘樓水屋ノ如キ亦此ノ部類ニ屬スルト見做シ得。

(三)ノハ。屋根ノ過重ナルモノハ被害一般ニ大ナリトセラル瓦葺屋根ニ在リテハ瓦ノ脱落セルモノ、一部亂レタルモノ、全市ノ七八ニ及ビタルベク、引掛棧瓦カ又ハ之ヲ野地ニ緊結シタル類以外ハ多クハ被害ヲ受ケタリ。(四七)

普通ノ建物ニ付キテハ屋根重キガタメニ建物ノ半潰又ハ全潰セリト斷ズベキ例ノ多クヲ見ズ、是レ他ノ原因ノ併セ加ハレルト建物ノ個々ニ異ルガ故ニ比較ノ正シカラザルガタメナリ、唯松澤村ニ在ル府立松澤病院ノ病舎ニ之ヲ見タリ、寫真(一四六)ニ示ス鐵板葺平家建ノモノ之ニシテ寫真前方ニ布石ノ基礎見ユ、其ノ布石ノ個所ニハ鐵板葺ノモノト構造間取其他同一ニシテ屋根ノミ瓦葺ナリシ病舎アリテ倒潰セリト云ヘリ、明カニ屋根ノ重量ノタメガ原因ナリト斷ジ得ベキモノナリ特種ノモノトシテハ小社殿、鐘樓、水屋、門ノ如キハ亦屋

根重キタメトス、寫真(八七)(一〇六)ノ如キハ好例ナリ、

右ハ何レモ屋根瓦ハ引掛棧瓦葺ニシテ要所ハ針金ヲ用ヒテ緊結シアリ、故ニ震動ヲ受ケテモ瓦ハ脱落セズ、タメニ大ナル横力ヲ受ケテ震動ハ増大シ遂ニ横ニ倒レ或ハ轉倒ス一面ヨリ見ルトキハ瓦根ヲ緊結シタルノ結果ト云ヒ得ベシ之ヲ普通ノ住家ノ家根瓦ノ脱落セルモノニ付キテ考フルニ震動ノ途中ニ於テ瓦ハ脱落シ家根ノ荷重ヲ減ズルヲ以テ建物ニ加ハル横力ハ從ツテ減ゼラルベク、タメニ建物ノ軸部ニハ被害ヲ及ボサズシテ止ミシモノアルベシ、然レドモ瓦ノ脱落ニ由ル傷害アルガタメニ瓦ノ脱落ハ防止セザルベカラザルナリ

(三)ノニ。軸部ノ接合ノ施工及其ノ他ノ手法ノ不備ト斷ズベキハ其ノ例甚ダ多シ被害建物中八九ヲ超ユベキカ、太神樂造筋違ナキモノモ亦此ノ部類ナリ。平家建ニ在リテハ柱ト土臺、柱ト梁トノ仕口ノ脱ケ出セルモノ多シ。

二階建ニ在リテ柱ト梁トノ接合點ニ於テ柱ノ挫折セルモノ多ク、主トシテ薮梁ノ仕口ヲ中心ニシテ挫折ス(一九四)、長押ハ柱當リニテ横ニ裂ケタルモノ多ク筋違アルモノハ筋違折レテ建物ハ其ノ儘ナル例ヲ見タリ、筋違ガ建物ノ傾斜又ハ倒潰ヲ救ヒタルモノナルベシ之ヲ要スルニ仕口ニ於テ各材ヲ缺キ取ルガタメニ歸セザル可カラズ。(九一)(二〇〇)(二〇

一)

(三)ノホ。防火壁ノ如ク木造ノ一部ニ石又ハ煉瓦ヲ混用セルモノニシテ其レガ誘因ヲナセル被害多シ、防火壁ト木造部ト相衝突シ防火壁ハ崩壊ヲ起シ木造部ヲ壓シ倒シタルアリ(一八五)(一八八)煉瓦煙突ノ屋上突出部ノ崩壊ノ如キ亦此ノ例ナリ、其ノ他寫眞(一〇四)(一〇九)ノ如キハ木造ト震動ヲ異ニセルノ結果ニシテヤガテ被害ヲ大ナラシムル過程ヲ示スモノナリ。

(四)活荷重ノ過大ニ因ルト認ムベキ例ハ之ヲ多ク見ザリキ、本郷根津片町ナル某薪炭置場及ビ大崎ナル某社倉庫ノ如キ此ノ類ナリ。(一一二)(一三九)

九 被害ノ特説

次ニ各種ノ被害實例ニ就キ平面圖、構造概要及被害概要トヲ擧ゲ被害状態ヲ記述スベシ。

第一圖及第一圖ノ二。八千代生命保險株式會社々宅。

本建物ハ同一構造ノモノ八棟アリ、疊及建具ヲ除キ全部完成セルモノナリ、敷地ハ第一圖ノ二ニ示セルガ如ク西方ノ除土ヲ以テ東方ニ盛土セルモノナリ八棟中二棟ハ階上潰レ其ノ方向ハ一ツハ北方ニ(一五五)一ツハ南方ニ(一五七)向フ。

寫眞(一五六)ハ南方ニ潰レタルモノヲ上部ヨリ撮影セルモノナリ五棟ハ主トシテ北方ニ傾斜シ一棟ハ被害輕微ナリキ被害ノ原因ヲ考察スルニ。

(1) 敷地ガ盛土ニシテ蠟燭地形等特別ノ基礎工法ヲ行ハザリシコト。

(2) 階上ハ柱少ク且ツ開口大ニシテ間仕切少ク完全ニ南北ニ通ル壁體ハ一ヶ所ノミナルコト。

(3) 敷居鴨居ハ柄差トセズ單ニ突附ケ釘打ニナセル等施工粗雑ナルコト。

(4) 建具ノナキコト等ナルベシ。

第二圖。赤阪新町ノ某住宅。

是モ亦階上ノ全潰セルモノ、一例ニシテ大正十二年四月落成セルモノ、市街地建築物法ノ適用ヲ受ケタルモノナリ。

第三圖。麻布森元町某住宅。

寫眞ニ示ス如ク妻側簷子下見板壁ノ押縁ハ建物ノ傾斜ヲ明示ス、傾斜方向ニ通レル壁多キト背面ノ葺卸シ下家トニ依リ支ヘラレタルモノト見ルベシ、二階倒潰ノ一過程ヲ示スモノナリ。

第四圖。麻布森元町某住宅。

第三圖ト狀況同シ。

第五圖。赤阪新町ノ某住宅。

階下ノ潰レタルモノ、好例ニシテ亦太神樂造ノ被害ノ一例ナリ、階下平面ノ大サハ階上ト同一ナリ、階上ノ平面圖ヲ見ルニ開口大ク倒潰方向ニ通レル壁體ナシ階下モ同様ナリシナ

ラン。

第六圖。麻布新網町某住宅。

階下大イニ傾斜シ階上階下トモ大被害アルモノ階上ハ一部取片付アリ狀況不明ナレドモ寫眞ハ柱ノ折損ヲ明示ス階下倒潰ノ過程ヲ示スモノト云フベシ。

第七圖。麻布飯倉町某住宅。

階下傾斜シ柱ノ挫折又ハ離脱ヲ示スモノナリ階下全潰ノ過程ヲ示スコト第六圖ト同ジ。

第八圖。赤阪新町某住宅。

壁體ニ直角ニ傾ケルモノ、一例ナリ。

第九圖。赤阪新町某住宅。

傾斜シテ隣家ニ支ヘラレタルモノ。

第十圖。赤阪新町某住宅。

以上三件ハ階上階下共ニ傾斜セルモノナリ。

第十一圖。麴町區内幸町某事務所。

間仕切無キモノ、一例ニシテ傾斜ニ止リシハ柱太キタメナランカ。

第十二圖。麻布新網町某住宅。

建物ハ品位上等ノモノニシテ大正十二年八月竣功セルモノニシテ地形モ蠟燭石建トセリ傾斜セルハ傾斜方向ニ通ル壁ナキニ依ルモノカ。

第十三圖。赤阪區新町某住宅。

大正十二年四月落成セシモノナリ壁體多キタメ倒潰ヲ免ル。

第十四圖。本郷片町某住宅。

二十五度傾斜セルモノニシテ土臺、柱ノ下部腐朽セルモノノ好例ナリ。

第十五圖。麻布新網町ノ某住宅。

屋根平鐵板葺平家建ナレドモ明治初年ノ建築ニシテ腐朽又ハ仕口弛ミタルモノナリ。

十 雜 件

壁體ノ抵抗。被害建物四十五棟ニ就キ壁體ノ方向ト其ノ倒潰又ハ傾斜ノ方向トノ關係ヲ求ムルニ壁體（比較的長ク通ルモノ）ニ直角ノ方向ニ倒潰又ハ傾斜セルモノ三分ノ一ヲ占ム、此ノ事ハ壁體ハ大ナル抵抗力ヲ有スルコトヲ示スモノニシテ被害無キ家屋ノ小壁ノ隅々ノ破損又ハ軸部ニ變動ナキ建物ニ於ケル壁體ノ剝落ハ一面ニ於テ壁體ノ抵抗ニ由テ建物ヲ安全ナラシメ得タルモノト云ヒ得ベシ梁間ノ小ナル長屋建ノ桁行（長手ノ方向）ノ方向ニ倒ル、モノモ亦壁ノ抵抗ノ事實ヲ示スモノナリ各戸ノ間口小ナル長屋建ニ在リテハ表口裏口共出入口勝手口窓等ノ開口ナルコト多ク各戸ノ界壁ニ壁體ヲ有スルヲ例トス故ニ長手ノ方向ニハ抵抗スベキ壁體ヲ有セザルガタ

メニ梁間ノ方向ニ倒レズシテ長手ノ方向ニ傾キ又ハ倒ル、モノナラン

町家ノ長家建ハ之ト反對ニシテ殆ド總テ道路ニ向ツテ傾ク此ノ理由ヲ考フルニ (1)商店造ナルガ故ニ表口ノ開口大ナルコト (2)柱少キコト (3)軒廻リノ重量大ナルコト (4)表ノ柱脚ノ腐朽シ易キコトニ因ルナルベシ。

傾斜又ハ倒潰ノ方位。市内ノ建物(町屋ヲ除ク)一三一棟ニ就キ其ノ傾斜又ハ倒潰ノ方位ヲ求ムルニ別圖ノ通りニシテ東方北方東南方ノモノ多シ之ヲ地震ノ主要動ノ方向圖(今村博士ニ依ル)ト對照スルニ大體ニ於テ方向ヲ一ニス之ヲ推測スルニ北方ニ傾キタルモノハ北方ニ向フ最初ノ主要動ニヨリテ北方ヘ傾ク可ク致命的ノ缺點ヲ生ジタルモノトス可ク軟地盤、土臺、柱脚ノ腐朽等ノ缺點アルモノハ北側ニ傾キ順次其ノ傾向ヲ増シタルモノトス可キカ。

次ニ東方ニ傾ケルモノ、多キハ主要動第一回目ト第三回目トヲ比較スルニ稍東廻リノ傾向ヲ有スルガ如シ墓石等ノ移動ヲ檢スルニ廻轉ヲナセルモノハ多クハ東廻リナリ尙住宅ハ南面又ハ北面シ壁體ハ南北ニ通ルモノ多カル可ク南北ヘノ傾斜ニ抵抗スルコトヲ得ベキヲ以テ此ノ如キモノハ東方ニ傾キタリトス可キカ階數ト被害、被害建物ハ二階建ニ多ク一階又ハ三階ニ少シ三階建ニ少キヲ奇トス可キモ木造三階建ヲ造ルニ

當リテハ建築主モ大工モ相當注意シ構造材ヲ選ビ施工モ亦入念ニ爲スガタメト云ハザル可カラズ之ヲ以テ少シク構造施工ニ注意スレバ大イニ耐震的效果ヲ與ヘ得ルコトヲ知り得ベシ牛込水道町ノ被害地ノ近ク、三階建ノ下宿屋及旅館ノ少シク傾斜セルノミニテ倒潰ヲ免レタル(一〇〇)又ハ三田四國町ノ被害地附近ノ三階建事務所及ビ四階建ノ旅館ノ無被害ナルアリ。(二二)(三三)

附記。本調査ハ當時警視廳保安部建築課職員、清水半次

郎、足立宗四郎、兒玉願太郎、日口國太郎、小長

谷茂作、廣瀬六郎ノ諸氏ノ盡力ニ俟ツ處多シ、記

シテ其ノ勞ヲ謝ス。

附 録

一、別 表

木造建物其他工作物被害統計

目 次

第一表	木 造 建 物 被 害 數 調	市 內、郡 部
第二表	木 造 建 物 階 層 別 被 害 數 調	市 內、郡 部
第三表	同	各 區 別
第四表	同	各 郡 別
第五表	木 造 全 潰 建 物 數 調	市 內 各 區 別
第六表	土 藏 造 被 害 數 調	市 內
第七表	同	各 署 別
第八表	煙 突 被 害 數 調	市 內、郡 部
第九表	同	市 內 各 署 別
第十表	同	郡 部 各 署 別
第十一表	同	百 分 率
第十二表	崩 壞 牆 壁 及 擁 壁 崖 數 調	市 內、郡 部
第十三表	崩 壞 牆 壁 及 擁 壁、崖 數 調	市 內 各 署 別
第十四表	同	郡 部 各 署 別
第十五表	墓 地 內ニ於ケル墓石ノ移 動 轉 倒 數 調	市 內、郡 部
第十六表	同	百 分 率

第百號丙上 木造被害調査報告

第一表 木造建物被害數調

市郡	郡 部			市 內				被害別	非燒失區域	百分率	燒失區域	百分率	計	百分率
	合計	大破損	半潰	全潰	安	計	大破損							
合計	二八、四四四	二、三〇三六	七、九〇二	六、九三七	八、一九七	一四〇、八四〇	九六、三	三、七	一四九、五八九	八三、〇	一七〇	三、五八〇二	二九〇、四二九	八九、〇
市 郡	二八、四四四	二、三〇三六	七、九〇二	六、九三七	八、一九七	一四〇、八四〇	九六、三	三、七	一四九、五八九	八三、〇	一七〇	三、五八〇二	二九〇、四二九	八九、〇

第二表 木造建物階層別被害數調

市郡	郡 部				市 內				階 數	非燒失區域	被害數百分率	燒失區域	計	總 數	百分率	
	合計	四階	三階	二階	一階	合計	四階	三階								二階
合計	二八、四四四	二、三〇三六	九〇五	一八	一六、五九七	五、四〇八	三、七	三〇、三九四	二、七	二、三三二	三、〇六三	五、二	一八、〇二〇	二、二〇八三	一、七、六二〇	八、三
市 郡	二八、四四四	二、三〇三六	九〇五	一八	一六、五九七	五、四〇八	三、七	三〇、三九四	二、七	二、三三二	三、〇六三	五、二	一八、〇二〇	二、二〇八三	一、七、六二〇	八、三

第三表 木造建物階層別被害數調 (市内非燒失區域ノ分)

被害別	潰全			潰半			損破大			區名
	一階	二階	三階	一階	二階	三階	一階	二階	三階	
	二四	九		一九	二九		三	五	二	麴町
	二				六		四	一		神田
										日本橋
										京橋
	五五	五		六九	八〇		一	八	一	芝
	一六六	一五三		五五	六二					麻布
	六四	二二		六二	八〇					赤坂
	三〇	三三		四七	四〇					四谷
	八九	二二		一六四	三三六					牛込
	六	八二		八五	四〇					小石川
	七六	六五		六七	一六五					本郷
	七〇	五三		四三	四六					下谷
	二四	六		六五	三三					淺草
	一〇四	五〇		八	七					本所
										深川
計	七六三	七一五	九	六八三	八〇二	二	一五四六	八六六	二〇	

同 右 (市内燒失區域ノ分)

被害別	潰全			潰半			區名
	一階	二階	三階	一階	二階	三階	
	七七	三〇		四〇	五		麴町
	三六	一一〇		八五	五〇		神田
	一五	七三		四四	二四		日本橋
	二	六六		三六	二〇		京橋
	二四	二六五		八三	一八〇		芝
							麻布
	六	一五		三六	八九		赤坂
	一	二		一	二		四谷
							牛込
	一						小石川
	二	一		一	二		本郷
	三〇九	六五八		四三三	三三〇		下谷
	一二七七	九六〇		一一二四	九六六		淺草
	一七六九	二四九四		一九四五	二八六四		本所
	九九五	九一二		九四二	九〇〇		深川
計	四五四四	六八二三	二〇一	四七五八	六三三四	八八	

第百號丙上 木造被害調査報告

郡名	被害別					全	潰	半	潰	大	破	潰							
	西北	北	南	南	北								計	潰	半	潰	大	破	潰
一階	二六四			三〇	二三四														
二階	一九五			三〇	一六五														
三階以上																			
計	四五九			六〇	三九九														
一階	一二			五五	五														
二階	六四			三七	二七														
三階以上																			
計	一七五			九三	八三														
一階	一七六			一六二	一七														
二階				八六	七														
三階以上																			
計	二七一			二四七	二四														

同 右 (府下焼失區域ノ分)

郡名	被害別					全	潰	半	潰	大	破	潰							
	西北	北	南	南	北								計	潰	半	潰	大	破	潰
一階	五七六二			一七二二	六六二														
二階	二四三〇			三三〇	四二二														
三階以上																			
計	八一九七			一四〇	一〇八九														
一階	五〇八〇			一一六	一六〇														
二階	一八五七			二四九	四六九														
三階以上																			
計	六九三七			三六五	一七二九														
一階	五七五五			四七一	二二九														
二階	二二三四			三七七	七六														
三階以上																			
計	七九〇二			八〇四	二八三五														

第四表 木造建物階層別被害數調 (府下非焼失區域ノ分)

損破大			
四階	三階	二階	一階
	二七〇	四六	
	三四	四三	
	一	三	
	三	三六	二
		二	三
		二	
			三
	一	一〇	三
	六	八三	六三
	八〇	一八四二	九五五
		一三七五	七五五
		二六	二四二
	九六	四九六三	二六六七

第百號丙上 木造被害調査報告

第五表 木造全潰建物數調(市内焼失及非焼失區域)

區名	被害別	全			潰			計	一階	二階	以上三階	計	一階	二階	以上三階	計
		數	全	潰	潰	潰	潰									
麴町	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一
深川	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五
本所	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七
淺草	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
下谷	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
本郷	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
小石川	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
牛込	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
四谷	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
赤坂	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
麻布	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
芝	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
京橋	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
日本橋	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
神田	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
計	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七

第六表 土藏被害數調(市内)

區名	被害別	震災ニ因ル分			震災ニ因ル分			震災前總數
		數	全	潰	潰	潰	潰	
麴町	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	
深川	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	
本所	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	
淺草	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	
下谷	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	
本郷	七	七	七	七	七	七	七	
小石川	三	三	三	三	三	三	三	
牛込	九	九	九	九	九	九	九	
四谷	三	三	三	三	三	三	三	
赤坂	七	七	七	七	七	七	七	
麻布	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
芝	九	九	九	九	九	九	九	
京橋	三	三	三	三	三	三	三	
日本橋	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	
神田	六	六	六	六	六	六	六	
計	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	

本所	淺草	下谷	本郷	小石川	牛込	四谷	赤坂	麻布	芝	京橋	日本橋	神田
三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一	三三一
九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五
一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七	一八七
一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七	五三七

第百號丙上 木造被害調査報告

築地	新場橋	堀留	久松	外神田	西神田	錦町	日比谷	麴町	署名
三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	被害別
									階數
									全潰
									半潰
									大破損
青	表	六	鳥	高	三	愛	月	北	署名
山	町	本	居	二 五	田	宕	島	紺	被害別
三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	階數
									全潰
									半潰
	六七		一五	二	八一				大破損
七	八二	一	七二		三三				

第七表 土蔵被害數調 (市内署別)

計	深川
四三二一	三二一
三四	
六二	
二六 一九	
六二 三四	二一
一〇 一九	三四
三七	一
一六五 二五八 二五四	八一 三六三 二六〇

象湯	谷中	坂本	上野	駒込	本富士	大塚	富坂	早稻田	神樂坂	四谷
三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一
						三二			四	一六
			二		二				八六	〇
	一	二九一		一一	三四	一四一	三一	一九三	三四七	六七
計	洲崎	扇橋	西平野	向島	原庭	太	相	七軒町	南元町	日本堤
三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一
三四										
六三										
二六六 九一七									四	九

第八表 煙突被害數調 (市内ノ分)

區名	被害別			
	鐵	管	煉瓦造	鐵筋「コン」ト「造
麴町	震倒	火倒	安全	傾損
神田	一	四三	一九	一
日本橋	二	三三	二一	一
京橋	一	五〇	二六	一
芝布	一	一	二六	一
麻坂	一	一	一九	一
赤坂	一	三	一六	一
四谷	一	一	一九	一
牛込	四	一	四五	一
小石川	三	一	一五	一
本郷	二	三	二四	一
下谷	一	一	四二	一
淺草	四	七三	三四	一
本所	一三	二五	五八	一
深川	二〇	七四	五三	一
計	五五	四〇七	四二九	四八

同右 (郡部ノ分)

郡名	被害別			
	鐵	管	煉瓦造	鐵筋「コン」ト「造
荏原	震倒	火倒	安全	傾損
二	一	一三	一	一
三	一	一	一	一
一	一	一	一	一
五	一	一	一	一
二	一	一	一	一
八	一	一	一	一
一	一	一	一	一

備考
震倒ハ震
災ニテハ
震倒ハ火
災ニテハ
火倒ハ火
災ニテハ
潰セルモ
潰セルハ
傾斜ハ
傾斜ハ
破損ハ
破損ハ

第九表 煙突被害數調 (市内署別)

署名	被害別			
	鐵	管	煉瓦造	鐵筋「コン」ト「造
麴町	震倒	火倒	安全	傾損
日比谷	一	七	一五	一
錦町	一	七	七	一
西神田	一	〇	二	一
外神田	一	六	〇	一
久松	一	九	二	一
堀留	二	五	三	一
新場橋	二	九	六	一
築地	二	七	八	一
北紺屋	一	七	五	一
月島	一	三	三	一
愛宕	一	一	八	一
三田	一	一	二	一
高輪	一	一	六	一
鳥居坂	一	一	五	一

備考
震倒ハ震
災ニテハ
火倒ハ火
災ニテハ
潰セルモ
潰セルハ
傾斜ハ
傾斜ハ
破損ハ
破損ハ

第百號丙上
木造被害調査報告

洲崎	扇橋	西平野	向島	原庭	太平	相生	七軒町	南元町	日本堤	象湯	谷中	坂本	上野	駒込	本富士	大塚	富坂	早稲田	神樂坂	四谷	青山	表町	六本木
二九	三三	一八	二二	二五	四二	三九	一三	一九	一八	二二	一一	一一	一一	一一	二二	三三	四四	一一	一一	一一	一一	一一	一一
二二	四二	二二	一〇	三五	四二	三九	一三	一九	一八	二二	一一	一一	一一	一一	二二	三三	四四	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一四	二二	二二	一九	一三	一五	一九	一〇	一〇	一五	一一	一七	一四	一四	二四	一五	一〇	二五	一九	一九	一九	一九	一九	一九
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一

第十一表 煙突被害數調 (市内及郡部)

被災ニテ倒潰 セテ破損 ノモ	鐵管造	百分率	煉瓦造	百分率	鐵筋 コンクリ 造	百分率
七二 三八	八八 四六	五二 六三七	一八 二三五	二四 一七	一四一 一〇〇	一一四 一〇〇

第十表 煙突被害數調 (郡部署別)

署名	被害別		煉瓦造	鐵筋 コンクリ 造	備考
	鐵管	煉瓦			
品川	一	一	三	一	震倒ハ震
大崎	一	一	一	一	震倒ハ震
世田谷	一	一	一	一	震倒ハ震
澁谷	一	一	一	一	震倒ハ震
中野	一	一	一	一	震倒ハ震
池袋	一	一	一	一	震倒ハ震
豊島	一	一	一	一	震倒ハ震
目黒	一	一	一	一	震倒ハ震
南千住	一	一	一	一	震倒ハ震
日暮里	一	一	一	一	震倒ハ震
千住	一	一	一	一	震倒ハ震
寺島	一	一	一	一	震倒ハ震
龜戸	一	一	一	一	震倒ハ震
計	一七	二二	一〇	一〇	震倒ハ震

火災ニテ倒潰セシモノノ全計	四八	二三五	一	一三	一	〇六
安	一三三	六九二	一〇	一一五	二八	七五
計	一九〇〇	一〇〇〇	八〇	一〇〇	一七〇	一〇〇

第十二表 崩壊墻壁及擁壁崖數調 (市内ノ分)

區名	被害別	墻壁	擁壁	崖	區名	被害別	墻壁	擁壁	崖
麴町	三三	三三	一	一	牛込	四四	一二七	一	一三三
神田	八五	二	一	一	小石川	五九	九	一	一
日本橋	四五	一	一	一	郷	五九	五	一	三
京橋	三三	一	一	一	谷	七六	一	一	三
芝布	二〇	三七	一	一	淺草	二七	一	一	一
麻坂	一六五	三九	一	一	本所	五四	一	一	二
赤坂	一四	一八〇	一	一	深川	七三	一	一	一
四谷	三六	一四	一	一	計	一二六四	四五八	一	二五〇

同右 (郡部ノ分)

郡名	被害別	墻壁	擁壁	崖	郡部	被害別	墻壁	擁壁	崖
荏原	一〇七	二	一〇	一	南足立	五	一	一	一
豊多摩	九六	八七	二〇	一	南葛飾	二五	一	一	一
北豊島	五〇	二	一	一	計	二八五	一〇九	一	三

第十三表 崩壊墻壁及擁壁、崖數調 (市内署別)

署名	被害別	墻壁	擁壁	崖	署名	被害別	墻壁	擁壁	崖
麴町	一五	三三	一	一	早稻田	四三	一	一	一
日比谷	二〇	一	一	一	富坂	二四	二	一	一
錦町	一七	一	一	一	大塚	三五	七	一	一
西神田	五四	一九	一	一	本富	三七	一	一	一
外神田	一四	一	一	一	駒込	二二	一	一	一
久松	一七	一	一	一	上野	一三	一	一	一
堀留	一〇	一	一	一	坂本	五三	一	一	一
新場	一八	一	一	一	谷中	二二	一	一	一
築地	二二	一	一	一	象湯	二二	一	一	一
北紺屋	七	一	一	一	日本堤	二四	一	一	一
月島	三	一	一	一	南元町	六	一	一	一
愛宕	三	一	一	一	七軒町	一三五	一	一	一
三田	一七	一	一	一	相生	一九	一	一	一
高輪	六五	二四	一	一	太田	四	一	一	一
鳥居坂	九	二五	一	一	原庭	二四	一	一	一
六本木	六六	二四	一	一	向西	七	一	一	一
表町	一〇	二	一	一	扇野	一三	一	一	一
青山	四	一五九	一	一	洲崎	三三	一	一	一
四谷	三六	一四	一	一	計	二八五	一〇九	一	三
神樂坂	二	二七	一	一					

第十四表 崩壞墻壁及擁壁崖數調 (郡部署別)

署名	被害別			署名	被害別		
	墻壁	擁壁	崖		墻壁	擁壁	崖
品川	八二	六	五	王子	一七	五	一
大崎	一七		二	南千住	三	一	
世田谷	八		三	日暮里	一七	三	
戸塚			八	千住	五	三	
淀橋	五九	六三	二	島住	四	四	
中野	三三	二四	二	龜戸	二	二	
澁谷	六		一〇	計	二八五	一〇九	三二
巢鴨	一三	二					

第十五表 墓地内ニ於ケル墓石ノ移動轉倒數調 (市内ノ分)

區名	被害別	移動			轉倒			安全			計			
		移動	轉倒	安全	移動	轉倒	安全	移動	轉倒	安全	移動	轉倒	安全	
麴町	田				二,〇五〇			五八五			二,六三五			
神田	橋													
日本橋	橋													
京橋	橋	五九五			六,六八一			三,三九五			一〇,六七一			
芝布	布	二八五三			五〇,三四三			二,七四八			七四,九四二			
麻布	坂	四,一〇一			二〇,〇二二			八四二〇			三二,五三三			
赤坂	坂	一四,五六二			二二,八三三			六,七二七			四四,一二一			

第百條丙上 木造被害調査報告

郡名	被害別	移動			轉倒			完全			計		
		移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全
四谷	谷	一五六			一六,二三〇			四八四			一六,七六〇		
牛込	込	一〇,二一九			一八,〇九二			三,六一九			三一,八四〇		
小石川	川	五,三九一			一六,五七六			三,五八〇			二五,五四七		
本郷	郷	一六,六〇八			二二,九〇〇			九,六三二			四九,一四〇		
下谷	谷	七,二三三			二二,八八三			一四,五〇三			四五,六〇九		
浅草	草	五,三三五			三,八九五二			三,八三七二			八,二六五九		
本所	所	六五六			四,七七八			五,七三六			一一,一七二		
深川	川	四,五三〇			七,二一一			一〇,六九五			二二,四三六		
計	計	七二,一三六			二五〇,五三九			一二七,四九八			四五〇,一七五		

同右 (郡部ノ分)

郡名	被害別	移動			轉倒			完全			計		
		移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全
荏原	原	三,四九三			一五,二〇五			九,三三八			二八,〇三六		
豊多摩	摩	二,〇五七			四一,七四七			四,四三五			四八,二三九		
北豊島	島	一,一六七九			一三,八三六			一,五八三			四一,三四五		
南足立	立	一,二一九			一,六七〇			一,五九一			三,三九〇		
南葛飾	飾	五四			二,五三六			七,五四四			一〇,一三六		
計	計	一七,四二二			七四,九八八			三,八七四			一三一,二四六		

第十六表 墓石被害數調

區名	被害別	移動			完全			計					
		移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全	移動	轉倒	完全			
麴町	町	二,〇五〇			五八五			二,六三五			七,七・八		
計	計	二,〇五〇			五八五			二,六三五			七,七・八		

二五

第百號丙上 木造被害調査報告

神田	日本橋	京橋	芝	麻布	赤坂	四谷	牛込	小石川	本郷	下谷	浅草	本所	深川	計
		七、二七六	五三、一九四	二四、一三三	三七、三九四	一六、三八六	二八、三二二	二二、九六七	三九、五〇八	三一、一〇六	四四、二八七	五、四三四	一一、七四二	三三三、六七七
		三、三九五	二一、七四八	八、四二〇	六、七二七	四八四	三、六一九	三、五八〇	九、六三三	一四、五〇三	三八、三七二	五、七三八	一〇、六九五	一二七、四九八
		一〇、六七二	七四、九四二	三三、五三三	四四、一二一	一六、八七〇	三一、八四〇	二五、五四七	四九、一四〇	四五、六〇九	八二、六五九	一一、二七二	二二、四三六	四五〇、一七五
	被害 安全	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃
		六八・七	三二・三	七一・〇	二九・〇	七四・一	二五・九	八四・八	一五・二	九七・一	二・九	八八・六	一一・四	八六・〇
		一四〇・四	一八〇・六	一四〇・〇	八六・〇	一九六	六八・二	三一・八	三三・五	四六・五	五三・五	四八・六	五一・四	四七・七
		二八・〇	七二・〇	二八・〇	四七・七	五二・三	四七・七	二八・〇	七二・〇	二八・〇	四七・七	五二・三	四七・七	二八・〇

二、焼跡聴取調書

焼失区域内 (麴町區)

木造建築物震災調査

一、麴町區三年町一番地巡查部長小林竹松氏ノ話ニヨレバ永田町二丁目二番地三番地附近ハ殆ンド新住家ニシテ半潰セルモノナク一部ノ屋根瓦剝落セル程度ニシテ星ヶ岡公園南側低地ニテモ同様ノ被害ナリシト。

因ニ三年町一番地ニハ全潰家屋二棟ヲ出スモ(南方ニ倒ル)此等ハ古材ヲ使用セル住家ニシテ第一震ニテ倒潰セルモノナリト。

尙山元町二丁目平河町二丁目及三丁目方面ニテハ表通ニハ大被害ナカリシモ裏側ニ古キ建物アリテ所々半潰セルモノヲ認メタリ。

一、麴町四丁目十二番地川田善一郎氏ノ談ニヨレバ同町四丁目及五丁目方面ハ古家屋ノ屋根瓦剝落シ壁ニ龜裂ヲ生ゼシ程度ニテ大被害ナカリシト。

一、同區上二番町二番地近澤義雄氏ノ談ニヨレバ同番地附近ハ東西ニ互ル低地ナルモ大被害ナク土藏ノ壁體ノ被害多ク普通住家ニシテ道路ニ向ツテ傾斜セルモノヲ少數認メタル

モ全潰セル家屋ハ認メザリシト。

一、震災當日自分(警視廳建築課兒玉技師)ノ經由セシ區域ニツキ記憶ヲ辿テ參考トスレバ同區麴町一丁目同二丁目方面ニテハ主要震動ハ略南北ト推セラレ表通ニハ全潰家屋ヲ認メズ麴町一丁目二番地裏側ニ古住家ノ半潰セシヲ目撃セルノミニシテ石造及煉瓦造建物ニハ半壊或ハ大龜裂ヲ生ゼルモノアリシモ普通ノ木造家屋ニハ屋根瓦ノ剝落ト壁體ニ龜裂ヲ生ゼシ位ニシテ稀ニ道路ニ向テ十度乃至十五度位傾斜セルモノヲ認メタリ元園町一丁目ヲ北ニ向ヒ三丁目谷ヲ過ギテ五味坂ニ到レバ聖愛教會ノ煉瓦造半潰セシモ木造建物ニテ大被害ノモノヲ認メズ一番町十一、十二番地ニハ古キ家屋アリテ半潰セルモノヲ五棟位認メタリ一番町ヲ北ニ向ヒ井伊邸ノ門前ニ到レバ(西側)道路ニ面スル土藏二棟屋根瓦殆ンド剝落シ壁土ノ崩レ落ちタルヲ目撃セリ其ヨリ三番町通靖國神社横ニ出ヅレバ南側牆壁所ニ倒潰セシヲ認メタリ同町電車通ニハ全潰家屋ヲ認メズ。

靖國神社境内ニ到レバ本殿及拜殿ニハ被害ヲ認メズ北側ノ圖書館(煉瓦造)崩潰シ遊就館(煉瓦造)ハ大破セルヲ認メタリ尙同神社前廣場ノ石燈籠(高サ約一丈胴ノ徑約一尺五寸)殆ンド倒レ居タリ(北ニ向ツテ倒レタルガ最モ多カリシト記憶ス)曉星小學校横ノ崖地ニ到ルマデ二合半坂邊

ニハ大被害ナカリキ尙同崖地ハ非常ニ危険ナリトノ豫想ニ反シ一ノ倒潰家屋ヲ認メズ唯其低地ニ古住家ノ倒潰セルヲ目撃セシノミ。

一、同區飯田河岸卅號地菊地新太郎氏ノ談ニヨレバ飯田町四丁目三十一番地所在飯田町停車場ハ壁體ニ龜裂ヲ生ゼル程度ニシテ大被害ナク飯田河岸一帯ハ全潰半潰等ノ家屋ヲ認メザリシト。

一、飯田町五丁目二十七番地川島朔造氏ノ談ニヨレバ同番地及同町三十一、三十二、三十三番地邊ハ小住家ニシテ古キモノ六、七棟倒潰セリト此ヲ神田區三崎町一帯ノ大被害ニ比スレバ非常ニ輕微ナリシト。

一、飯田町三丁目十番地池田春三郎氏ノ談ニヨレバ同番地附近ノ普通木造家屋ニテハ屋根瓦少シク剝落シ壁ニ小龜裂ヲ生ゼシ位ナルモ古キ家屋ノ道路ニ向ヒテ全潰半潰セルモノヲ數軒認メタリト。

(神田區)

一、神田區西神田警察署勤務警部補野口源五郎氏及吉村巡查ハ九月一日人命救助竝ニ警戒ノ爲メ管内被害狀況ノ一般ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

當管内ハ第一回ノ地震ニテ殆ンド全潰ノ状態ニアリ且ツ地震ト同時ニ十數ヶ所ヨリ出火シ第一回ノ地震起リシ時即九

月一日午前十一時五十八分頃ヨリ同日午後二時頃ニハ管内全部ヲ燒キ拂ヒシ如キ有様ニテ其ノ火足ノ早キ事ハ實ニ話ノ外ナリ其ノ狀況ニ就キ次ノ如ク語レリ。

一番最初ノ火ハ高ク上ツタガ夫レカラト云フモノハ潰レタ家ノ下ヲ嘗ルガ如ク進ンデ行ツタ故全管内ヲ二時間ニシテ焦土ト化シマシタ其様子ハ實ニ世ガ滅シル様デアリマシタ第一震ト共ニ神田區三崎町三丁目一番地所在ノ日本「クリスト」教會煉瓦造崩壞ス。

神田區三崎町三丁目一番地水道橋通り竝ニ六辻即チ三丁目一番地附近一帯ハ全部全潰又ハ半潰ニシテ其方向ハ何レモ滅茶々々ニシテ恰モ盆上ノ茶碗ヲ廻シ乍ラ倒セシ如キ有様ニテ道路兩側ノ建物ハ何レモ道路上ニ倒壞セシヲ以テ道路ヲ通行スル人ハ何レモ屋根ノ上ヲ通行セリト。

神田三崎町一番地三崎館木造三階建ハ第一回ノ地震ニテ滅茶々々ニナリ。道路へ倒壞セリ。

同町一番地日本製氷會社ハ第一回ノ地震ニテ滅茶々々ニ全潰セリ。

神田今川小路一丁目一番地女子職業學校寄宿舎ハ第一回ノ地震ニテ全潰壓死者七十名程アリシト因ニ本建築物ハ粗雜ナルモノナリシト。

神田猿樂町一丁目一番地龍名館(旅人宿)ハ被害僅少燒失ス

神田區駿河臺甲賀町西神田署長官舎ハ地震ノ被害僅少ニシテ燒失。

一、吉村巡查ハ次ノ如ク語ル。

私ハ九月一日午後一時三十分頃人命救助ノ爲メ駿河臺電車通ヲ御茶水ニ向ヒ通過セシニ兩側ノ商店三軒程倒壞セリト東紅梅町正本教會「ニコライ」ハ第一回ノ地震ニテ塔屋墜落ト同時ニ巨鐘ノ重量ニテ地下へ深サ六尺位直徑九尺位ノ大穴ヲ穿テリト今尙其ノ痕跡ヲ認ム。

荷左記ノ各町ハ何レモ第一震ニテ滅茶々々ニ全潰又ハ半潰セリト。

神田區表猿樂町一帶

同 仲猿樂町一帶

同 今川小路二丁目

同 三崎町三丁目

一、神田區中猿樂町二十番地所在明治會館ノ事務員前田鶴三氏ハ次ノ如ク語ル。

明治會館ハ九月一日ノ第一震ニ前面ノ塔屋ガ前面ノ道路側ニ倒壞セシノミニテ一階二階ハ其儘ナリシガ第二回目ノ地震ニテ二階ノ東南側（公設市場ニ面セル側）ノ隅三尺位口ヲ明キシガ間モナク會館ヨリ裏十間程ノ家屋ヨリ出火セシ爲メ逃ゲタル故其後不明ナリト。

一、西神田警察署廳舎ハ第一震ニテ建物ノ背面二三寸持上リ前面道路ニ傾斜セリト。

同署前小學校ハ被害僅少燒失セリ。

一、神田錦町警察署勤務荒川警部補及一巡查部長ハ次ノ如ク語ル。

私共ハ第一回ノ地震後直チニ人命救助及警戒ノ任ニ當リ其ノ當時ノ被害狀況ヲ目撃セリト。

神保町三番地（東洋キネマ）ハ通路ノ中央（三間）へ向ツテ突出倒潰セリト壓死者二者。

一、道路兩側ノ商店ハ何レモ道路へ三、四尺突出傾斜セリト。

一、又表神保町四番地ノ通り（幅九尺位ノ道路）ノ建物ハ何レモ半壞全壞ナリシト就中同町四番地（牛肉商）二階建家屋ハ道路へ突出シテ通行ヲ遮斷セリト壓死者二、三名。

一、表神保町十番地大通リニ面セル四戸長屋（二階建）ハ前面道路ノ中央以上マデ突出倒潰セリト。

一、表神保町十番地日下部ヨキ（店主）ハ次ノ如ク語ル。

私ハ營業ガ旅人宿デアリマスガ第一回ノ地震ニ家ガ前面道路（南）へ倒レマシタ（道路へ約四間突出）ソシテ客一名壓死致シマシタ故ソレヲ掘出スニ全力ヲ盡シテ居リマシタ爲ト火足ノ早カツタ爲ニ僅カニ身ヲ以テ免ガレマシタト涙ヲ流シテ語ル。

(日本橋區)

一、日本橋區濱町三丁目一番地町會副會長庄野又兵衛氏ハ九月一日第一回ノ地震ト同時ニ火災起リタルヲ以テ町會役員及青年團ヲ指揮スベク町内各所ノ被害状態ヲ目撃シタリトテ次ノ如ク語ル。

町内三丁目建物ハ何レモ道路ノ中央ニ倒潰シ一時ハ通行モ出來ナカリシト又水道鐵管破裂シ且又地割レノ個所アリシト。

路上龜裂ヲ生ゼシ個所次ノ如シ。

濱町三丁目一番地ニ號通りニ長九尺位幅一尺以上深不明

濱町三丁目一番地に號通りニ長二間位幅一尺位深不明

濱町三丁目一番地に號通りニ長六尺位幅一尺位深不明

又濱町三丁目一番地に號通り伊藤太郎氏ノ住宅(三階建)

ノ如キハ東北ノ方向ニ回轉シテ倒壊シタリト又此邊ニハ

壓死者ナカリシ如シ。

一、日本橋區箱崎町四丁目一番地十五號地ニ住居セル人力車業親方船津松次郎氏ハ其當時町内ノ警戒ニ任ジ土州橋通りノ被害ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

箱崎町四丁目大通リノ兩側家屋ハ何レモ歩道ニ向ツテ約六尺位突出倒潰セリ。

又同町四丁目一番地砂商木造三階建家屋ハ大破セシノミ。

又此町内ニハ家屋倒壊ノ爲メ壓死者二名ヲ出セリト。

此附近ハ平家及二階家屋ノミ多カリシガ震災ノ被害トシテハ一階家ノミ多カリシ如シ該平家建ハ何レモ明治以前ノ建築ニシテ命數既ニ盡キタルモノト推定セラル尙二階家屋ノ被害ハ大破損ナレドモ修繕可能ノ見込有リシ程度ノ如シ。以上ノ被害ヲ推定スルニ半壞若クハ大破ノミ多カリシモノト思ハル。

一、日本橋區北島町二丁目十四番地ニ住居セル消防手木倉徳次郎氏ハ次ノ如ク語ル。

私ハ此町内ノ消防手ナルヲ以テ第一回ノ地震ヨリ町内ノ警戒ニ任ジタルヲ以テ各所ニ涉リ其被害状態ヲ目撃シタリト。

北島町一、二丁目及馬場通り附近ノ建物ハ大多數歩道ニ參尺位突出シ道路ノ兩側ニ倒壊セリト。

又一部ノ建物ハ倒壊セズ只大破セルノミ。

尙氏ハ語ル倒壊セシ家屋ハ何レモ明治以前ノ建物ニシテ命數盡キ居レリト。

以上ノ實見談ヨリ推定スルニ此邊ハ大破損又ハ倒壊家屋多カリシト思ハル因ニ木倉氏ハ此地ニ三十年間以上居住シ居リシト。

以上ノ目撃談ヲ綜合考察スルニ倒壊ノ大破損相半ス。

一、日本橋新場橋警察署勤務吳服町派出所員高橋巡查ハ次ノ如ク語ル。

私ハ九月一日應援トシテ當派出所へ參リマシテ管内ノ警戒ニ付キマシタ故各建物ノ倒壊及破損状態ヲ目撃セリト。

元大工町九番地東京信託株式會社ノ木造三階建ノ二階ガ道路ノ中央へ倒レテ一時ハ通行出來ザリシト此町内ハ一般建築物一階、二階建多カリシガ倒潰家屋少クシテ半潰及大破セシ家屋多カリシト。

前記實話ヲ綜合推定スルト此町内及其附近ハ半潰及大破多カリシ如ク思ハル。

一、日本橋區本銀町二丁目十二番地消防手小泉馬之助氏ハ次ノ如ク語ル。

私ハ地震突發ト同時ニ町内及其附近ノ人命救助竝ニ警戒ニ活動致セシ故家屋ノ被害狀況ヲ目撃セリト。

本銀町一、二丁目ノ建物ハ震災ノタメ倒潰セシモノナシ。只二丁目一番地寶文館ノ土藏露路ニ倒壊シ(北ノ方向)要路ヲ閉鎖セリト。

又同町横井合名會社ノ土藏ノ外壁剝落セシ位ニテ一般建築物ハ半壊若クハ大破セリト。

依テ案ズルニ此邊一帶ハ震災ノ被害僅少ナリシ如ク推定セラレ。

(京橋區)

一、京橋區日吉町一番地小野テヨ氏ノ談。

此ノ附近明治初年ニ建築セシ煉瓦造約七割ニシテ木造トシテハ甚ダ少ク又此等ノ倒潰シタルモノナシト。

一、同區南鍋町二丁目一番地若代仁三郎氏ノ談。

附近煉瓦造一棟倒潰セシノミニシテ概シテ被害ヲ認メズト。

一、同區新肴町六番地棚谷龍藏氏ノ談。

附近ニハ大ナル被害ヲ認メザリシト。

一、同區因幡町一番地中村正二郎氏ノ談。

附近四階建石造家屋倒潰シ爲ニ木造二階建三棟平家一棟倒潰セリ因ニ松川町五番地ニハ壓死者七人アリタリト。

一、同區南鍛冶町十一番地溝口幸次郎氏ノ談。

同十一番地煉瓦造倉庫一棟倒潰シ壓死者一名アリシト。

一、同區桶町十番地警官廣瀨舛吉氏ノ談。

同氏地震當時交番ニ馳セ付ケ種々警戒ニ當リシ際十、十一番地南横町七番地附近道路ニ倒潰セシモノ三棟ヲ認メタリト又大工町一番地ニ一戸倒潰セリト。

一、同區南横町十八番地齋藤作太郎氏ノ談。

南横町八番地附近平家及二階家道路ニ倒潰セリト又桶町十番地附近二階家道路ニ倒潰セリト。

一、同區本材木町三丁目二番地中村龜吉氏談。

大鋸町原町通ニ於テ倒潰セシ家屋ヲ認メズト又和泉町裏通ニハ可ナリ倒潰セシ家屋アリ壓死者二名ヲ出セリト。

一、同區南鞘町交番警官澤田佐平次氏ノ談。

氏ハ當時附近警戒ノ任ニ當リ十七、十八番地附近ニ倒潰セシ家屋三棟ヲ認メタリト又和泉町二棟裏家小路ニ倒潰シ爲ニ壓死者十名ヲ出セシト。

一、同區龜島町二丁目十八番地堀田八郎氏ノ談。

水谷町五番地家屋倒潰シ一名壓死セリト又龜島町二丁目十八番地石造二棟倒潰シ附近家屋ハ多ク道路ニ傾斜セリト。

一、同區本港町一丁目一番地太田又三郎氏ノ談。

稻荷橋ヲ過ギテ丸ノ内ニ避難ノ途中多少ノ傾斜ハ認メタルモ道路等ニ傾斜セシ家屋ヲ認メズト新港町一丁目裏ニ於テハ半潰セシモノアリシト。

一、同區新港町一丁目三番地宮根光次郎氏ノ談。

氏ハ延焼迄附近ヲ巡視シ漸ク免カレザルヲ見水上署ニノガレタリト當時附近ニ半潰セシ家屋ヲ認メズト。

一、同區新港町一丁目三番地岡野精次郎氏ノ談。

當時附近屋根瓦脱落シ可ナリ傾斜セシノミト。

一、同區新港町四丁目二番地伊藤善之助氏ノ談。

當時道路ニ倒潰セシ家屋ヲ認メザルモ傾斜セシモノ可ナリ

アリシト。

一、同區入舟町四丁目五番地裏野克氏ノ談。

同町四丁目五番地同四丁目三番地附近道路ニ面シ倒潰セシモノ四、五アリ又傾斜セシモノ多カリシト。

一、同區木挽町二丁目十四番地益川榮藏氏ノ談。

同町三丁目十二番地通三棟道路ニ面シ或ハ之ニ反シ倒潰セリ一棟ハ木造二階人造石壁ナリシト他ハ土藏造及石造ナリシト。

一、同區築地町二丁目五番地山口吉太郎氏ノ談。

明石町ニ避難ノ際同番地附近二階建家屋四棟及四戸長屋(二階)小路ニ倒潰シ負傷者二名ヲ出シタリト。

一、同區築地町二丁目二十五番地村上善藏氏ノ談。

同番地ニ二階建八戸長屋前面道路ニ倒潰セリト。

一、同區築地町一丁目十番地森田吉五郎氏ノ談。

同二十七番地堀越商會煉瓦造建物道路ニ平行シテ倒潰シ爲ニ隣家二階家ヲ倒潰セリト又同町一丁目十番地ニ五戸長屋一棟其他二棟小路ニ倒潰シ又同自動車々庫二階建垂直ニ潰レタリシト。

一、同區南小田原町三丁目十番地柴崎文之助氏ノ談。

同所ニ二階四戸建一棟平家小路ニ倒潰シ壓死者二名出シタリト又同所六番地小路ニ倉庫一棟倒潰セリト。

一、同區南飯田町十番地岡村達次郎氏ノ談。
同番地ニ面セル小路及大通ニアリシモノ何レモ道路ニ平行シテ倒潰セリト。

一、同區築地南飯田町六番地栗山市太郎氏ノ談。

同地二階建四戸長屋一棟小路ニ平行シテ倒潰セリト又附近傾斜セシ家屋三、四棟認メタリト。

一、同區月島仲通四丁目四番地山崎源佐氏ノ談。

附近平家六戸建長家小路ニ面シ大傾斜シ之ニ向フ側ハ小路ニ反シ傾斜セリト仲通三番地ニアリテハ二階建三棟道路中央部迄倒潰セリト。

一、同區月島仲通三丁目十番地杉村吉之助氏ノ談。

三號地ニ避難ノ際附近ニ二階建六戸長屋道路ニ倒潰セシモノヲ認メタリト。

一、同區月島西仲通四丁目十番地竹下仙太郎氏ノ談。

同十二番地二階建一棟垂直ニ潰レシト。

一、同區月島東仲通四丁目八番地中村留吉氏ノ談。

三號地避難ノ際四丁目六、八番地通ニ半潰二棟東仲通十、十一番地通四棟垂直ニ倒潰シ居レリト又其前方ニ二棟階下ノミ潰レシト。

一、同地月島通四丁目二番地山田市郎氏ノ談。

同地ニ二階建二戸長屋道路ニ反シ倒潰セリト。

一、同區月島東仲通九吉田時次郎氏ノ談。
附近概シテ被害少カリシモ地割ヲ生ジ砂及水ヲ湧出シ高サ三尺ニ及ベリト。

一、同區月島通九丁目七番地市川甚太郎氏ノ談。

住吉神社前ノ道路ニ五棟倒潰セリト以上ハ二階建ニシテ第二震ニ倒潰セルモノナリト。

一、同區月島通二丁目六番地淺谷小市氏ノ談。

月島通二丁目五番地四戸長屋五棟半潰セリト内貳棟ハ道路ニ傾斜セリト。
因ニ以上ノ居住者ナキ家屋ナリシト。

(芝 區)

一、芝區三島町七番地中尾福太郎氏。

同氏家屋倒潰シ屋根ヲ破壊シテノガレントセシモ附近家屋道路ニ倒潰シ通行不能トナリカノウジテ屋上ヲ經テ赤十字病院ニ避難セリト壓死者及負傷者數名出シタリト以上三島町六、七番地通。

一、同區三島町六番地辻瑛氏。

同氏赤十字病院ニ避難ノ際三島町六、十九番地通ノ如キハ十九番地側ヨリ九番地ノ方向ニ二階家三棟道路ニ倒潰シ又同三番地ヨリ二番地道路二棟倒潰シ爲ニ交通全ク杜絶セリ荷物等搬出ニ屋上ニ板橋ヲ架シノガレタリト一時非常ナ混

雜ヲ來タシタリト。

一、同區宇田川町三十番地小川寛氏。

附近本木洋品店ノ煉瓦倉庫倒潰シタメニ倒潰セシ家屋三棟アリシト尙同所ニハ生埋トナリシ者十名アリシト。

一、同區柴井町二十二番地鈴木ウタ氏。

柴井町二十一番地ヨリ二十二番地道路ニ向ヒ三階建家屋倒潰シ爲ニ避難路ヲ失ヒ三階家屋ヲ越テ電車通ニ辛ジテ避難セリト此ノ附近商店多ク煉瓦倉庫等ノ倒潰ニヨリ被害又甚大ナリシト。

一、同區愛宕下町四丁目二番地佐藤幸太郎氏。

當時柴井町及愛宕町四丁目一番地ハ道路ヲ挟ミテ家屋殆んど倒潰シ通交全ク杜絶セリト愛宕町三丁目同四丁目通り及露月町柴井町ノ道路ニ倒潰セシ家屋ヲ認メザリシト。

一、同區愛宕下町四丁目一番地淺野藤七氏ノ談。

當時鹽竈神社ニ避難セシ際二筋目通ニ倒潰セシ家屋ナカリシモ三筋通ノ如キハ家屋道路ニ倒潰シ通行全ク不能ナリシト。

一、同區愛宕下町四丁目一番地柴田啓次氏ノ談。

當時商用ニテ櫻田本郷町ニアリ震災直チニ引キ返シ櫻川小學校附近ヲ通過セシニ道路等ニ倒潰セシ家屋ナキモ傾斜セシモノヲ可ナリ認メタリト同番地裏通ニ四、五棟倒潰セシ

家屋アリシト。

一、同區愛宕下町四丁目一番地上村了三郎氏ノ談。

附近三棟道路ニ倒潰シ交通不能ナリシト。

一、同區愛宕下町三丁目一番地安部清氏ノ談。

附近交通ニ支障ナシ重ニ裏長屋ニ倒潰セシモノ二棟アリシト。

一、同區愛宕下町三丁目四番地吉野アサ氏ノ談。

三番地四番地通倒潰セシ家屋ヲ認メザリシト。

一、同區露月町十七番地渡邊龜吉氏ノ談。

當時露月町通兩側ハ殆んど倒潰シ交通全ク杜絶セリト由ツテ裏口小路ヨリ表電車通ニ避難セリト。
因ニ此邊ニテ壓死者數名ヲ出セリト。

一、同區愛宕下町二丁目四番地内匠矢五郎氏ノ談。

源助町通倒潰セシ家屋ヲ認メズト只愛宕下町二丁目四番地ニ石造倉庫一棟道路ニ平行シ倒潰セシト。

一、同區芝口三丁目十四番地水谷健三氏ノ談。

當時電車通ニ避難セルモ其際電車通ニ倒潰セル家屋ヲ認メズト又裏通ニモ之ヲ認メザリシト。

一、同區露月町二十番地小林吉次郎氏ノ談。

露月町電車通ニ只一棟倒潰セルノミナリシト。

一、同區柴井町十番地根岸安兵衛氏ノ談。

二十、十、十一兩側電車通ニ三階建二棟、二階建五棟、十番地側ニ八棟道路中央部迄倒潰シ電車軌道ヲ餘スノミナリシト。

一、同區明舟町十三番地木口留吉氏ノ談。

同地ハ地震火災同時ニ起リ氏ハ專ラ防火ニ勤メ當時十三、十二、十一、十五、十四番地附近ヲ通過セシモ家屋ハ少ク傾斜セシノミニテ甚シキ異狀ヲ認メズト唯十一番地隅角倉庫ノミ道路ニ平行シ倒潰セリト。

一、同區明舟町十九番地大石義一氏ノ談。

氏ハ地震ト同時ニ屋外ニ飛ビ出シ虎門方面ニ難ヲ避ケントセシモ前面道路兩側家屋(二階平家)倒潰シ爲ニ交通困難ナリシト附近ニハ古家屋可ナリ多カリシト。

一、同區明舟町二番地落合權八氏ノ談。

裏側住家倒潰セシノミニシテ電車通等ニ傾斜セシ家屋ヲ認メザリシト。

一、同區西久保櫻川町十七番地神山貫一氏ノ談。

附近ニ火災起リタルニヨリ附近ノ狀況具ナラザルモ西櫻川小學校附近ノ十七戸長屋三棟約大半小路ニ倒潰セリト而シテ西久保通ニ二棟道路中央迄倒潰シ居レリト。

一、同區南佐久間町二丁目十八番地野島信次郎氏ノ談。

當時濱離宮ニ避難ノ際避路等ニ倒潰家屋ヲ認メザリシト。

一、同區兼房町十七番地藤卷安次郎氏ノ談。

當時屋外ニ避難セシモ附近ニ大ナル被害ヲ認メザリシト。

(赤坂區)

一、赤坂區田町二丁目十四番地筒井長藏氏ノ談ニヨレバ田町

一丁目、二丁目、三丁目、四丁目及新町一丁目、二丁目、三丁目一帯ハ震動甚敷ク到ル處ニ家屋倒潰或ハ半潰シ倒潰セル家屋ノ屋根上ヲ逃レ去リシ者モ少カラズ表側ノ家屋ハ大抵道路ニ向ツテ倒潰シ通行容易ナラズ砂塵濛々トシテ半町位ノ距離ノモノハ分明ナラズ一日午後零時二十分頃ニハ田町四丁目邊ヨリ發火シ同二時過ニハ新町三丁目邊ヨリ發火セシニヨリ避難ニ忙ハシク詳細ニツキテハ明カナラザルモ其被害ハ殘存セル新町三丁目邊ヨリモ烈シカリシト記憶シ居レリト。

一、同區田町五丁目七番地高橋久米藏氏ノ談ニヨレバ同氏ノ家屋ハ全潰セザルモ全面道路ニ向ツテ約十五度傾斜シ屋根瓦剝落シ壁ハ殆ンド振落サレシト尙道路ノ對側ナル同町五丁目九番地等ノ家屋ハ北ニ向ツテ(道路ニ平行)倒潰セリト。

一、同區田町五丁目十八番地先山王下臨時巡査派出所詰田畑巡査ノ談ニヨレバ同氏ハ震災後直ニ田町五丁目ヨリ七丁目及溜池町方面マデ巡視セシニ田町方面ハ藝者屋及待合等ノ

華奢ナ建築物多キ故カ道路ニ向ツテ倒潰セルモノ頗ル多ク塵煙シキリニ上リテ歩行ニ困難ナリシト。

又溜池町電車通ノ南側ハ殆ンド全潰或ハ半潰ノ状態ニテ倒レザルモノハ多ク相互ニ傾キ合ヒテワヅカニ其形ヲ保テルモノニシテ之ヲ新町三丁目附近ノ被害状態ニ比較スレバ一段ノ甚シキヲ思ハシムルト而シテ同電車通北側ハ幅九尺深サ約八尺ノ溝アルニヨリ震動殊ニ烈シキモノト察セラル、モ對側建築物ノ被害状態ニ比スレバ其ノ程度輕微ナリシト即チ溜池町三十一、三十二及三十三番地等ニハ全潰半潰多カリシモ三十、三十四、三十五番地等ニハ所々ニ大破損ヲ出セシニ止マリシト。

一、同區田町七丁目二番地山本嘉市氏ノ談ニヨレバ同番地ニハ二棟道路ニ向ツテ全潰セルモ其他ハ小傾斜或ハ壁體ニ大龜裂屋根瓦剝落ノ程度ニ止マリシト。
尚同氏ハ同番地前面道路ニテ小兒ヲ背負ヒ居タルニ第一震ノ時身體ノ平均ヲ失シテ轉倒セリト。
同地方面ノ震動ノ大ナリシヲ察スルニ足ル。

一、同區田町七丁目十一番地岩井某氏ノ談ニヨレバ同番地及同町一番地ニテハ道路ヲ挟ンデ七棟ノ家屋倒潰セリト。

一、同溜池町五番地永峰隆氏ノ談ニヨレバ同町電車通南側ハ北側ヨリモ全潰家屋多ク同地前面道路ニ步行中ナリシ一婦

人ハ三尺位ノ距離ニアル電柱ニ凭リ掛ラシトスルモ能ハザリシト同方面ノ震モ大ナリシト思惟セラル。

一、同區溜池町一番地渡邊完氏ノ談ニヨレバ同町二番地ノ家屋三棟西側ノ道路ニ向ツテ倒潰セリト。

一、同區葵町二番地東伏見宮邸北側石塀(崖地ニアル高サ約八尺厚サ約一尺)ノ北側道路ニ向ツテ倒潰セルヲ見ル。

(本郷區)

一、本郷本富士警察署管内本郷區金助町派出所赤池巡查ハ地震後直チニ管内(前記派出所)ノ被害狀況ヲ實查目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

當派出所管内ハ被害僅少ニシテ大體ニ於テ大破損又ハ傾斜位ノ程度ナリシト。

本郷區金助町五番地住宅ハ約二十年位ヲ經過セル建築ニシテ頗ル貧弱ナリシヲ以テ第一回ノ地震ニ於テ直チニ全潰セリト。

本郷區新花町三十四番地土藏ハ外壁剝落シ道路中央(三間位)迄突出セリト。

新花町八十九番地土藏ハ道路中央へ倒潰セリト。

新花町七十二番地煉瓦塀(高六尺)ハ前面道路へ倒壊ス。

新花町九十七番地煉瓦塀(高九尺厚二枚)ハ前面道路へ倒壊セリト。

金助町二十七番地住宅ハ半潰セリト。
一般ニ建築物ノ傾斜方向ハ北ナリシト。

新花町九十八番地先地下ヨリ噴水セリト。

新花町八十八番地長陽館（旅人宿）三階建ハ被害皆無ニシテ僅カニ壁ノ龜裂ヲ見シ位ニ止ルト。

一、本郷區本富士署管内切通坂町派出所員小林巡查ハ九月一日當務ナリシヲ以テ震後直チニ前記派出所管内被害ノ狀況ヲ實査セリトテ次ノ如ク語ル。

本郷區湯島小學校木造三階建ハ被害僅少。

湯島天神社ハ被害ナシ。

天神町二十九番地所在二階建木造（下宿屋）ハ被害ナシ。

天神町四十九番地モ右同斷被害ナシ。

同町五十一番地モ同斷。

此管内ハ割合ニ被害僅少ニシテ壁ニ龜裂ヲ見ルノミ。

一、本郷區本富士署天神町巡查派出所員篤巡查、石堂巡查ハ震災當時ノ被害ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

下谷西黒門町十六番地住家ハ建物ノ外壁（化粧煉瓦）全部剝落セリト。

天神町三丁目一番地櫻湯ノ塀ハ全部倒壊セリト壓死者一名。

天神町二丁目二十八番地長屋（四戸建）ハ南方ヘ大傾斜ス

傾斜ハ一般ニ南ノ方向ナリシト。

天神町三丁目六番地（萬世軒）三階建物ハ被害ナカリシ。

天神町三丁目六番地（都鳥）三階建ハ被害ナシ。

天神町三丁目六番地（生光亭）右同斷。

一、本郷區本富士署管内湯島二丁目派出所中村巡查ハ震災後直チニ其管内ヲ一巡シ當時ノ被害ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

當管内ニハ潰家一戸モナシ。

湯島一丁目十八番地住宅後方ヨリ高サ十尺位ノ土塊家内ニ押し入りタリ。

同町十四番地住宅モ亦土塊入りタレド人畜ニ被害ナシ。

湯島（電車通）ノ土塀ハ約八十間道路ヘ倒壊セリ。

當管内建物ノ傾斜方向ハ概ネ南方ナリ。

一般ニ壁ノ龜裂又ハ傾斜位ニ止マル。

一、本郷區東竹町五番地湯淺榮藏氏（青物商）ハ九月一日ノ災害ニ就キ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

東竹町附ニ近ハ潰家ハ一戸モナシ。

渡邊裁縫女學校ハ被害僅少。

此町ノ附近被害ハ僅カニ壁ノ龜裂又ハ屋根瓦ノ剝落位ニ止ルト。

一、本郷區本富士署管内三組町巡查派出所巡查上野源二氏ハ

地震後直チニ管内ノ被害調査竝ニ人命救助ノ爲メ一巡シ其ノ被害ノ程度及狀況ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

五軒町十六番地商店ハ南方ニ道路へ六尺位突出倒潰セリ。

此町ノ被害ハ甚ダ僅少ニシテ其ノ程度ハ壁ノ龜裂又ハ瓦ノ脱落位ナリ傾斜建物ハ大體ニ於テ南又ハ北ノ方向ナリ。

一、本郷本富士署管内元町派出所中村壘三巡查ハ地震後直チニ管内被害調査ノ爲一巡シ其ノ狀況ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

當管内ハ倒潰家屋ナク被害程度ハ大體ニ於テ大破損又ハ傾斜ナリ。

元町一丁目二十三乃至二十四、五番地ニハ傾斜セル家屋アリ。

元町一丁目一番地松平頼壽氏邸ノ煉瓦塀ガ歩道へ約一尺位突出崩壊セリ。

元町一丁目十三番地ニ高サ十二尺位ノ煉瓦塀道路へ三尺位崩壊突出セリ。

元町一丁目二番地小柴病院敷地内ニ直徑六尺深六尺位ノ陥落セル所アリ。

元町一丁目一、二、三番地先道路長十五間位幅三尺位神田川へ向テ落下セリト。

元町一丁目七番地先ノ道路長サ十五間位深一尺乃至三尺位

斷層セリト。

一、神田明神社主平田氏ハ災害ノ程度又ハ狀況ニ就キ次ノ如ク語ル。

當神社ハ震害甚ダ僅少ニシテ左記ノ通りナリト。

岩組ノ獅子南西へ倒ル。

本殿及社務所ハ被害ナシ。

高十尺幅五尺方（富士神社）倒壊セリ。

因ニ神田明神ハ震害僅少ナリシモ火災ノ爲メ全部烏有ニ歸シタリ而シテ御神體ノミ僅カニ搬出スルヲ得シト。（重量十六貫有リト）

（下谷區）

一、下谷區上車坂町五十五番地加藤啓太郎氏ノ談ニヨレバ同區上車坂町下車坂町及萬年町二丁目邊ハ屋根瓦所々剝落シ壁體ニ龜裂ヲ生ゼシ位ノ程度ニテ全潰家屋ヲ認メザリシト尙同區上車坂町五十七、五十九番地ノ岩倉鐵道學校ノ門柱（煉瓦造ニシテ一枚半角高サ約一丈）ニハ龜裂ヲ認メズシテ同敷地周圍ノ煉瓦壁ニ小龜裂ヲ生ゼシノミ又同敷地内ノ大谷石積倉庫屋根瓦ノミノ被害ニトバマルヲ以テ察スルニ此ノ邊ノ震度ハ大ナラザルガ如シ。

一、同區坂本町三丁目根岸變電所（煉瓦造三階建）ノ壁體龜裂ハ東西ノ兩側ニ生ジ南北ノ側ニハ認メラレズ。

一、同區坂本町四丁目十三番地板羽常次郎氏ノ談ニヨレバ此ノ近傍ノ土藏ハ概ネ壁剝落シ普通家屋ニテハ屋根瓦ノミノ被害ニ止マリシト。

一、同區金杉上町二番地高杉利三郎氏ノ談ニヨレバ坂本町四丁目ノ小被害ニ反シテ金杉上町一帯ハ震動甚敷全潰半潰ノ家屋多ク其方向ハ殆ンド道路ニ向ツテ倒潰又ハ傾斜セシ様見受ケタリト。

一、同區金杉上町十二番地清水淺太郎氏ノ談ニヨレバ附近ニハ全潰半潰多ク同番地ノ家屋ハ大抵露路(南東)ニ平行シテ將棋倒トナレリト。

一、同區坂本町四丁目殘存建物ト同區金杉上町ノ殘存建物トヲ比較スルニ金杉上町ノ方屋根瓦ノ被害一層甚敷ヲ見ル之ニヨリテ燒失區域内ノ坂本町ヨリモ金杉上町方面ノ震度大ナリシヲ推定スルコト難カラズ。

一、下谷區三輪町二十一番地皆川龜太郎氏ノ談ニヨレバ同町六十六、六十七、六十八番地ニ於テ平家建四棟東北ニ向ツテ倒潰セシガ同番地ヨリ北方ニハ大ナル被害ヲ認メザリシト。

一、同區金杉下町百九十一番地關根莊太郎氏ノ談ニヨレバ同番地附近ニハ半潰多ク其大部分ハ道路ニ向ツテ傾斜セリト。

一、同區金杉下町百四十九番地小菅覺次郎氏ノ談ニヨレバ此邊ニテハ土藏ノ壁土殆ンド剝落シ普通ノ住家ニシテ屋根瓦ノ被害及壁體ノ小龜裂位ニ止マリ同番地ニ小住家一棟半潰セリト。

一、同區入谷町三百十一番地古田博氏ノ談ニヨレバ同地附近ニハ比較的古キ住家多ク道路ニ向ツテ半潰又ハ大傾斜セルモノ少カラズ。

一、同區入谷町百五十五番地正覺寺ハ幸運ニモ火難ヲ免カレ焦土ノ中ニ從前ノ姿ヲ殘セリ訪ヒテ其當時ノ模様ヲ聞クニ附近ハ一般ニ全潰半潰多ク同寺ノ山門ハ南ニ向ツテ倒潰シ本堂及庫裏モ亦同方向ニ約十五度傾斜セシヲ復舊修繕ヲ施セルモノナリト。

一、同區龍泉町十二番地中塚利一氏ノ談ニヨレバ附近一帯ハ小住宅多ク構造材モ比較的ニ良シカラズ道路ニ向ツテ倒潰セルモノ多ク被害少ナルモノニテモ屋根瓦ハ全部剝落シ壁體ノ龜裂等ハ免カレザリシト。

一、同區入谷町七十五番地正燈寺住職ノ談ニヨレバ境内ノ本堂及庫裏等全部南方ニ向ツテ倒潰シタリト。
尙同境内ニアル井戸水面ハ地盤下約一尺五寸ナリ此等ノ事實ニヨリテ察スルニ同地附近及龍泉寺町一帯ハ地盤軟弱ニシテ震度大ナルガ如シ。

- 一、同區入谷町三百八十二番地中根賢太郎氏ノ談ニヨレバ附近ハ一般ニ全潰殆ンドナク屋根瓦剝落シ壁體ニ大龜裂ヲ生ゼシ程度ナリシト尙萬年町方面ニハ大被害ナキガ如ク山伏町邊ニハ道路ニ向ツテ傾斜セル家屋ヲ所々ニ見受ケシト。
- 一、同區坂町八番地森田義平氏ノ談ニヨレバ同町及上野南大門町邊ハ表通ノ家屋ハ瓦ノ剝落位ノ被害ナルモ裏側ニハ古キ小住家アリテ所々ニ全潰半潰ノ家屋ヲ認メタリト。
- 一、同區中御徒町巡查派出所詰大高巡查ノ談ニヨレバ同町一丁目二丁目方面ニハ倒潰家屋ヲ認メザリシト。
- 一、同區御徒町二丁目十三番地中木長次郎氏ノ談ニヨレバ御徒町一丁目二丁目及竹町一帶ハ土藏石造等ハ全部倒潰シ古住家所々ニ半潰或ハ全潰セルヲ認メシモ普通ノ木造家屋ハ屋根瓦剝落シ壁ニ小龜裂ヲ生ゼシ位ノ程度ナリシト。
- 一、同區御徒町二丁目十番地御徒町小學校ノ煉瓦塀高サ約七尺厚サ一枚ノモノ中央部崩潰セル跡アリ。
- 前記中木氏ノ談ニヨレバ同小學校ノ被害ハ屋根瓦ノミニ止マリシト。
- 一、同區車坂町五十二番地餐庭光三郎氏ノ談ニヨレバ車坂町及御徒町三丁目方面ハ所々ニ古住家倒潰セシモ普通ノ住家ハ瓦剝落シ壁ニ大龜裂ヲ生ゼシ程度ニテ南稻荷町一帶モ亦之ニ劣ラザル被害ナリシト。

尙電車通ノ北側北稻荷町方面及中御徒町四丁目下谷町及上野三橋町一帶ハ全潰家屋ハ認メラレズ所々ニ道路ニ向ツテ大傾斜ヲナセルヲ認メシト。

(淺草區)

- 一、淺草南元町警察署勤務小關巡查部長ハ九月一日第一震後直チニ人命救助竝ニ警戒ノ爲メ通過セシ各町被害ノ狀況ヲ次ノ如ク語ル。
- 淺草南富坂町附近ハ被害僅少ニシテ大破損又ハ小破損位一般ニ北方ニ傾斜ス。
- 淺草區南富坂町七番地長屋建ハ第一震ニテ北方ニ倒壞前面道路へ約六尺程突出セリ壓死者一名。
- 同北富坂町十七番地十二戸長屋(平家)ハ第一震ニテ北方ニ倒壞シ前面道路へ約三尺突出シ居レリ因ニ此建築物ハ約四十年前ノ建築ナリ此町ハ小破損多ク被害ノ大ナルモノナシ同新福島町二十二番地木造二階家ハ北方ニ半潰セリ同町同番地ハ何レモ北方ニ倒壞シ道路上ニ約三尺位突出セリ但シ同町全家屋中僅カノ被害アルノミ他ハ土藏ノ龜裂位ナリシ負傷者二名。
- 壽町通りニテハ半潰家屋四五戸アリ何レモ平家及二階家ニシテ倒潰方向ハ西ニシテ何レモ前面道路へ三尺乃至四尺位突出セリ其他ハ大破損小破損家屋ノミ。

駒形町五十七番地所在家屋ハ第一震ニテ前面歩道へ約一尺突出倒壊セリ其他ハ斜傾及小破損位ニシテ更ニ被害ヲ受ケザル三階建アリ即チ左記ノ通り。

駒形町十番地木造三階建被害僅少

同 二十六番地本莊又吉所有三階家屋被害ナシ

同 三十一番地東海銀行木骨煉瓦造三階被害僅少

一般ニ同町ハ西北方ニ倒壊又ハ傾斜ス。

南元町警察署廳舎木骨煉瓦造二階建ハ被害ナシ。

一、南元町警察署書記關谷氏ハ次ノ如ク語ル。

私ハ九月一日第一震ト同時ニ机下ニ身ヲヒソメテ居タ所ガ自分ノ頭上ノ机ガ南方へ倒レタリト。

一、南元署小關部長ハ次ノ如ク語ル。

九月一日午後五時頃隅田川一尺五寸位増水ス。

九月二日午後一時ヨリ二時ノ間ニ藏前高等工業學校附近五

六寸ノ浸水アリ。

一、淺草七軒町警察署勤務井田警部補ハ九月一日第一震後直チニ管内被害調査竝ニ人命救助ノ爲メ管内一部ヲ調査シ其ノ被害狀況ヲ次ノ如ク語ル。

榮久町七番地龍寶寺ハ東西へ分裂倒壊ス。

森下町百二十六番地住宅ハ北方へ倒壊セリ。

榮久町六十三番地商家ハ腰折レ全潰ス。

北清島町五十三番地所在報恩寺ハ高五十尺以上ノ大建築ナレドモ最近修繕ノ際瓦ハ一枚毎ニ銅線ヲ以テ土留木ニ結束セシヲ以テ一枚ノ瓦モ脱落セザリシト。

松清町四十番地東本願寺ハ北側ノ屋根瓦全部落下セリ。

前記倒壊建物ハ何レモ古材ヲ使用シタル古キ建築ナリ。

一般ニ傾斜又ハ倒壊方向ハ北東ナリシト。

一、淺草象潟署勤務五味田警部ハ九月一日第一震後直チニ署長ニ隨行管内ヲ巡視被害ノ狀況ヲ次ノ如ク語ル。

象潟町小松橋通り十番地附近ノ建物ハ第一震ニテ前面道路へ倒壊突出シ道路ヲ閉鎖セリ一般通行者ハ道路上ノ家根上ヲ步行セリ。

千束町三丁目五十五、五十一、五十二、五十番地附近ノ住

家ハ何レモ南方道路上ニ倒壊セリ。

千束町二丁目二百四十一、二百四十二、二百四十九、二百

五十一、二百五十四、二百六十二、二百六十五、二百六十八

番地附近ノ建物ハ何レモ道路ノ中央迄突出倒壊ス尙此町内ハ全潰家屋多數アリシト。

十二階下千束町二丁目十四、十六番地附近家屋ハ何レモ全潰セリ。

左記ノ地ハ比較的被害僅少ニシテ半潰傾斜位ナリ。

千束町二丁目百四十六、百四十二、百四十三、百三十九

百三十八、百三十七。

同 町三丁目一―十。

北仲町、北表町、東仲町附近。

馬道七丁目。

淺草公園。

仲見世附近。

倒壊、半潰、傾斜ノ方向ハ一般ニ北東ナリシ。

十二階ハ直下ノ劇場、觀客席、樂屋、舞臺上ニ一大音響ト

共ニ崩壊シ壓死者多カリシト方向ハ東南ナリ壓死者百九名

一、淺草日本堤署勤務巡查中尾宗太郎氏ハ九月一日警戒竝ニ

人命救助ノ爲メ管内ノ被害ヲ目撃シ次ノ如ク語ル。

元吉町十二番地ノ住家ハ全潰セリ。

淺草町四十五番地附近住家ハ電車通りヘ約六尺突出倒壊セ

リ方向ハ東。

淺草町七十五番地附近ノ家屋モ右同斷。

玉姫町七番地附近家屋ハ全潰家屋多シト。

吉野町附近電車通りハ被害僅少ナリシ。

吉野町及龜岡町附近ハ全潰家屋稀シテ被害比較的僅少ナリ

今戸町八十番地住宅ハ道路ヘ向ツテ全潰シ道路ヲ閉鎖シ通

行出來ザリシ。

龜岡町二丁目七十二番地ハ垂直ニ潰レタリ。

全潰家屋ハ何レモ甚ダ古キ建物ニシテ命數盡キタル感アリ

一、日本堤署勤務田澤巡查ハ其ノ當時交通ノ當務ニシテ左記

被害個所ノ狀況ヲ目撃セリト。

玉姫町百十三番地長屋ハ道路ヘ向ツテ約二間位突出倒壊セ

リ其ノ方向ハ西北ナリ。

玉姫町八十五番地住家ハ道路ヘ約一間位突出東方ヘ全潰セ

リ。

玉姫町百二十四―百七番地ノ家屋ハ滅茶々々ニ全潰セリ玉

姫町百三十一番地日本護謨製造株式會社ノ石垣(高約三間)

ハ崩壊シテ附近家屋ヲ押潰シ其ノ附近ヲ將棋倒シトナセリ

東京市職業紹介所竝ニ玉姫町百二十六番地五號長屋ト記憶

セルハ建物ノ兩妻煉瓦ナリシヲ以テ其レノ崩壊ニ依リ垂直

ニ押潰サル。

又幼稚園ハ木造家屋ナリシモ兩東ヘ廻轉ノ傾向ニテ倒壊ス

玉姫町八十二番地商家ハ南西ニ倒壊セリ。

玉姫町百十三番地先ニ幅四寸位深サ不明長サ十間位ノ龜裂

アリ。

此附近ノ建物ハ概ネ東南方ヘ全潰半潰傾斜セルモノ多シ。

一、日本堤警察署管内吉原仲ノ町派出所員巡查小松甚内氏ハ

其當時立番勤務ナリシヲ以テ被害狀況ヲ目撃セリトテ次ノ

如ク語ル。

廊内ハ第一震後僅五分位デ京町二丁目六番地ヨリ出火シ且震災ノ爲メ一帯砂塵天ニ冲スルガ如キ有様デ活動困難ナル上ニ火災ノ爲メ被害調査モ僅々三四十分位ノ範圍デ極メテ狭イモノデス、因ニ吉原ハ出火後約二時間位ニシテ焦土ト化シタ。

京町一、二丁目ハ一見八分通り全潰シ残り二分ハ半潰ナリ京町二丁目通兩側家屋ハ全部前面道路ニ向ツテ五指ヲ組合セタルガ如ク全潰セリ通行者ハ皆屋根上ヲ歩行セリ。仲ノ町通りニテハ全潰稀ニシテ僅ニ傾斜家屋アリシノミ。

京町一丁目一番地二、三番地ノ家屋ハ被害僅少ニシテ同町四番地ヨリ十番地所在ノ家屋ハ何レモ道路ヘ全壞セリ其状態ハ前記京町一丁目ト同一ナリシト。

又同町十三、十五、二十七、三十二番地所在家屋ハ前面道路ヘ突出全潰シ通行困難ナリシ。

同町十六番地所在家屋ハ巡查派出所横ニ全潰シ道路ヲ閉鎖ス。

角町ハ全潰五分半潰三分位傾斜二分位ナリシ。

(本所區)

一、本所區林町一丁目三番地ニ居住ノ橋場清吉(町會長)ハ其ノ當時ノ被害狀況ヲ次ノ如ク語レリ。

私ハ第一震ト同時ニ青年團在郷軍人ト協力シテ町内ノ警戒

ニ當ルベク町内ノ被害狀況ヲ視察セリ。此町内ハ倒壞家屋少ク大破損ノ程度デ現ニ私ノ家等ハ瓦一枚落チズ(引掛棧瓦ナリシ)

一丁目通りノ兩側ニ有ツタ商家ノ一部ガ道路中央ニ突出シテ倒壞通行困難ナリシ但シ此等ハ既ニ命數盡キタルモノ、ミナリ壓死燒死共約三百人。

一、本所相生警察署管内林町派出所員鈴木巡查ハ當日(九月一日)第一震ト同時ニ受持管内ノ警戒ニ當ツタ故其當時ノ被害程度ヲ目撃シタリトテ次ノ如ク語ル。

當管内ハ潰家多カリシモ道路ヘハ倒レズ通行ニハ支障ナカリシト、倒壞又ハ傾斜ノ方向ハ區々ナレドモ概ネ西方ノモノ多カリシ。

同町在東京市變電所ハ震災ノ被害ナシ。死者三百名以上(壓死燒死共)

一、本所相生警察署江東橋派出所勤務吉田巡查ハ當日警戒ノ任ニ當リ被害ノ狀況ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

私ノ住居ハ永倉デ有マス町内ノ全潰戸數ハ約二十戸半潰戸數ハ百戸位有マシタ其ノ方向ハ東北ノモノ多カリシ道路ノ兩側建物ハ歩道上ヲ越ヘテ車道ヘ倒レタ故一時ハ通行モ出來マセンデシタ死者ハ壓死者二十名其他約二百三十名。

一、本所區綠町四丁目四十四番地中村藤太郎氏ハ九月一日地

震ト同時ニ町内ノ警戒人命救助ノ任ニ當テ當時ノ被害狀況ヲ次ノ如ク語ル。

町内ハ第一震ト同時ニ二三戸ノ倒壊家屋アリ概シテ人道ニ倒レタルヲ以テ通行モ出來ザリシ。

壓死者十五名。

緑町四丁目二十四番地附近ハ第一震ニテ水ト砂が噴出セリト。

同四丁目二十九番地所在赤羽某(製罐業)ノ住宅兼作業所ノ木造三階建ハ被害僅少ナリシト因ニ本建物ハ五六年前ノ建築ナリ。

一、相生署管内兩國驛派出所員高木巡查ハ九月一日補缺勤務ニテ警戒ノ任ニ當リ其ノ被害ノ狀況ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

當管内ハ被害僅少ナリシ只傾斜セシ家屋ハ夥敷クアリ方向ハ南西最モ多シ。

派出所前三階建木造家屋ハ被害僅少ナリシ。

一、本所原庭警察署勤務高等係宮崎巡查ハ公用ニテ外手町へ出張中ナリシヲ以テ被害ノ狀況ヲ目撃セリトテ次ノ如ク語ル。

町内四十五番地ノ一部商家及住家ハ何レモ第一震ニテ道路へ三間程突出倒壊セリ又同町六十五、六番地附近ハ歩道へ

六尺位突出シテ倒壊シ九十五番地住宅(二戸長屋)ハ道路へ向ツテ倒壊シ一時ハ通行出來ザリシト。

同町建築物ノ倒潰又ハ傾斜ノ方向ハ種々ナリシモ概シテ北東ノ方向ナリシト。

同町ノ倒潰家屋ハ約三百戸半潰家屋約三百戸ニシテ其ノ最モ甚シキハ同町九十四、六十、七十番地壓死者ナク負傷者約五十名。

一、原庭警察署勤務高等係宮崎仲衛氏ハ次ノ如ク語ル。

番場町ニテハ平家割合ニ多ク建築物ノ六割位ヲ占メ第一震ニテハ被害僅少ナリシモ第二震ニテ多ク倒潰家屋ヲ出セリト。倒潰家屋ハ何レモ道路ニ六尺位突出セリト。

二階家ハ最近建築セルモノ多ク平家ハ何レモ三十年位ヲ經過セルモノナリト。

尙地割ノ個所左記ノ通

番場町十八番地 長サ約十間 幅約四寸 深サ約一尺
同町九番地 長サ約四間 幅 二寸 深サ約一尺

因ニ右地割ヨリハ一時噴水セリト。

一、本所區松倉町一丁目三十三番地巡查佐藤平四郎氏ハ次ノ如ク語ル。

同所及同町二丁目七番地ニ於テハ二階建家屋道路ニ四尺乃至六尺突出倒潰セリト。

一、本所區柳島梅森町九十二番地高橋清造氏ハ次ノ如ク語ル
 梅森町前面ノ川ニ面セル商店ハ一戸モ倒潰セズ只僅ニ道路
 ニ二尺位突出半潰セルモノ數棟認メタリト。
 因ニ同所前面道路ニハ長サ約十間幅約三尺深サ約一尺ノ地
 割ヲ生ジタリト。

一、本所區太平町新甫寬實氏ハ次ノ如ク語ル。

町内ニテハ倒潰家屋僅少ニシテ大破損及半潰家屋多ク傾斜
 ノ方向ハ概シテ北ニ向フモノ多カリシト。

同町所在報恩寺ハ今ヲ去ル二百五十年前太田道灌ノ菩提寺
 トシテ建立セラレシ由ナルガ震災ヲ免ガレ又同境内ニアル
 鐘樓ノ基礎ハ高サ六尺幅九尺長サ三間位アルモ無被害ナリ
 シト。

尙此ノ附近ハ約一尺沈下シタリトノ事ナルモ確タル證據ナ
 シ。

一、本所區中郷業平町百三十三番地大村三之助氏ハ次ノ如ク
 語ル。

本所柳島ニ通ズル電車通兩側家屋ハ大傾斜セシモノアリシ
 モ倒潰セシモノハ認メザリシト。

電車通裏側長屋ハ殆ド倒潰セリト實地調査スルニ右ハ何レ
 モ「ローソク」地形ナリシガ如シ。

尙第一回ノ地震ト同時ニ噴水セシ個所次ノ如シ。

本所區中ノ郷業平町百二十二番地。
 同區同町百三十三番地。
 同區同町二百十九番地。
 此ノ邊一般ニ一尺五寸位沈下セシトノ風説アルモ確タル證
 跡ヲ得ズ。

一、本所區押上町百〇四番地佐藤正次郎氏ハ次ノ如ク語ル。

押上町百十七番地先キヨリ小村井ニ通ズル道路ニ長サ約六
 丁幅約五寸深サ不明ノ大龜裂ヲ生ジタリト。

向島押上町京成電車前大通角瀬戸物商店ハ道路ノ中央へ
 (二間)突出倒潰セリト。

其他ハ倒潰家屋ハ少ク半潰又ハ大破損ノモノ多カリシト。
 壓死者四名。

因ニ押上通ニハ倒潰家屋ナカリシト。

一、本所區小梅町源森橋派出所員明石巡查ハ次ノ如ク語ル。

同所ノ横ニ通ズル道路ノ兩側ノ家屋ハ第一回ノ地震ニテ道
 路ニ倒潰シ行通ヲ遮斷シタリト。

右倒潰セシ家屋ハ大抵二十年位ヲ經過セシモノナリト新小
 梅町二番地十六號地先道路ニハ長サ約六間幅約三尺深サ約

三尺ノ大龜裂ヲ生ジタリト。

此ノ邊一般家屋ノ倒潰及傾斜方向ハ種々ナルモ大體ニ於テ
 北ノ方向多カリシト。

死者約百名。

- 一、本所向島警察署勤務西條巡查ハ震災當時向島須崎町巡查派出所ニ勤務シ居タリトテ次ノ如ク語ル。
庚申塚通(向島派出所ヨリ向島署ニ到ル道路)ノ兩側家屋ハ第一回ノ地震ニテ道路ヲ遮斷スル程度ニ突出シテ倒潰セリト以上倒潰家屋ガ多ク平家建ナリシト。
須崎町ハ戸數千八百五十戸アリテ内倒潰セルモノハ五十戸位ニシテ其他ハ半潰又ハ大破損ナリシト。
尙倒潰及傾斜方向ハ南北ノ方多カリシト。
壓死者十名負傷者十五名。

- 一、本所向島警察署勤務岡嶋守訓氏ハ次ノ如ク語ル。
業平橋ヨリ本所押上ニ到ル電車通ノ兩側家屋ハ所々ニ傾斜セシモノヲ出セシ位ニシテ道路ニ向ツテ倒潰セルモノヲ認メザリシト。
尙電車通背後ノ町ニテ倒潰セシ家屋ハ何レモ古キモノニシテ命數ツキタルモノナリト。
壓死者六名負傷者十名。

(深川區)

- 一、深川區洲崎町三番地河村乙次郎氏ノ談。
辨天橋通曲折八軒ノ内六戸長屋同四番地三戸道路ニ倒潰シ且ツ道路地割三個所ニ生ジ荷車一輛沒落セリト又辨天境内

ニ地割ヲ生ジ湧水高サ一丈ニ及ビタリト。

- 一、同區平久町二丁目二番地奥村健次郎氏ノ談。
平久町通五番地二階建二戸長屋二棟道路ニ倒潰セリ。又半潰セルモノ一棟概シテ此附近被害僅少ナリシト。
- 一、同區平久町一丁目三番地石橋丹作氏ノ談。
平久町大通リ倒潰セシ家屋ナキモ多少ノ傾斜ヲ認メタリト
- 一、同區平久町一丁目五番地福田錄郎氏ノ談。
平久町一丁目五番地附近二階家二棟倒潰セリト又鹽濱町附近新築間モナキ家屋三棟半潰セシト此ノ附近地割甚シカリシト。
- 一、同區鹽濱町十一番地内田鹿之助氏ノ談。
附近概シテ新築家屋多ク二階家ニシテ階下ノ潰レタルモノ多ク全潰セシモノ三戸アリシト。
- 一、同區平久町二丁目八番地北川彌太郎氏ノ談。
平久町二丁目八番地二階家垂直ニ潰ル(竣工ニ近キ家屋)九番地八番地通大傾斜甚シカリシト。
- 一、同區辨天町一丁目七番地萩原喜太郎氏ノ談。
附近二階家三棟道路ニ面シ大傾斜セシノミナリト。
- 一、同區辨天町一丁目十六番地織谷寅次郎氏ノ談。
同十五、十六番地通ニハ道路ニ倒潰セシ家屋ヲ認メズト。
- 一、同區辨天町二丁目十三番地佐藤マチ氏ノ談。

附近裏側ニ可ナリ全潰家屋ヲ出セシモ十三番地附近小路ニ於テ倒潰セル家屋ヲ認メズト。

一、同區辨天町一丁目十六番地宮本文吉氏ノ談。

附近道路等ニ倒潰セル家屋及傾斜セルモノヲ認メザリシト

一、同區辨天町二丁目十四地番高木一太郎氏ノ談。

十四、十五番地通二階建二棟隅角ニ一棟道路ニ倒潰セリト

附近可ナリ道路ニ面シ傾斜シタリト。

一、同區辨天町二丁目十四番地山中定雄氏ノ談。

三階建一棟道路ニ面シ全潰ス概シテ此ノ附近ハ多ク大傾斜

位ノ程度ナリシト又十四、十五通五戸長屋道路ニ面シ大傾

斜セリト。

一、同區辨天町二丁目十一番地佐藤三二郎氏ノ談。

附近全潰セシモノ多ク(九、十、十一番地)五六番地附近ニ

アリテハ道路ニ倒潰セシモ大ナル困難ヲ感ゼザリシト。

一、同區辨天町交番巡査越川新助氏ノ談。

辨天町十一番地家屋前面道路ニ倒潰シテ通行不能ナリシト

又同十四番地同一丁目八番地附近道路ニ四、五棟倒潰セリ

ト同一丁目十七番地附近全潰セシモノ三戸位ニシテ半潰セ

シモノ殆ド認メズト辨天町二丁目五番地同六番地ノ如キハ

地割及沈下甚シカリシト。

一、同區入舟町四番地津村とく氏ノ談。

入舟町三同二番地附近ハ多ク全潰家屋ヲ出シタルモ入舟町一般ヨリ云ヘバ被害ハ概シテ輕微ナリシト。

一、同區入舟町二番地田邊伸氏談。

入舟町二、三番地小路二十棟位倒潰シ通行全ク杜絶シ避難

ニ際シ困難ヲ感ジタリト附近傾斜セシモノ可ナリ多ク認メ

タリト。

一、同區入舟町七番地松井德三郎氏ノ談。

入舟町一番地前面電車通ニハ可ナリノ傾斜ヲ認メタリト。

該建築物ハ大抵三、四十年ヲ經過セシ家屋ナリシト。

一、同區島田町七番地龜山旌一氏ノ談。

同番地附近ニハ多ク傾斜セシ家屋ヲ認メタリト。

一、同區數屋町三十六番地渡邊喜三郎氏ノ談。

糧秣廠ニ避難ノ附近ニ倒潰家屋ヲ認メザリシモ傾斜ハ可ナ

リ認メタリト。

一、同區門前東仲町二十六番地丹波重藏氏ノ談。

數矢二十八、門前中町二十六通ニ於テハ道路ニ面シテ家屋

傾斜セシノミト尙數矢裏通ニ半潰セシモノ四棟アリシト。

一、同區門前東仲町四番地佐藤由太郎氏ノ談、

附近ノ被害ハ概シテ屋根瓦脱落壁ノ龜裂位ノ程度ニシテ大

通ニハ家屋ノ倒潰ヲ認メザリシト。

一、同區門前東仲町九番地清水清之助氏ノ談。

同十二番地附近ニハ全潰家屋六棟ヲ出シ同九番地附近ニハ傾斜家屋ハ多カリシモ倒潰家屋ハ認メザリシト。

一、同區門前東仲町十四番地漆原彦次郎氏ノ談。

同番地家屋ハ殆ンド倒潰シ電車通ニアリテハ三棟道路ニ倒潰セリト。

一、同區同町十五番地壺井文子氏ノ談。

裏町通全潰半潰多カリシト。

一、同區富岡門前町交番警官松本清二氏ノ談。

東門前仲町十四、十五番地家屋ハ殆ンド全潰半潰セシト。

富岡門前町三、四番地裏通ハ全潰半潰ノ家屋多カリシト。

一、同區富岡門前町十二番地山下長衛門氏ノ談。

附近小路ニ家屋倒潰シ爲ニ交通全ク杜絶シ尙傾斜家屋ハ第二震ニヨリテ其度ヲ増大セリト。

越中島二―四番地ハ糧秣廠構内ニテ倒潰セシ家屋ナク前面電車通ニ沿ヒテ教員官舎アレドモ被害ナカリシト。

一、同區越中島一番地長崎伊勢吉氏ノ談。

越中島大通ノ二階建八戸長屋一棟道路ニ倒潰セリト。

越中島六番地ニテハ二階建二棟道路ニ向ツテ倒潰セリト。

(前者ハ古キ建築物ナリシト)

一、同區古石場町十三番地櫻井巳之助氏ノ談。

同地附近小路ニ面シ多ク倒潰シ爲メニ交通全ク杜絶シ屋

根上ヲ通ジテ避難セリト此邊ハ概シテ古キ二階家多カリシト。

一、同區古石場町十二番地茂木伊之助氏ノ談。

古石場町十二番地通二階家二棟垂直ニ潰レタリト。

一、同區古石場町十二番地鈴木周作氏ノ談。

同地附近新築間モナキ二階建四戸長屋三棟小路ニ向ツテ倒潰セリト尙此邊ハ一般ニ家屋傾斜甚シカリシト。

一、同區平富町一丁目十九番地吉田末松氏ノ談。

十九番地二階建五戸長屋同六戸長屋何レモ道路ニ倒潰シ通行不能トナリシト。

一、同區平富町十六番地黒澤松之助氏ノ談。

附近四戸長屋一棟道路ニ倒潰シ通行不能ナリシト。

一、同區古石場町十五番地村山彦作氏ノ談。

附近ニ傾斜家屋多ク全潰家屋二戸ヲ出セリト。

一、同區古石場町十五番地笹生鐵藏氏ノ談。

二階建四戸長屋一棟道路ニ倒潰シ蓬萊橋ニ到ル道路兩側ヨリ家屋倒潰シ交通全ク杜絶セリト尙此ノ附近ニハ傾斜家屋モ甚ダ多カリシト。

一、同區佃町一番地内山清太郎氏ノ談。

二階建四戸長屋裏屋六戸長屋一棟倒潰セリ概シテ古キ家屋ナリシト。

平富町一丁目一番地石場通家屋倒潰シ爲ニ交通全ク杜絶セリ此ノ附近傾斜家屋多カリシト。

一、同區牡丹町一番地大垣源藏氏ノ談。

牡丹町一番地附近殆ンド全潰シ半潰モ又少カラズ何レモ河岸縁及道路ニ倒潰或ハ傾斜シ前面倉庫倒潰シ道路二尺ヲ辛ジテ通行シ得ルノミニシテ非常ニ困難ヲ感ジタリト。

一、同區牡丹町一番地伊藤彌市氏ノ談。

牡丹町一番地前面道路ニ倒潰シ或ハ大傾斜セリ道路ノ如キ幅三尺ヲ餘スノミニシテ一時避難ニ混雜ヲ極メタリ此ノ附近概シテ古家多ク亦根繼ヲナセシ家屋多カリシト。

一、同區大島町七番地石井藤太郎氏ノ談。

蛤町大島町河岸大通ニ一棟平家(古家)垂直ニ潰レシモノノミナリト。

一、同區蛤町四番地吉岡岩吉氏ノ談。

同番地附近ニ倒潰セシ家屋ヲ認メザルモ傾斜家屋ハ可ナリ多カリシト。

一、同區蛤町一丁目二番地橋本政吉氏ノ談。

附近ニ倒潰セシ家屋ヲ認メズト。

一、同區大島町七番地鹿島政吉氏ノ談。

附近全潰セル家屋ヲ認メズ只壁ノ破損ニ止マルノミニシテ大島町方面ニ避難ノ際道路ニ平家一棟倒潰セルヲ認メタル

ノミト。

一、同區大島町五番地杉山喜吉氏ノ談。

大島町河岸ニ一戸道路ニ平行ニ倒潰セリト。

一、同區大島町一番地津田音吉氏ノ談。

附近通ニ倒潰セシ家屋ナカリシモ道路ニ向ヒ或ハ之ト平行ニ傾斜セルモノ多カリシト。

一、同區材木町十三番地坂本政吉氏ノ談。

同町十二番地二階建六戸長屋一棟二階建二棟道路ニ反對ニ倒潰セリト。

一、同區大住町九番地鈴木國太郎氏ノ談。

同地前面道路二棟(二階建)倒潰セリ。
裏側九戸長屋一棟四戸長屋一棟七戸長屋一棟平家二戸長屋(平家)一棟何レモ全潰セリト。

以上ハ古家ニシテ約二十三年前根繼セシモノナリト。

一、同區石島町交番警官檜垣長雄氏ノ談。

石島町五十一番地全部平家ニシテ特殊部落ノ稱アリ可ナリ古家ニシテ土臺等腐朽セシモノ多ク殆ド全潰シ死傷者十八名ヲ出セシト。

石島町三番地附近ニ二階家道路ニ倒潰セルモノ十棟アリシト。

一、同區東扇橋町九番地野村福太郎氏ノ談。

附近平家八戸長屋一棟道路ニ倒潰セリト。

一、同區石島町二百六十二番地鈴木菊太郎氏ノ談。

同二百四十二番地附近道路ニ反シ二棟(二階)倒潰シ二百六十二番地裏側ニ倒潰セシ家屋ナシト。

一、同區石島町二百十番地稻葉勝太郎氏ノ談。

同町二百四十八番地二階建階下垂直ニ倒潰シ附近可ナリ傾斜ヲ認メタリト前者ハ建築後四年ヲ經過セル大神樂造ナリシト

一、同區千田町百七十番地長政吉氏ノ談。

四戸建長屋(二階)一棟垂直ニ潰レ附近家屋道路ニ面シ家屋傾斜セリト。

一、同區千田町百六十七番地伊面龍三郎氏ノ談。

附近平家一棟倒潰シ二百七十五、百六十二番地大通ノ家屋西側道路ニ倒潰シ交通全ク杜絶シ屋上ヲ過リテ避難セシト

一、同區千田町交番巡查田中吾作氏ノ談。

千田町二百七十六、百五十六番地通兩側ヨリ道路ヲ挟ミ家屋倒潰セシモノヲ認メズ傾斜セシモノ可ナリ多カリシト。

一、同區千田町百八十一番地石崎兵次氏ノ談。

同所東扇橋通二階家四棟道路ニ倒潰セリト。
右ハ何レモ四五年前ニ建築セシモノナリト。

一、同區東扇橋町二十九番地木伏春藏氏ノ談。

東扇橋町二十九番地通傾斜セル家屋多カリシト。

一、同區本村町七十七番地小宮孫七氏ノ談。

附近二階建三棟道路ニ竝行シテ倒潰セリト。
一、同區猿江町百三番地杉浦萬之助氏ノ談。

附近倒潰セシ家屋ヲ認メズト。

一、同區猿江町百二石井陸之助氏ノ談。

同番地平家建六戸長屋二棟道路ニ倒潰セリト。

一、同區安宅町一番地長田利吉氏ノ談。

附近多少傾斜家屋ヲ認メタルモ全潰半潰ノ家屋ナカリシト

一、同區御舟藏前町一番地相原市三郎氏ノ談。

十戸長屋(二階建)道路ニ倒潰セリト。

一、同町同番地加納六次郎氏ノ談。

二階建八戸長屋及二階一戸建三棟(何レモ古キ家屋)道路ニ倒潰セリト。

一、同町十五番地高柳奧藏氏ノ談。

裏側平家建六、七棟倒潰セリト。

一、同町四十八番地西村音藏氏ノ談。

二戸長屋二棟一戸建二階家一棟道路ニ倒潰シ屋上ヲ經テ避難セシト尙附近ニハ傾斜家屋多カリシト。

一、同町三十二番地宮島榮次氏ノ談。

附近ニ六戸長屋一棟(二階建)ニシテ根繼セシモノ(前面道路

一、倒潰セリト尙同町三十九番地附近ニハ倒潰セシモノナカリキト。

一、同區東六間堀町二十九番地佐藤ゆめ氏ノ談。

同地電車通ニハ倒潰家屋ヲ認メザリシト。

一、同町同番地小林元八氏ノ談。

同所小路ニ土藏崩潰シ屋上ヲ經テ避難セリト。

尙此ノ附近ニ新築家屋(平家)二棟倒潰セリト。

此ノ邊ニハ地震ト同時ニ火災起リ非常ニ混雜ヲ呈シタリト

一、同町二十八番地小林忠兵衛氏ノ談。

同地附近概シテ平家建古家多カリシ爲第一震ニテ殆ド倒潰

シ各小路ノ通行不能トナリ屋上ヲ經テ避難セシト。

一、同町二十六番地山本龜吉氏ノ談。

同地ニハ平家建(古家)十三棟小路ニ倒潰セリト。

河岸通ニハ二棟道路ニ倒潰シ道路幅約二尺ヲ餘スノミナリ

シト。

一、同町十一番地松浦清吉氏ノ談。

附近ニハ小路ニ傾斜セルモノ多ク河岸通ニハ五棟(二階家)

道路ニ面シテ倒潰セリト。

一、同町一番地本橋俊爾氏ノ談。

大通ニ向ツテ一棟(二階家)倒潰セシノミト。

一、同町森下町六十七番地福田龍次郎氏ノ談。

同町一、二番地附近ハ概シテ大傾斜ノ家屋モ少ク倒潰家屋ハ認メラレザリシト。

一、同町五十二番地岡田信次郎氏ノ談。

六尺長屋一棟道路ニ倒潰シ裏口ヨリ避難セシト。

同五十三、百七番地通ニ六尺長屋一棟道路ニ向ツテ倒潰シ

タリト。

一、同町六十一番地佐藤福太郎氏ノ談。

同地四戸建長屋(一階建)ニシテ根繼ギセシモノ(倒潰セリト

裏側ニ六棟位倒潰シ附近ニ傾斜家屋三棟位認メタリト。

一、同町三十三番地久保田圭次氏ノ談。

附近ニ倒潰家屋ヲ認メザリシト。

一、同區富川町三十一番地山田留吉氏ノ談。

附近濕地ニシテ三十二、三十一番地通二階家倒潰ス。

三十一番地通ノ如キハ片側道路ニ倒潰シ通行不能ナリシト

一、同町七番地山崎廣輔氏ノ談。

同地二階建五戸長屋一棟道路ニ向ツテ倒潰セリト。

一、同區東元町十四番地古川七之助氏ノ談。

富川町三番地小路ニ古キ二階家三棟倒潰セリト。

一、同區富川町七番地村越久作氏ノ談。

同町十三、七番地ニ通ズ家屋殆ンド傾斜シ殊ニ七番地ノ附

近ニハ古キ平家多ク倒潰セルヲ認メタリト。

一、此ノ邊ハ地盤軟弱ニシテ濕地ナリ。

一、同區富川町交番巡查松村秀輔。

七番地二階家平家殆ンド倒潰シ爲ニ通行不能ニシテ死傷多カリシト又同二十四、二十五番地ハ道路ニ平行シテ倒潰セルモノ三棟同八、五番地大通ニアリテハ道路ニ倒潰セルモノヲ多ク認メタリト。

一、同區西町三十四番地原芝九兵衛氏ノ談。

同町三十三、三十四番地通ニ一棟道路ニ倒潰セシノミ又三十二番地ニ於テハ古キ二階家二棟小路ニ向テ倒潰セリト。

一、同區菊川町二丁目七十七番地青木啓次郎氏ノ談。

西町三十九番地附近道路ニ傾斜セルモノ多ク甚シキハ道路中央迄倒潰セシモノアリシト。

右ハ建築後六、七年ヲ經過セルモノナリト。

一、同町四十三番地田口幸吉氏ノ談。

菊川町二丁目八十番地附近道路ニ平行シ倒潰シ同四十三番地附近ニ傾斜セシ家屋多カリシト。

此邊ニハ一般ニ古キ家屋多カリシト。

一、同町同番地齊藤治三郎氏ノ談。

同地附近概シテ大破損ノ程度ノモノ多ク四十二番地ニ三戸建長屋一棟ト道路ニ平行シ倒潰セリト。

一、同區扇橋町二丁目一番地廣田長藏氏ノ談。

一丁目附近河岸ニ倒潰セシ家屋ナカリシモ材木道路ニ倒シ通行不能トナリ川ニ避難セリト。

一、同區東大工町五十六番地檜山文吾氏ノ談。

紡績會社々宅平家建五戸長屋四十棟倒潰セリト此ノ附近ノ家屋傾斜甚シク又所ニ地割ヲ生ジタリト。

一、同區元加賀町二十二番地野崎由太郎氏ノ談。

同番地六番地通平家建三戸長屋二階建四戸長屋道路ニ倒潰セリト又十五番地大通ニハ半潰セシ家屋多カリシモ全潰家屋ハ認メザリシト。

一、同町四番地石川茂十郎氏ノ談。

同地二階建五戸長屋(新シキモノ)二戸長屋二棟道路ニ平行シテ倒潰セリト。

此ノ附近ノ家屋ハ殆ンド傾斜セザルモノナカリシト。

一、同町同番地木下市三郎氏ノ談。

同地附近家屋殆ンド全滅シ小路ハコトゴトク通行不能屋根ニ登リテ避難セリト。

此ノ邊ノ建築物ハ多ク三年位ヲ經過セシモノナリシト。

一、同町十五番地齊藤定八氏ノ談。

同地附近ハ多ク道路ニ平行シテ倒潰シ十八、六十二番地通ハ多ク道路ニ向ツテ倒潰セリト。

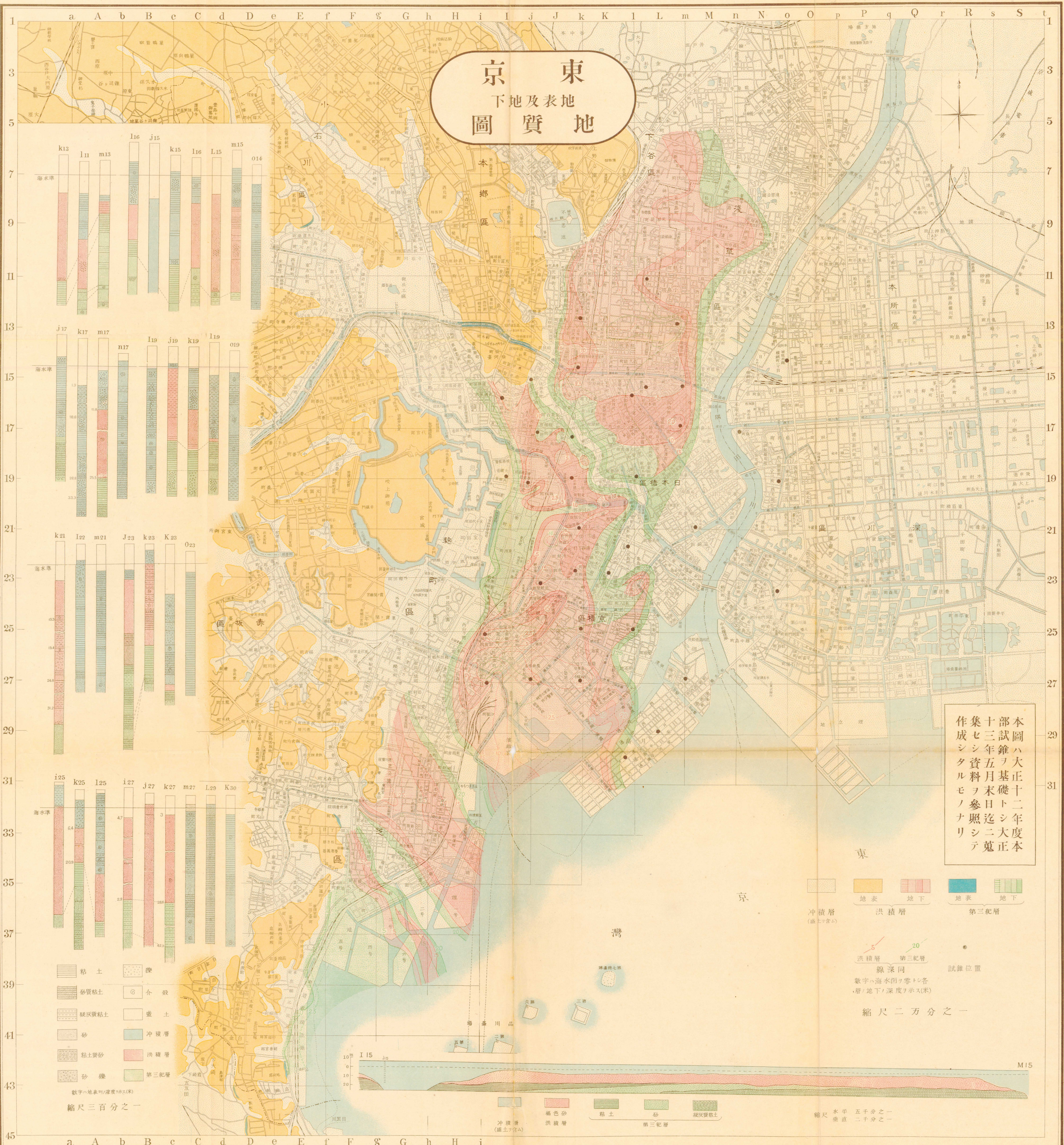
右ハ今ヨリ十八年位以前ニ地上ダセシ家屋或ハ神樂造ノモ

ノ多カリシト。

一、同區大工町六十一番地吉井久吉氏ノ談。

附近ノ煉瓦塀ノ倒潰ニヨリ家屋ノ倒潰ヲ誘致セシモノ少ナカラザリシト。

東京 下地及表地 圖質地



本圖ハ大正十二年度本部試錐ヲ基礎トシ大正十三年五月末日迄ニ蒐集シタル資料ヲ參照シテ作成シタルモノナリ

東
京
灣

沖積層 (盛土ヲ含ム)
洪積層
第三紀層

地表 地下
地表 地下

5 20
洪積層 第三紀層
線深同
數字ハ海面ヲ零トシ各層ノ地下ノ深度ヲ示ス(米)

縮尺二方分之一

粘土
砂質粘土
凝灰質粘土
砂
粘土質砂
砂礫

礫
介殼
盛土
沖積層
洪積層
第三紀層

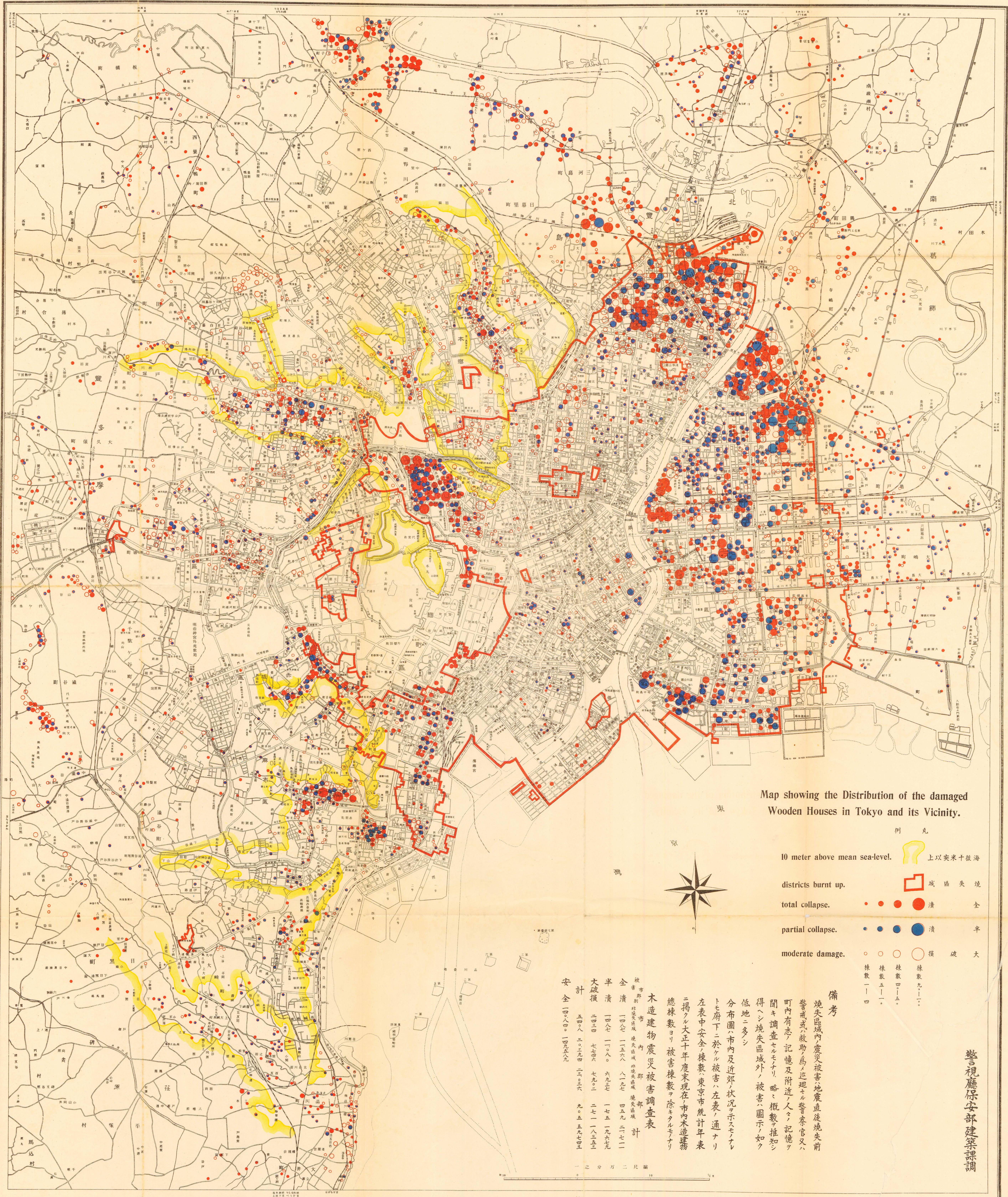
數字ハ地表ノ深度ヲ示ス(米)

縮尺三百分之一

沖積層 (盛土ヲ含ム)
褐色砂
洪積層
粘土
砂
凝灰質粘土

縮尺 水平 五千分之一
垂直 二千分之一

木建造物被害分布圖



Map showing the Distribution of the damaged Wooden Houses in Tokyo and its Vicinity.

- 例 凡
- 10 meter above mean sea-level. 上以英尺十拔海
 - districts burnt up. 焼失区域
 - total collapse. 潰全
 - partial collapse. 潰半
 - moderate damage. 損破大
- 棟数一〇四
棟数五十一
棟数四十五
棟数九十二

備考

焼失区域内震災被害地直後焼失前警戒或救助爲巡廻セル警官又町内有志ノ記憶及附近ノ人々ノ記憶ヲ聞キ調査セルモノリ、略々概數ヲ推知シ得ヘシ焼失区域外ノ被害ハ圖示ノ如ク低地ニ多シ

分布圖ハ市内及近郊ノ狀況ヲ示スモノナリトモ府下ニ於ケル被害ハ左表ノ通ナリ左表中安全ノ棟數、東京市統計年表ニ掲クル大正十年度末現在ノ市内木造建物總棟數ヨリ被害棟數ヲ除キタルモノナリ

木造建物震災被害調査表

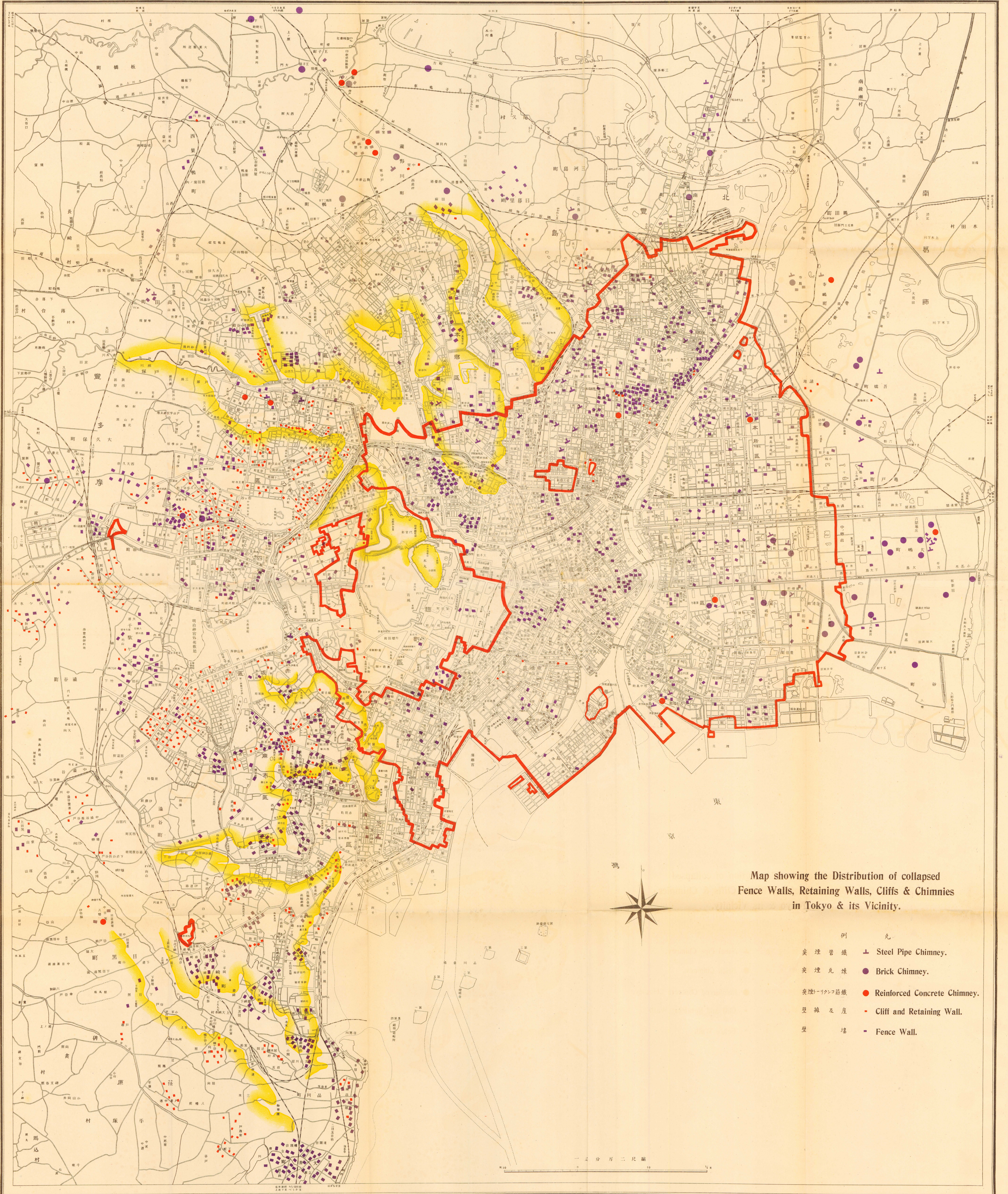
被害別	市内	近郊	計
全潰	四〇七	一五八	五六五
半潰	一〇七	一八	一二五
大破損	二四三	七九	三二二
安全	五〇八	二〇三	七一
計	一四九	二〇三	二五二

安全一四九、二〇三、二五二

警視廳保安部建築課調

二之五分二尺縮

圖布分害被突煙及崖壁擁壁墻



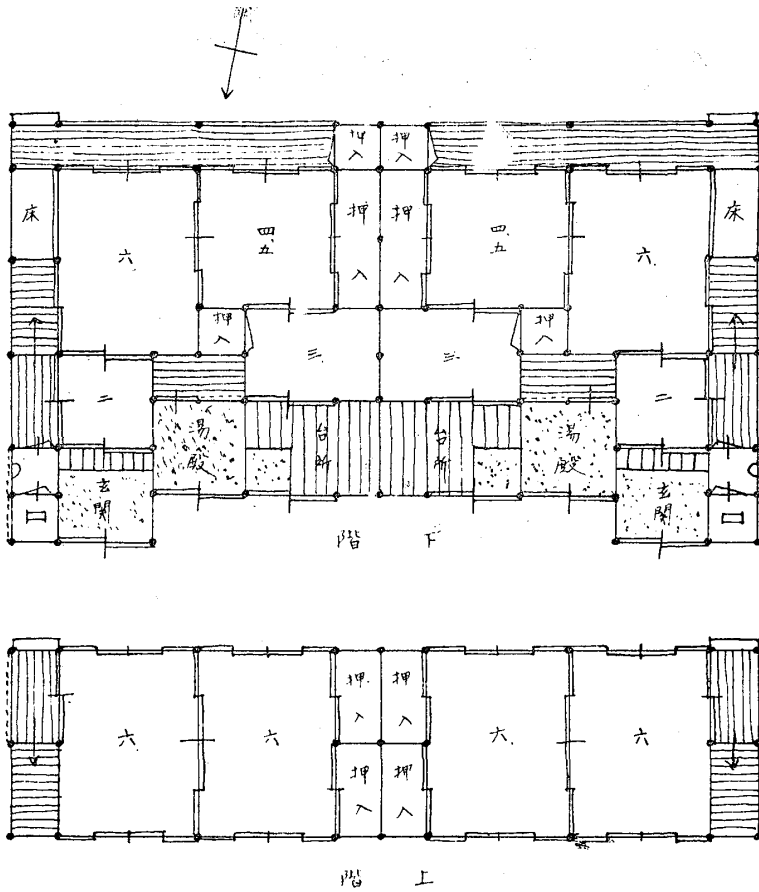
Map showing the Distribution of collapsed Fence Walls, Retaining Walls, Cliffs & Chimnies in Tokyo & its Vicinity.

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 突煙管鐵 | ▲ Steel Pipe Chimney. |
| 突煙瓦煉 | ● Brick Chimney. |
| 突煙一リツク筋鐵 | ● Reinforced Concrete Chimney. |
| 壁擁及崖 | ■ Cliff and Retaining Wall. |
| 壁墻 | ■ Fence Wall. |

一公分 二尺縮

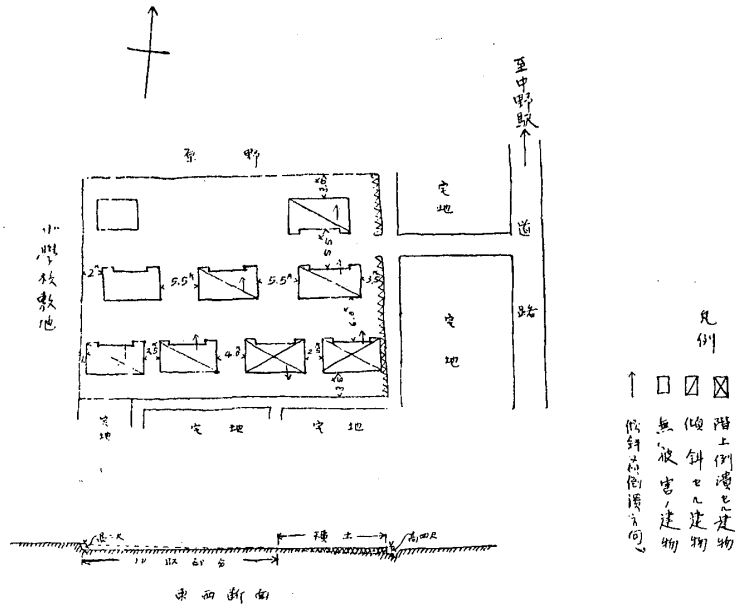
第一圖

府下中野町字中野三千五百番地
 屋根、方形造椽瓦葺
 軒高、十八尺五寸
 構造材、土臺檜三寸五分角柱杉三寸五分角胴
 差松五寸、四寸椽樞米松三寸、五寸
 基礎、大谷布石据
 八棟ノ内二棟ハ階上全潰シ五棟ハ北方ニ傾斜
 シ一棟ハ被青輕シ
 寫眞番號一五五、一五六、一五七、一五八



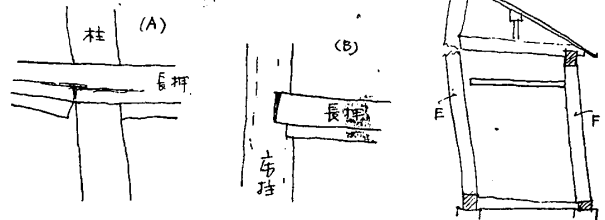
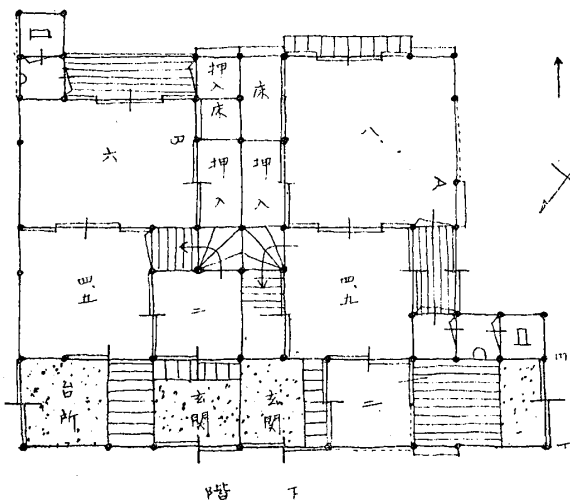
第一圖ノ二

府下中野三、五〇〇番地
 八千代生命保険株式會社宅配置圖



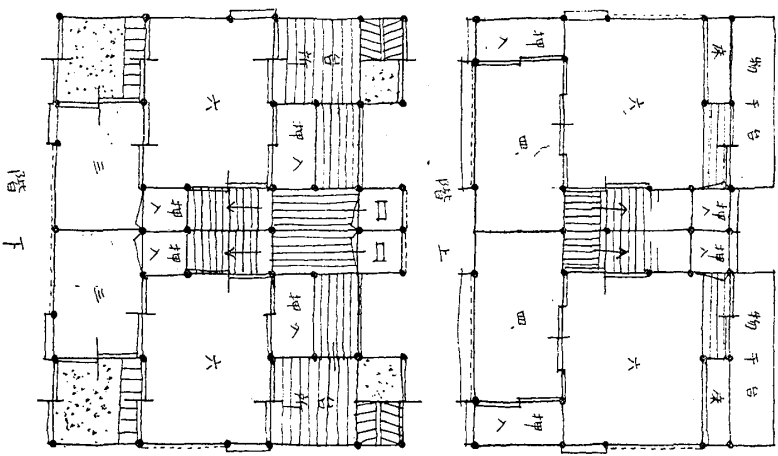
第二圖

赤坂區新町三丁目卅三番地
 屋根、方形造椽瓦葺
 構造材、土臺米松四寸五分
 角柱米松三寸五分
 角、地廻米松八寸、
 四寸二階梁米松八
 寸、四寸胴差米松
 六寸、四寸
 基礎、布石据
 階上全潰、屋根原形ヲ保ツ
 階下傾斜シ、(東南方ニ)内
 部壁落チ、長押折レ又ハ脱
 ケ出ス、下家(台所)ノ柱上
 部挫折ス
 寫眞番號五七、五八



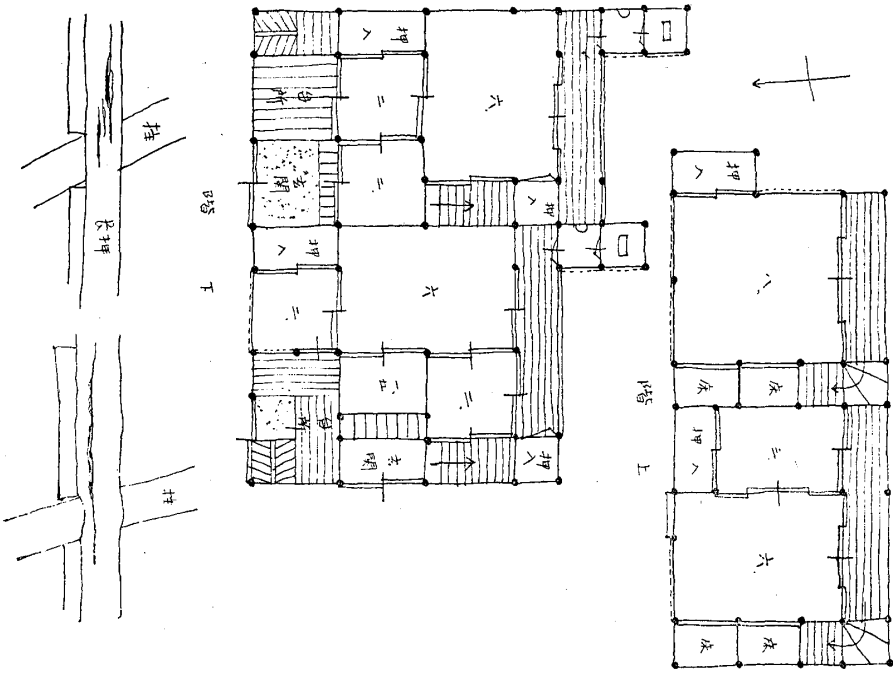
第三圖

麻布區森元町二丁目四番地
 屋根、切妻造機瓦葺
 軒高、十八尺
 構造材、土臺松四寸角柱杉三寸五分
 角
 基礎、沓石据
 階上北方ニ傾斜シ内部屋ノ剥落龜裂
 甚シ内法造作材ハ仕口何レモ分離ス
 寫眞番號三六



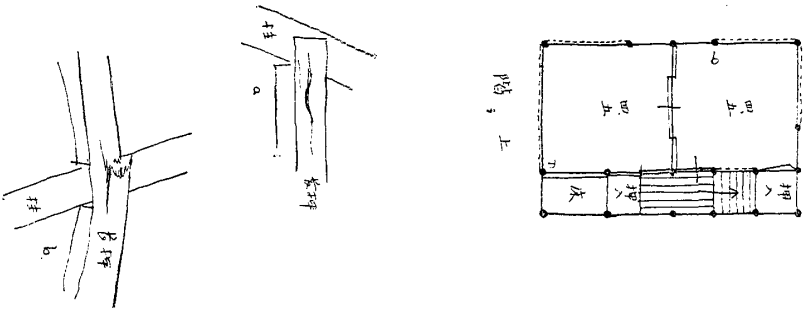
第四圖

麻布區森元町一丁目二七七
 番地
 屋根、方形造機瓦葺
 軒高、十八尺五寸
 構造材、柱三寸五分角柱繫
 三寸三分、四寸脚
 差三寸五分、六寸
 階上南方ニ傾斜ス
 内部長押ニ水平ノ裂傷アリ
 寫眞番號四一、四二



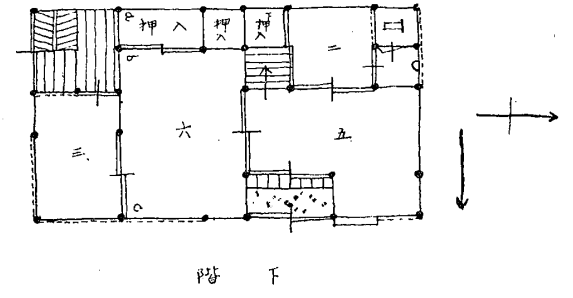
第五圖

赤坂區新町五丁目四番地
 屋根、方形造機瓦葺
 構造材、柱三寸五分有大神樂造
 階下潰シ階上地上ニ立ッ
 階上ハ長押外ニ長押據ル



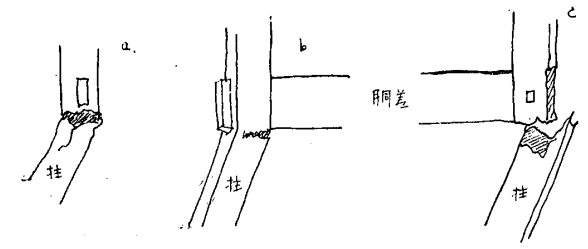
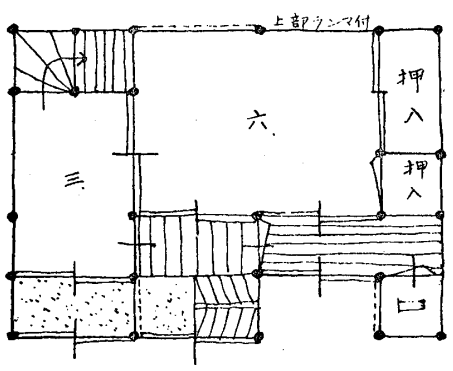
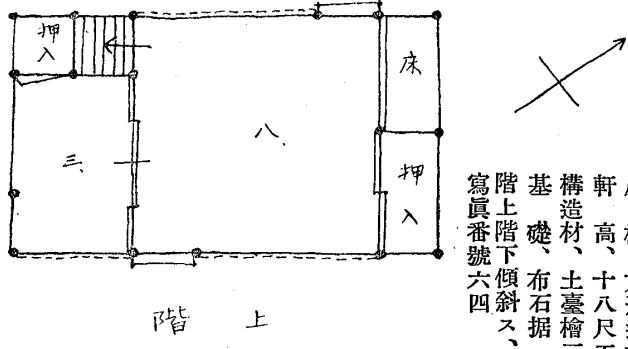
第六圖

麻布區新網町一丁目二十四番地
 屋根、方形造棧瓦葺
 軒高、十九尺
 構造材、土臺四寸角柱三寸五分角胴
 差六寸五分、三寸五分
 基礎、玉石掘
 階上階下共被害大ナリ階下傾斜ス柱
 ハ胴差トノ取合箇所ニテ挫折ス
 寫眞番號四四



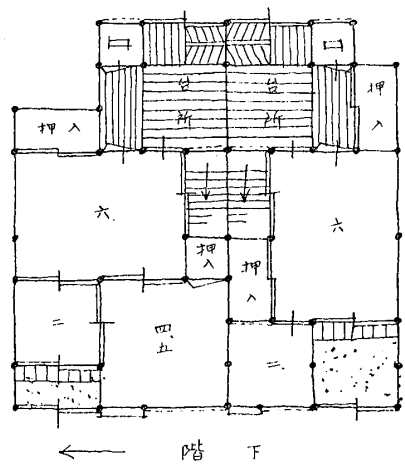
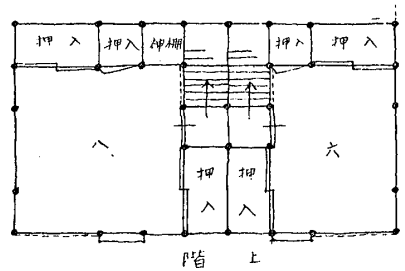
第八圖

赤坂區新町五丁目三十三番地
 屋根、方形造棧瓦葺(但シ南方ハ切妻造)
 軒高、十八尺五寸
 構造材、土臺檜三寸五分角柱米松三寸二分角
 基礎、布石掘
 階上階下傾斜ス、内部壁體龜裂ス
 寫眞番號六四



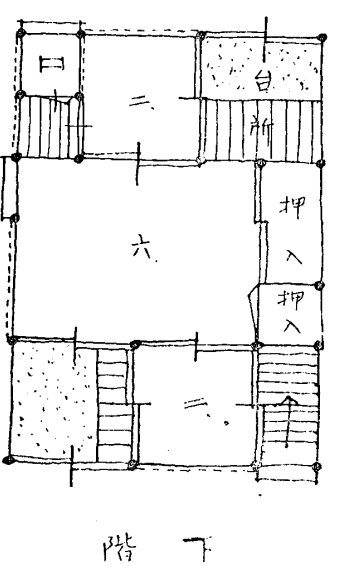
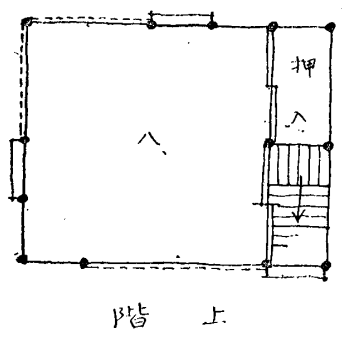
第七圖

黒岡區飯倉五丁目五十二番地
 屋根、切妻造棧瓦葺
 軒高、十七尺
 構造材、柱三寸五分角胴差三寸五分、七寸
 階下ノ傾斜甚シ柱ハ胴差トノ取合箇所ニテ挫折ス
 寫眞番號四三



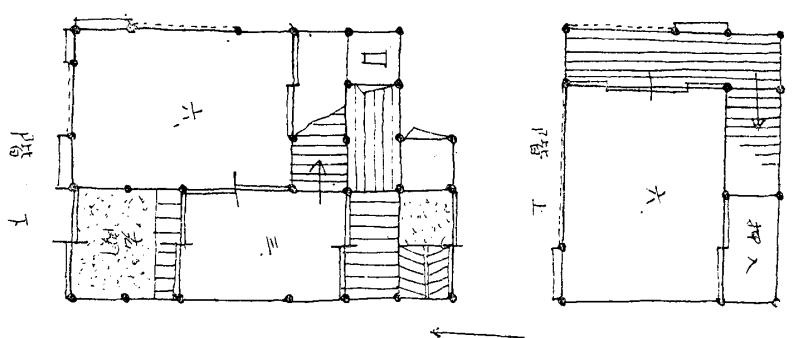
第九圖

赤坂區新町五丁目三十九番地
 屋根、方形造棧瓦葺
 軒高、十八尺五寸
 構造材、土臺松四寸角柱米松三寸二分角
 基礎、大谷石掘
 階上階下傾斜、内部壁體龜裂ス
 寫眞番號六一



第一〇圖

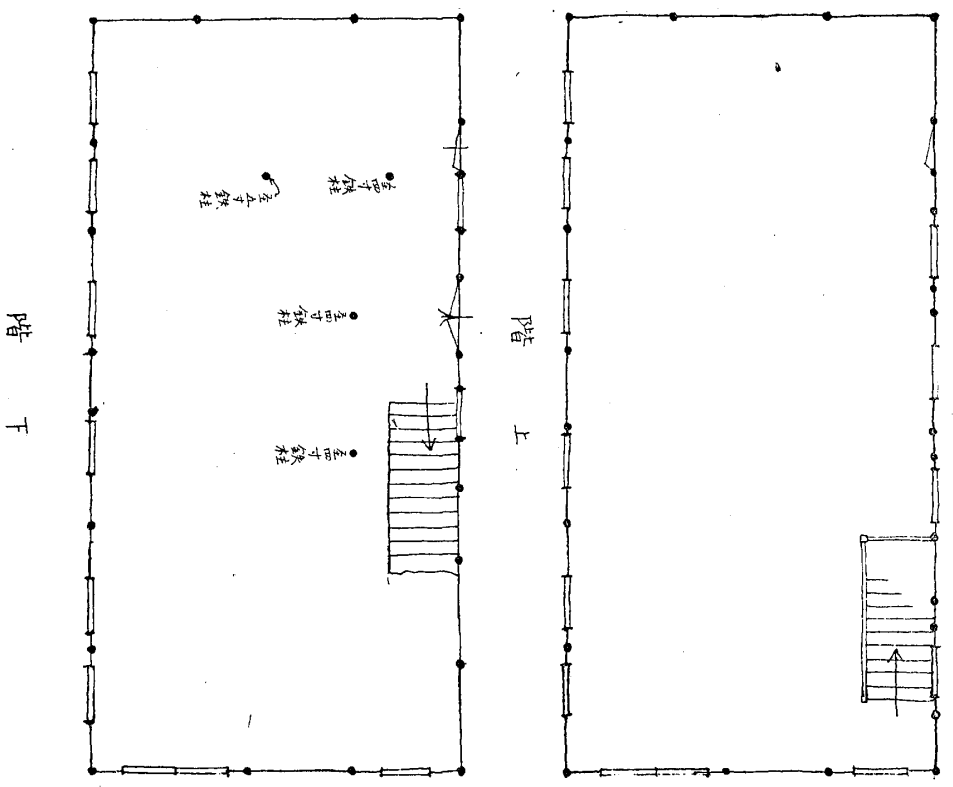
赤坂區新町五丁目四番地
 屋根、方形造棧瓦葺
 軒高、十八尺
 構造材、柱三寸五分角脚差三寸五分、四寸
 階上階下傾斜、寫眞番號六三



第一一圖

麴町區内幸町一丁目三番地

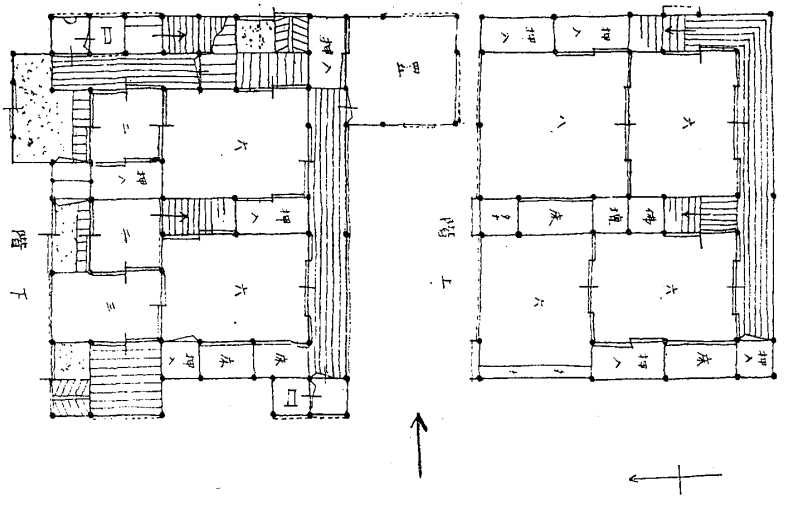
屋根、方形造棧瓦葺外部
 洋式下見板張内部
 木摺塗喰壁
 軒高、二十四尺
 構造材、柱五寸角脚柱二寸五分、四寸梁受四寸、八寸
 二階梁二尺三寸、五寸二階根木二寸、五寸
 基礎、腰石軟石
 二層積

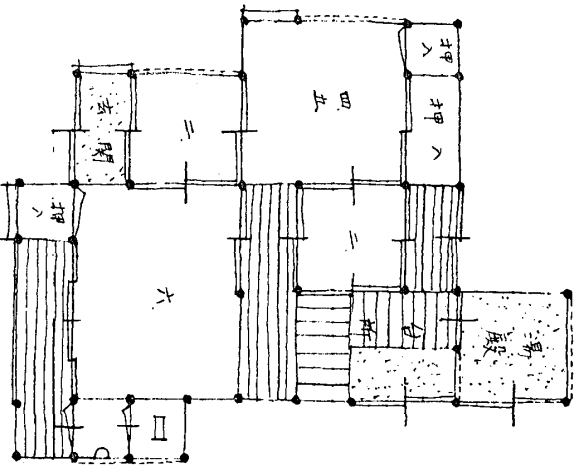
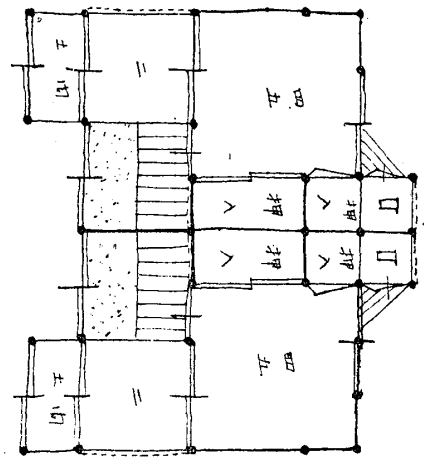
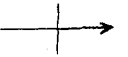


第一二圖

麻布區新網町一丁目四十九番地

屋根、入母屋造棧瓦葺
 軒高、十九尺
 構造材、柱三寸五分角脚差四寸、四寸五分土臺四寸五分角
 基礎、地盤ヨリ三尺五寸堀下分松丸大二寸敷並ニノ上臈燭石
 建テ布石据
 傾斜、屋内壁落テ椽桁落下
 寫眞番號三八





第一四圖

本郷區片町五番地
 屋根、切妻造檼瓦葺外部下見板張
 軒高、十尺五寸
 構造材、土臺押四寸角柱三寸四分角軒桁三寸五分角
 基礎、玉石据(割栗ナシ)
 大傾斜、柱下部腐朽セリ
 寫眞番號一一

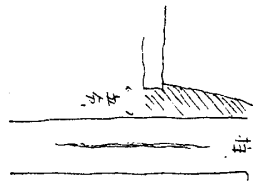
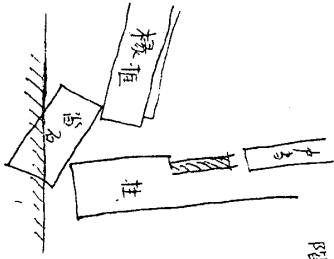
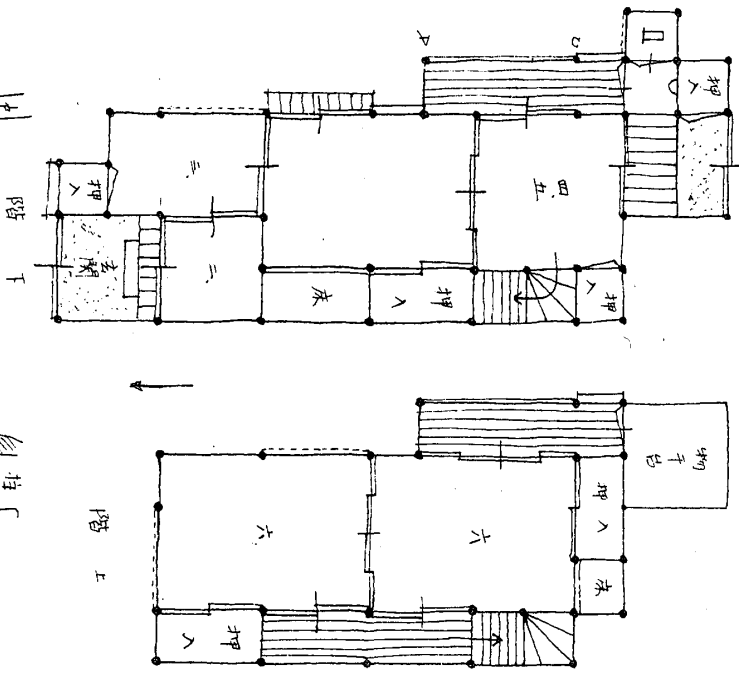
第一五圖

麻布區新網町一丁目三十六番地
 屋根、方形造平鐵板葺
 軒高、九尺五寸
 構造材、土臺檜四寸角柱杉三寸三分角
 基礎、布石据
 傾斜、内部壁體龜裂、剝落甚、各造作材ノ分離多シ
 寫眞番號三九、四〇

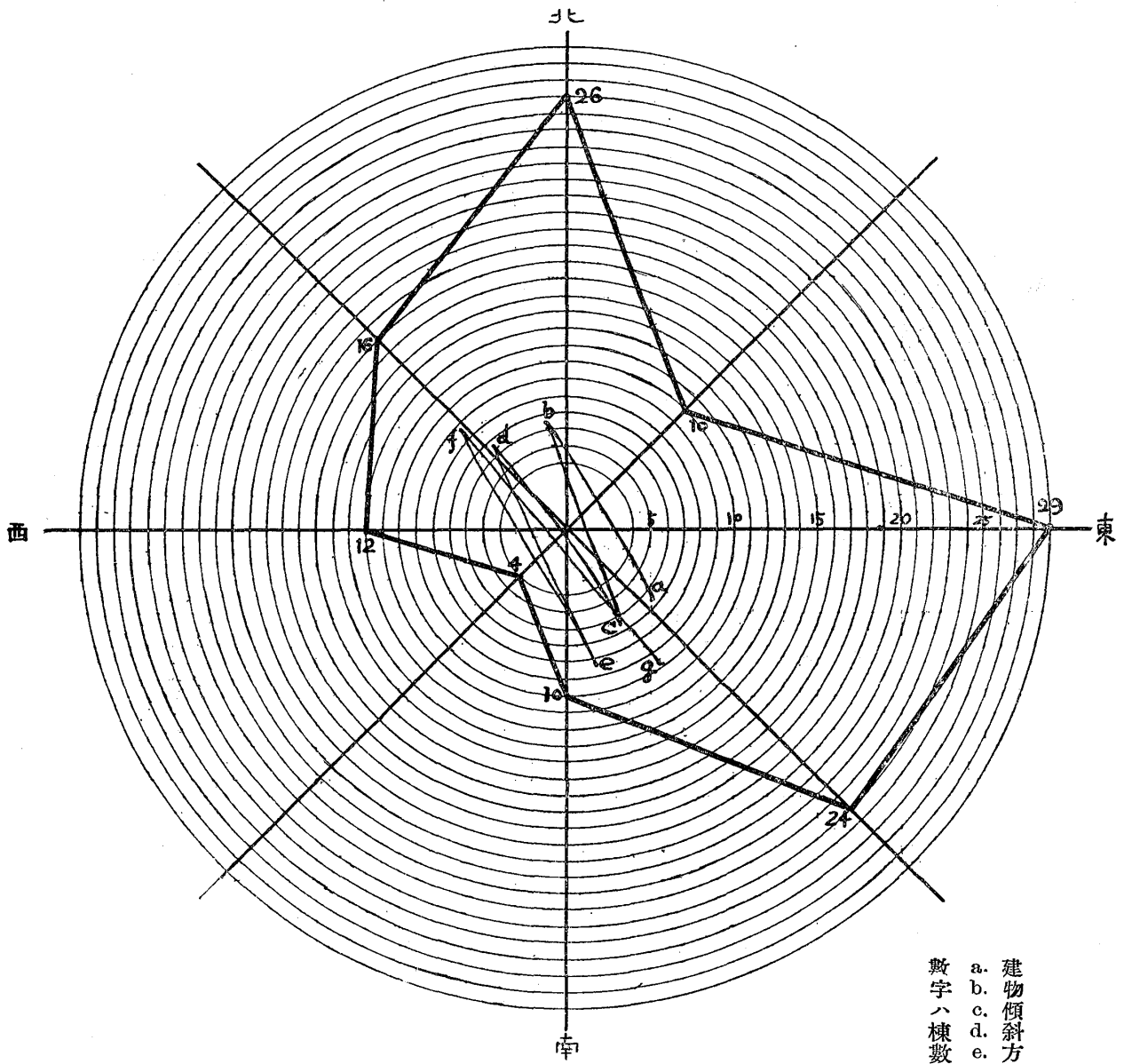
赤坂區新町三丁目三十三番地
 屋根、方形造檼瓦葺
 軒高、十九尺

構造材、土臺米松四寸角柱米松三寸二分角脚差米松六寸、三寸五分及七寸、三寸五分二階梁米松八寸、四寸地廻米松七寸、三寸五分
 基礎、壁體剝落シ、柱ニ裂傷アリ、沓石外レ、椽榫落ツ
 傾斜、壁體剝落シ、柱ニ裂傷アリ、沓石外レ、椽榫落ツ
 寫眞番號六〇

第一三圖



第一六圖



建物傾斜方向ノ圖
 a. b. c. d. e. f. g. h. 主要動ヲ示ス
 數字ハ棟數ヲ示ス

木 造 被 害 寫 真

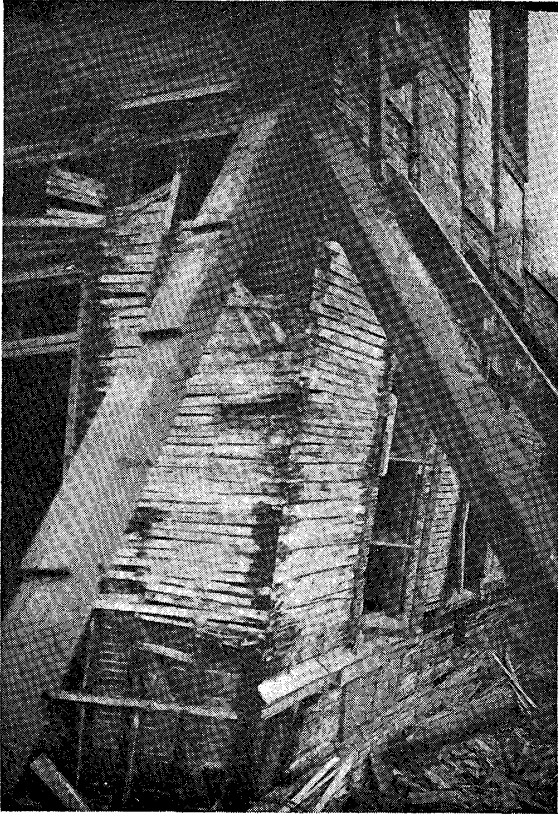
Effects of the Shock upon the Wooden Houses.

Nos. 1—127 relate to the City of Tokyo,

Nos. 128—195 to its Suburbs and,

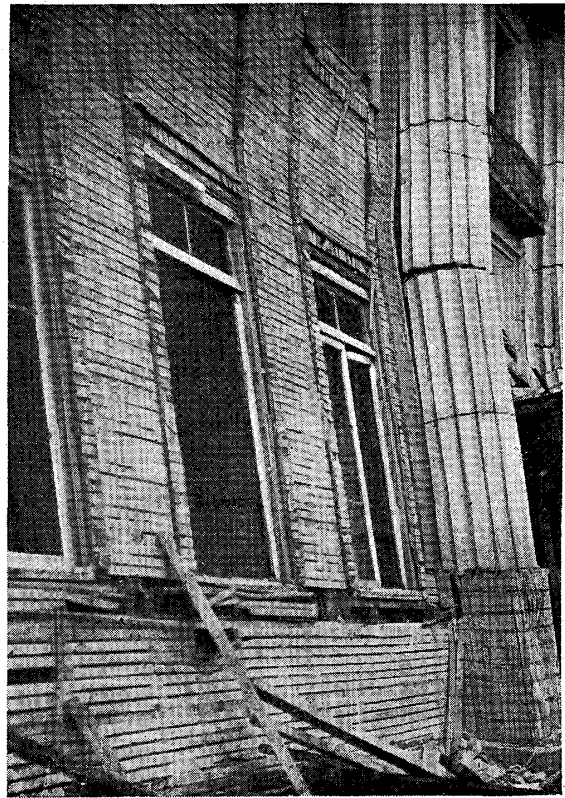
Nos. 196—203 to Kanagawa Prefecture.

No. 3



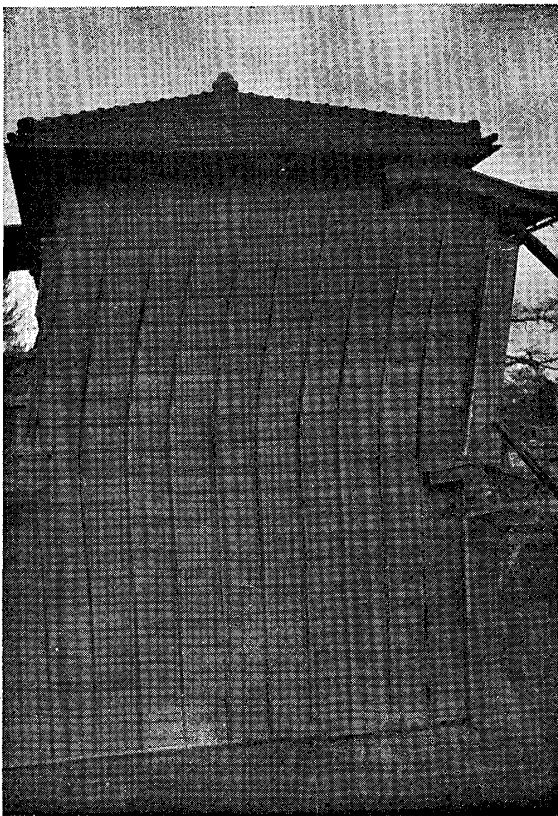
寫真第三
同右 隅柱腐朽ス

No. 1



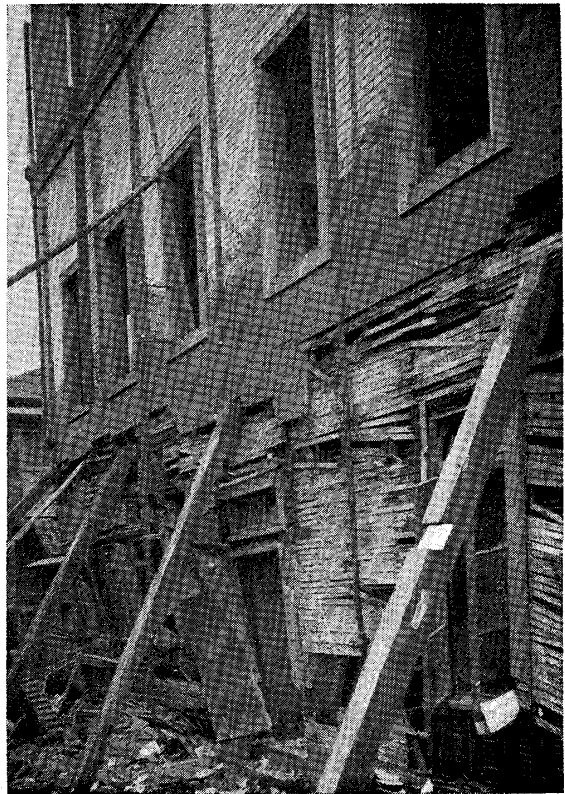
寫真第一
麴町區內山下町 日本産業協會
木造三階建傾斜及外壁剝落ノ狀況

No. 4

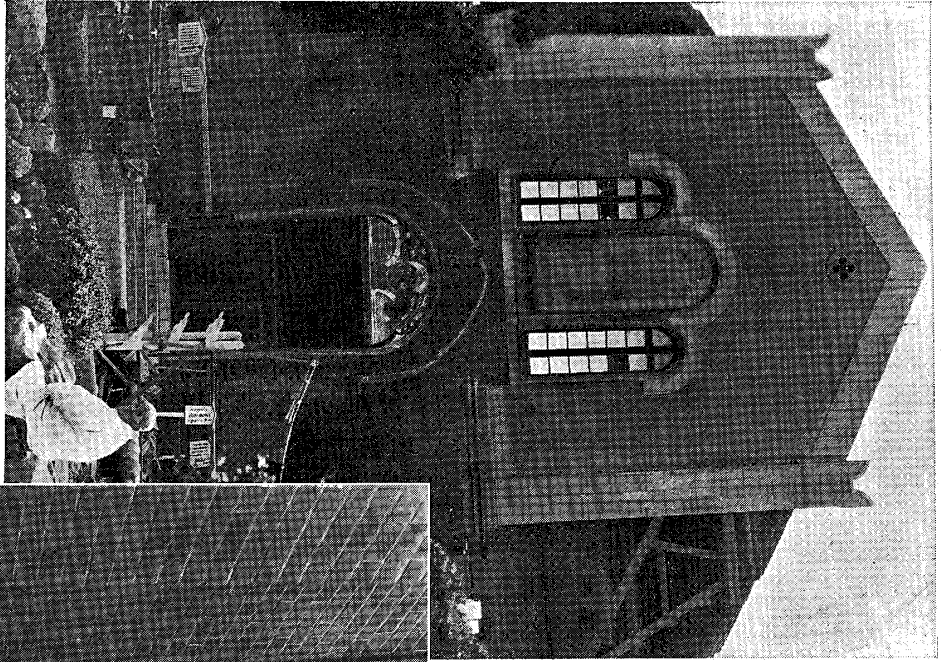


寫真第四
麴町區元衛町 中央氣象臺官舎
二階傾斜ノ狀況

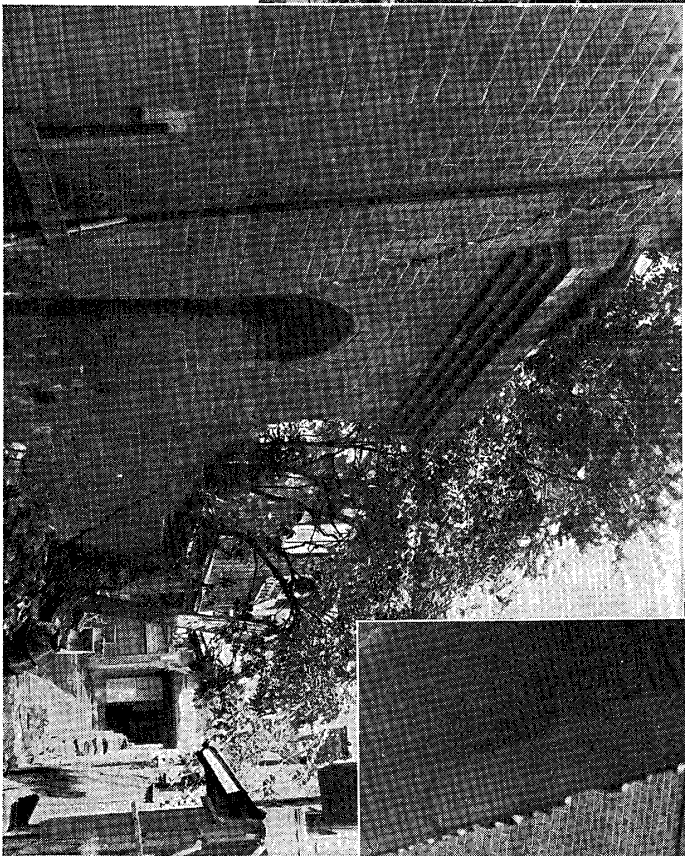
No. 2



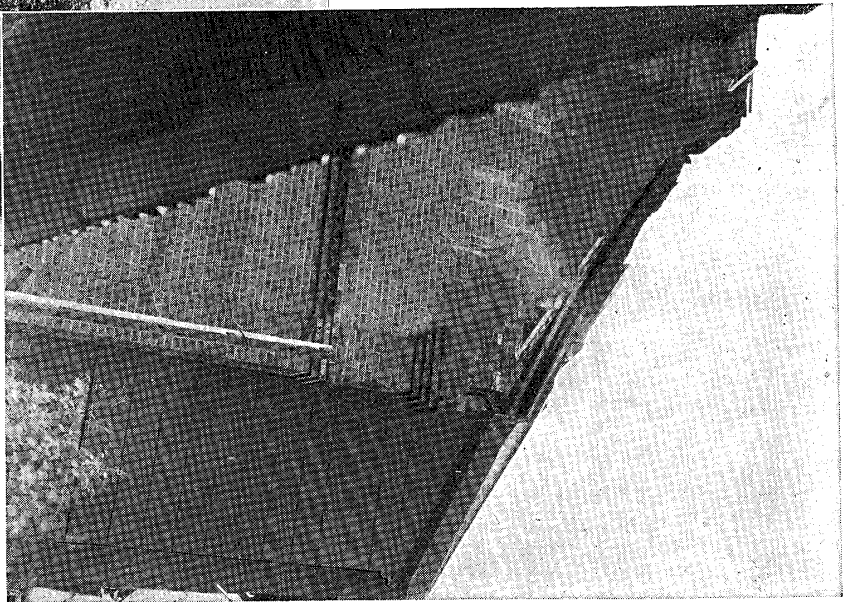
寫真第二
同上



寫真第七 九段塙國神社境内遊就館
裏側鐵筋コンクリート造ノ中央部ヲ殘
シテ兩側煉瓦壁ノ部分崩壞セラルヲ示ス
No. 6

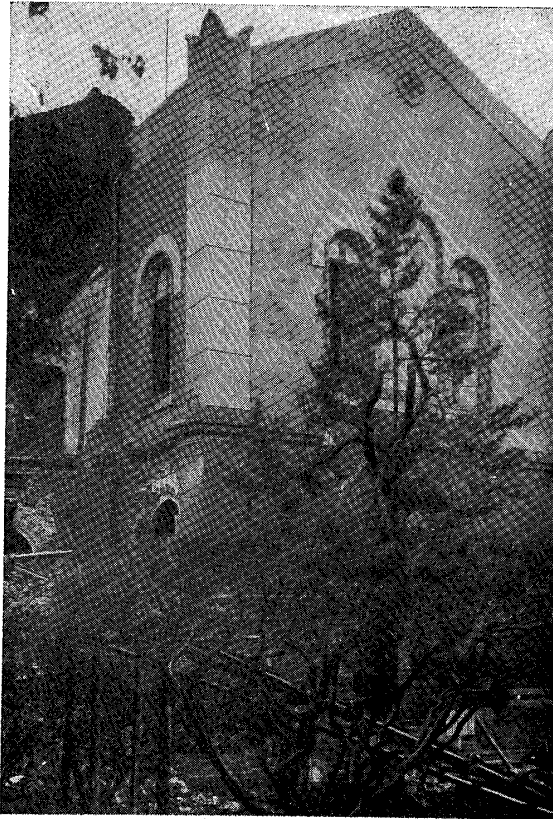


寫真第六 九段坂野々宮寫真館煉瓦
一、煉瓦造ニシテ高サ約一丈厚サ二枚半
一、東側鑄路ニ向ツテ崩壞セラルヲ示ス



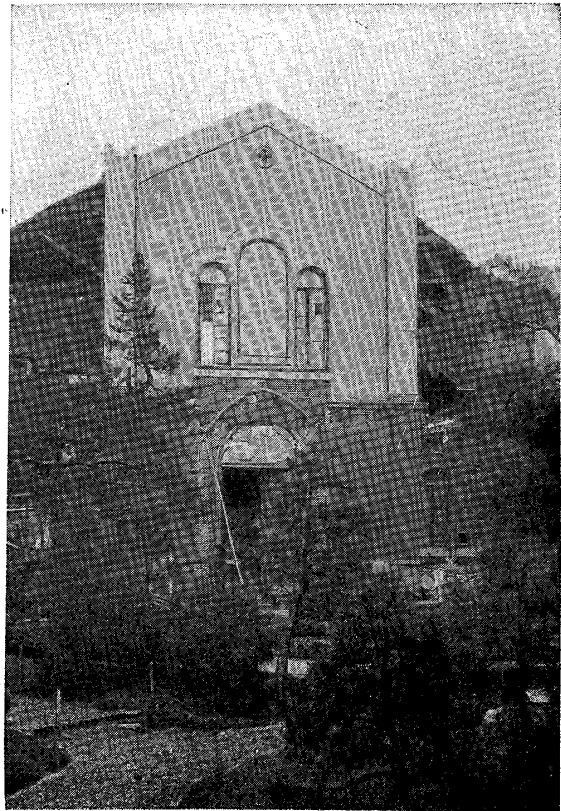
寫真第五 九段坂野々宮寫真館 二階建木骨煉瓦造
東側切妻壁體上部ノ被害ヲ示ス

No. 9



寫眞第九
同上

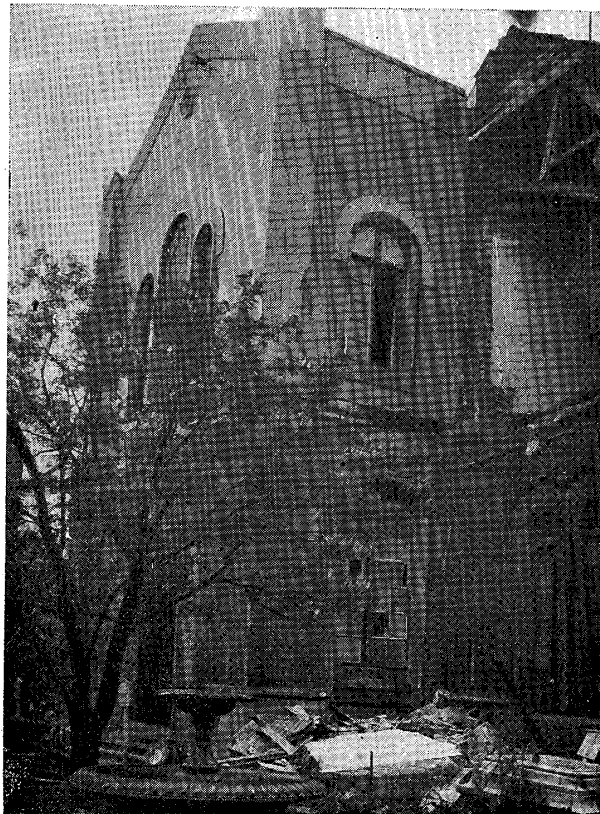
No. 8



寫眞第八
九段靖國神社境内遊就館

裏側鐵筋「コンクリート」造
ノ中央部ヲ殘シテ兩側煉瓦
壁ノ部分崩壞セルヲ示ス

No. 10

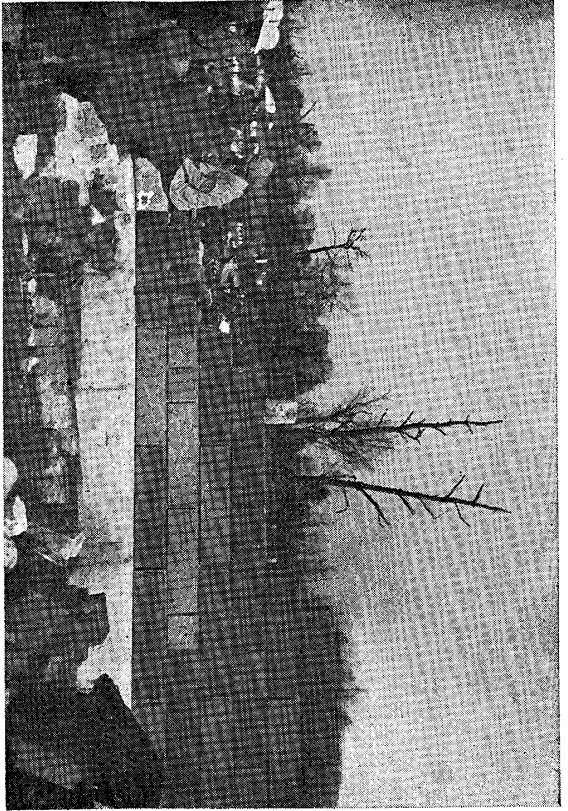


寫眞第一〇
九段遊就館
外壁崩壞ノ狀況

No. 11



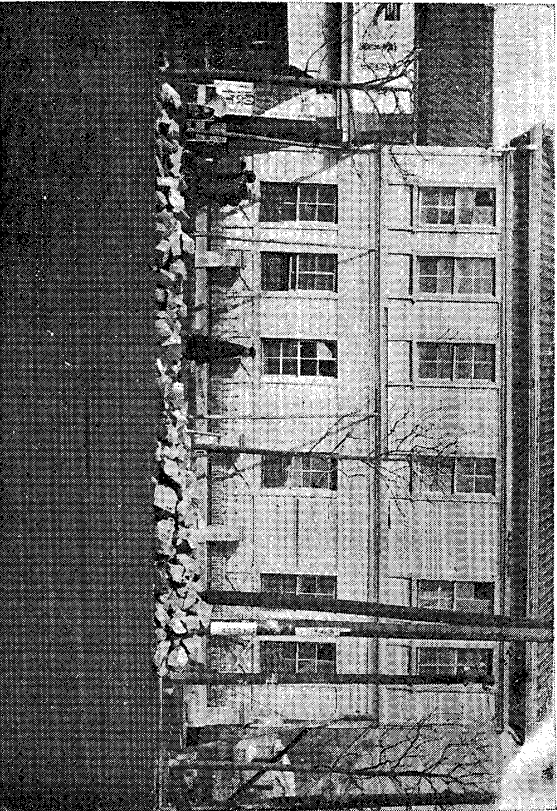
寫眞第一一
麴町區五番町英國大使館
煉瓦塙壁崩壞ノ狀況



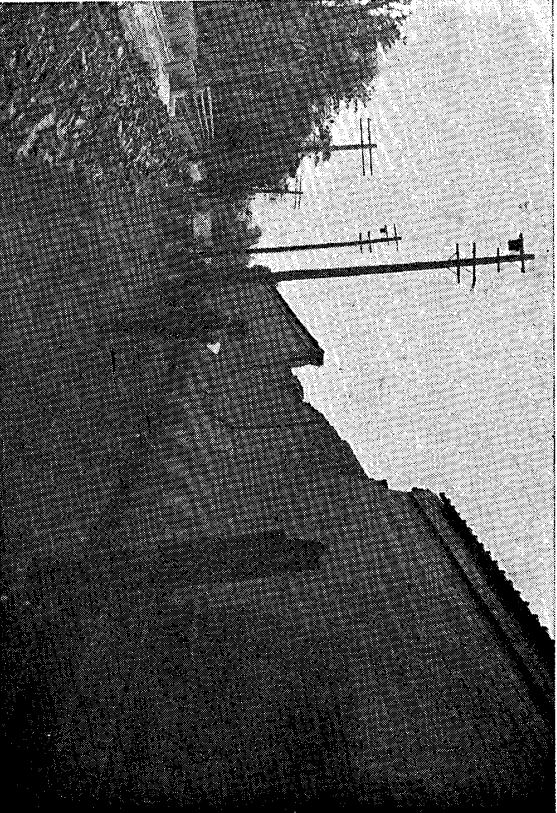
寫真第一四 麴町區元關町一ノ一七石造塙壁
崩壊状況



寫真第一二 九段靖國神社境内石燈籠



寫真第一五 麴町區内幸町海事協會事務所
木造二階建



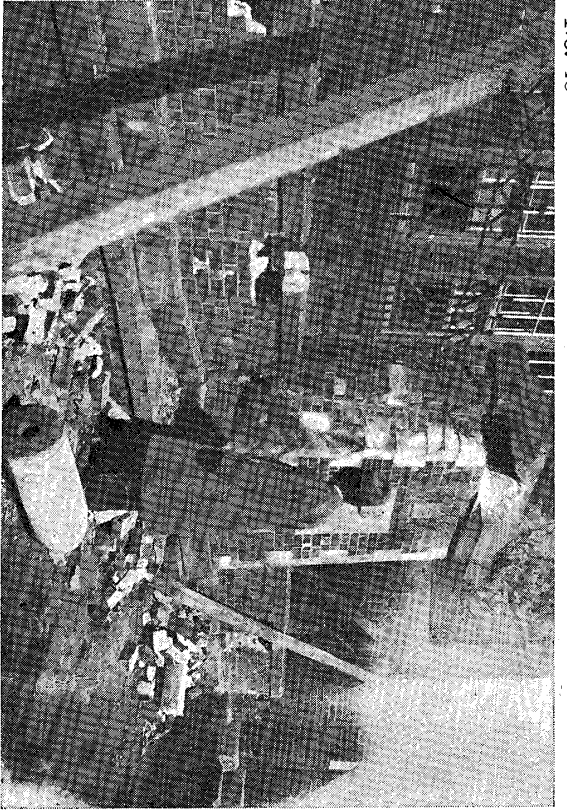
寫真第一三 麴町區上六番町三井高昌邸塙壁
煉瓦造崩壊状況

一、高サ約二丈ノ石燈籠西々北ニ向ツテ轉倒セルヲ示ス
二、向ツテ右側ニ轉倒セルカが笠石ニシテ約八尺角ノモノ

一、本建物ニ使用セシ各種構造材ハ何レモ寸法一班建物ニ比シ過大ナルモノ使用シテ用セル以テ傾斜ノミニ止マリ倒潰ヲ免レタリ
二、尙本建物内ニハ間仕切壁無ク軒高サモ通常ノモノニ比シ高ク壁體ニ筋造材ニ使用シテ用セル以テ傾斜ノミニ止マリ倒潰ヲ免レタリ
三、五寸角ヲ使用セシ如キ

一、本建物ニ使用セシ各種構造材ハ何レモ寸法一班建物ニ比シ過大ナルモノ使用シテ用セル以テ傾斜ノミニ止マリ倒潰ヲ免レタリ
二、尙本建物内ニハ間仕切壁無ク軒高サモ通常ノモノニ比シ高ク壁體ニ筋造材ニ使用シテ用セル以テ傾斜ノミニ止マリ倒潰ヲ免レタリ
三、五寸角ヲ使用セシ如キ

No. 18



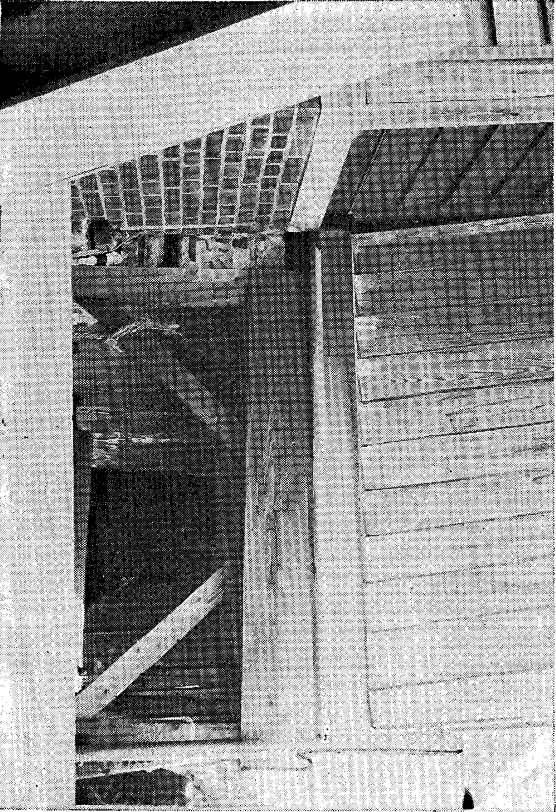
寫真第一八 芝罘三田台襄町御田小學校 煉瓦造塼壁ノ被害

No. 16



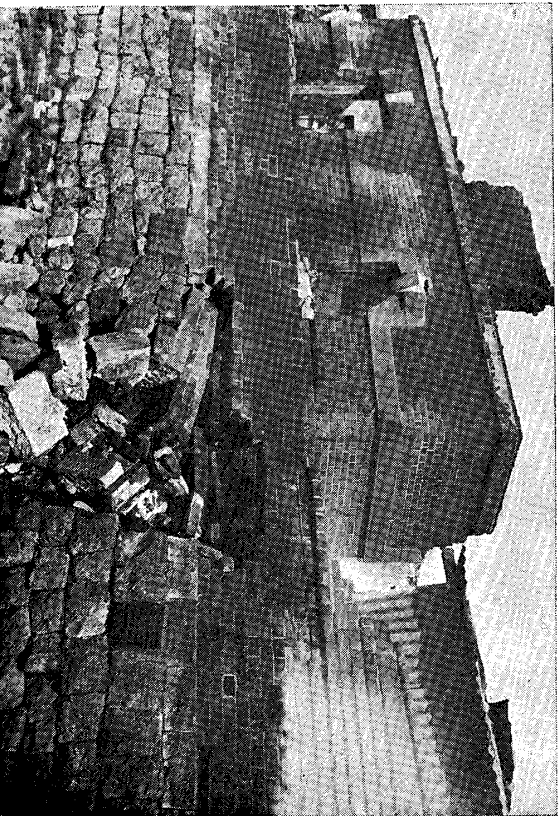
寫真第一六 總町區英國大使館塼壁 無被害部分

No. 19



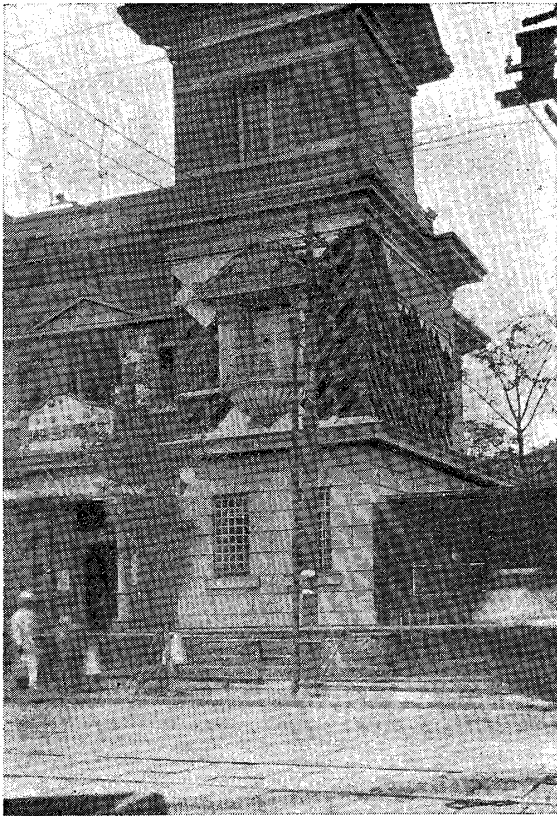
寫真第一九 同上本家ノ物置トノ取合部分 離開セルモノ

No. 17



寫真第一七 同上擁塵 崩壞狀況

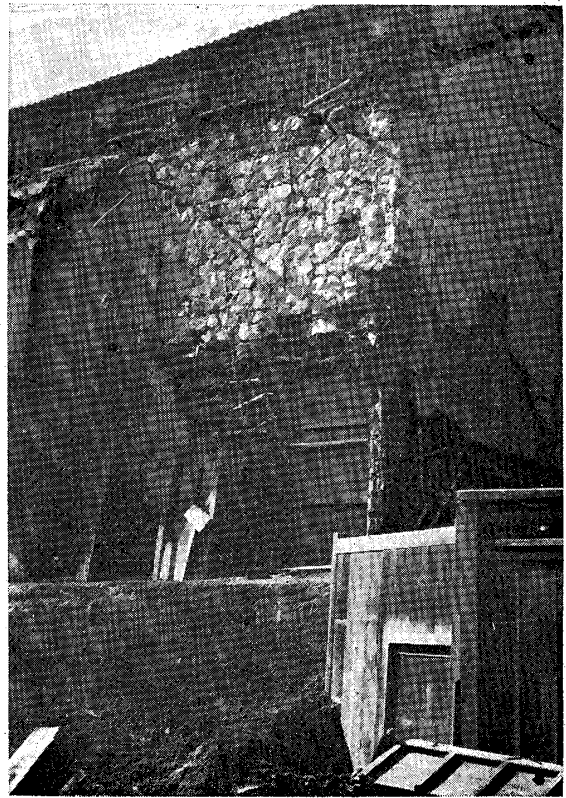
No. 22



寫眞第二二

芝區三田一丁目木造二階建銀行
前面「マイル」及漆喰剝落狀況

No. 20



寫眞第二〇

芝區松本町 土藏木造二階

震動甚シキニヨリ屋根瓦全
部ノ剝落及壁ノ剝落狀況

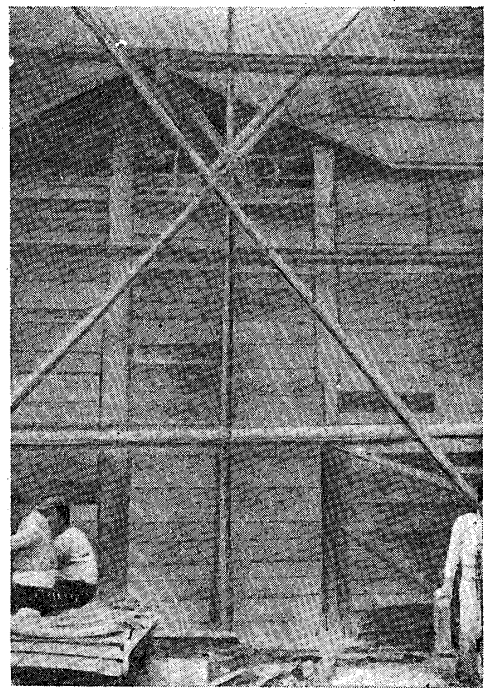
No. 23



寫眞第二三

芝區松本町一三木造四階建旅館 無被害

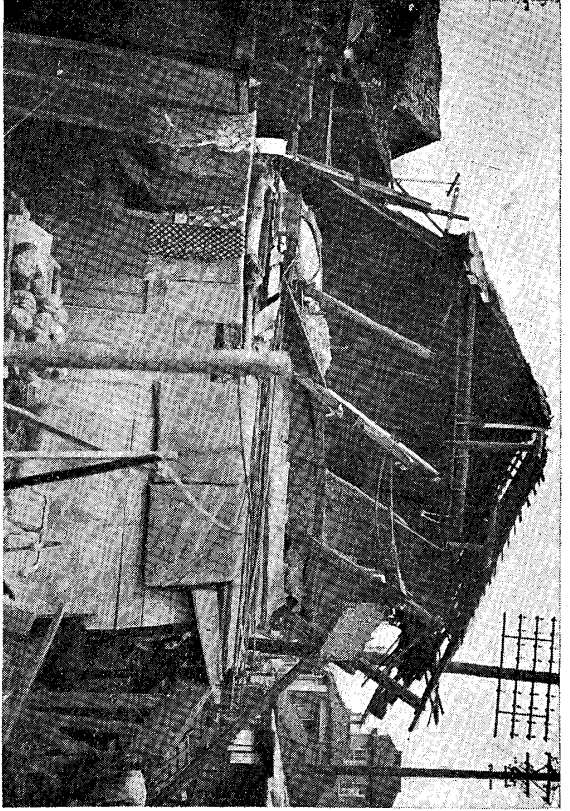
No. 21



寫眞第二一

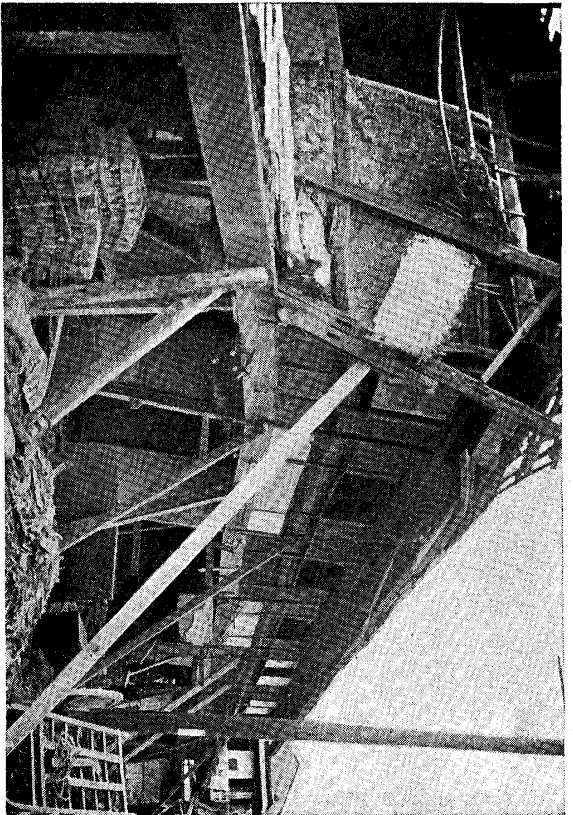
芝區松本町事務所木造三階
隣接平家木造建物ノ全潰セルニ
不拘被害ナカリシモノ

No. 26



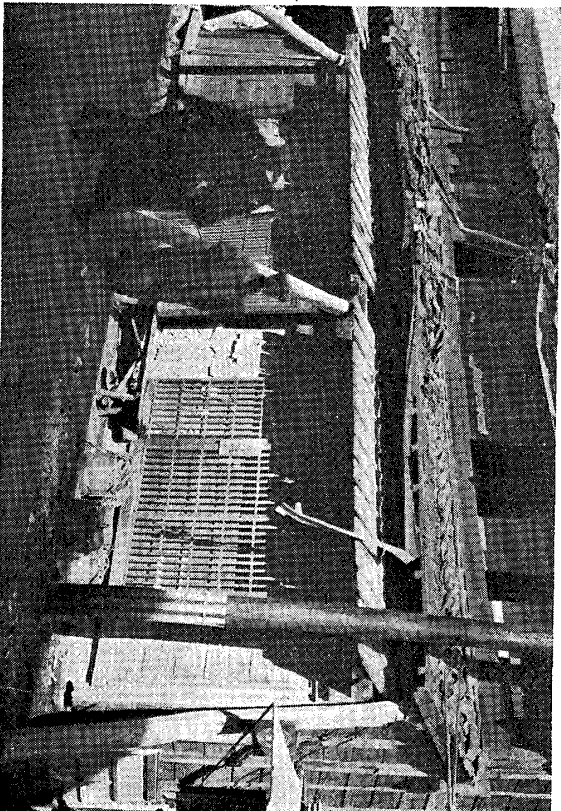
寫眞第二六 同 右

No. 24



寫眞第二四 芝廬三田四國町一ノ二木造二階建商家七戸建長屋

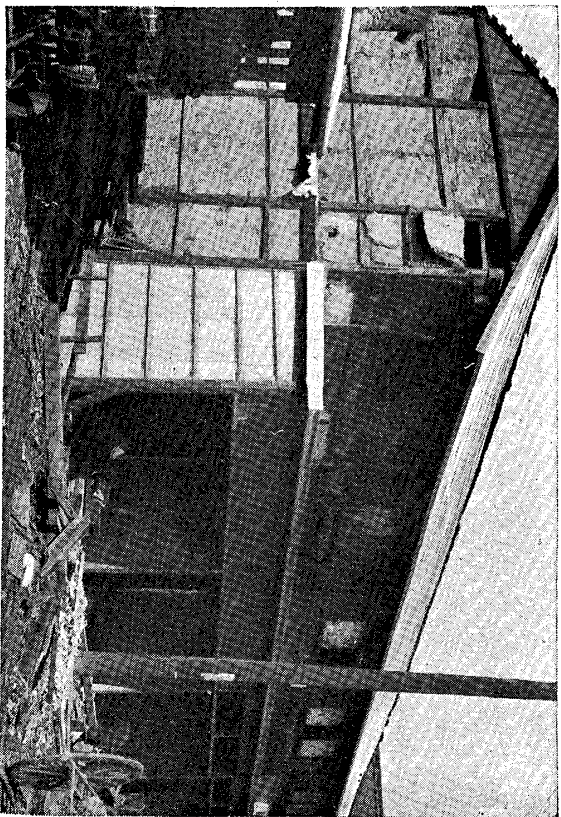
No. 27



寫眞第二七 芝廬三田四國町二ノ七

柱脚腐朽傾斜ノ状況

No. 25



寫眞第二五 同上修繕中ノモノ

前面部及び柱下ノ取台其他脚差下柱ノ取台挫折階下一部ノ破壊ト共三二階ノ一部全潰ノ状況

No. 28



寫真第二八 芝區三田

四國町二ノ七住家木造
二階
家屋傾斜ノ爲メ階下ノ
居室ノ壁ノ剝落狀況

寫真第三〇 芝區高輪

北町五三木造二階建商
店
四戸長屋及二戸建長屋
半壊ノ狀況

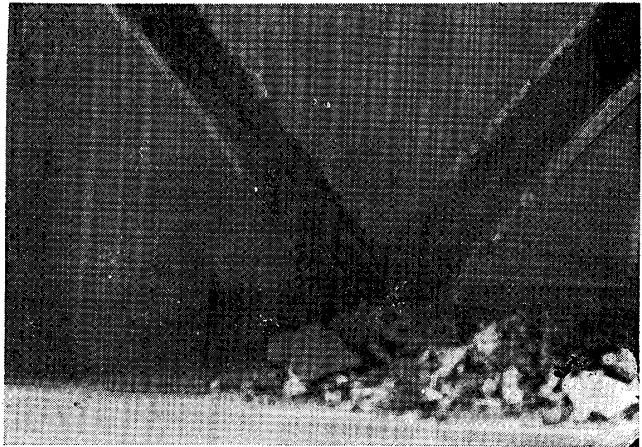
No. 30



寫真第二九 同上居室

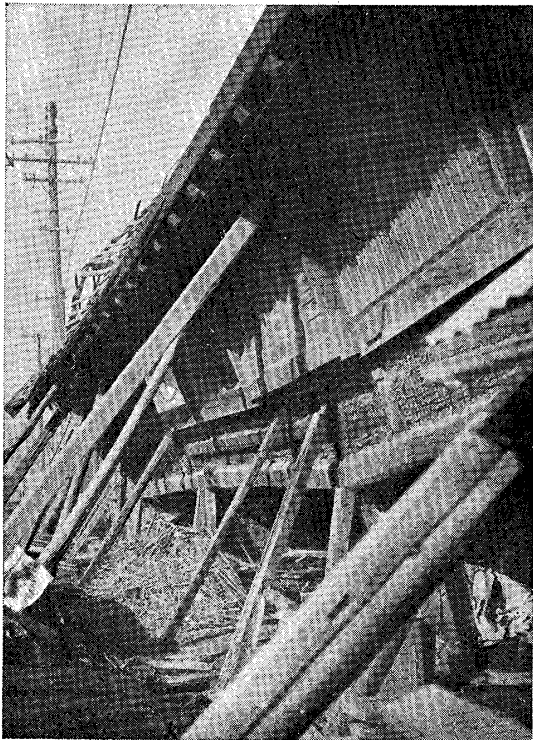
床脇地袋上部ノ筋違ノ
個所壁土剝落狀況

No. 29

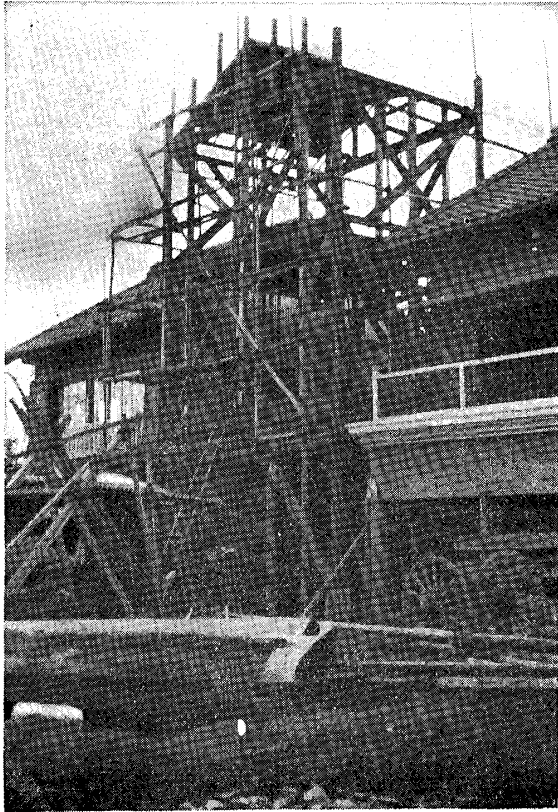


寫真第三
一同上

No. 31,,



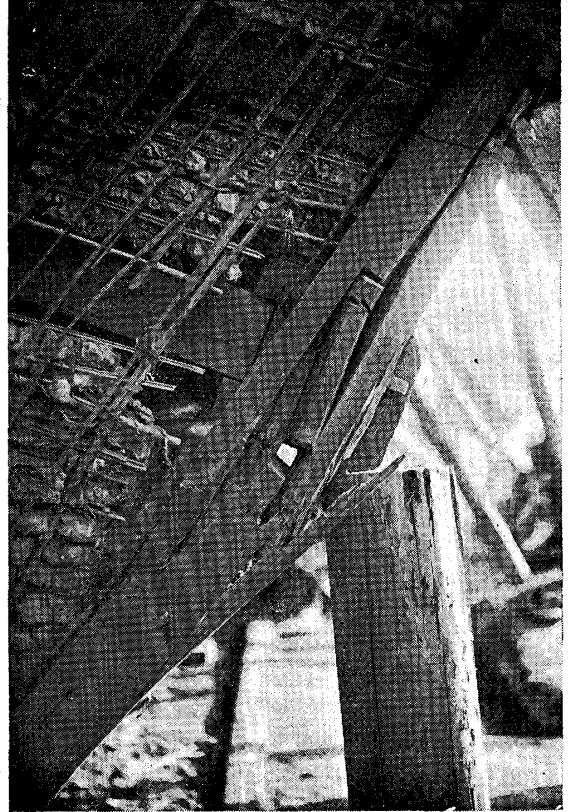
No. 34



寫眞第三四

麻布區谷町商家 木造三階建物ノ軸建

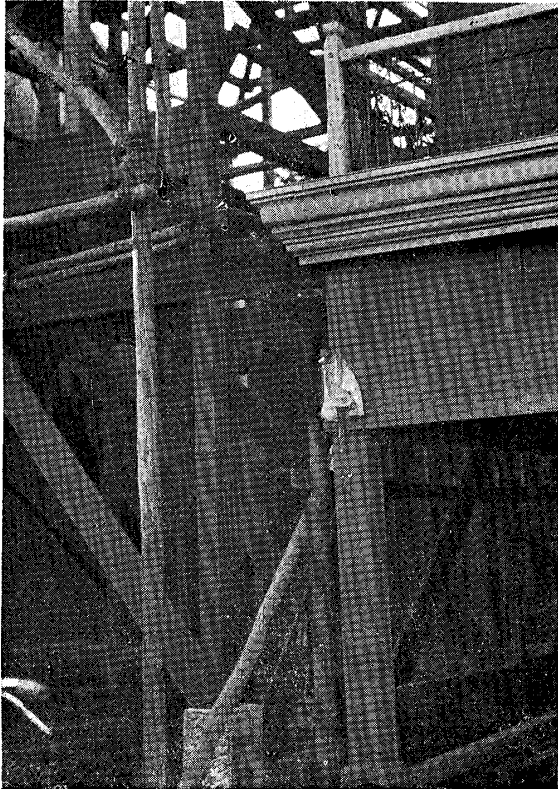
No. 32



寫眞第三二

芝區高輪北町五三 四戸建長屋 隅通柱挫折ノ狀況

No. 35



寫眞第三五

同上隅柱詳細 部剥ト柱トノ取合個所ヲ缺キ取タメ挫折ハ此ノ個所ニ起ル

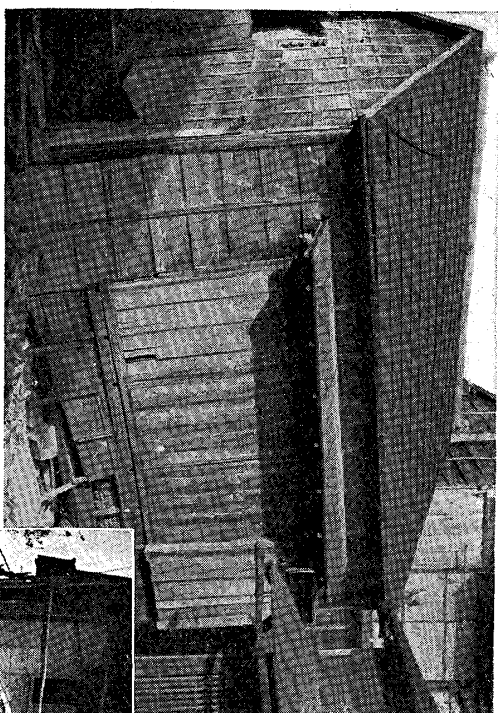
No. 33



寫眞第三三

芝區下高輪町五六洋風住家 基礎(壁)崩壞側壁脱落ノ狀況

No. 37

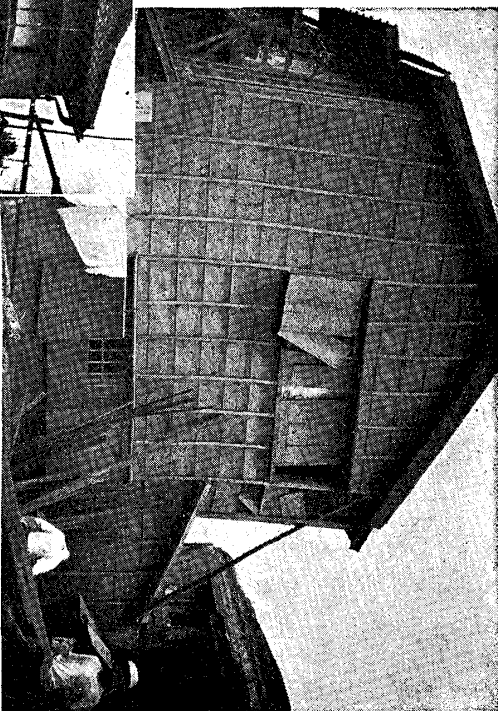


寫眞第三七
代町一 住家木造二階
下階下全潰階上其儘落

No. 38

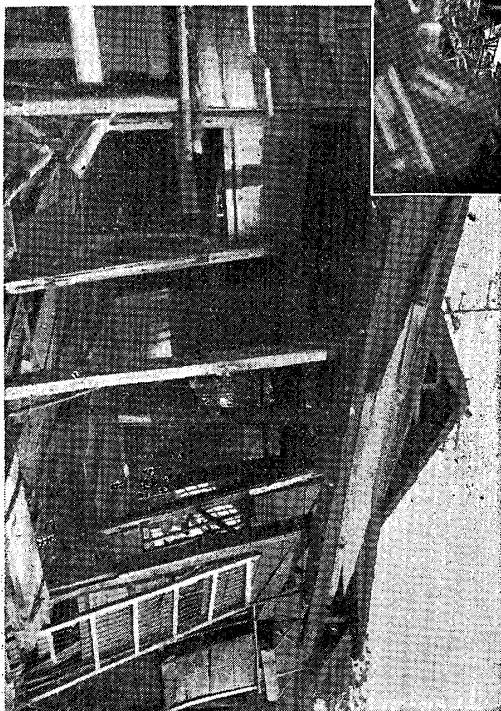
寫眞第三六
元町三丁目 住家木造
二階建階上傾斜セルモ

No. 36



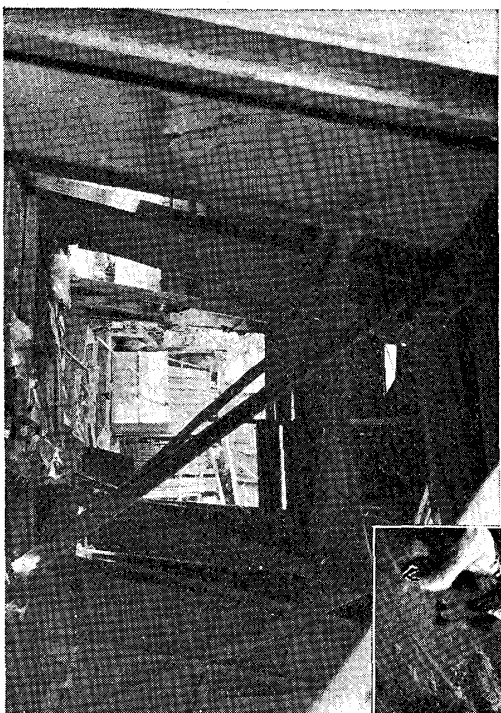
寫眞第三九
麻布區新網
町一丁目三
六 住家木造平
家建傾斜甚
シキ建物
（西方ヨリ
望ム）

No. 39



* 局部的被害
ヲ認メズ
一、本寫眞ハ
ル形傾
モニ復シ有
ナリ

No. 40



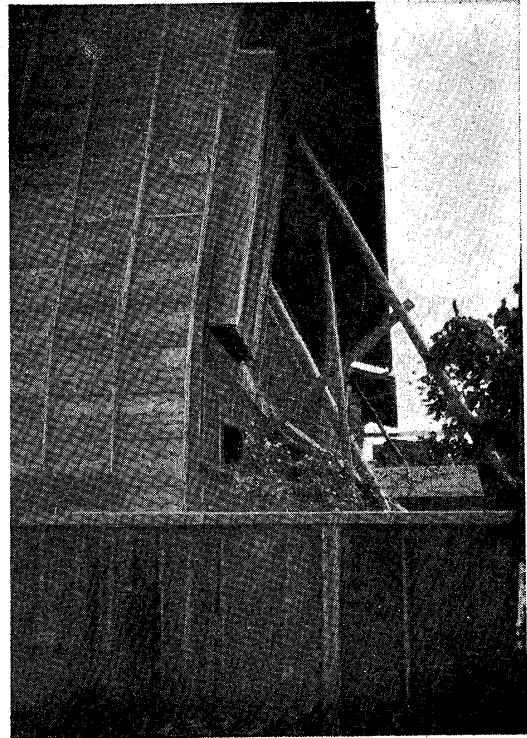
寫眞第三八
麻布區新網
町一丁目四九
住家木造二階建
一、本建物ノ敷地ハ地盤最軟
弱ナル個所ト稱セラレ附近
被害家屋甚ガ多ク本家屋ハ
本年八月落成セルモノナリ
一、被害トシテ全體ニ東方
ニ傾斜セルモノ及鑿裂
ノ剝落ノ腕内壁ヲ
主トスルモノニテ他ニ*

寫眞第四〇 寫眞第三九ノ家屋ヲ南方ヨリ眺メシモノ

寫眞第四一

麻布區森元町一ノ二七 住宅
木造二階階上ノミ傾斜セル狀況

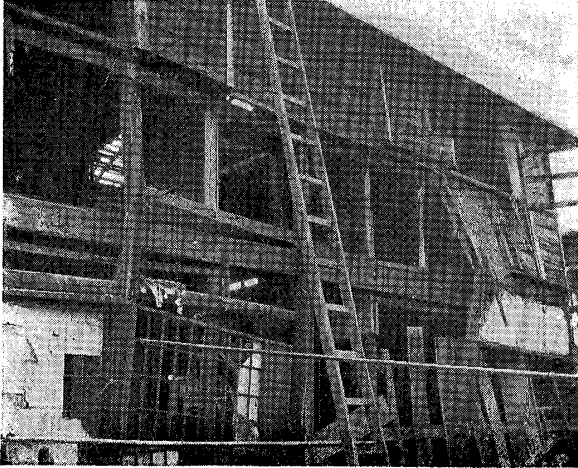
No 41



寫眞第四二

麻布區飯倉町
五ノ五二住宅
木造二階
柱ノ脱出折損
ノ狀況

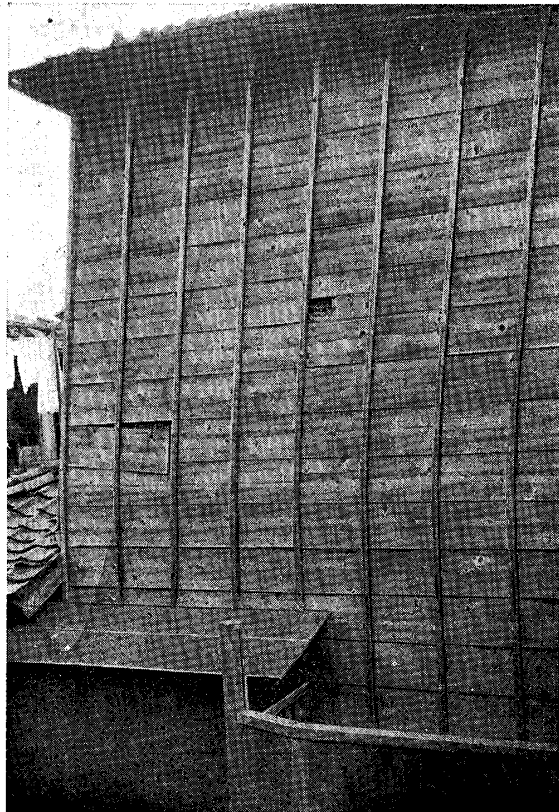
No. 43



寫眞第四二

麻布區森元町一ノ二七 住家
木造二階下家取合部分ノ傾斜狀況

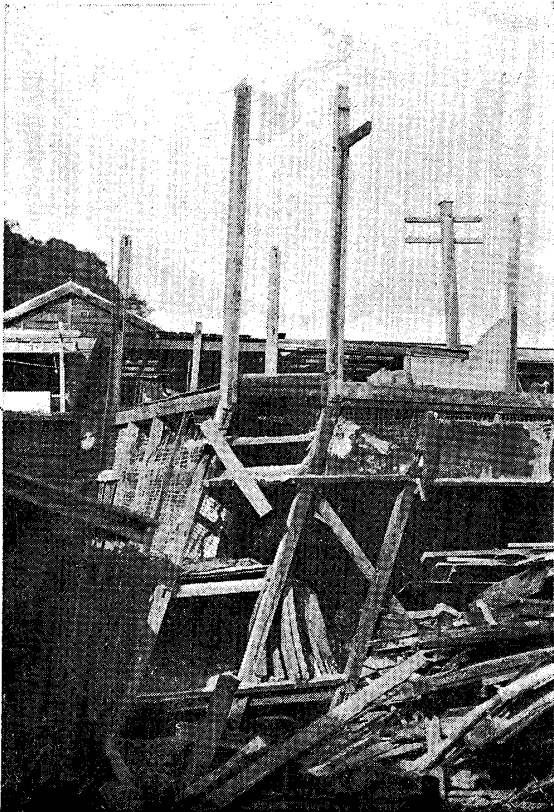
No. 42



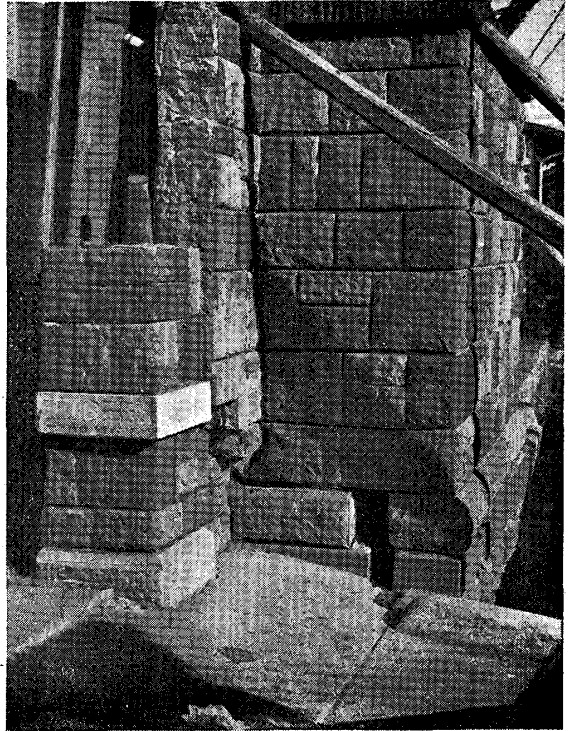
寫眞第四四

麻布區新網町一ノ二四住家
木造二階建登之柱柄取合部分ヨリ折損ノ狀況

No. 44



No. 45



寫真第四五 麻布區森元町三ノ七 門及塙塀 半壞ノ狀況

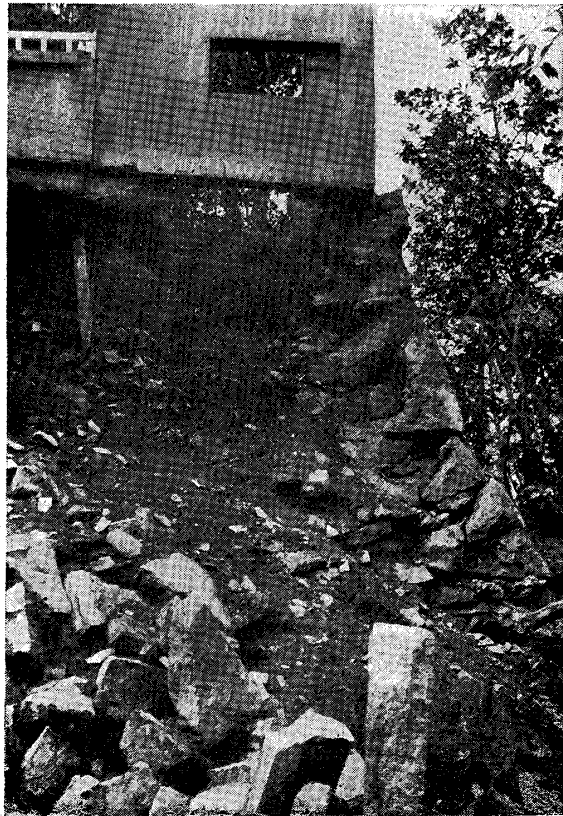
寫真第四七

麻布區筈筒町
木造二階建商
家
道路擴張ノ爲
×總テ新築後
間モナキモノ
×印引掛棧瓦
葺其他棧瓦葺

No. 47



No. 46



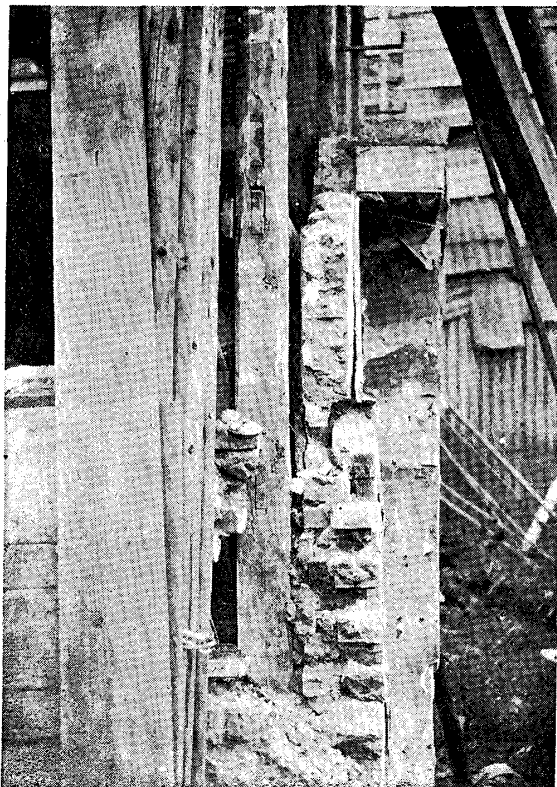
寫真第四六

四谷區谷町大鳥神社
正面石段脇ノ間知石積高二十尺位一隅崩壞ノ狀況
上部塙塀ハ鉄筋混泥土造

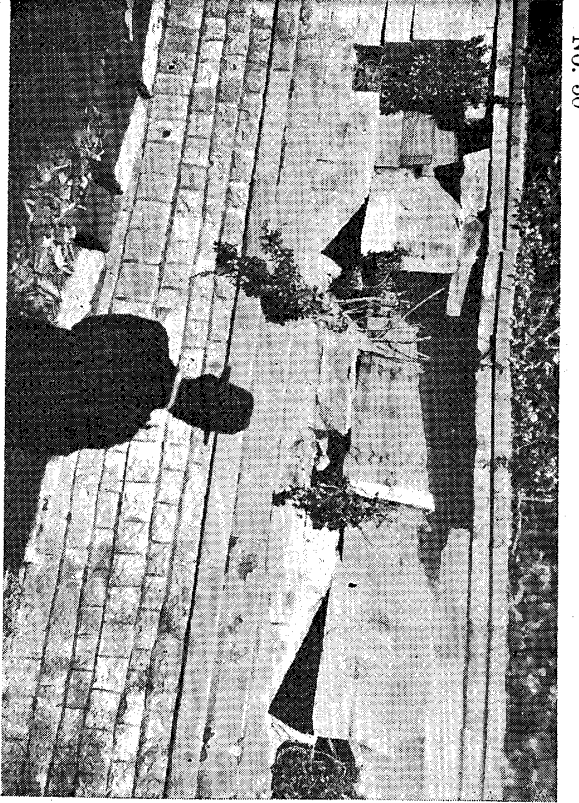
寫真第四八

麻布區谷町三〇 木骨煉瓦造倉庫 煉瓦剥落狀況

No. 48

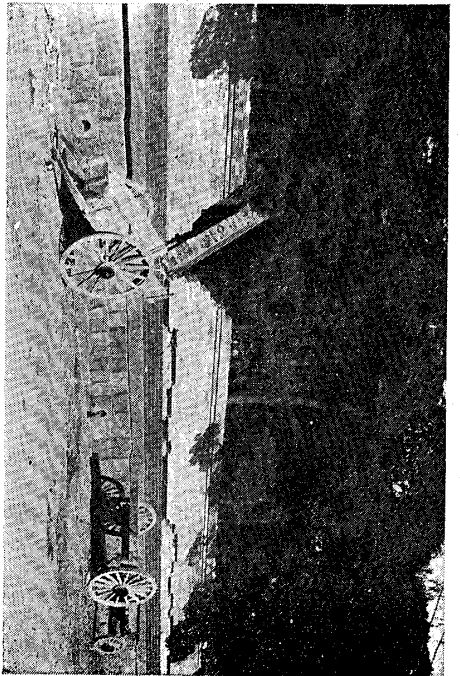


No. 50



寫真第五〇 麻布區島居坂町五
石塀破壞ノ狀況

No. 49



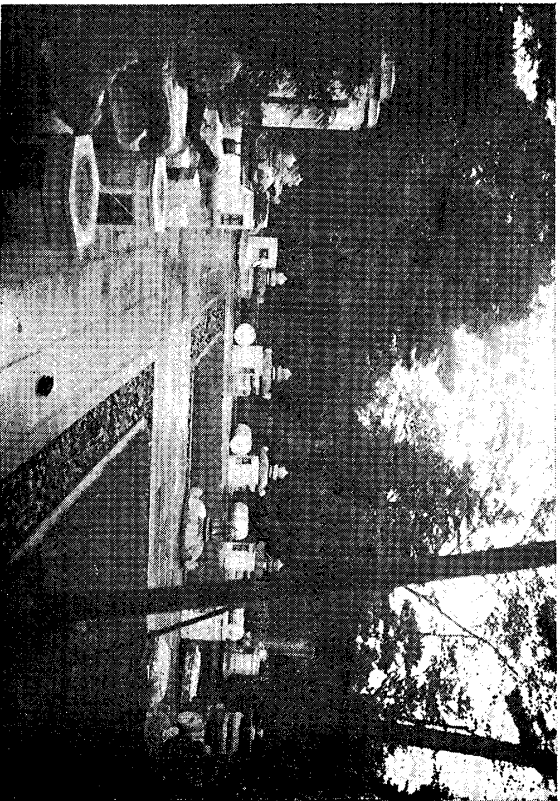
寫真第四九 麻布區森元町煉瓦搦塵
龜裂崩壞ノ狀況

No. 51



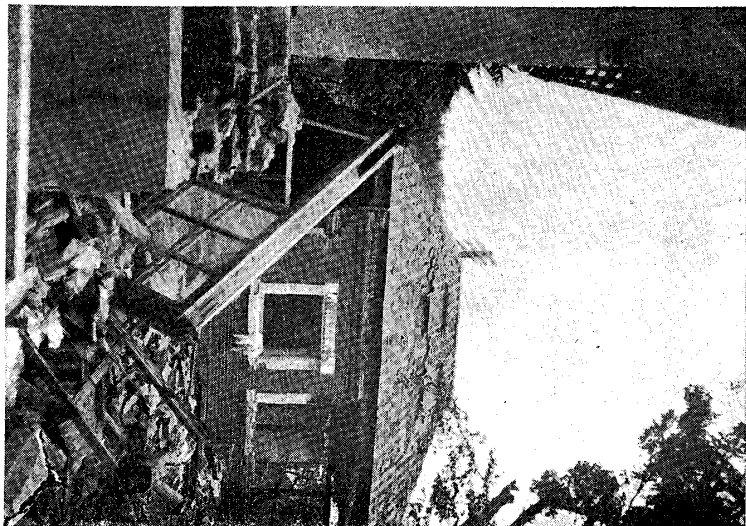
寫真第五一 赤阪區表町一ノ三商家木造二階
二階前面壁體ノ龜裂ヲ示ス

No. 52



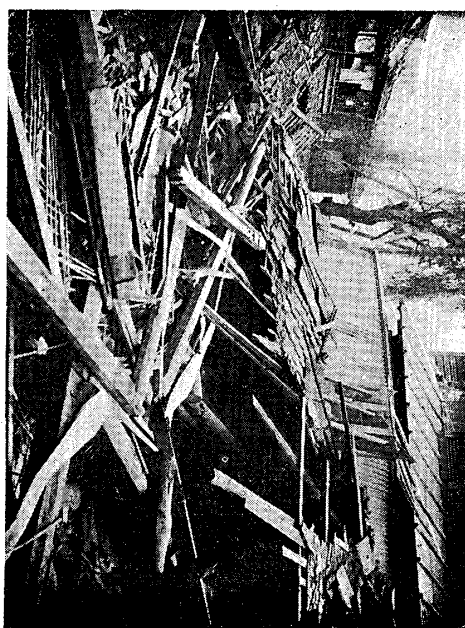
寫真第五二 麻布區筭町九
長谷寺裏墓地石燈籠ノ轉倒

No. 55



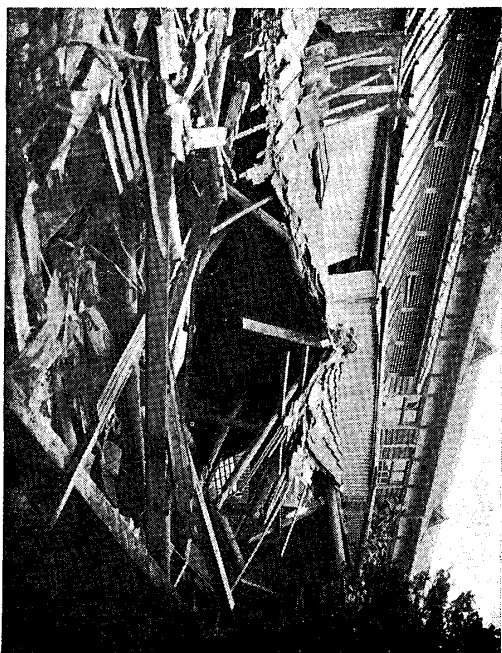
寫真第五五 赤坂區表町
赤坂表町警察署煉瓦造外壁崩壞ノ狀況

寫真第五三 赤坂區檜町一六住家木造二階建
地盤脆弱加フルニ古建築物ニシテ命數盡キタルヲ全
潰セラルモノ
No. 53

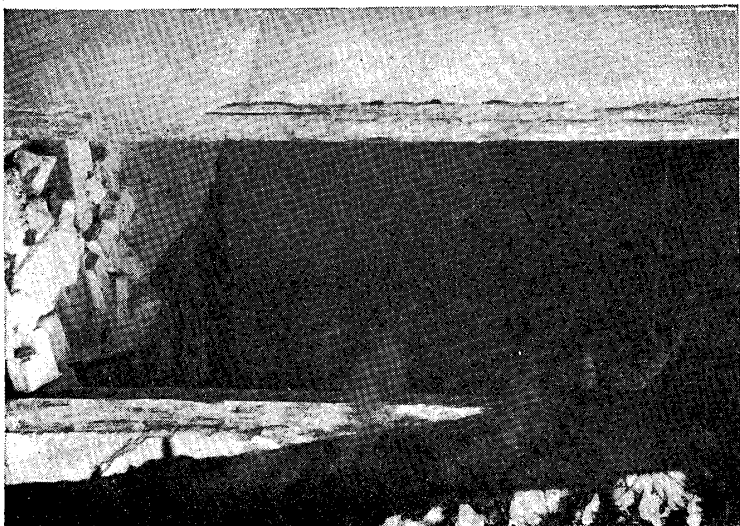


寫真第五四 赤坂區檜町一六住家木造二階建
同上

No. 54

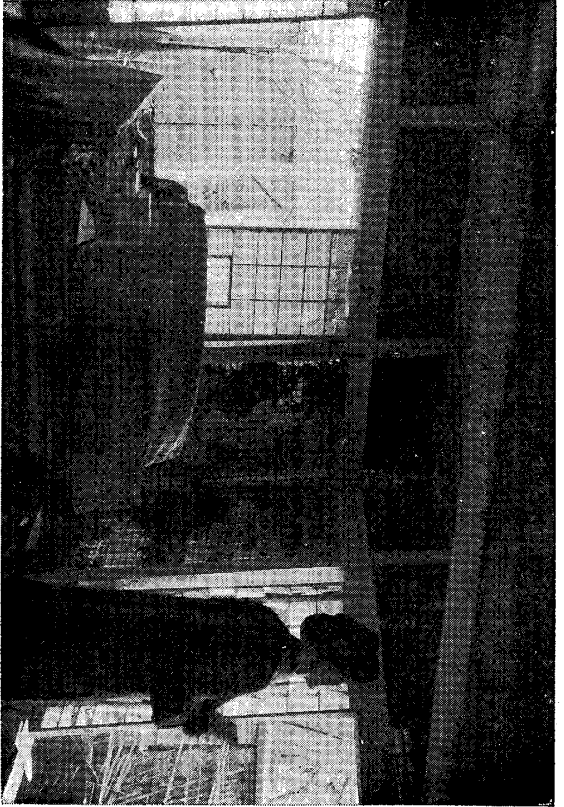


No. 56



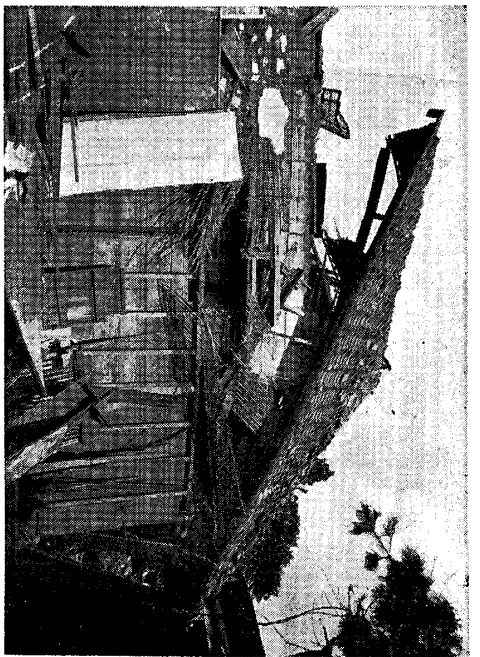
寫真第五六 半込區市ヶ谷本村町陸軍中
央幼年學校營倉木骨煉瓦造
填充之ル半枚磚煉瓦崩壞ノ狀況

No. 58



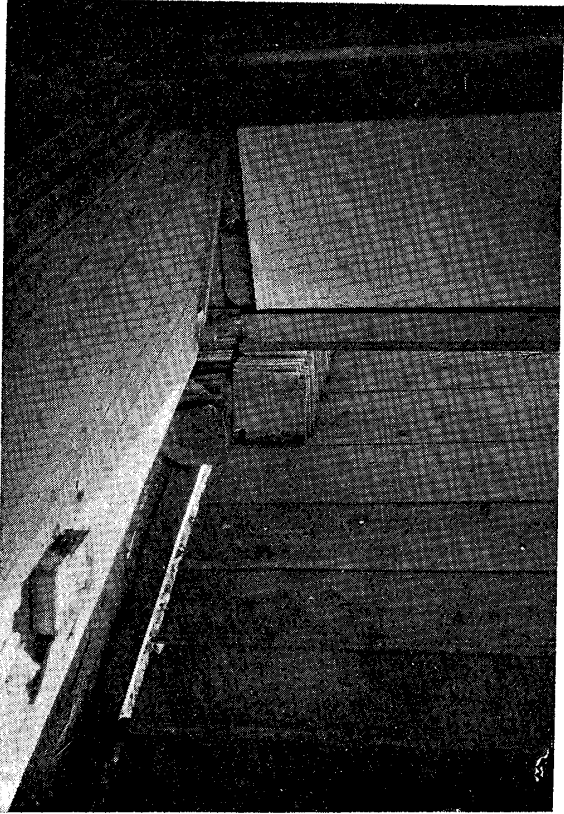
寫眞第五八 同右北方ヨリ階下座敷ノ一部ヲ望ミシモノ

No. 57



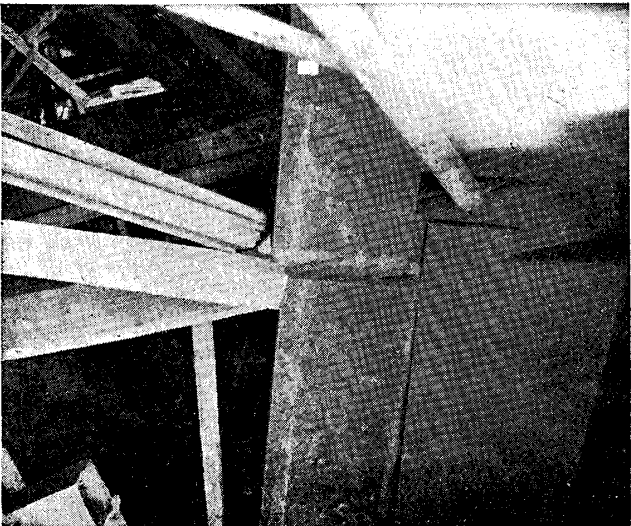
寫眞第五七 赤坂區新町三丁目三住家木造二階建階上全潰セルモノ

No. 60



寫眞第六〇 赤坂區新町三丁目三住家木造二階建階下椽側柱下椽框ノ取合部分離セルモノ

No. 59



寫眞第五九 赤坂區伸之町商家木造二階建家屋傾斜ノ爲部梁ノ柱ヨリ脱離セルヲ示ス

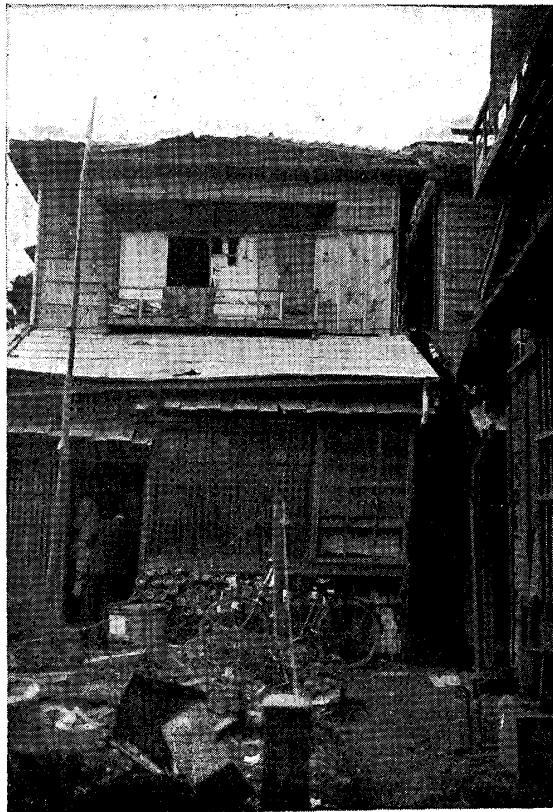
寫眞第六三 赤坂區新町五丁目四
住家木造二階建傾斜甚シキモノ

No. 63



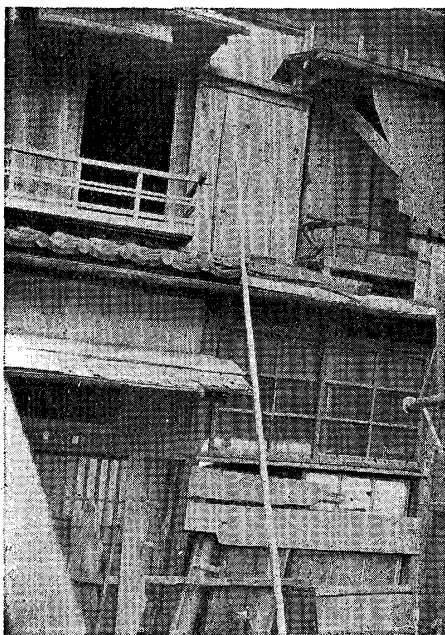
寫眞第六一 赤坂區新町五丁目三九
住家木造二階建傾斜セルモノ

No. 61



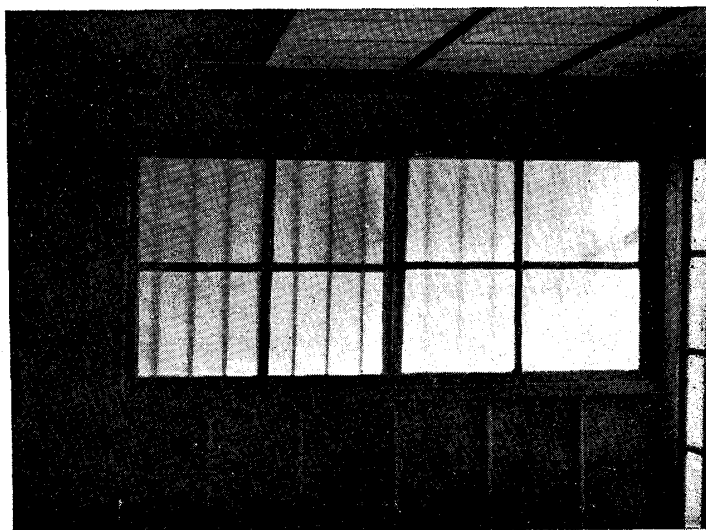
寫眞第六四 赤坂區新町五丁目四
住家木造二階建
傾斜家屋ノ正面ヲ撮影
セシモノ

No. 64

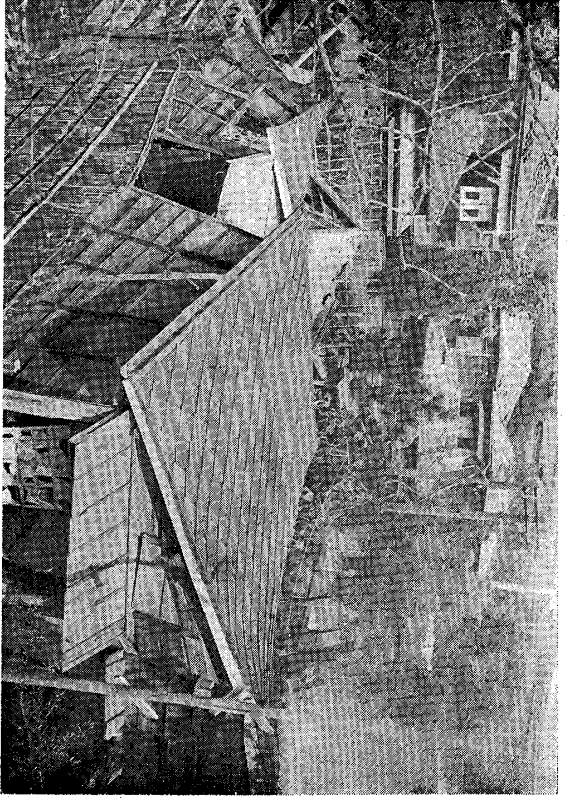


寫眞第六二 麻布區森元町二丁目二十九
住家木造二階建
階下浴室ノ一部傾斜チ示セルモノ

No. 62

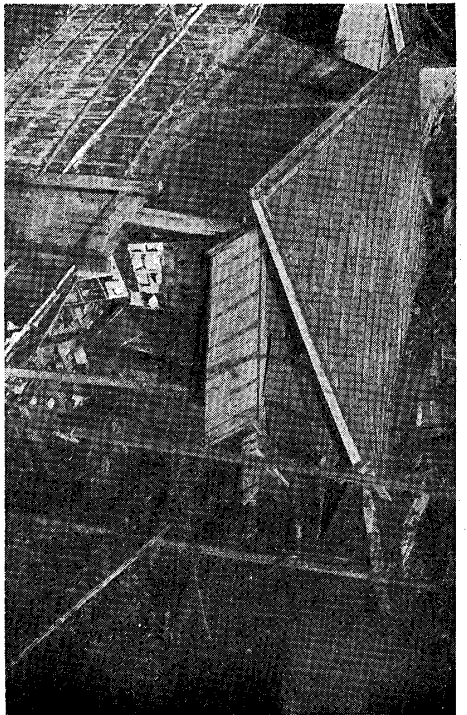


No. 68



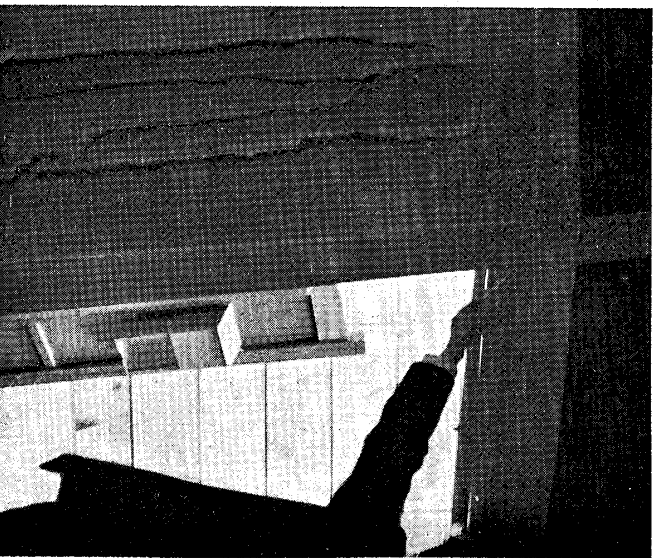
寫眞第六六 寫眞第六五附近一般被害狀況

No. 65



寫眞第六五 赤坂區仲ノ町一三住家
木造二階 本建物土臺及柱脚取合部分
著ク腐朽之ル爲ニ傾斜セルモノ

No. 67



寫眞第六七 赤坂區新町五ノ四 住宅木造二階
階上墜落ニ因ル長押ノ折損ノ狀況

No. 68



寫眞第六八 階上墜落ニ因ル建具被害狀況
同右

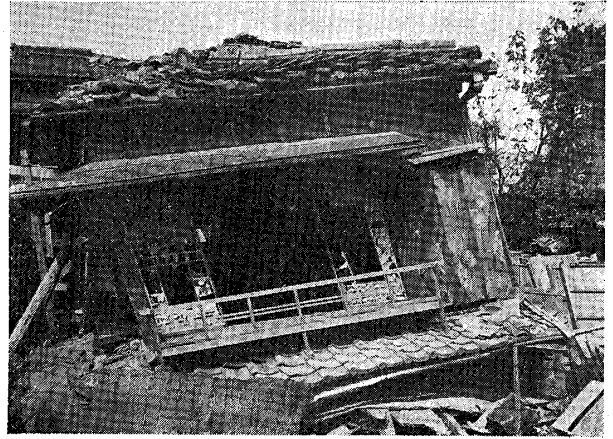
寫真第七一 赤坂區仲ノ町一
本館傾斜背面附屬家全潰

No. 71



寫真第六九 赤坂區新町五ノ四 住家木造
二階建 柱折損二階墜落ノ狀況

No. 69

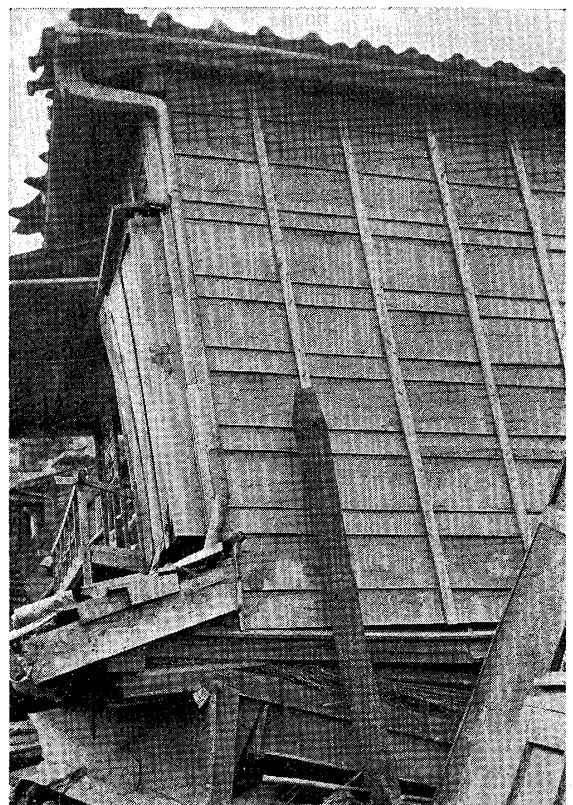


No. 72



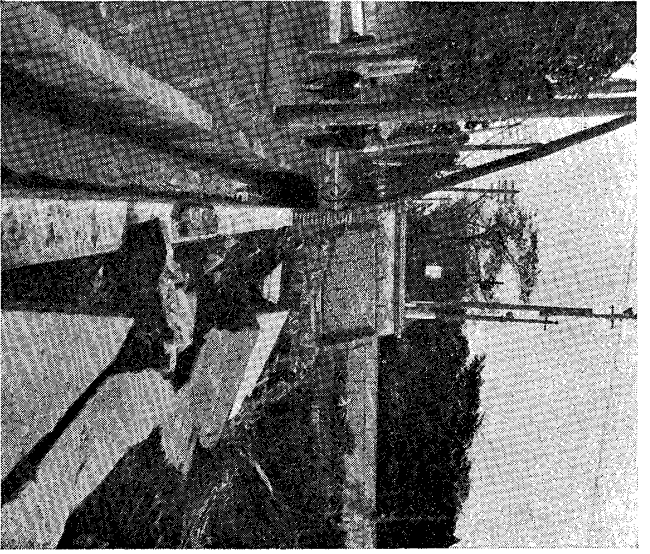
寫真第七二 同上

No. 70



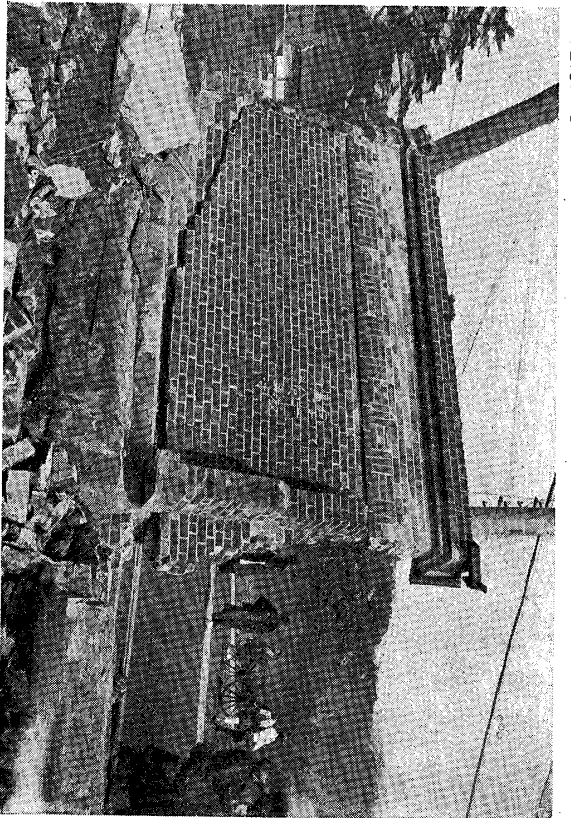
寫真第七〇 同上背面

No. 74



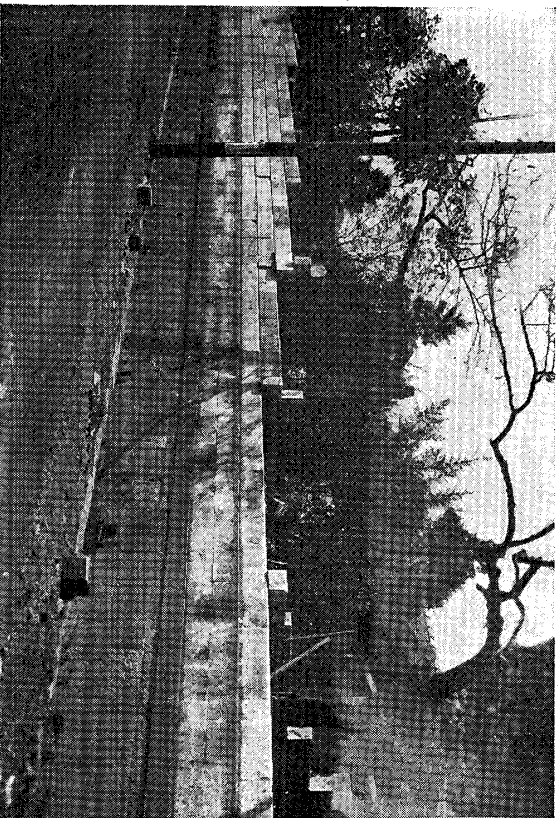
寫真第七四 同右

No. 73



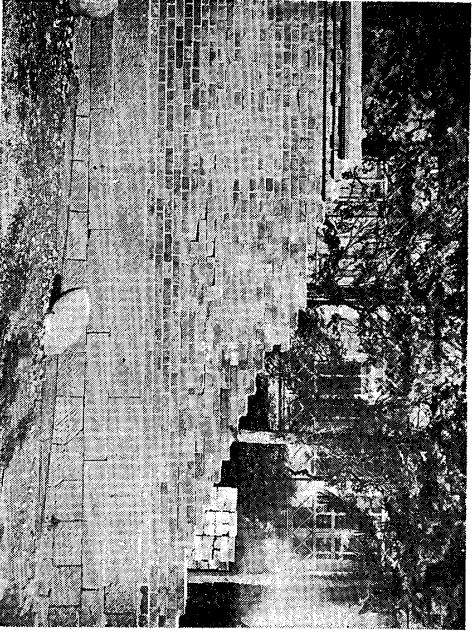
寫真第七三 赤坂區南町一ノ一
塙煉瓦造崩壞ノ狀

No. 75



寫真第七五 赤坂區麩町
石塙崩壞ノ狀 東 伏見宮邸

No. 76

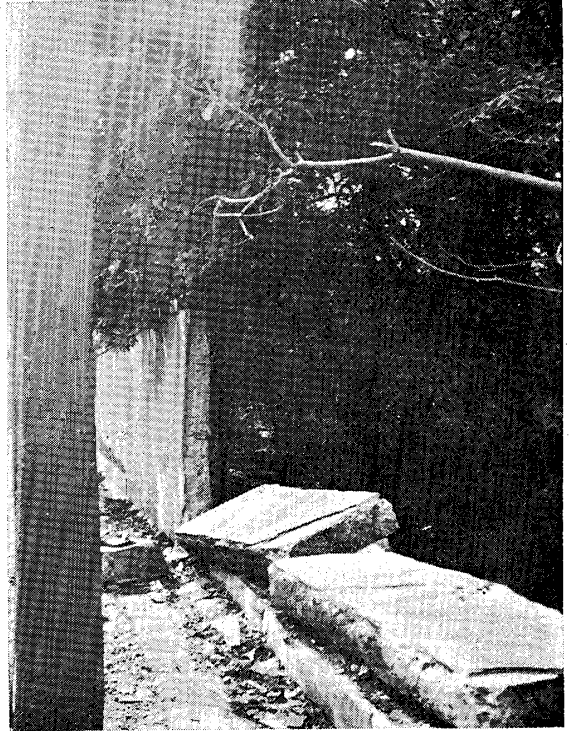


寫真第七六 總町區
塙崩壞ノ狀 獨逸大使館

寫眞第七七

赤坂區靈南
坂
米國大使館
「コンクリ
ート」塀ノ
倒壊

No. 77



寫眞第七九

四谷區新宿二
ノ二七 住家
木造一階傾斜
内部半壊ノ狀
況

No. 79



寫眞第七八

赤坂區表町
赤坂區役所
煉瓦塼壁

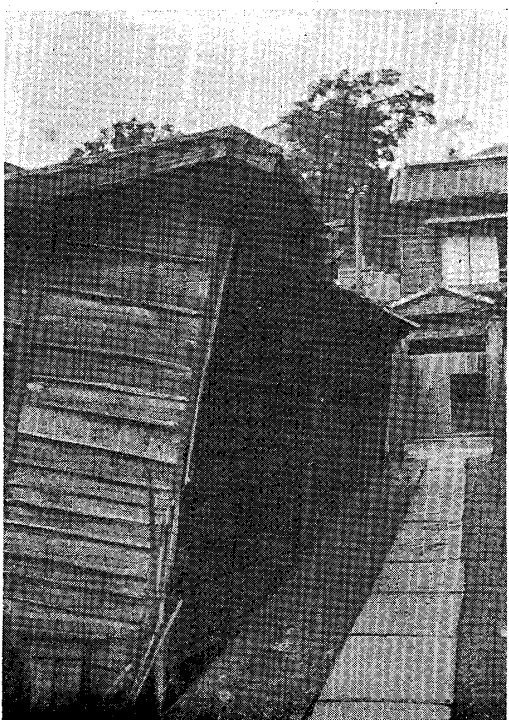
No. 78



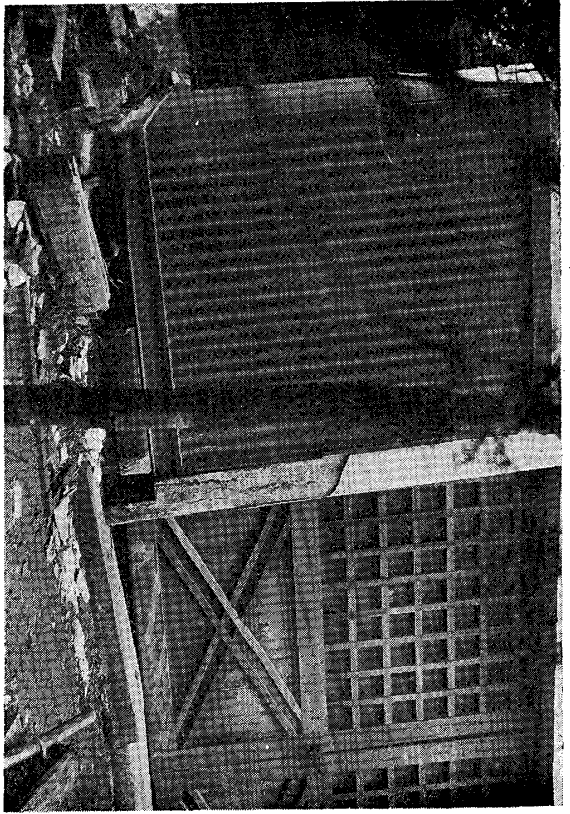
寫眞第八〇

四谷區本村町
木造一階隣地
石垣迄約一尺
移動傾斜ノ狀
況

No. 80



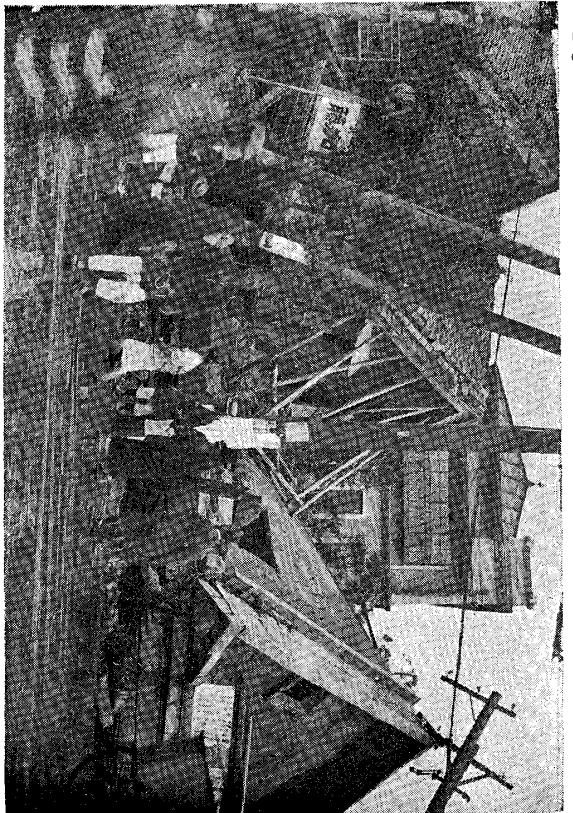
No. 83



寫真第八三

四谷區三光町花園神社神輿庫
基礎石殆ソド移動セルモ僅カ
二傾斜シタルモノノ
屋根瓦葺外壁木骨木摺濘喰窪リ基

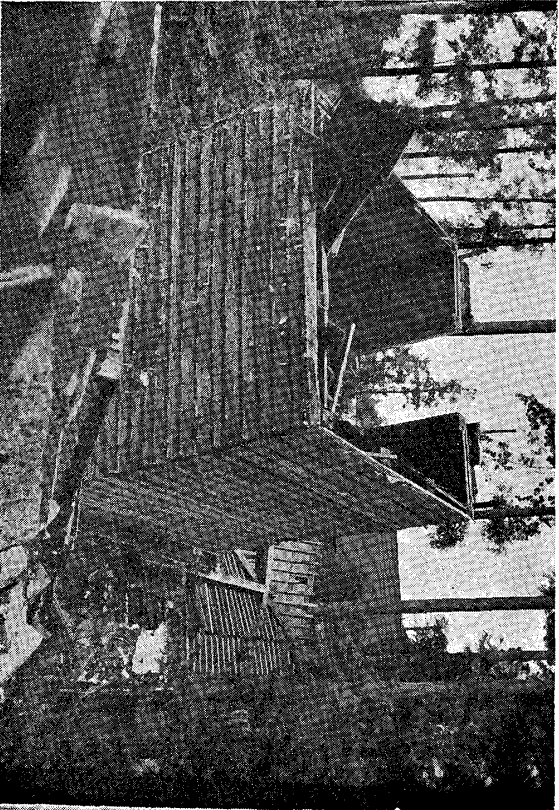
No. 81



寫真第八一

四谷區傳馬町一ノ二木造二階建
商家隣接筋混土造二階建
潰ニ依リ木造階下ノ柱總テ挫折崩
潰ノ狀況

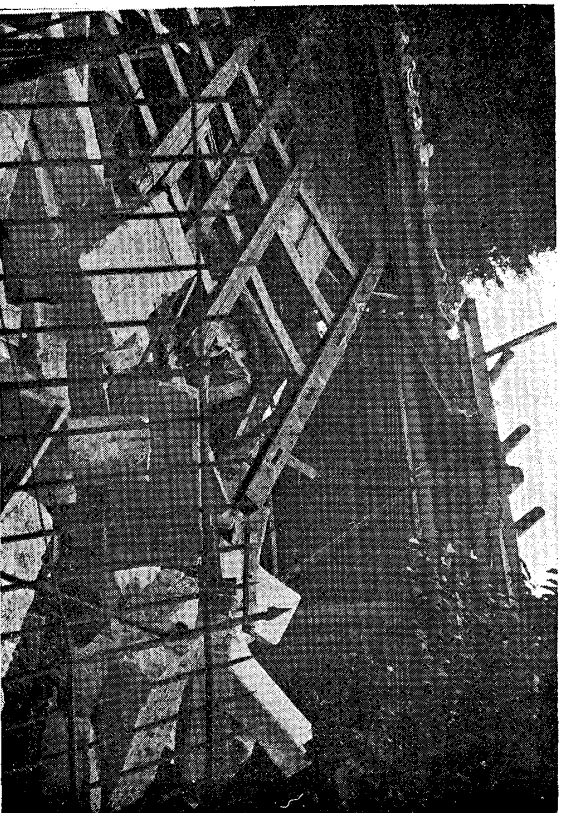
No. 84



寫真第八四

四谷區三光町花園神社本殿九尺
四面周圍高サ四尺ノ石垣崩壞ニ
依リ内部土砂崩落シ建物ハ北々東
へ轉覆ス

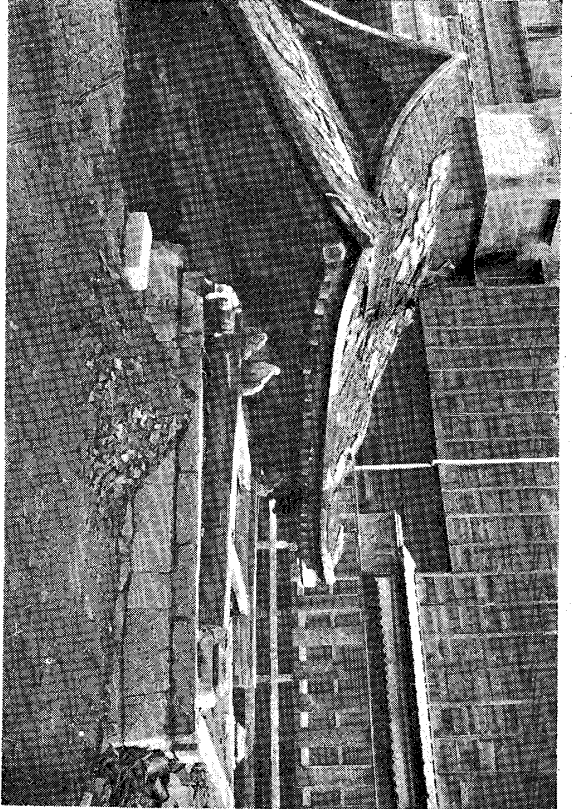
No. 82



寫真第八二

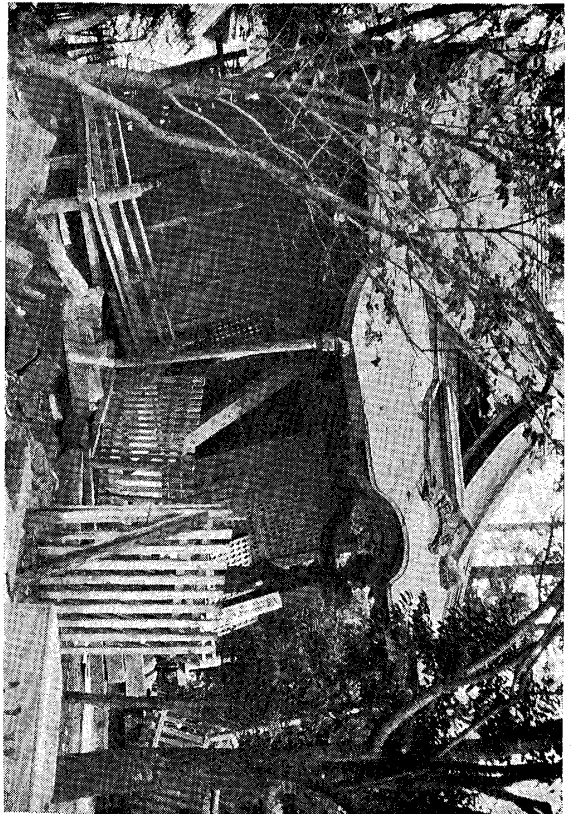
四谷區三光町花園神社々殿
基礎周圍石垣崩壞ノ爲メ建物轉倒
崩壞ノ狀況

No. 87



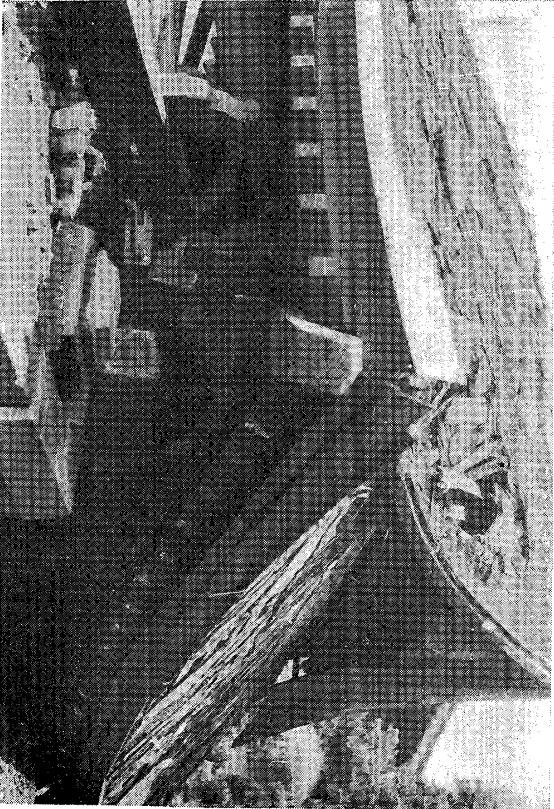
寫眞第八七 四谷區新宿二丁目 大栄寺鐘樓北
方へ倒壊ノ狀況

No. 85



寫眞第八五 四谷區三光町 花園神社拜殿
基礎及石垣崩壊ノ狀況
均チ來シ傾斜ノ狀況ニ不平

No. 88



寫眞第八八 同上

No. 86



寫眞第八六 四谷區三光町 花園神社
末社島居左廻リニ約四十五度廻轉

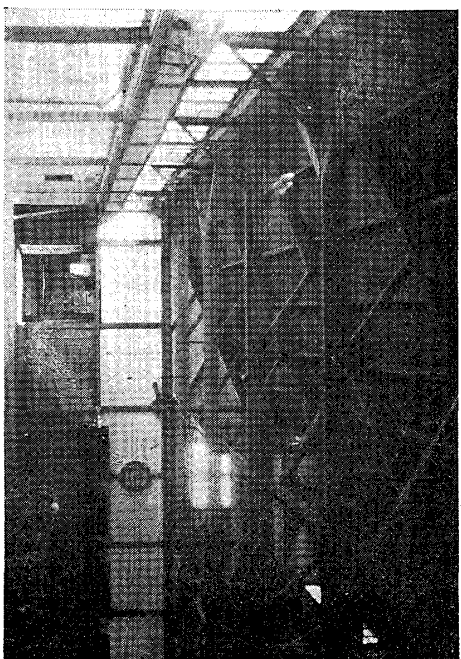
No. 90



寫真第九〇

牛込區水道町四〇 住家木造二階
家屋傾斜ノ爲メ二階居室ノ壁體離
脱ヲ示ス

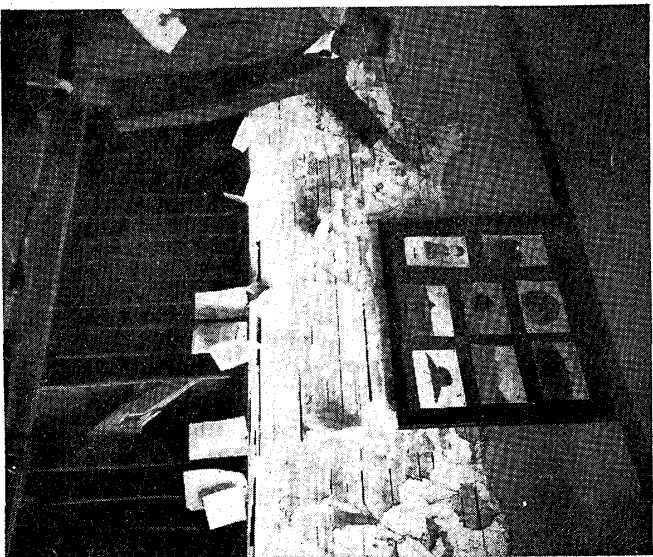
No. 89



寫真第八九

牛込區水道町四〇 江戶
川小學校 木造本家雨天下
體操場ノ被害ヲキモノ

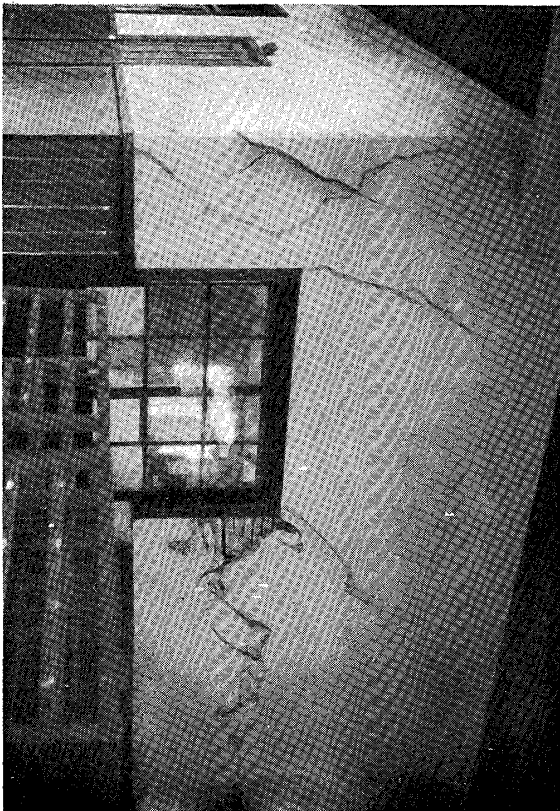
No. 91



寫真第九一

牛込區水道町四〇 江戶川小學校
木造二階校舍ノ傾斜ニヨリ階下教室
ノ折損ト壁土ノ剝落トヲ示ス

No. 92



寫真第九二

同右 玄關生徒昇降口内部ノ壁土
剝落及龜裂ノ狀況

No. 94



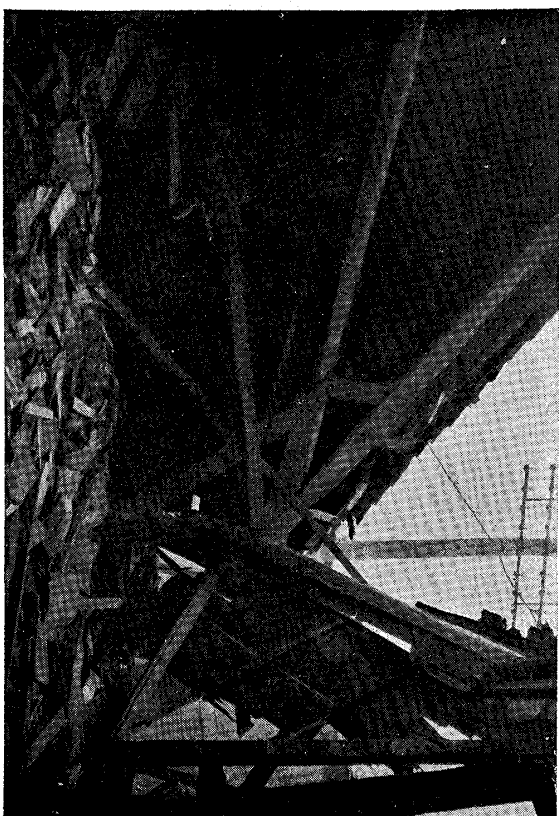
寫真第九四
同右側柱挫折ノ狀况方杖ノ下ニテ
挫折セリ

No. 93



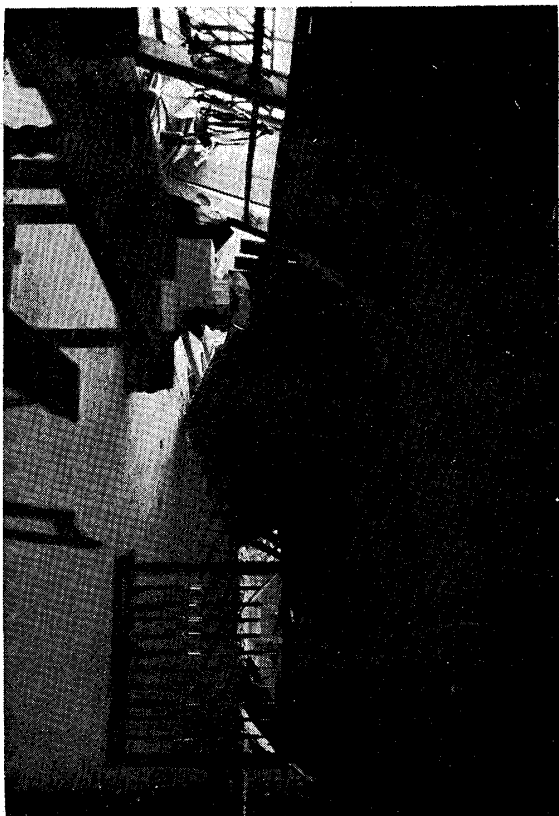
寫真第九三
牛込區市々各本村町 陸軍士官學
校線科附屬建物ノ倒壊ノ狀况

No. 96



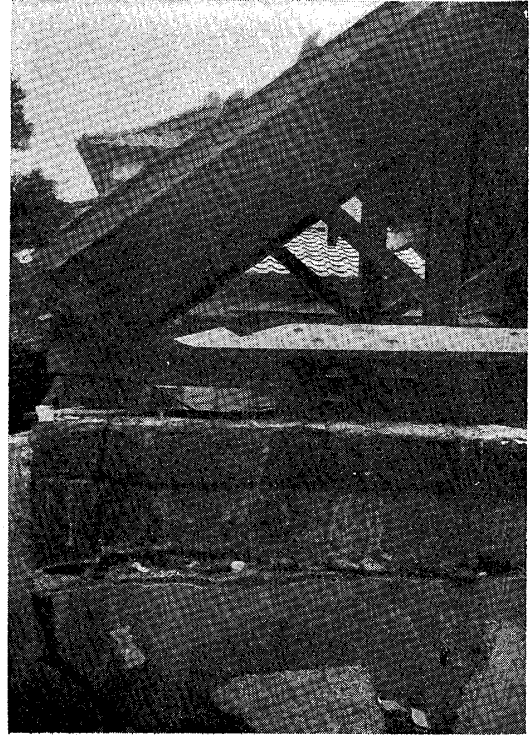
寫真第九六 同上 側柱挫折ノ狀况

No. 95



寫真第九五 同上

No. 97



寫真第九七 牛込區辨天町八八 石造二階建倉庫崩壞小屋組墜落ス

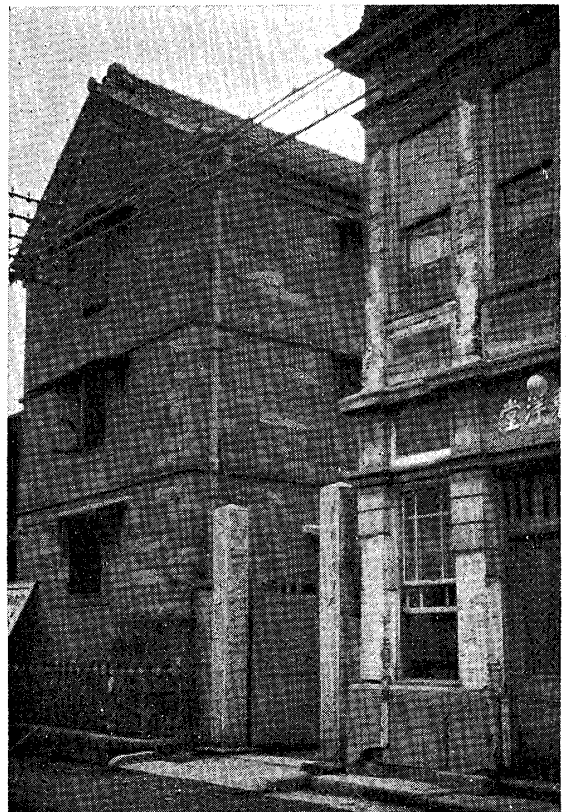
寫真第九八

府下戸塚町
早稻田大學構
堂外壁煉瓦造
二階建崩壞ノ
狀況

No. 98

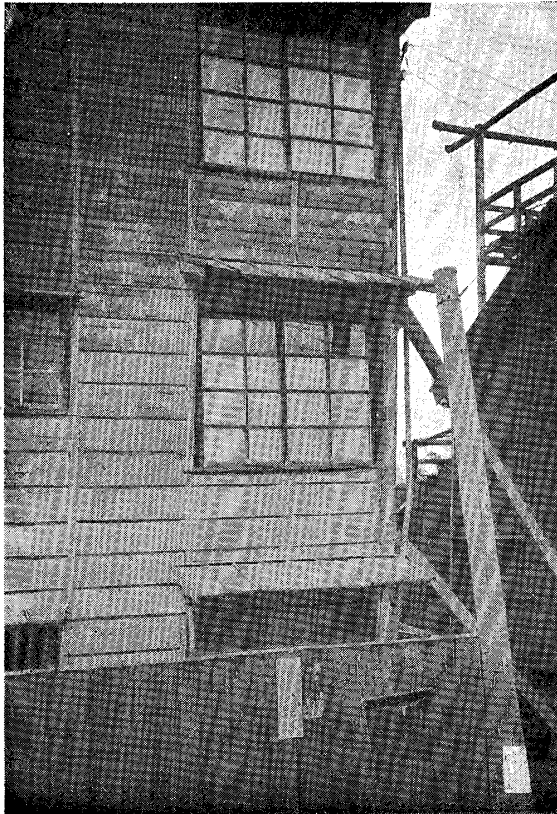


No. 99



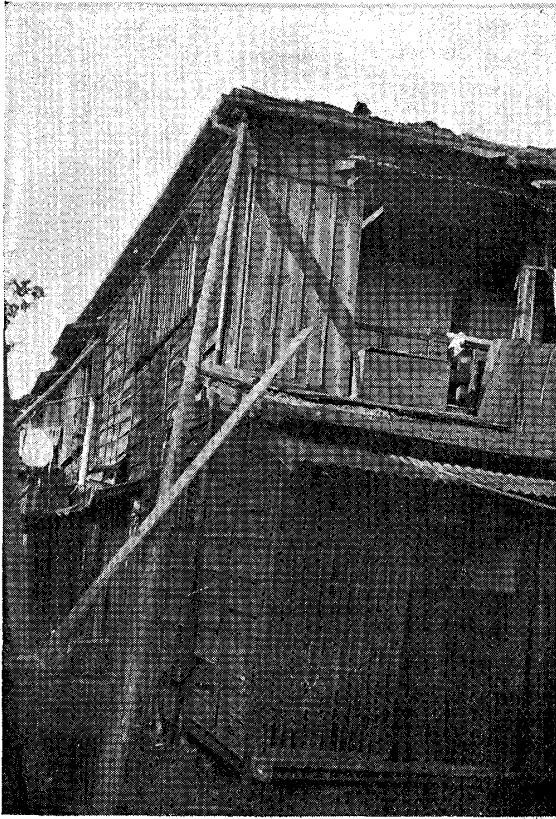
寫真第九九 牛込區西五軒町一五 石造倉庫三階 附近數十戸ノ全潰家屋中ニアリテ被害ヲ受ケザルモノ

No. 100



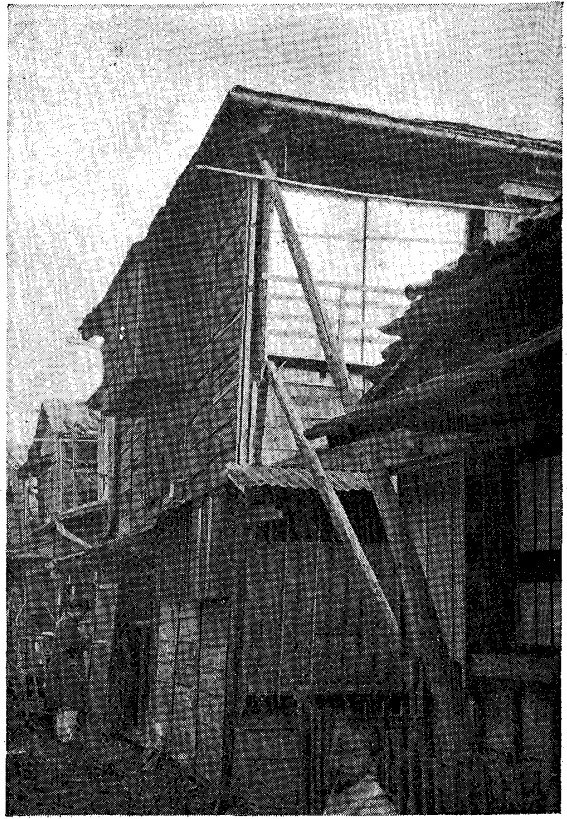
寫真第一〇〇 牛込區西五軒町五二 旅館兼下宿一葉館三階建 東々南ニ約十度彎曲傾斜狀況

No. 102



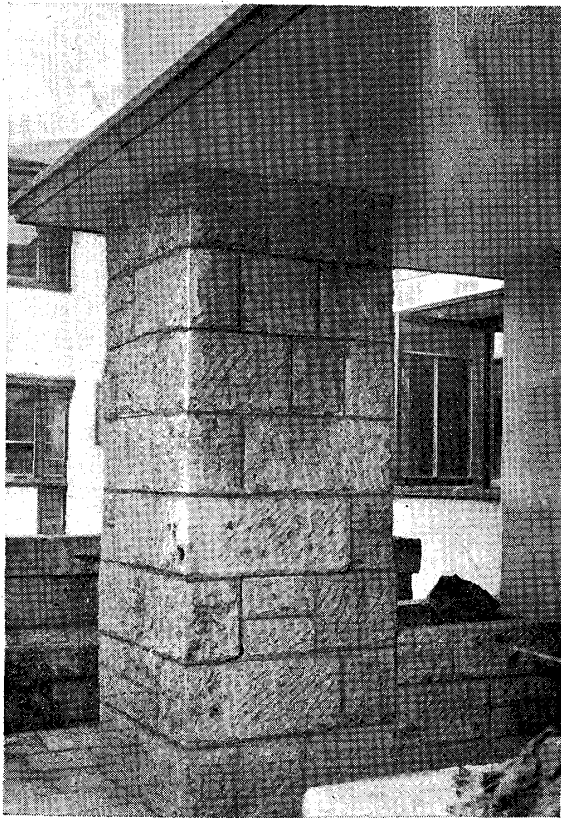
寫眞第一〇二 同右

No. 101



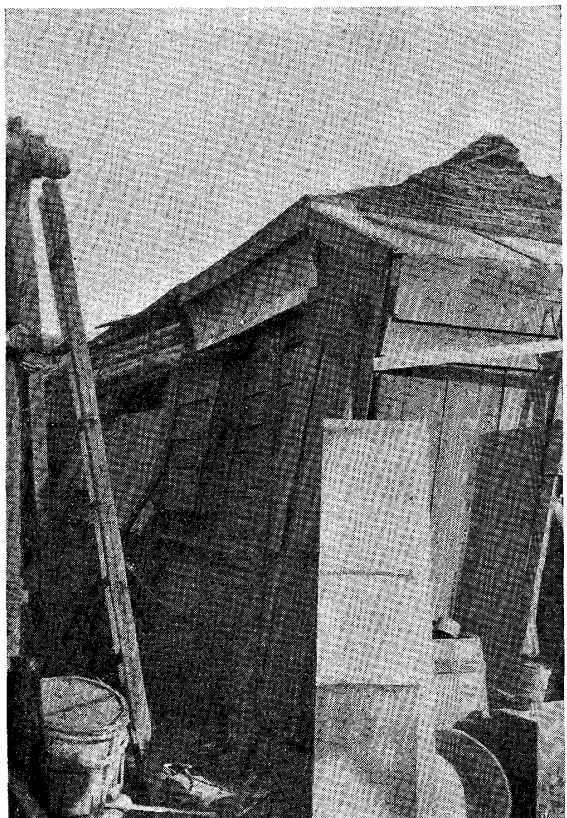
寫眞第一〇一
小石川區下富坂町十八ノ三十一 住家木造二階建
西々南ニ向ツテ約二十五度傾斜セルモノ

No. 104



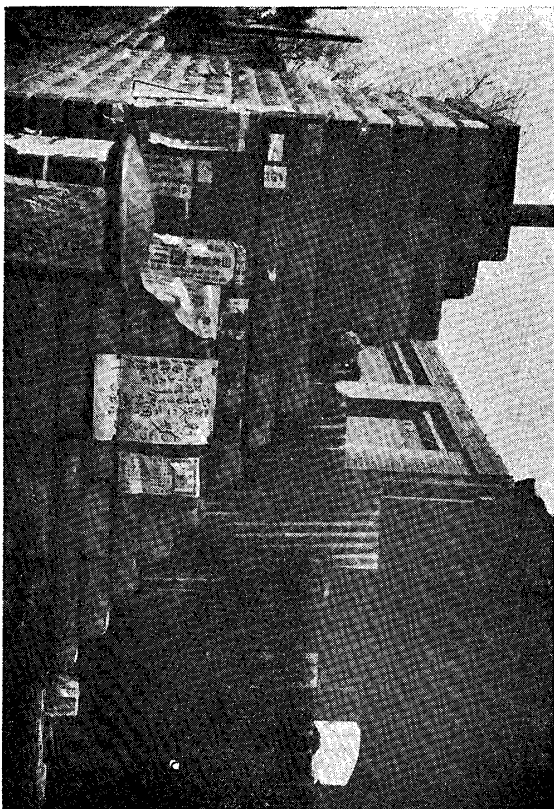
寫眞第一〇四
小石川區雜司ヶ谷町女子大學校櫻楓會寄宿舎表玄關柱ノ
小龜裂ヲ示ス

No. 103



寫眞第一〇三
小石川區柳町二二 住家木造平家東北ニ向ツテ約二十度
傾斜シ屋根瓦殆ンド剥落セシモノ

No. 107



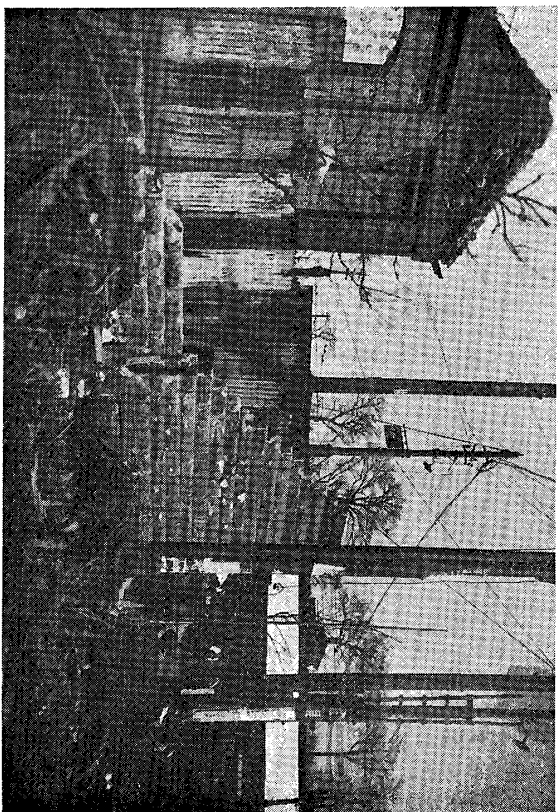
寫真第一〇七 小石川區 砲兵工廠プロック 積塼壁崩壊ノ狀況(東側)

No. 105



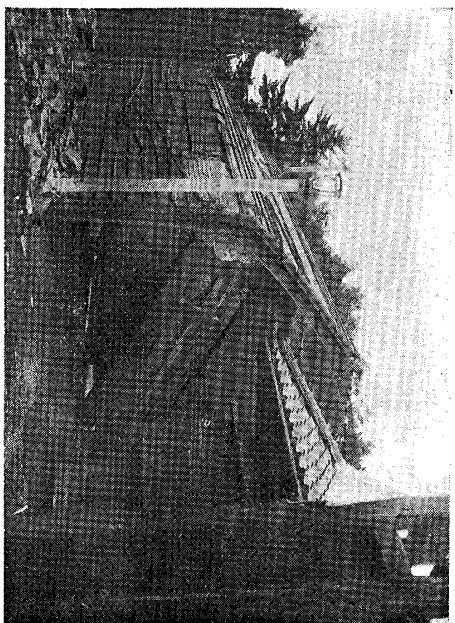
寫真第一〇五 小石川區小日向町五七 下家取付部折損 北々西ノ約二十五度傾斜又

No. 103



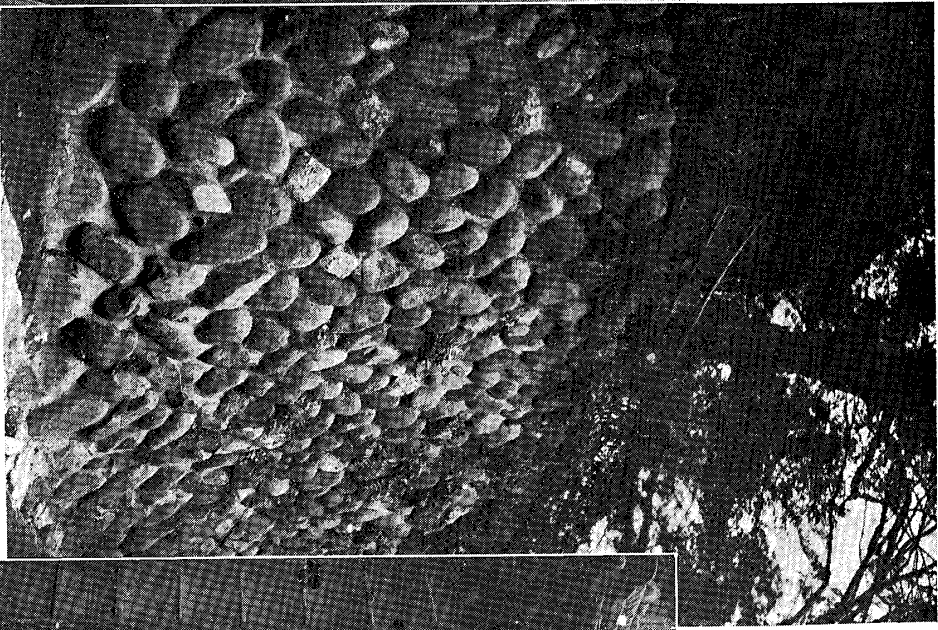
寫真第一〇八 同上(南側)

No. 106



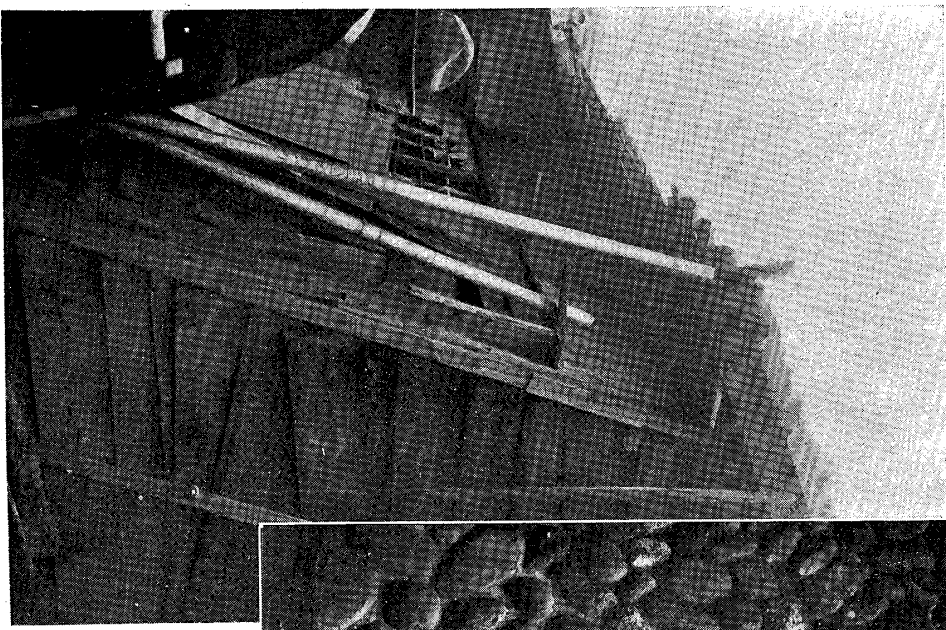
寫真第一〇六 小石川區高田老松町六 三柳川家通用門控柱脚元腐蝕ノ爲 又前面ノ轉倒ノ狀況

No. 110



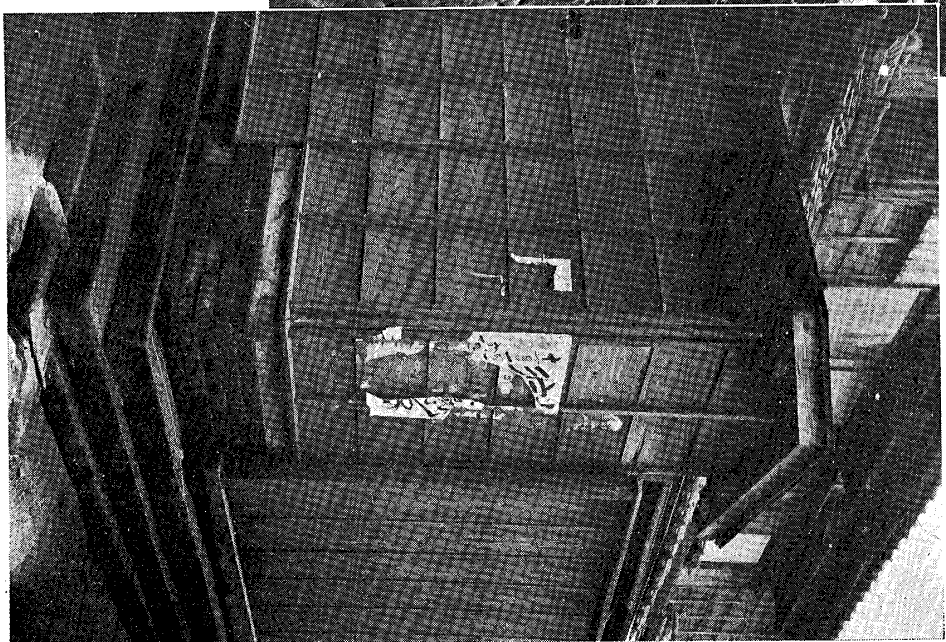
寫眞第一一〇
本郷區駒込千
駄木町五九
無被害ノ石垣

No, 111



寫眞第一一一
本郷區根津片
町五佳家木
造平家北ヨ
リ南へ約二十
五度傾斜セル
モノ

No. 109



寫眞第一〇九
本郷區駒込團
子坂 住家附
屬便所腰積煉
瓦ノ破損ヲ示

No. 112



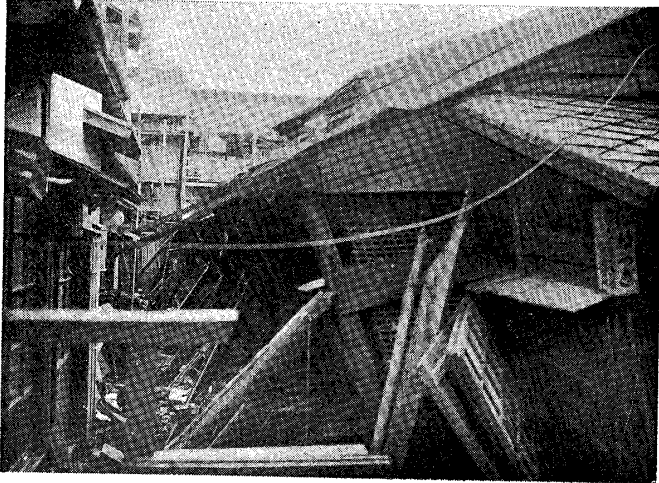
寫眞第一一二

本郷區根津片
町一三 薪炭
置場木造二階
建薪炭ノ荷重
ニ耐ヘズ半壊
セルモノ

寫眞第一一三

本郷區根津八重垣町七
住家木造平家建
古キ建物ニシテ土臺柱
ノ脚部其他構造材接合
部分ノ腐ノ爲前面道路
ニ向ツテ傾斜セルモノ

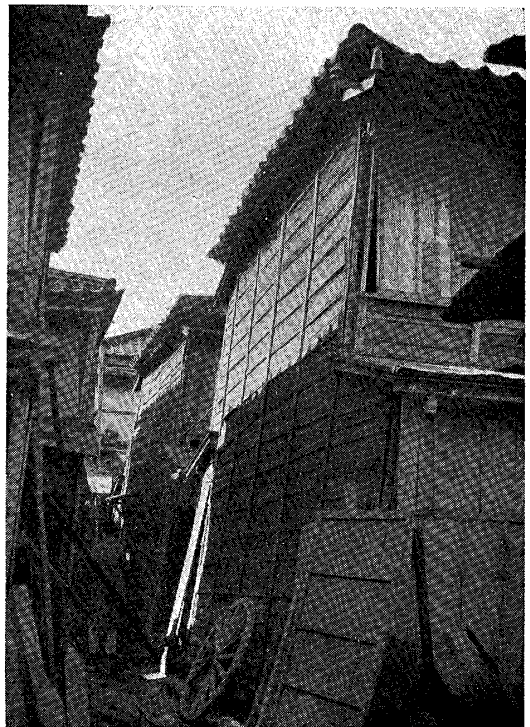
No. 113



寫眞第一一五

本郷區根津八
重垣町三 住
家木造二階建
土臺腐朽ニヨ
リ約十五度傾
斜セルヲ示ス

No. 115



寫眞第一一四

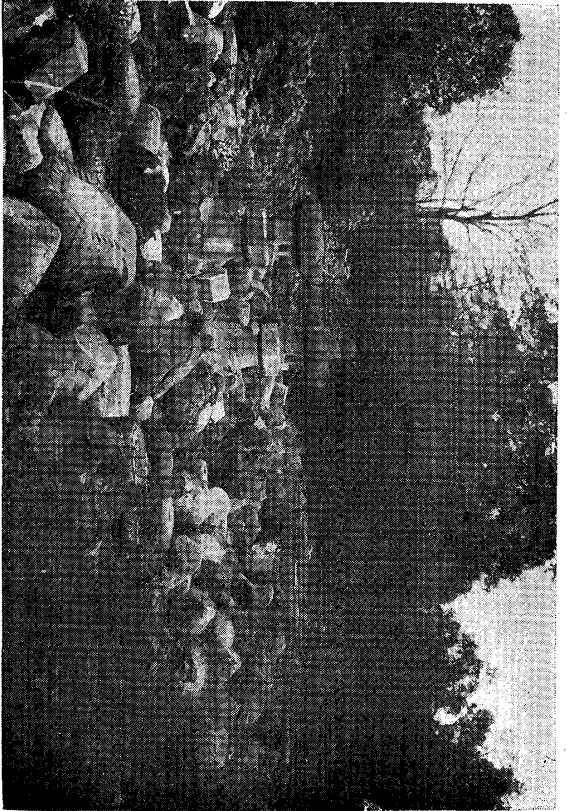
本郷區坂下町
六二 商家木
造二階建 東
側前面道路ニ
向ツテ約十五
度傾斜セルヲ
示ス

No. 114



No. 117

寫真第一一七 同右



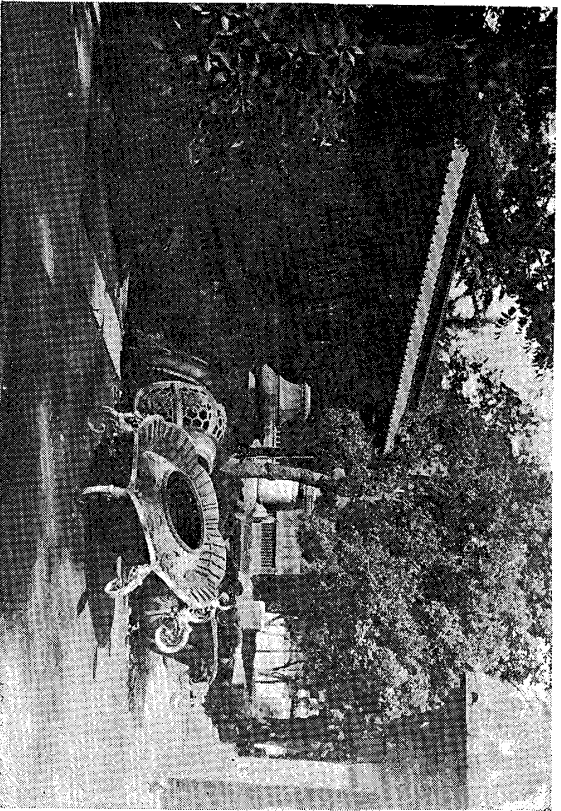
No. 116

寫真第一一六 上野公園徳川靈屋
石燈籠轉倒ヲ示ス



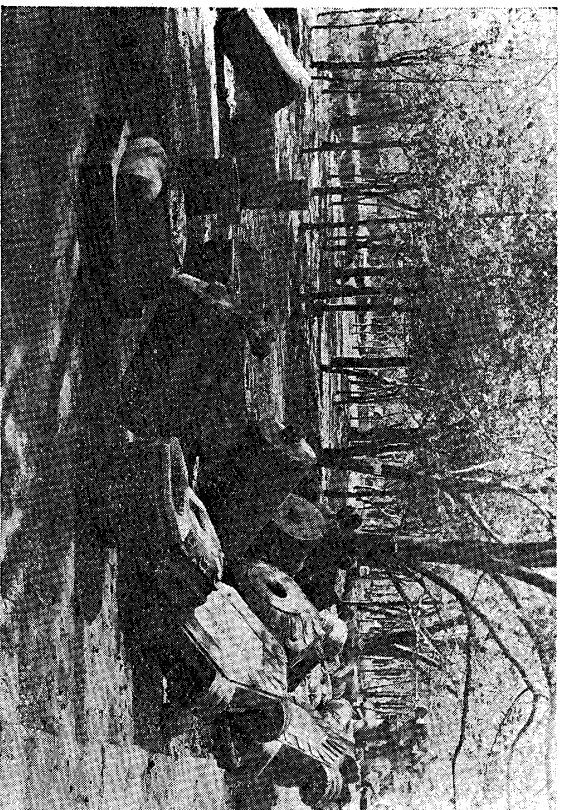
No. 119

寫真第一一九 同右
金燈籠三基北々東ニ向ツテ轉倒セシメヲ示ス

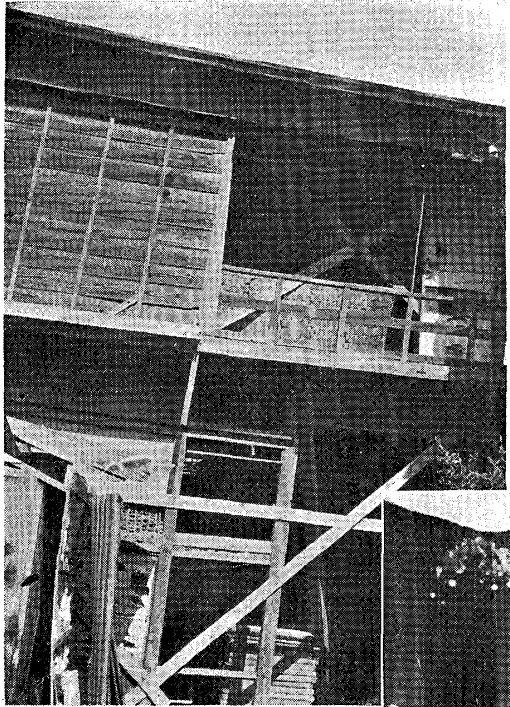


No. 118

寫真第一一八 上野公園東照宮境内
石燈籠列ヲナシテ北々西ニ向ツテ轉
倒セルヲ示ス



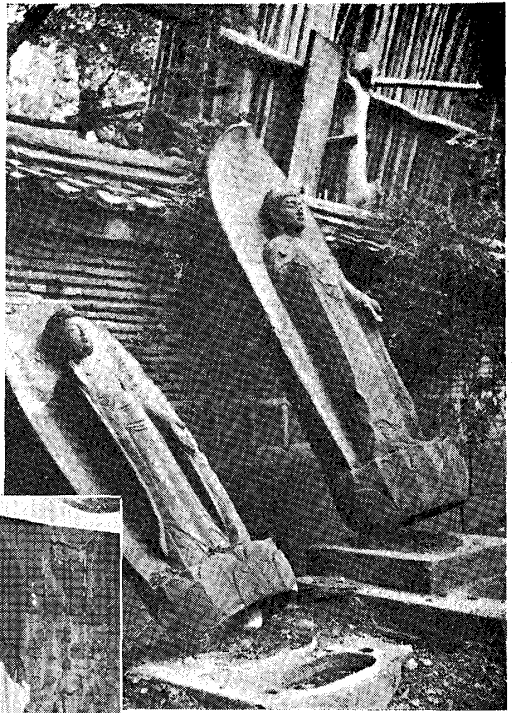
No. 120



寫眞第一二二〇 池ノ端七軒町住家木造二階建地盤濕潤土臺腐朽東ニ向ツテ約十五度傾斜ス

No. 122

No. 121

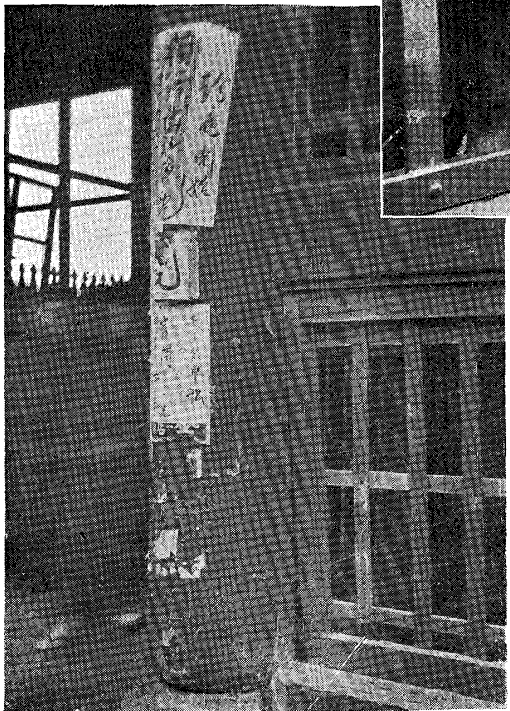


寫眞第一二二一 石像ニ基轉倒

淺草公園傳法院境内

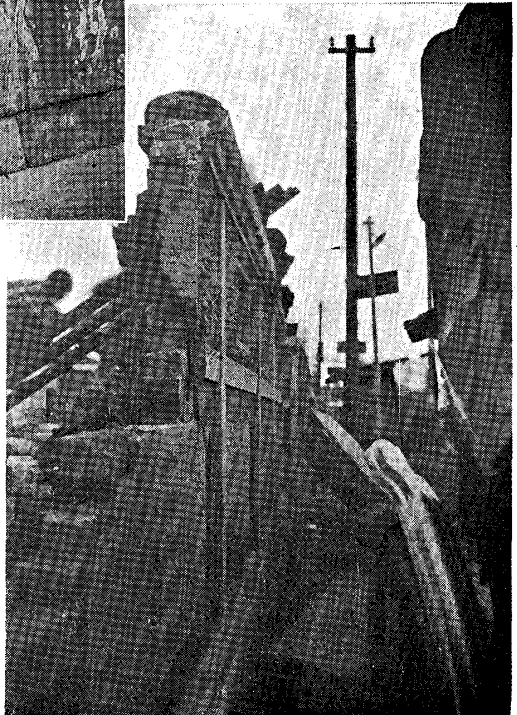
寫眞第一二二三 淺草公園淺草觀音堂境内矢大臣門(東門)門柱ノ移動ヲ示ス

No. 123

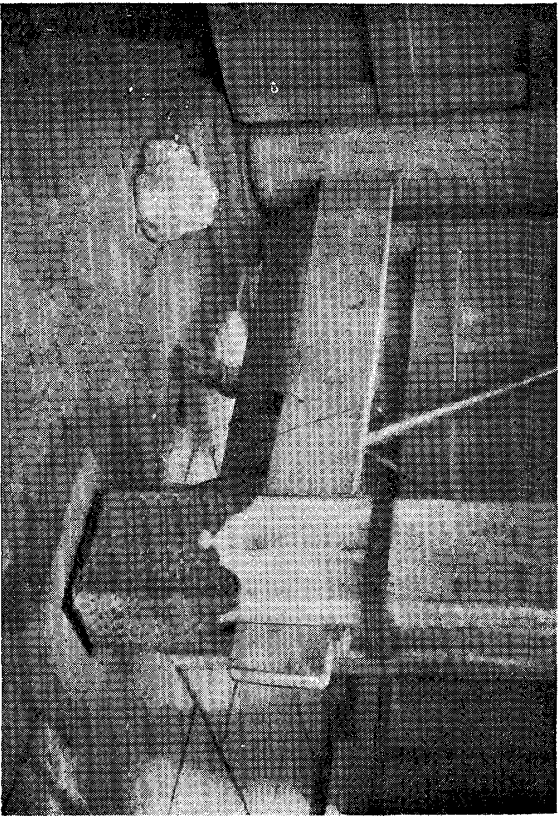


寫眞第一二二四 淺草公園仲見世草西側煉瓦塙壁半枚積前墻ハ隣接建物ノ全壊ニヨリ面ハ隣接建物ノ崩壊セルモノニシテ其ノ他ハ直シテ被震ナキヨリテ被害ナキモノ

No. 124



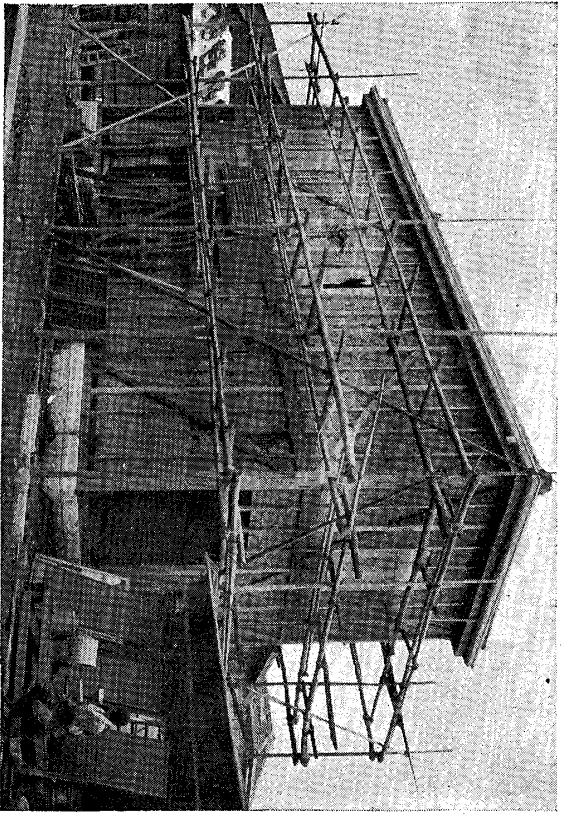
寫眞第一二二二 淺草觀音堂床下鐵格子ト床東トノ離脱ヲ示ス



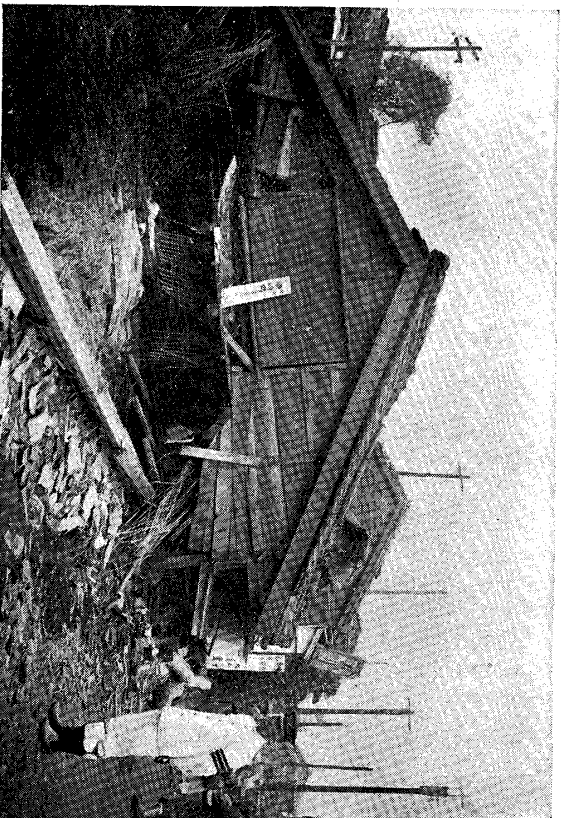
No. 126 寫真第一二六 淺草公園門 木造平家傳法院
山門ノ柱ノ移動狀況



No. 125 寫真第一二五 淺草公園淺草寺境内 木造平家
棟柱ノ移動狀況

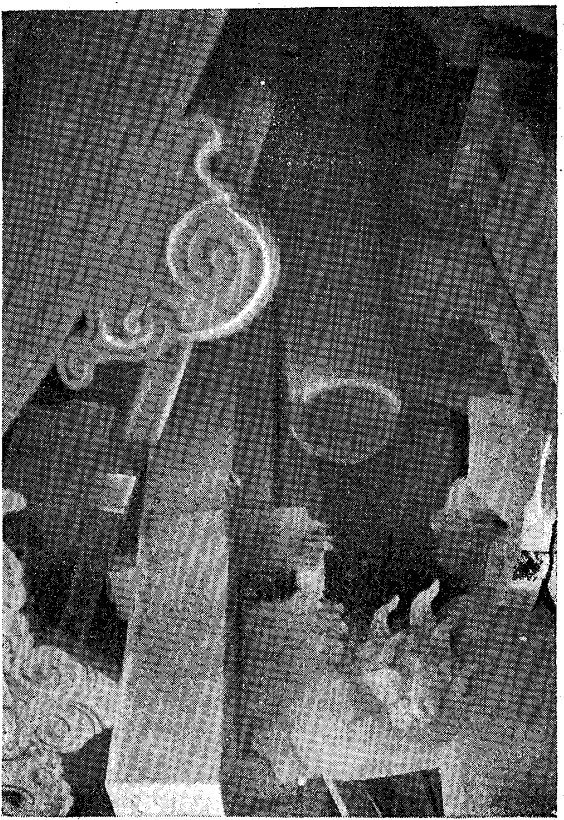


No. 128 寫真第一二八 府下龜戸遊園地三七〇〇中三在リテ工法比較的
附近全燒家屋夥多ナル結果倒壊ヲサリテ免カレタル狀況
注意ヲ怠ラザリ

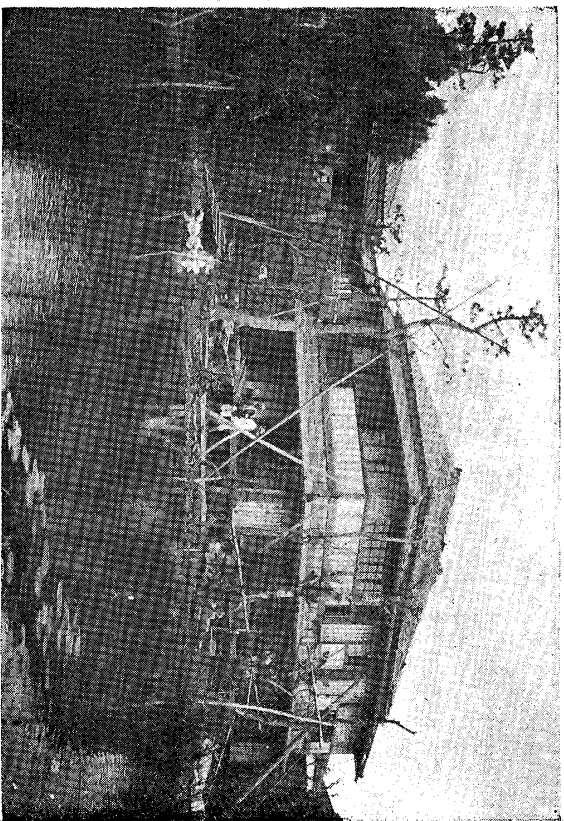


No. 127 寫真第一二七 本所區向島洲崎町二一九 住家木造
二階建脚部腐朽欄指部折損倒壊狀況

No. 1130 寫真第一三〇 神奈川縣川崎町 平間寺通用門 四脚門木造 柱ノ根元腐朽シ 震動ト共ニ木柵ヲ折損セシメ 又倒壊ニ至ル



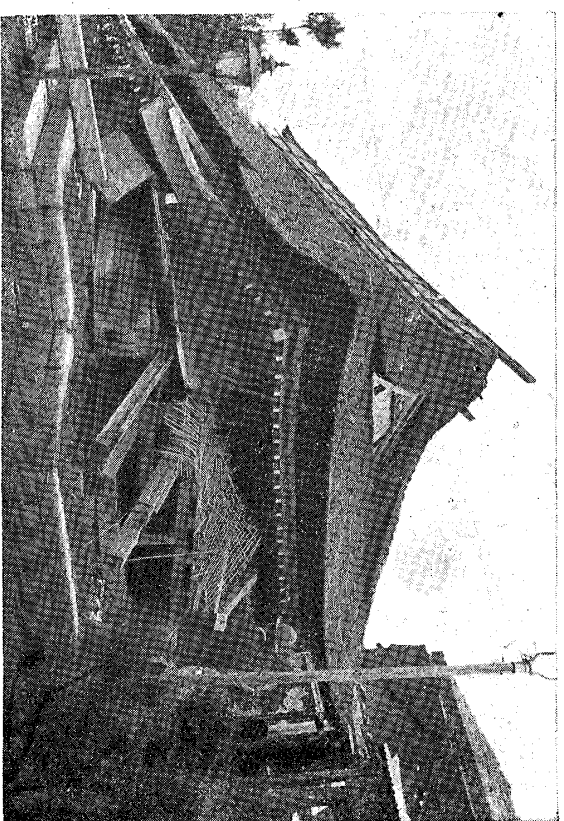
No. 129 寫真第一二九 府下大森町 森ノ崎病院 木造二階建 森ノ崎鐵泉病院



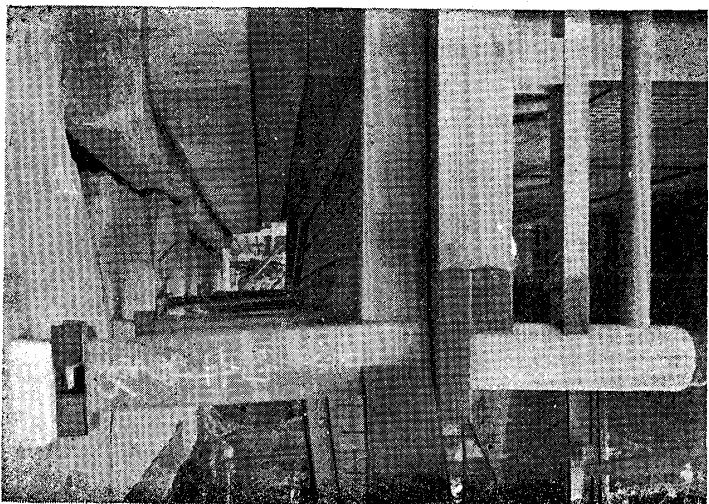
No. 132 寫真第一三二 府下羽田町 羽田尋常高等小學校 木造二階建 大破損傾斜ノ状况



No. 131 寫真第一三一 府下羽田町 鈴木新田 玉川辨財天 木造一階本堂 倒壊ノ状况

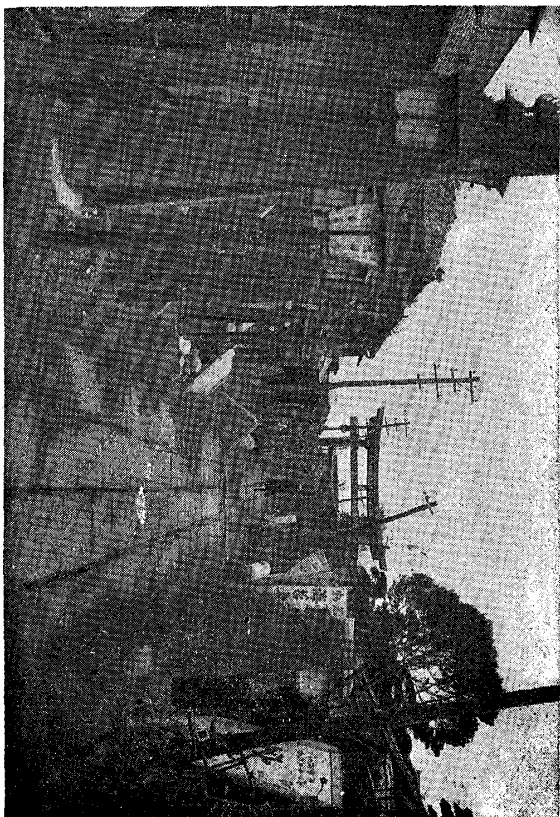


No. 134



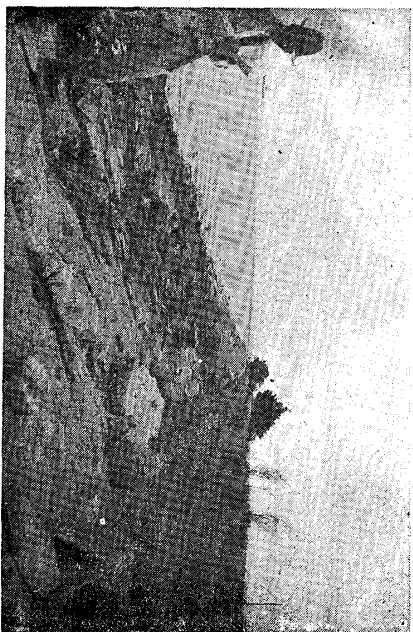
寫真第一三四 府下羽田一穴守稻荷社殿床東ノ移動セシモノ

No. 133



寫真第一三三 府下羽田一穴守稻荷石鳥居ノ轉倒及街燈ノ被害

No. 136



寫真第一三六 府下大森町森ヶ崎堤防決潰ノ狀況

No. 135

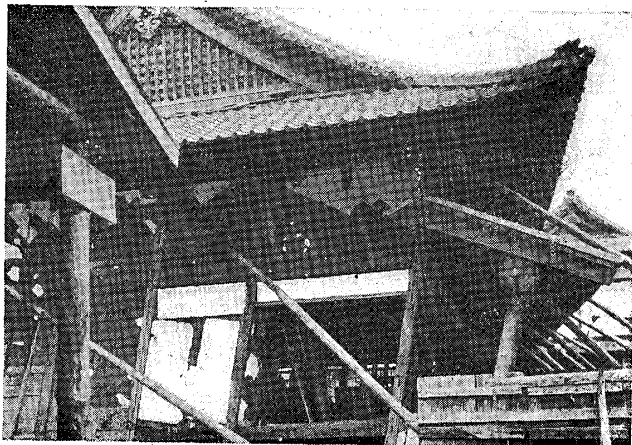


寫真第一三五 府下大森町森ヶ崎堤防破壞狀況 石及混凝土混用遊堤防

寫眞第一三二七

府下池上村 本門寺客
殿ノ大傾斜ヲ爲セルモ
ノ(側面ヨリ撮影ス)

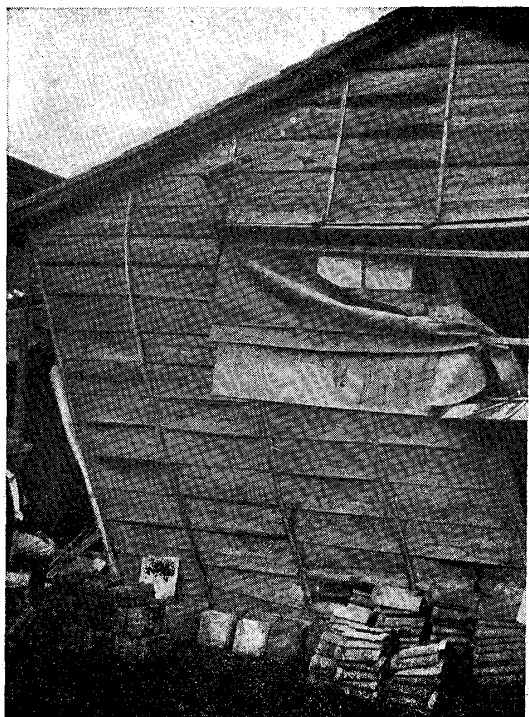
No. 137



寫眞第一三九

府下大崎町
日本耐火「ス
レート」株式
會社木造平家
建倉庫ノ大傾
斜ヲ爲セルモ
ノ切妻部ヲ望
ム

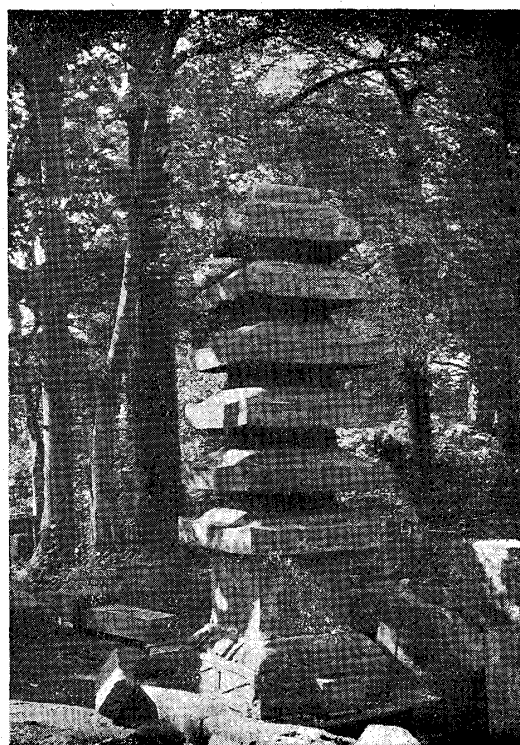
No. 139



寫眞第一三三八

府下池上村
本門寺境内ノ
九輪塔ノ頂部
墜落セルモノ

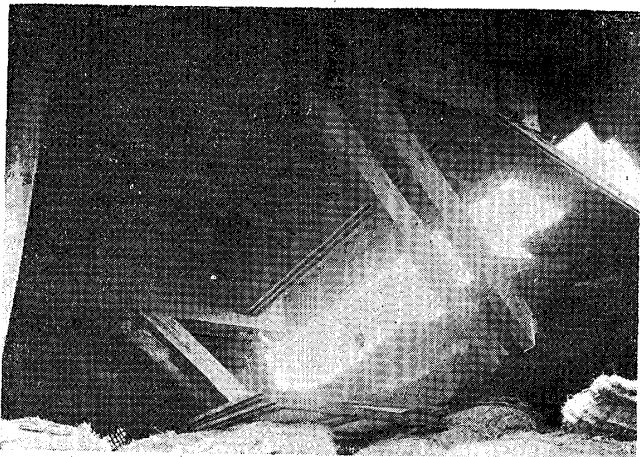
No. 138



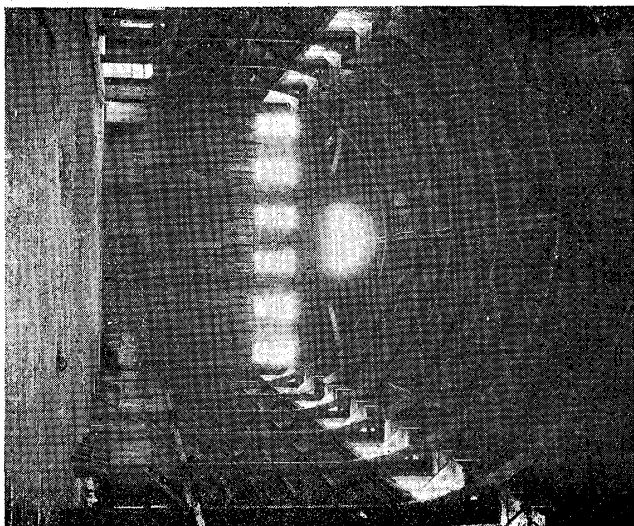
寫眞第一四〇

同上
内部柱ト小屋
梁ヲ連結セル
挾方杖ノ離脱
情況ヲ示セル
モノ

No. 140

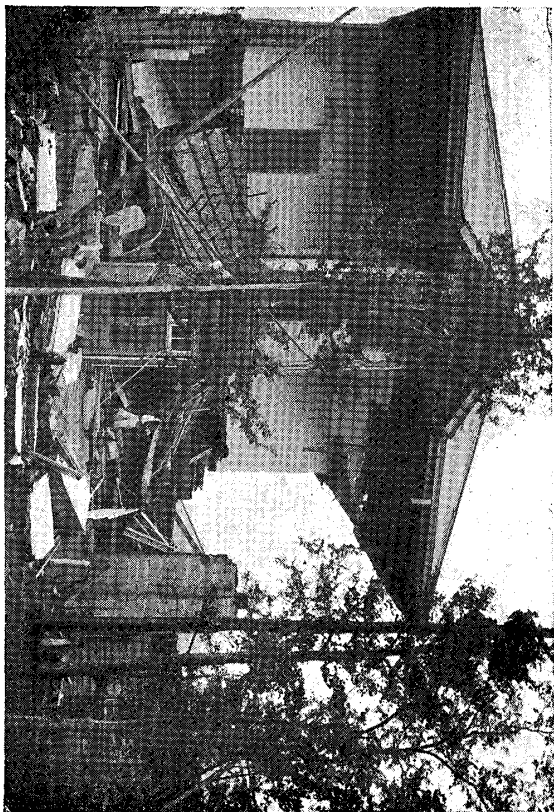


No. 143



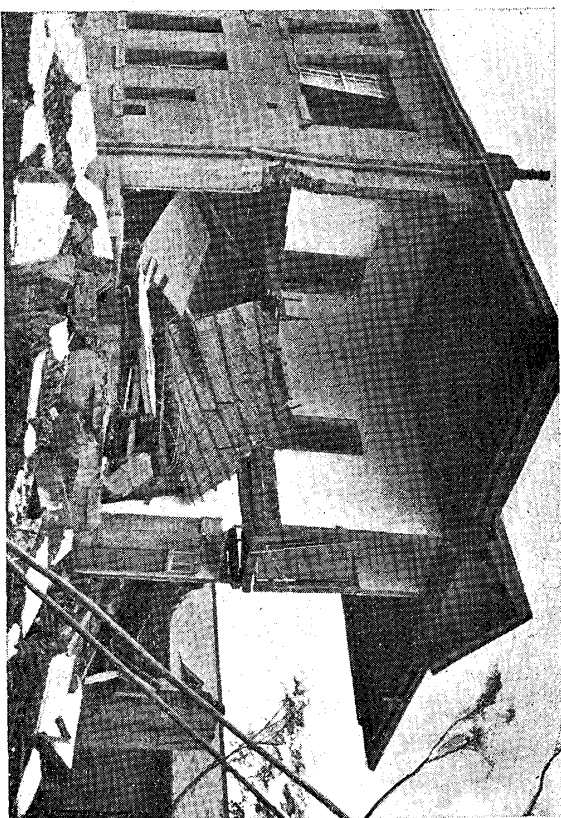
寫真第一四三 府下世田谷町池尻四三七 東京 C 工業株式會社氣球格納庫被害僅少

No. 141



寫真第一四一 府下目黒町臨時築業研究所煉瓦造二階建別墅頭壞セルモ

No. 142



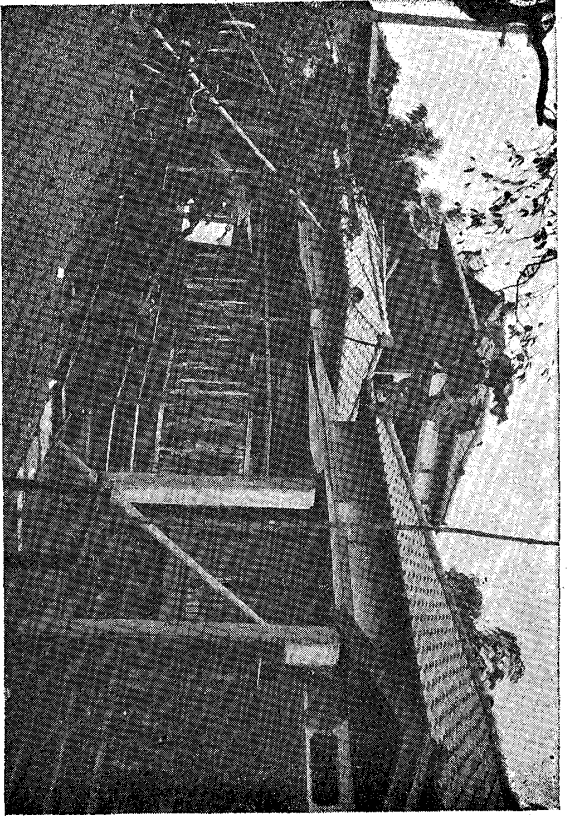
寫真第一四二 同上

No. 144



府下目黒町農商務省臨時築業研究所農商務省臨時工事略竣工時ノ高地上九尺ニ於テ折損墜落セル狀況ニ於テ

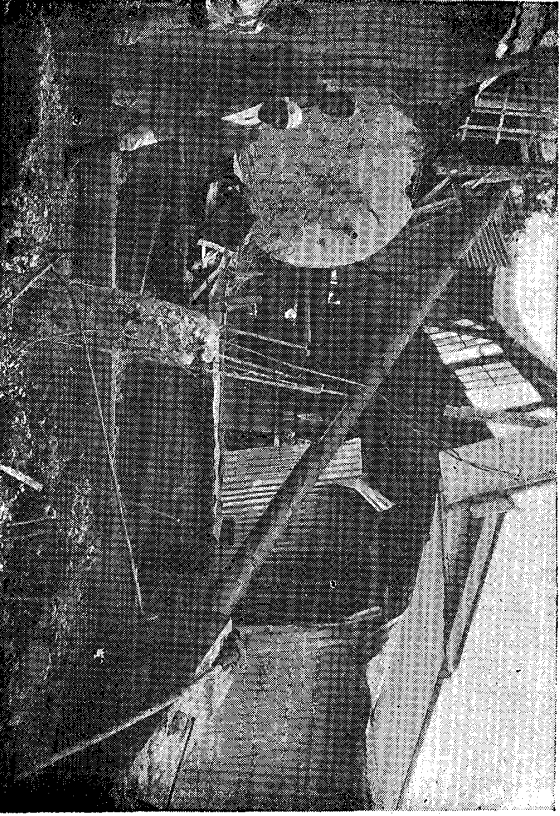
No. 147 寫真第一四七 府下千歲村字烏山 住家木造 所謂文
化並ニ住家ノ少傾斜ノ狀况



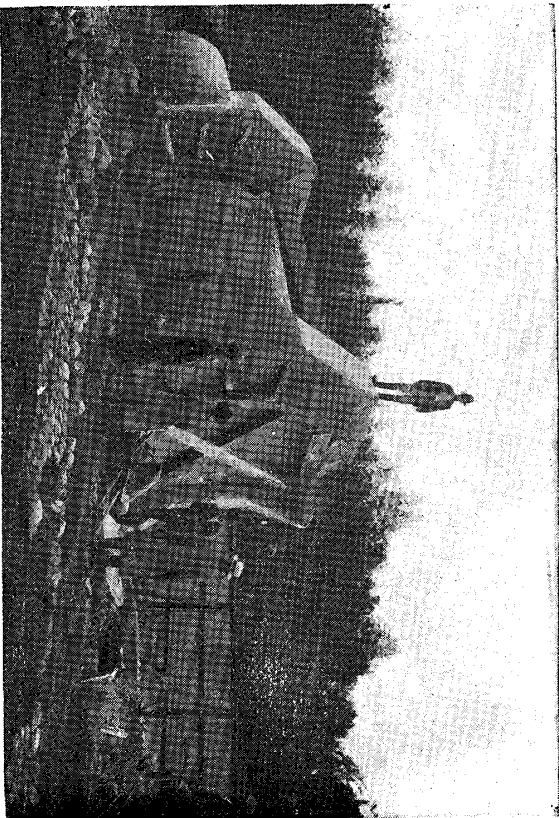
No. 148

寫真第一四八

府下千歲村字烏山 浴場附屬煙突(鐵造)轉
倒ノ狀况 「コンクリート」基礎内部ニ「セ
メント」空轉ヲ嵌入シ「アリ」ヲ基礎ノ用ヲ爲
サズ構造頗ル不完全ナルモノ×印ハ控杭



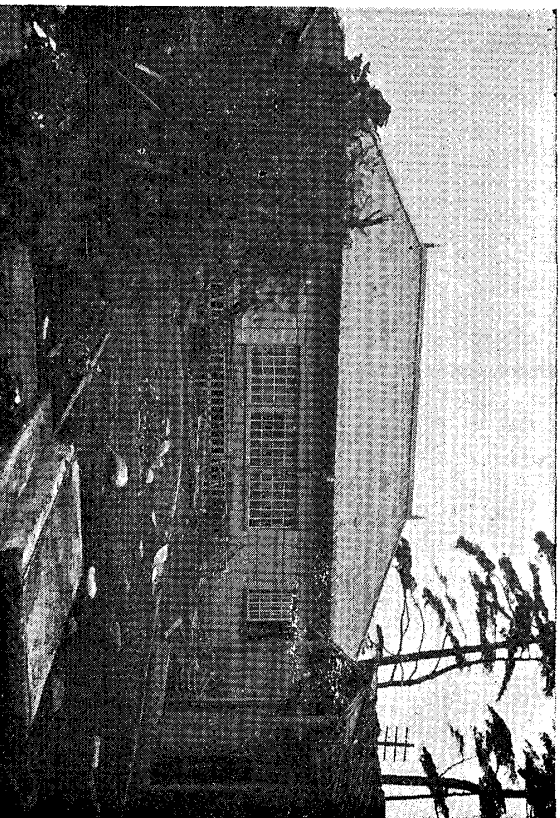
No. 145 寫真第一四五 府下千歲村字烏山 鐵筋混凝土造水槽
高約三十尺ノ水槽埋部ニ折轉倒ノ狀况



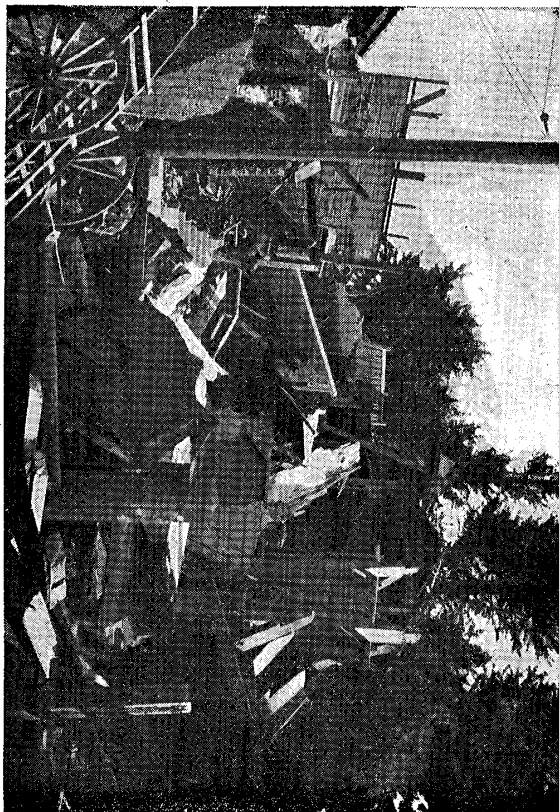
No. 146

寫真第一四六

府下桂原郡松澤村 府立松澤病院附近
ニ全潰建物ヲ出セルモ屋根ノ輕量ニシ
テ平家ナル故カ被害僅少ナルモノ

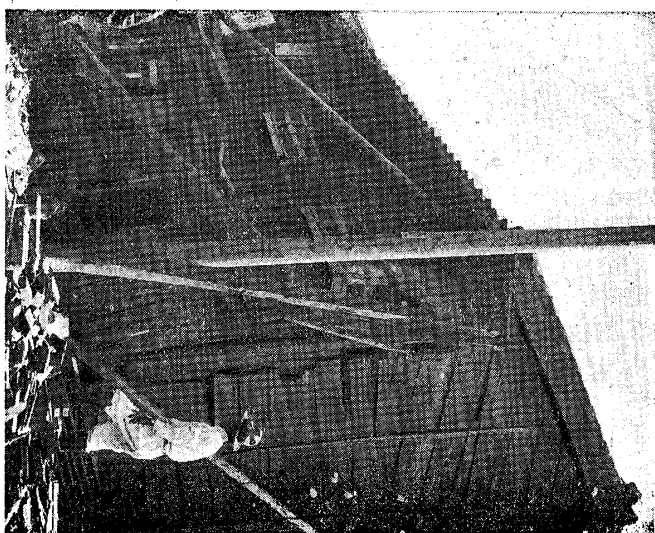


No. 151



寫真第一五一 府下西大久保四五一 鴻巣銀行 大保支店煉瓦造崩壊ノ狀況

No. 149



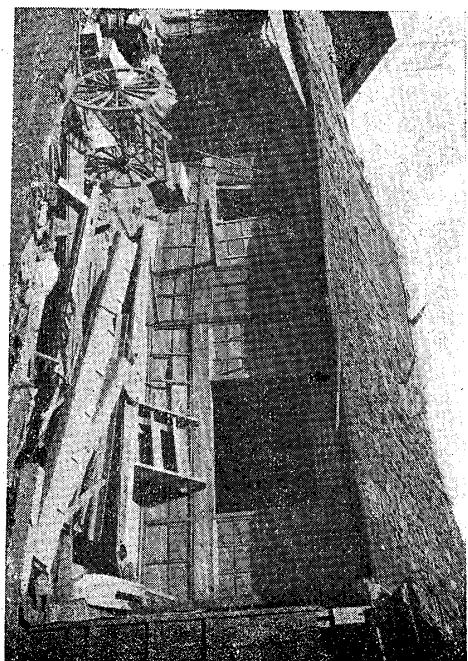
寫真第一四九 府下戸塚町高田 長屋建一隅通柱折 損傾斜ノ狀況

No. 152



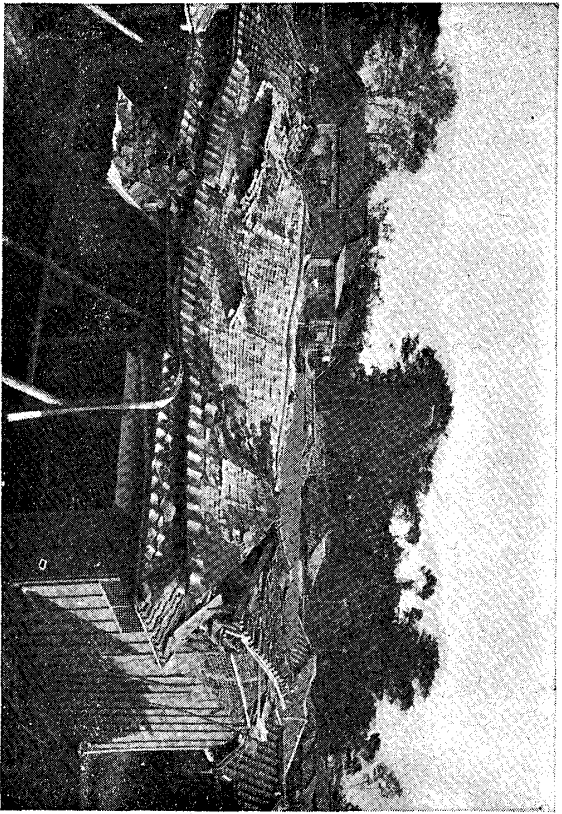
寫真第一五二 同上

No. 150

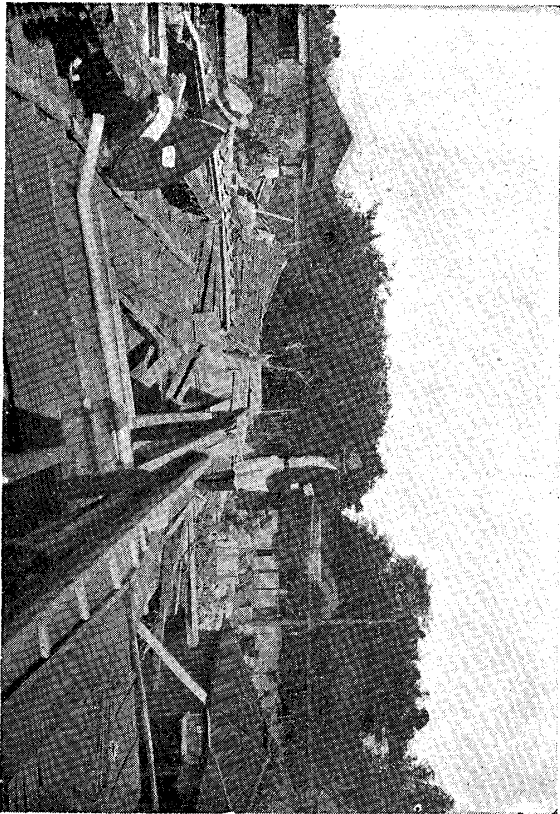


寫真第一五〇 府下戸塚町下戸塚二階商家木造二階建二階梁下端ニ於テ柱悉ク折損階下潰レニ墜落狀況ノ傾斜

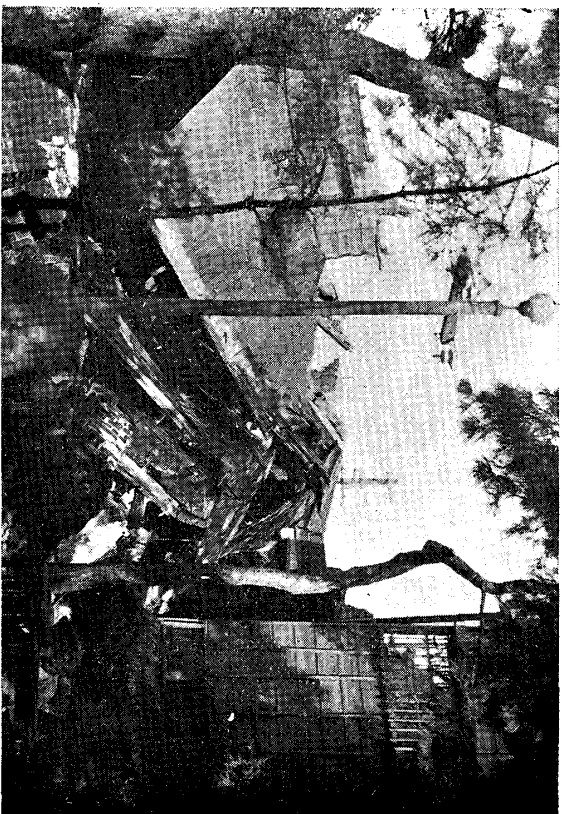
No. 155 寫真第一五五
 府下中野町大字中野三五〇〇 八千代
 生命保險株式會社住宅木造二階建
 階上全潰セルモノ



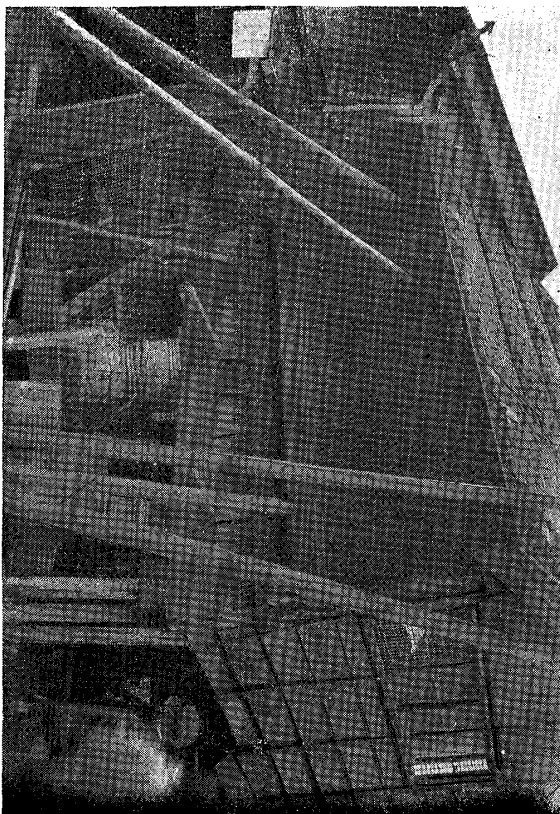
No. 156 寫真第一五六
 同上
 階上全潰建物ヲ上方ヨリ撮影セルモノ



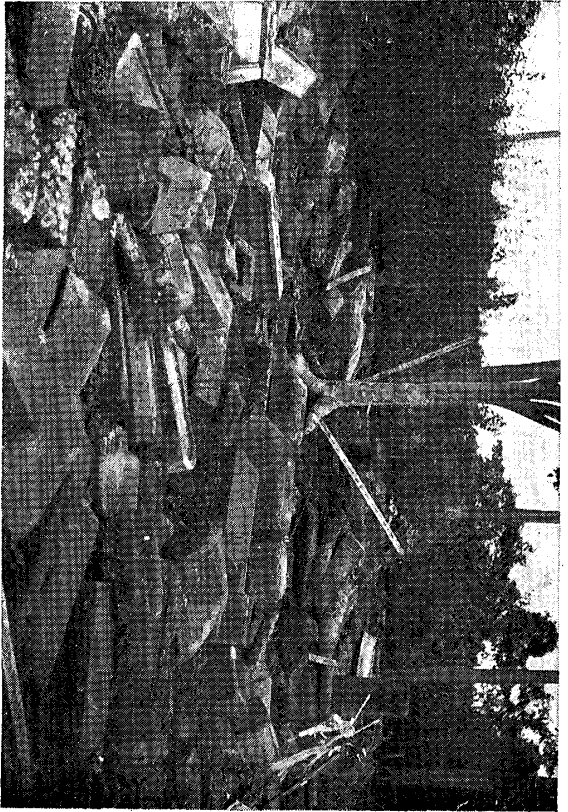
No. 153 寫真第一五三
 府下西大久保四五一 鴻巣銀行
 大久保支店煉瓦造崩壊ノ狀况



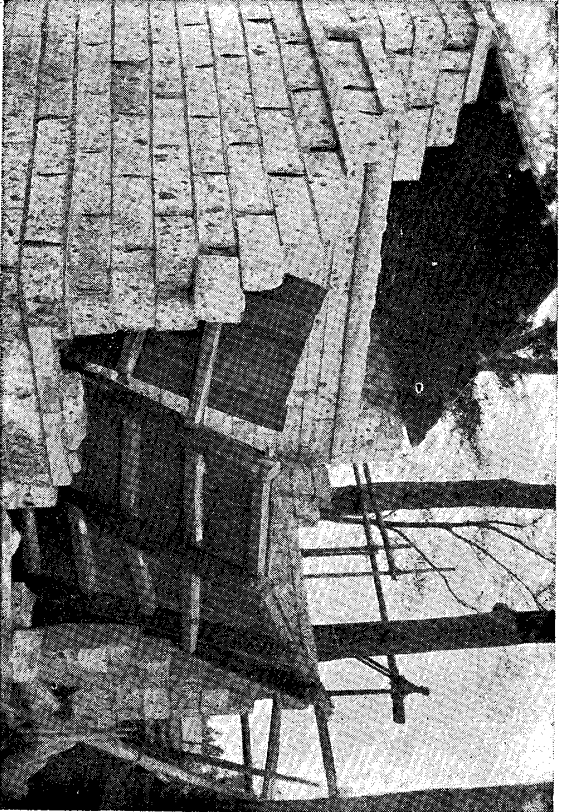
No. 154 寫真第一五四
 府下品川町南馬場三三四 木造二階建商店
 梁下ニ於テ柱折れ階下破壞二階北々西へ傾
 斜殘存ノ狀况



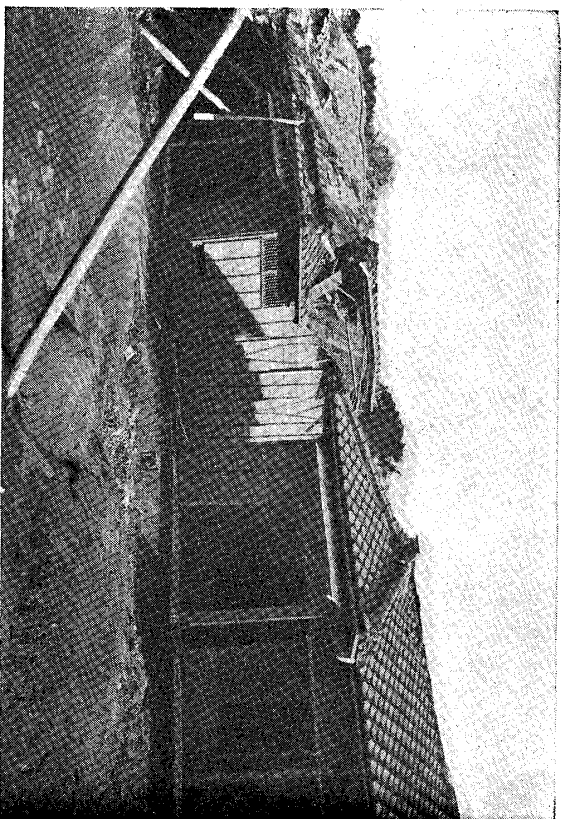
No. 159 寫真第一五九 府下原町田町 某寺院ノ墓石轉倒セル



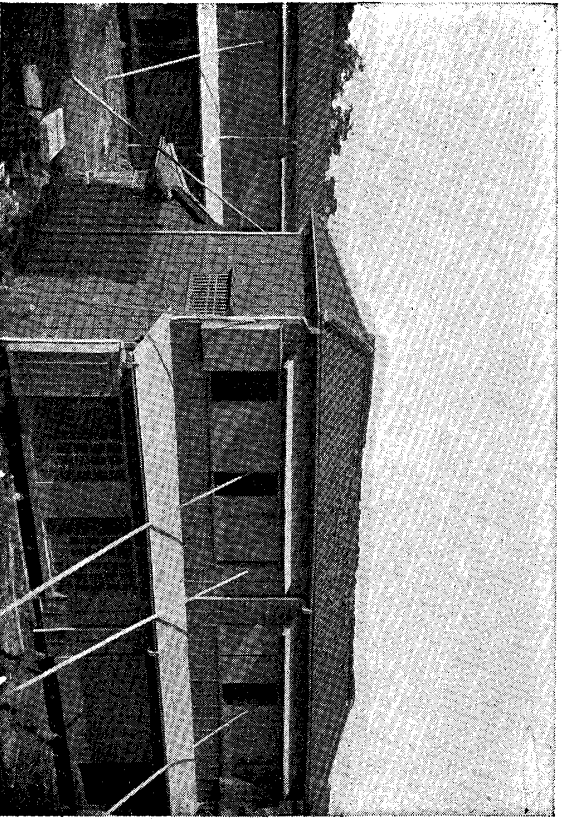
No. 160 寫真第一六〇 府下八王子市 石造倉庫ノ一部崩壞セルモノ(切妻部)



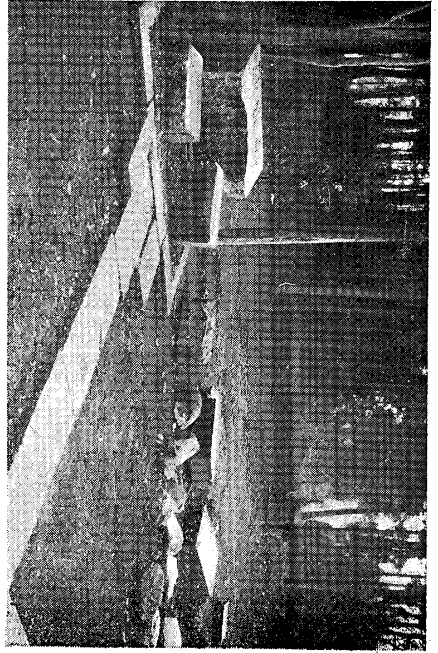
No. 157 寫真第一五七 府下中野町大字中野三五〇〇 八千代生命保險株式會社社宅 階上全潰セルモノ(二棟共)



No. 158 寫真第一五八 同上 被褥輕微ノ建物

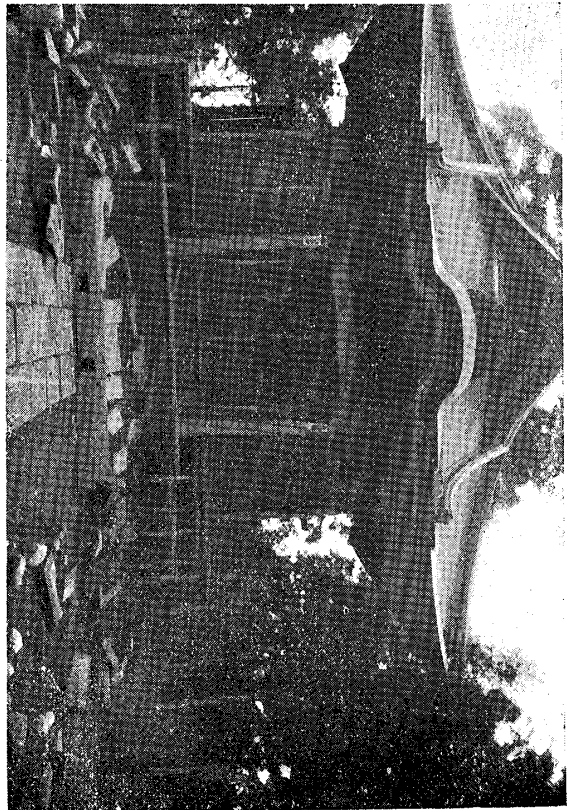


No. 162



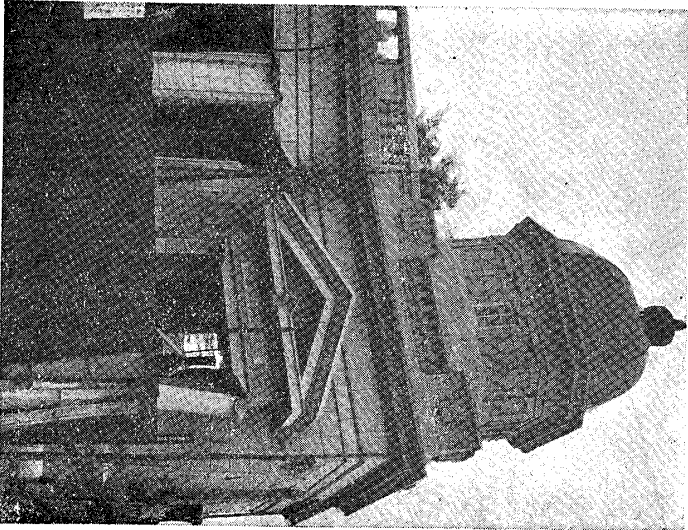
寫真第一六一 府下原町一
轉倒田神社境内手洗

No. 161



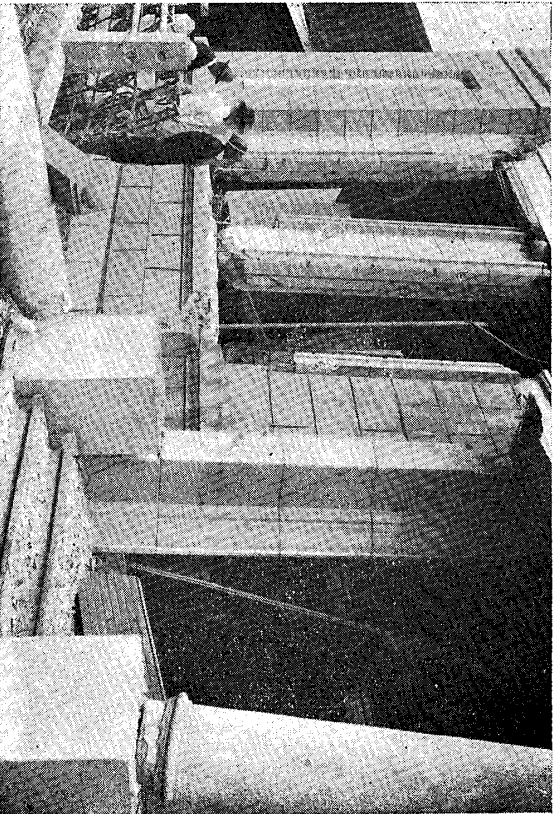
寫真第一六一 府下原町田
町神社本殿礎
壇ノ崩壞狀況

No. 163



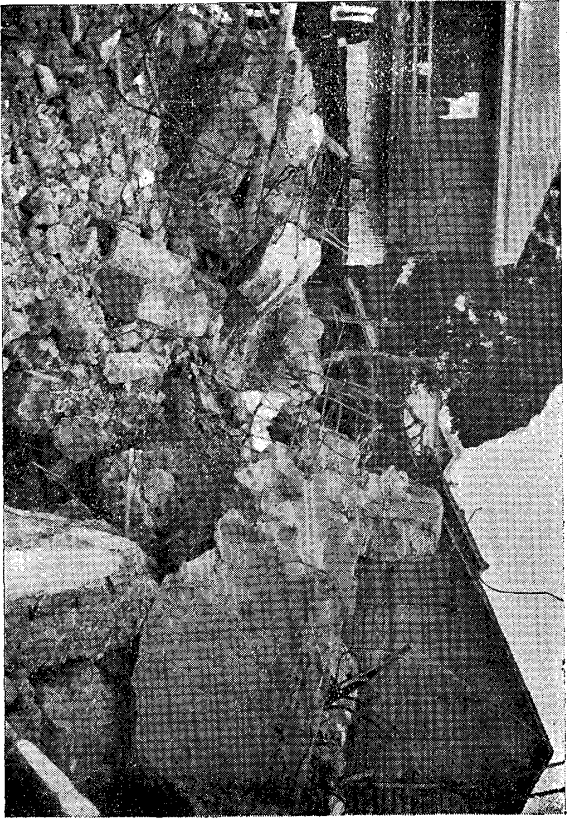
寫真第一六三 府下原町
正面被害ノ狀況 原町田株式會社町田銀行

No. 164

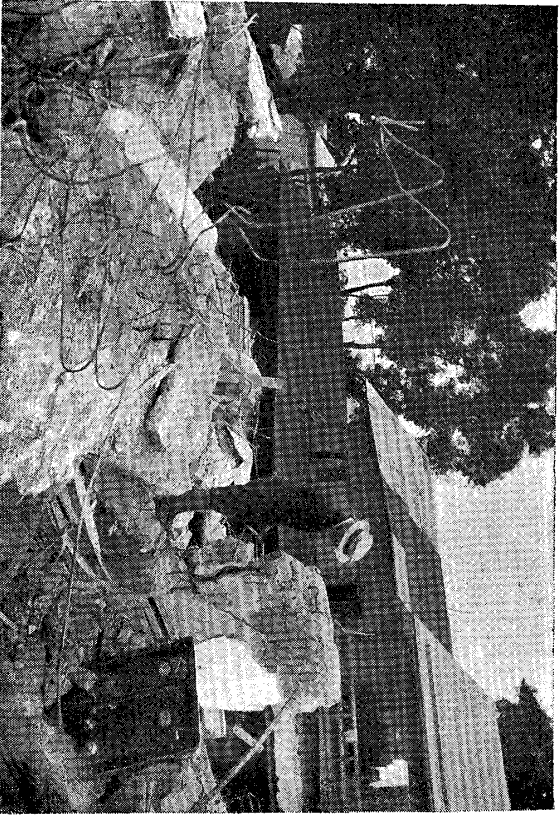


寫真第一六四 府下原町
田銀行鐵筋混 凝土造半壞ノ狀況

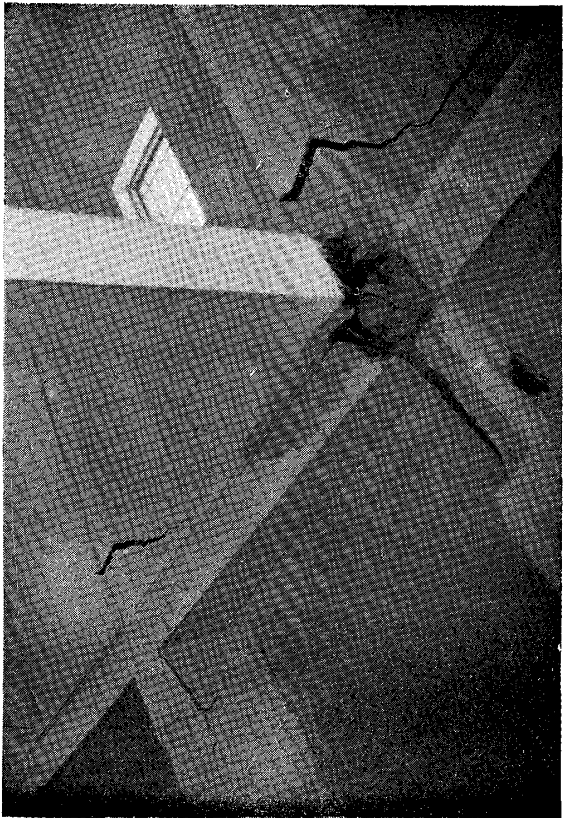
No. 167 寫真第一六七 府下町田町 原町田瀬谷銀行原町田
支店崩壊ノ狀況



No. 168 寫真第一六八 同上



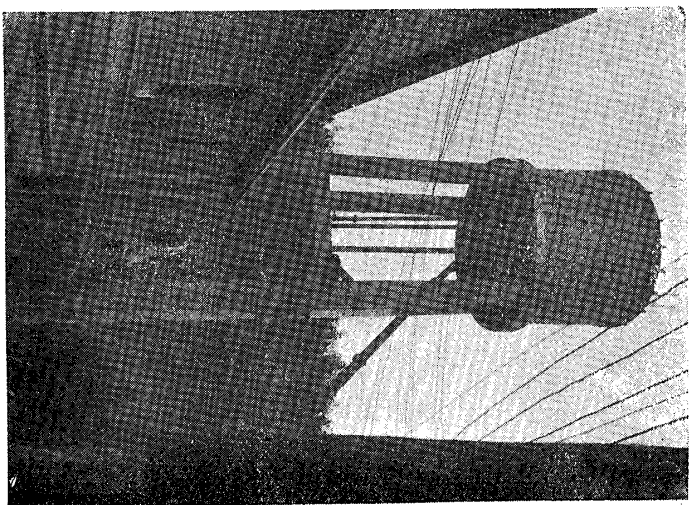
No. 165 寫真第一六五 府下町田町 原町田株式會社前町田銀行
鐵筋混凝土造營業室ノ破損ノ狀況



No. 166 寫真第一六六 同上 窓際破壊ノ狀況

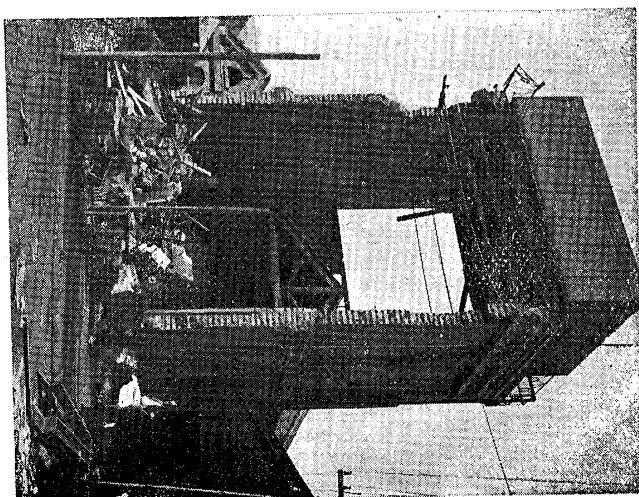


No. 170



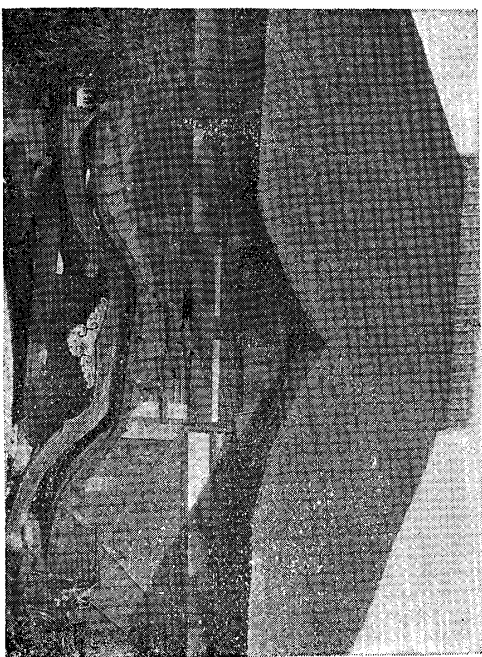
寫真第一七〇
府下豊多摩郡和田堀内村堀ノ内縮製紙株式會社被害才キ高サ三十尺ノ水槽(本工場内一般ニ被害僅少)

No. 169



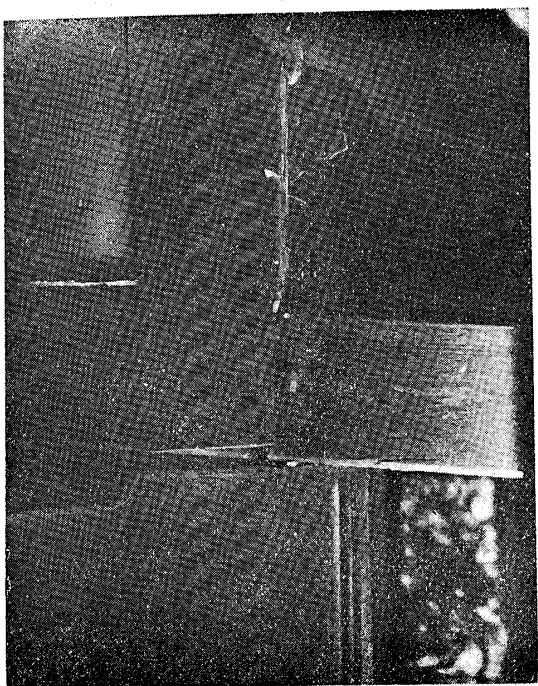
寫真第一六九
府下岩淵町 赤羽日本製麻株式會社赤羽工場
高三十尺ノ煉瓦造水槽臺ノ被害狀況

No. 171



寫真第一七一
同拜ノ倒潰
向

No. 172

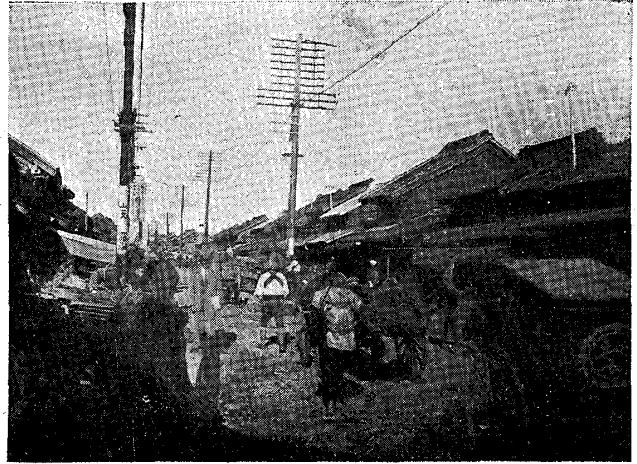


寫真第一七二
府下三河島町 觀音寺本堂
内部ノ柱ト長押及指鴨居取合部分ノ被害

寫眞第一七三

府下千住町
中組商店木造
二階建青物市
場被害ノ狀況

No. 173



寫眞第一七四

府下千住町中組一二七
商店木造二階建
明治十八年以前ノ建築
物ナルモ比較的被害僅
少ナルモノナリ

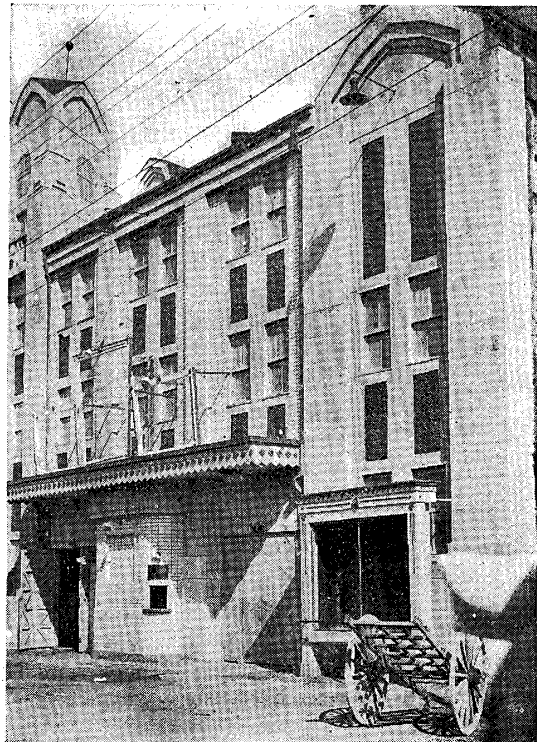
No. 174



寫眞第一七五

府下千住町
千住割場木造
二階建
地盤軟弱ナル
モ被害ナカリ
シモノ

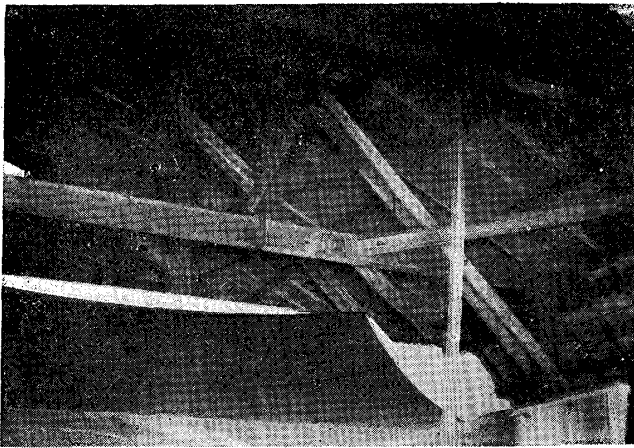
No. 175



寫眞第一七六

同上
屋根裏小屋組
ヲ示ス

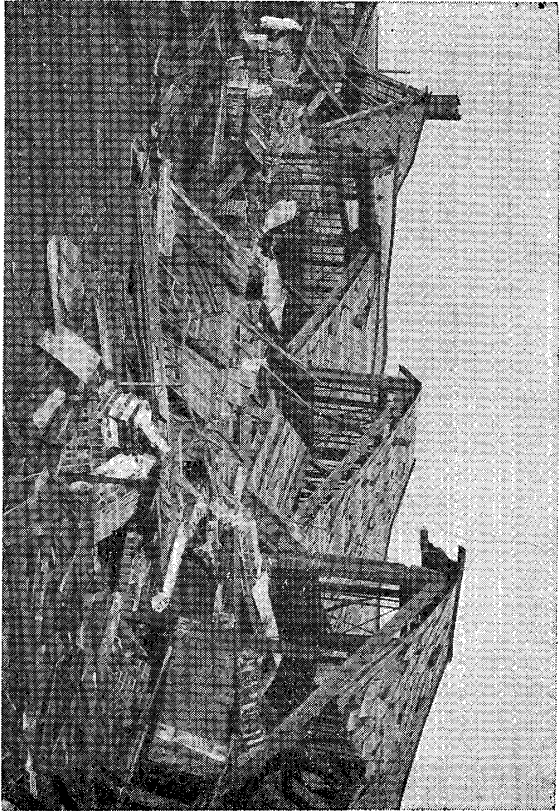
No. 176



No. 178

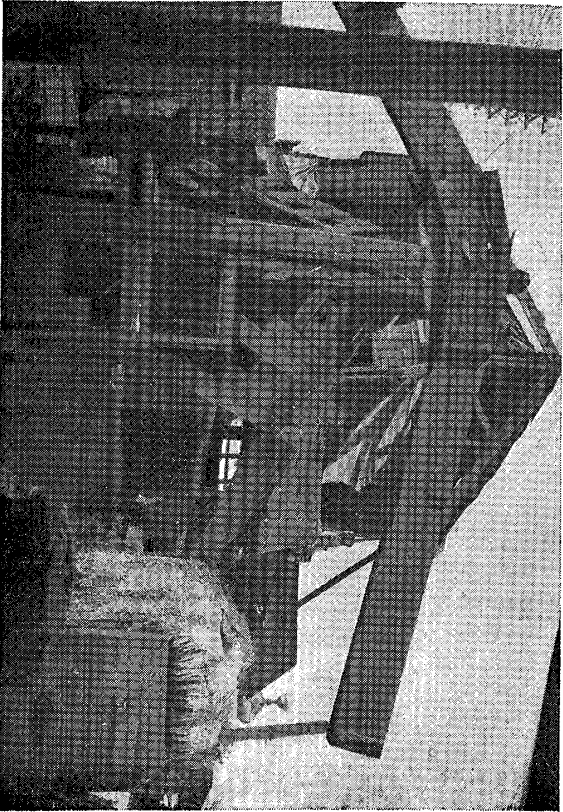
寫眞第一七八

府下岩淵町 赤羽日本製紙株式会社
工場煉瓦造 平家建
周圍ノ煉瓦造壁體ノ崩壞ニヨリ倒潰
セルモノ



No. 180

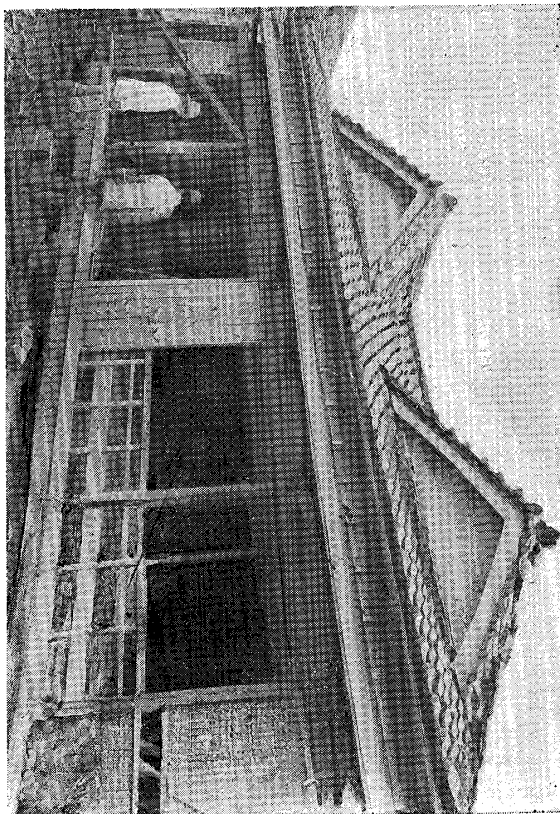
寫眞第一八〇 同右 倉庫



No. 177

寫眞第一七七

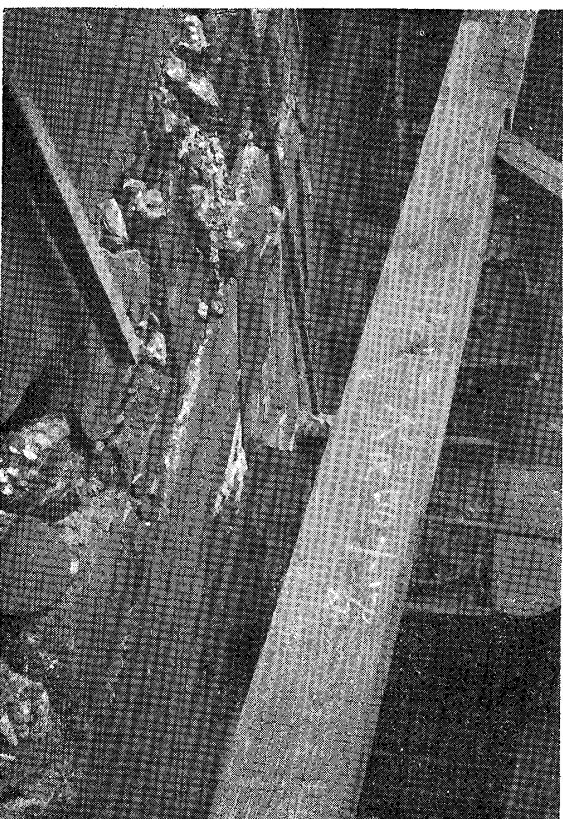
府下千住町四丁目九〇二 貨座敷木造
三階建
三階梁下ニテ柱挫折シ階下潰レニ階ハ
傾斜シテ殘存セルモノ



No. 179

寫眞第一七九

府下岩淵町 赤羽日本製紙株式会社
工場内ノ床ノ龜裂



寫眞第一八二

府下小松川四八
 八〇千代田工
 業株式會社
 一、高サ約百二
 十尺ノ煉瓦造
 煙突ノ折損
 一、最初ノ折損
 リ約三分ノ一
 ノ所ニテ折
 レ部略中央ニ
 側所ヨリ折損
 セルモノ
 一、向ツテ左端
 中央部切妻屋
 根倉庫ノ下
 ニモトルテ
 ニンダノ見
 ヲルハ同煙突
 ノキヤビタ
 ルニシテ崩
 ノ中央部ニ
 落セルハ突
 中央部分ナ
 リノ

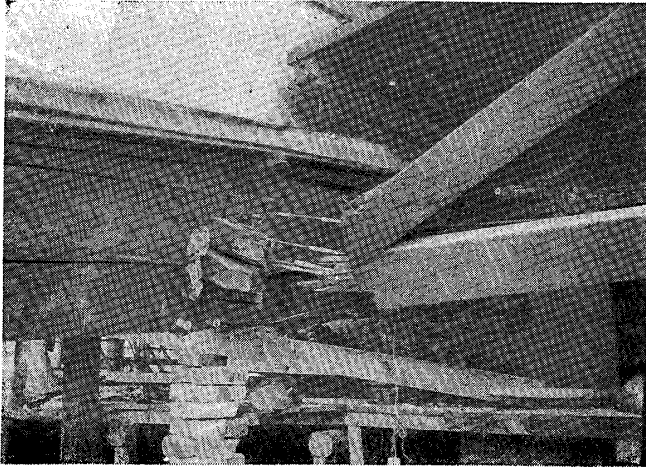
No. 182



寫眞第一八四

府下寺島町 隅
 田川工業株式會
 社防火壁煉瓦造
 屋根鋸齒狀鐵板
 葺
 防火壁崩壞屋根
 墜落小屋組ハ機
 械ニ遮ラレ陸梁
 合掌尻ニ於テ折
 損ノ狀況

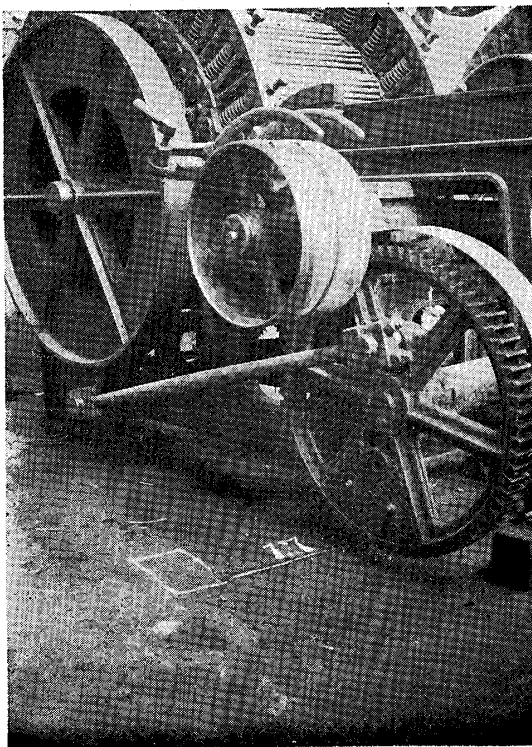
No. 184



寫眞第一八一

府下日本製麻
 株式會社工場
 内軟織機
 圖中床面ニ白
 書セル四角形
 ノ個所ヨリ約
 一尺七寸移動
 セルヲ示ス
 (重量一、七〇
 〇貫)

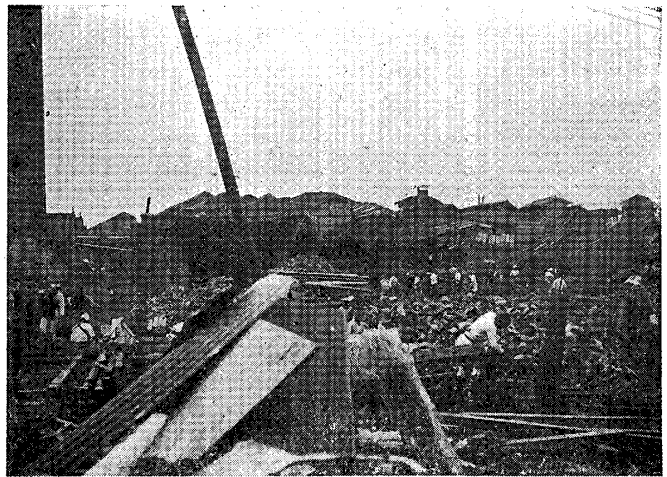
No. 181



寫眞第一八三

府下寺島町
 隅田川工業株
 式會社
 被害ノ一般狀
 況(崩壞約三
 千坪)

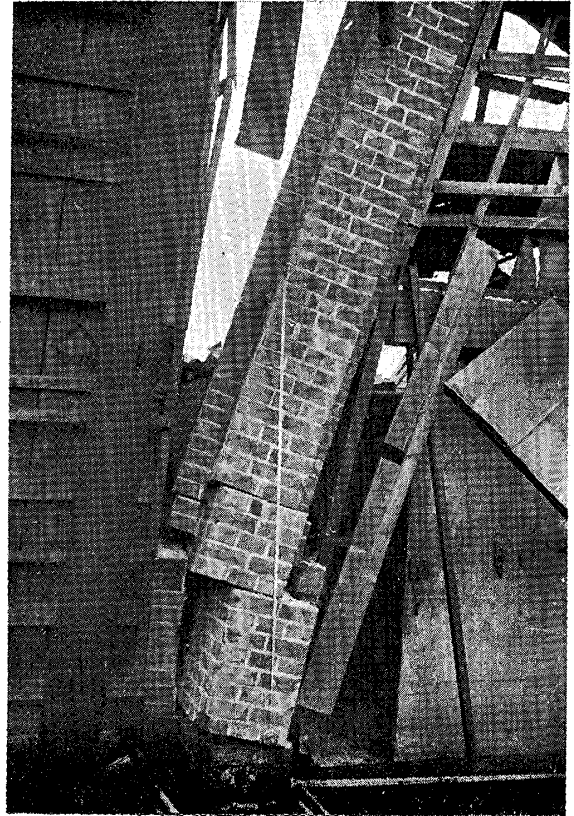
No. 183



寫眞第一八五

府下寺島町
隅田川工業株
式會社工場
木造平家防火
壁崩壞一部殘
存セルモノ垂
下セルハ「テ
ーブル」

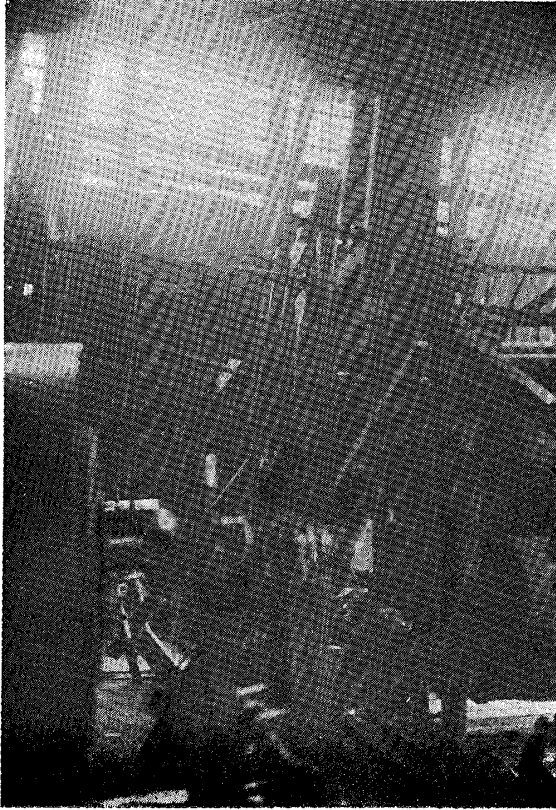
No. 185



寫眞第一八七

府下寺島町
隅田川工業株
式會社染色工
場木造一階建
内部破損ノ狀
況

No. 187



寫眞第一八八

府下王子町
豐川尋常小學
校木造二階建
當時軸建瓦葺
迄出來工事中
ノモノ
舊校舍トノ取
合個所ノ防火
壁崩壞ニヨリ
建物ハ南方へ
胴折レテ倒壊
ニ至ル

No. 188



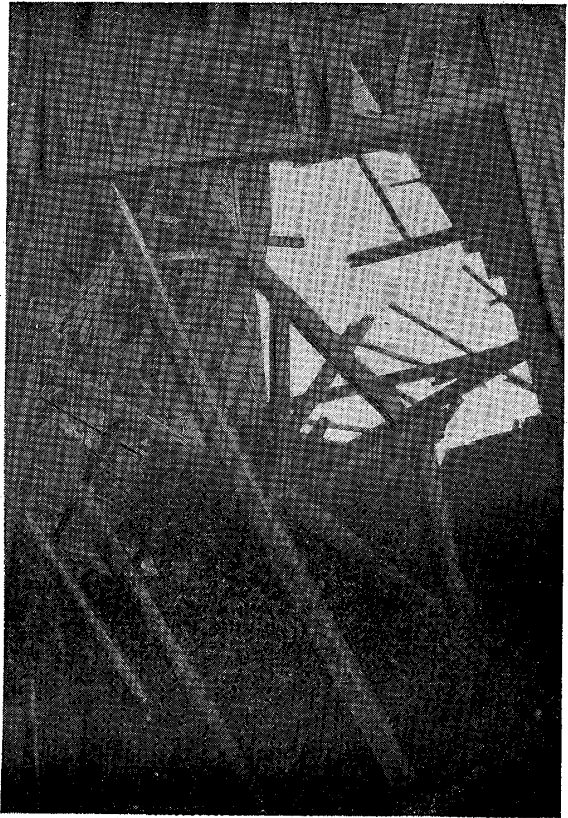
寫眞第一八六

府下寺島町 隅田川工業株式會社
藥品貯藏庫煉瓦造傾斜ノ狀況

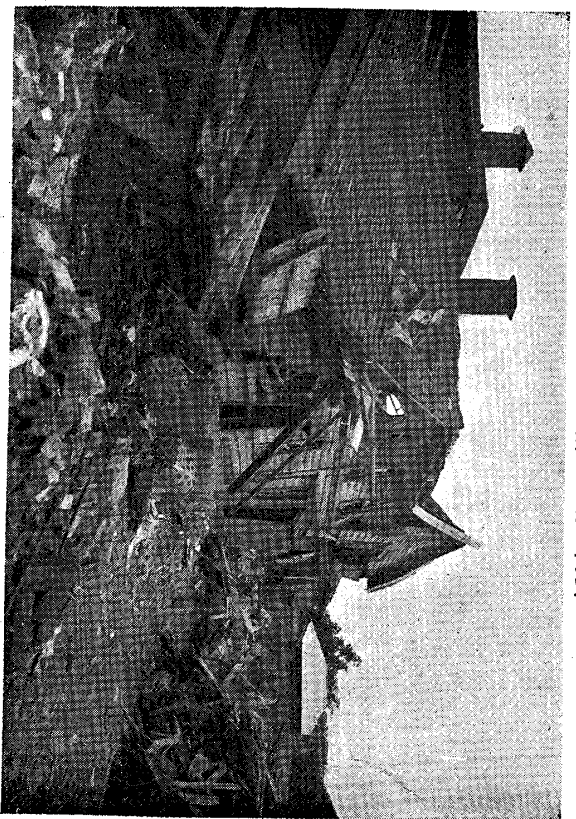
No. 186



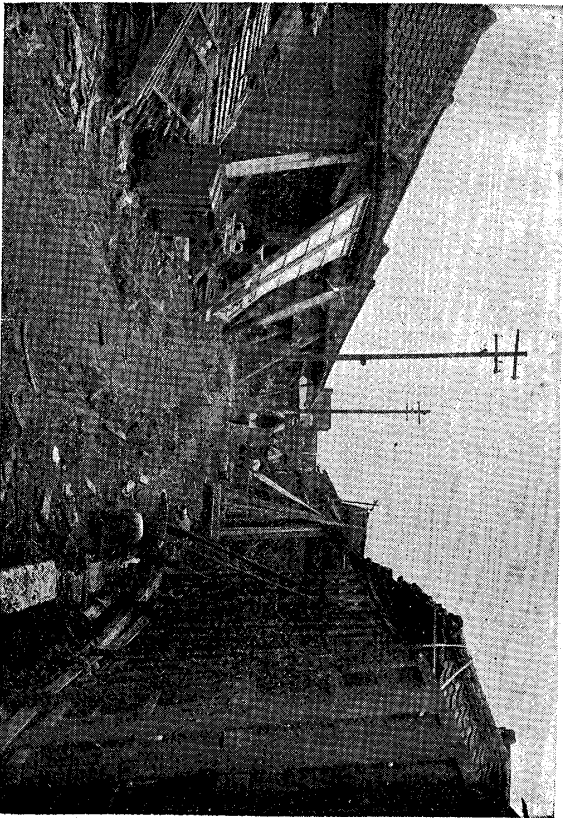
No. 190 寫真第一九〇 同右 木造平家建工場ノ倒壊



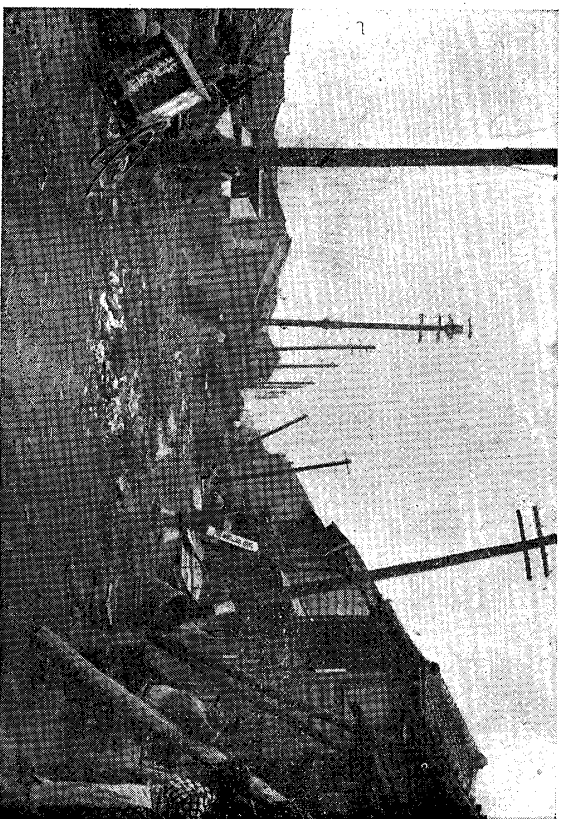
No. 189 寫真第一八九 府下王子町 豊玉製紙株式会社 木造二階建工場ノ倒潰



No. 192 寫真第一九二 府下龜戸町五ノ橋 住家木造平家 一般被害状況



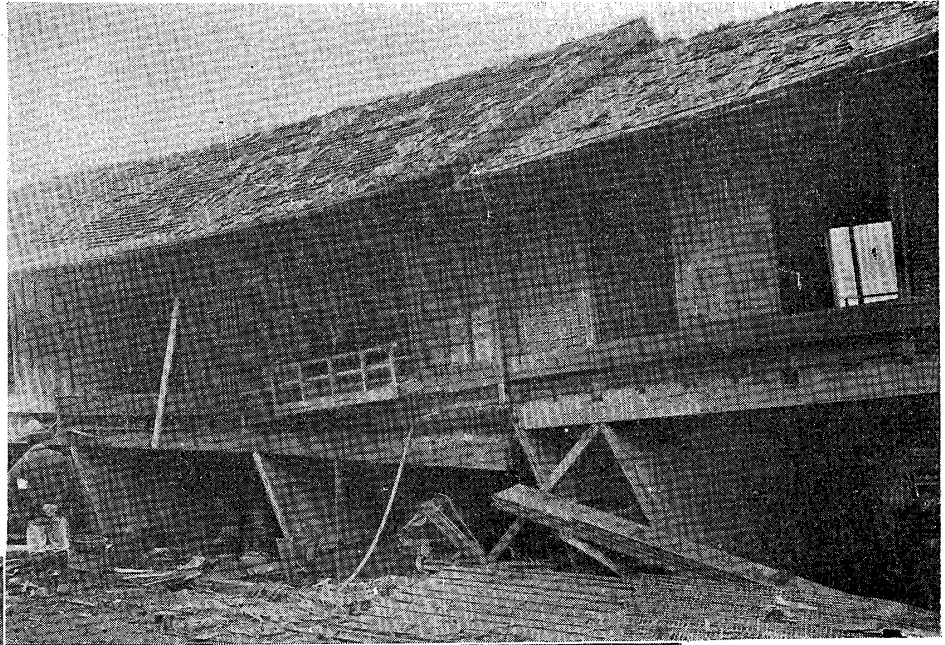
No. 191 寫真第一九一 府下龜戸町五ノ橋二四〇〇 附近一般被害状況



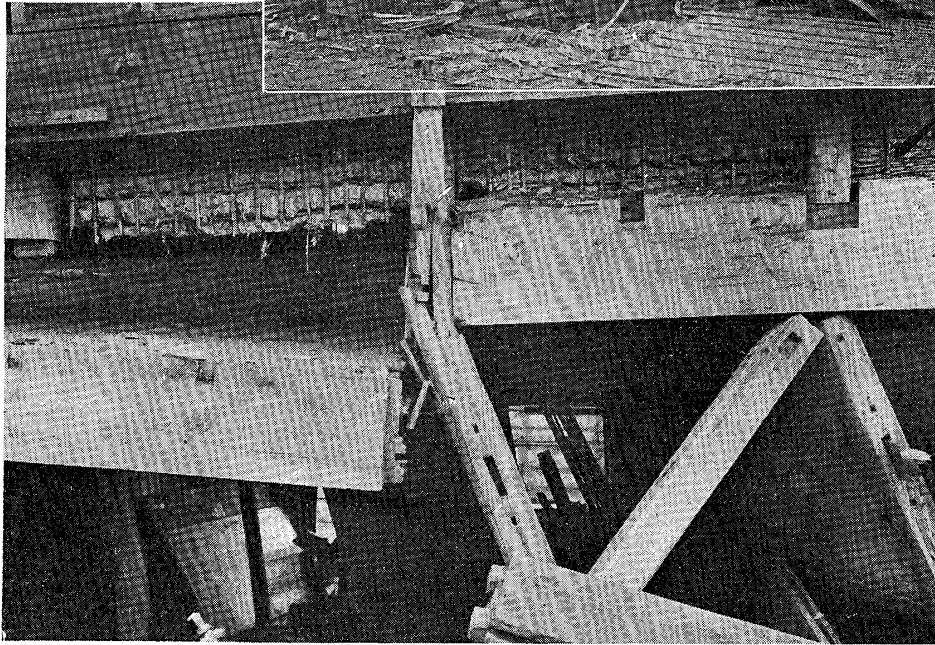
No. 193

寫眞第一九三 府下龜戸町五ノ橋二

四〇〇 商店木造二階建
汚水排水設備不完全ニシテ脚部腐朽
シ且地盤軟弱ナルヲ以テ柱挫折シ家
屋大傾斜ノ狀況



No. 194

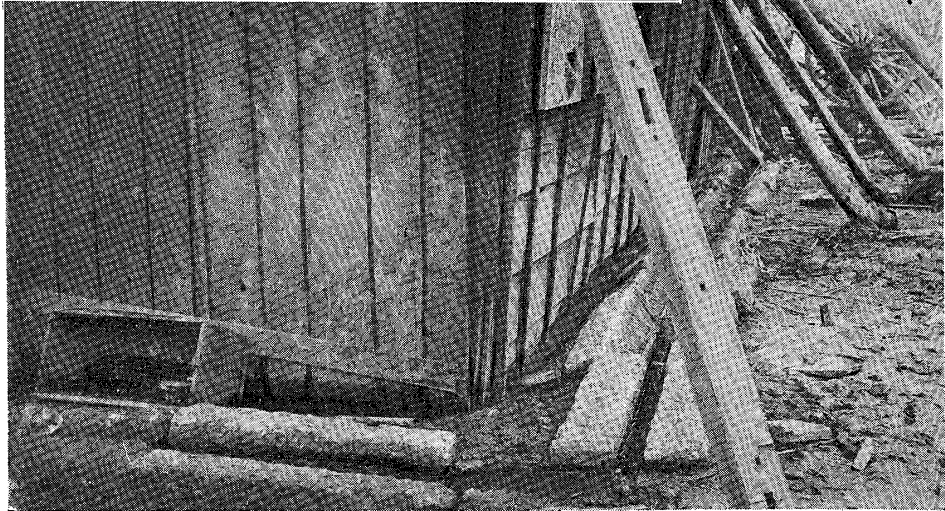


寫眞第一九四 府下龜戸町五ノ
橋二四〇〇 商店木造二階建
部梁下柱ノ取合折損狀況

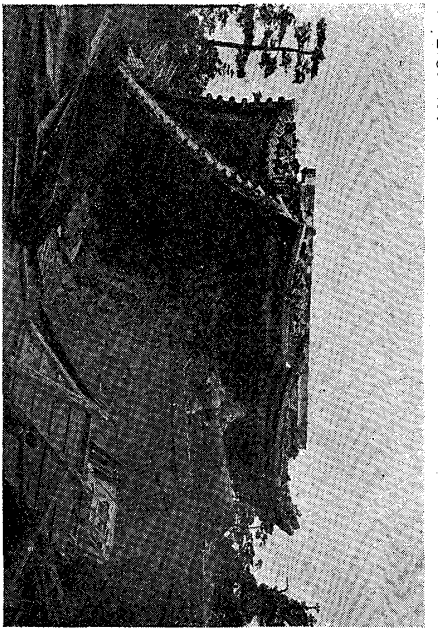
No. 195

寫眞第一九五 府下龜戸町五ノ橋住家木

造一階
地盤軟弱ニシテ建物全體沈下セルヲ示ス

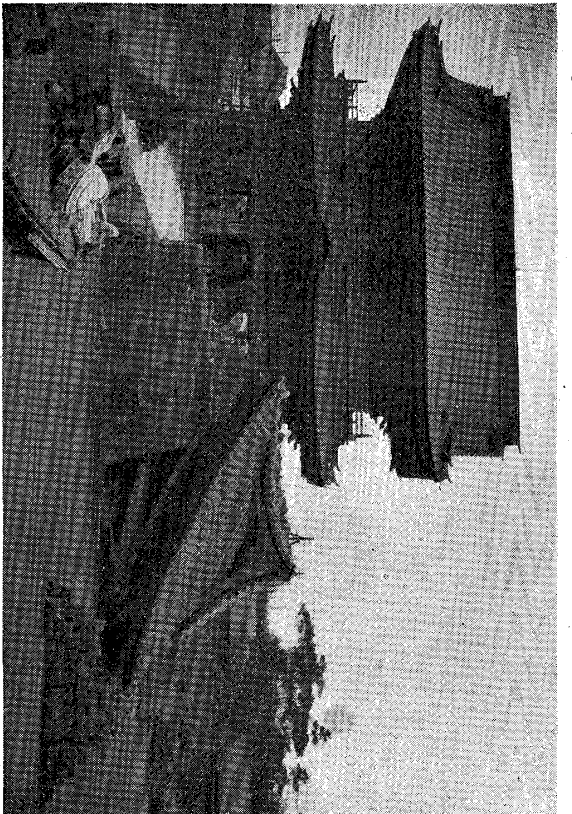


No. 197



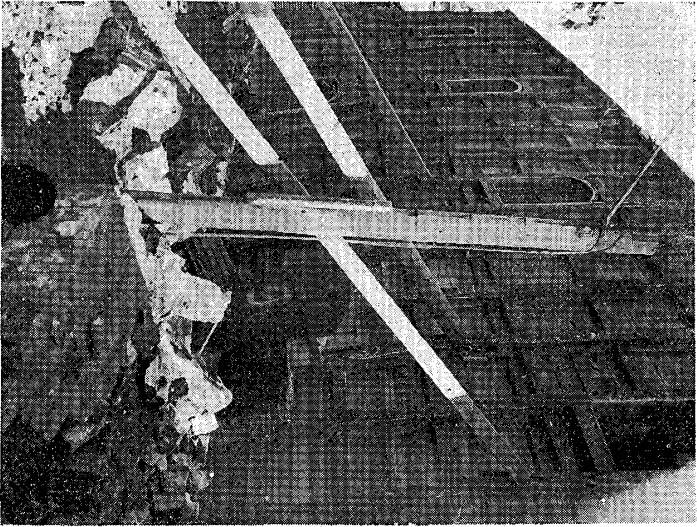
寫真第一九七 同右

No. 198



寫真第一九六
神奈川縣川崎町川崎大御境内
鐘樓ノ倒壊モルモ

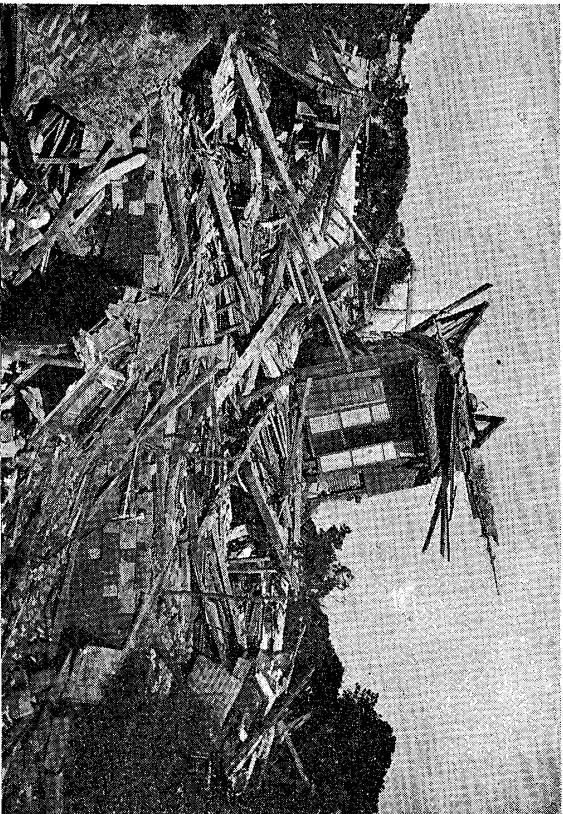
No. 199



寫真第一九九

横濱市中村町二一 横濱植木株式会社倉庫木骨煉瓦造二階建
 一、一枚厚煉瓦以テ張リ付ケアリシモノニシテ全部剝落弱
 壊セルモ木骨部ノミニ殘存セリ
 一、木骨造ノ柱ハ四寸角材三尺間ニ建込ニ階梁ハ六尺間毎
 一、合梁ト爲シ柱ヘ「ボルト」縮ト爲シタリ
 一、格納品ノ動壓ニ因リ柱ニ階梁取付部ノ下部ニ於テ挫折セ

No. 198

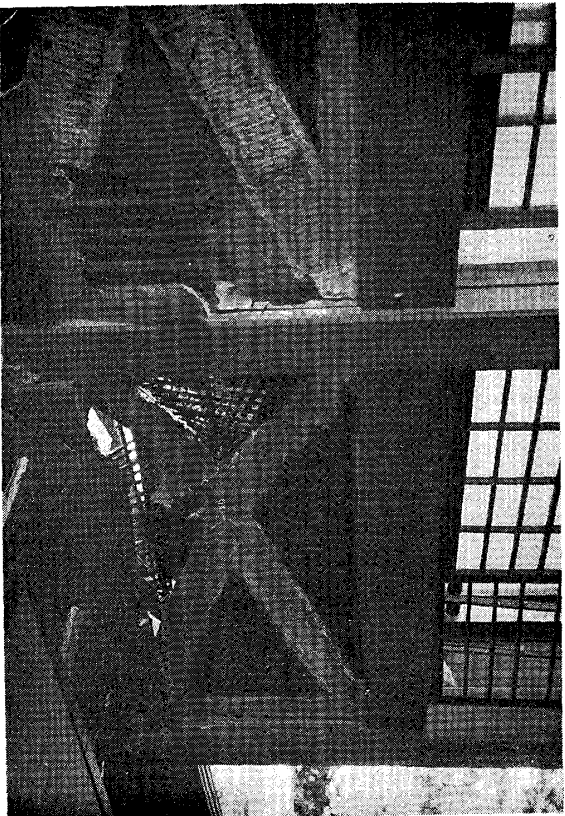


寫真第一九八
 横濱市山手二二五 住家木造二
 階家
 一、本建物ノ敷地ハ岸上ノ一部ニ積土ヲ施シ上
 一、留石垣ヲ周ラシタルモノナリ
 一、山手町ノ地盤堅ナル位置ニ存在セシモ積
 土上ニ建設サルモノナルヲ以テ倒潰ノ慘状
 甚シキモノナリ

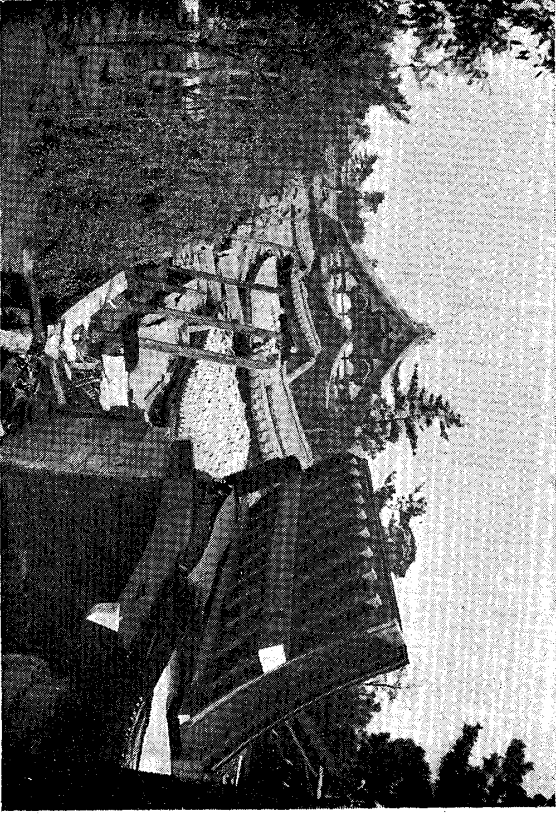
No. 301 寫眞第二〇一 同右間仕切壁ニ取設ケラレタル 筋違材ノ推折セルモヤ



No. 200 寫眞第二〇〇 神奈川縣鶴見總持寺總受付内部周壁窓下腰 廻ニ取設ケラレタル筋違材ノ推折セルモノ



No. 203 寫眞第二〇三 同右廻廊ノ倒潰



No. 202 寫眞第二〇二 神奈川縣鶴見 總持寺總受付ノ側 通り沈下ノ状況

